

福岡県農林水産業・農山漁村の動向

— 令和5年度 農林水産白書 —

福 岡 県

目 次

施策の展開

1	マーケットインの視点で生産力を強化	2
2	「選ばれる福岡県」に向けてブランド力を強化し、販売を促進	8
3	農林水産業の次代を担う「人財」を育成	16
4	持続可能な農林水産業に向けワンヘルスを推進	20
5	安心して住み続けられる農山漁村づくりを推進	26
○	令和5年度に表彰行事で受賞された方々	31

部門別の動き

1 農業

(1)	水田農業	38
(2)	園芸・特産	40
(3)	畜産	42
(4)	福岡県農業の主要指標	44
(5)	福岡県農業の全国的地位	45

2 林業

(1)	林業	47
(2)	木材産業	50
(3)	特用林産物等	51
(4)	福岡県林業の主要指標	52
(5)	福岡県林業の全国的地位	53

3 水産業

(1)	筑前海区	56
(2)	有明海区	57
(3)	豊前海区	57
(4)	内水面	58
(5)	福岡県水産業の主要指標	59
(6)	福岡県水産業の全国的地位	60

農林事務所管内の動き

1	福岡農林事務所管内	62
2	朝倉農林事務所管内	64
3	八幡農林事務所管内	66
4	飯塚農林事務所管内	68
5	筑後農林事務所管内	70
6	行橋農林事務所管内	72

付属統計・資料

福岡県農林水産業・農山漁村振興条例

— 施策の展開 —

施策の展開

1 マーケットインの視点で生産力を強化

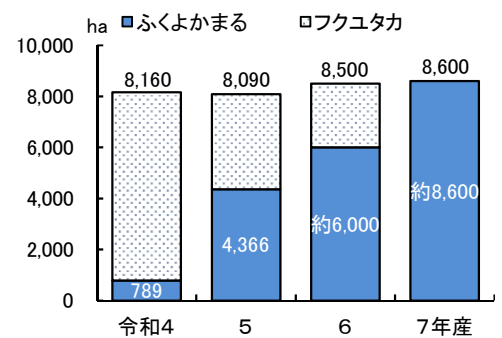
(全面転換に向け大豆新品種「ふくよかまる」をPR)

- ・県では、県産大豆の安定供給を図るため、令和4年産から、新品種「ふくよかまる^{*}」への切替を進めており、5年産では、県内の大豆作付面積の5割以上となる4,366haで作付されました。
- ・5年度は、「ふくよかまる」販売開始から1周年を記念し、福岡市内の神社仏閣での節分大祭におけるPRや、県内飲食店で「ふくよかまる」を使った商品を提供するフェアを開催しました。
- ・今後は、7年産までに、県内の大豆作付面積のすべてを「ふくよかまる」に切り替えるため、種子の安定供給と「ふくよかまる」の需要拡大を進めます。

※ふくよかまる：県農林業総合試験場が平成29年6月に開発。
(品種名「ちくしB5号」)



櫛田神社節分厄除大祭で
豆まきを行う服部知事



「ふくよかまる」への転換計画

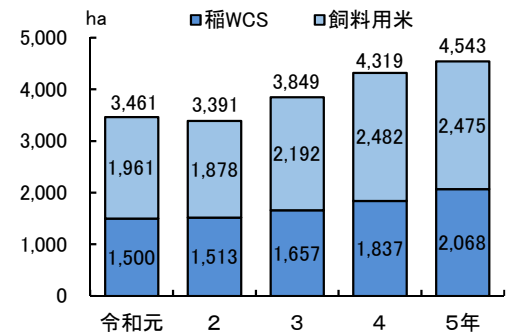
資料：農林水産省「作物統計」
水田農業振興課調べ

注：令和4、5年産は実績値、6、7年産は計画値。

(飼料価格高騰の影響を受けた畜産農家の経営継続を支援)

- ・令和3年から続く飼料価格高騰は、依然として、畜産農家の大きな負担となっています。このため、県では、飼料の購入経費の一部を助成し、畜産農家の経営継続を支援しました。
- ・また、自給飼料の生産拡大によるコスト低減を図るため、牧草類や子実用とうもろこし、稲WCS^{*}、飼料用米といった自給飼料の生産機械の導入を支援しました。
- ・この結果、令和5年の稲WCS及び飼料用米の作付面積は前年から224ha増の4,543haとなりました。

※稲WCS：稲の穂と茎を丸ごと刈り取り、発酵させた牛の飼料



稲WCS及び飼料用米の作付推移

資料：農林水産省



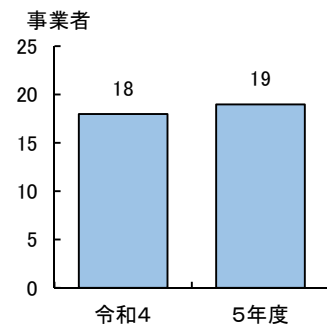
子実用とうもろこし収穫機

(サワラの高鮮度処理の取組が拡大)

- ・県では、消費者ニーズに対応した農林水産物の生産促進を図るため、出荷規格や出荷方法の見直しに取り組んでいます。
- ・水産海洋技術センターでは、サワラの高鮮度処理マニュアルを作成しており、糸島漁協や遠賀漁協では、このマニュアルを活用し、高鮮度処理サワラを出荷して、市場で高い評価を得ています。
- ・令和4年度からは、宗像漁協がサワラの高鮮度処理の取組を本格的に導入するなど、筑前海区での取組が拡大しています。また、糸島漁協や宗像漁協では、飲食店と連携し、高鮮度処理サワラを使った料理を提供するフェアの開催といったPRにも取り組んでいます。



高鮮度処理されたサワラ



出荷規格や出荷方法の見直しに取り組む農林水産事業者数

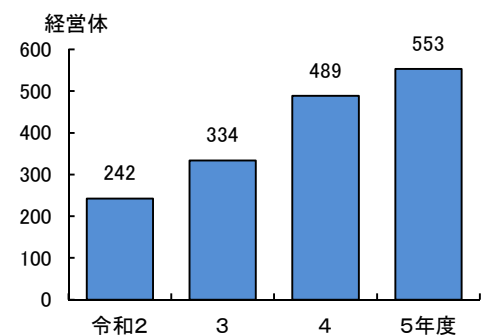
資料：農林水産政策課調べ

(スマート農業機械の導入をはじめとする農業DXを推進)

- ・県では、デジタルデータを活用した農業経営を行う、農業DXを推進し、高品質・高収量・省力化の実現を図っています。
- ・令和5年度は、無人での自動走行が可能なロボットトラクターや農薬散布のための防除用ドローン、ハウス内の環境を作物の生育に最適な状態に保つ総合環境制御システムなどのスマート農業機械の導入を支援しました。
- ・また、民間企業、先進農業者、大学、試験研究機関、行政機関など、産学官連携による「福岡県農業DX推進協議会」を開催するとともに、農業DX推進フォーラムを通じて、先進事例や課題解決手法の共有を行いました。



ロボットトラクターによる耕起



デジタルデータを活用した経営を行う農業経営体数

資料：農林水産政策課調べ

アドテック (園芸ADTECセンターの基本構想を策定)

- ・県では、園芸農業の先進技術開発を行う「園芸 ADTEC センター」(正式名称:園芸農業アドバンステクノロジーセンター)を設置することとしており、令和5年度、その目指す姿や果たす役割、施設整備の方針等を具体化する基本構想を策定しました。
- ・基本構想では、本センターにおいて、持続的に発展する「稼げる農業」の実現を目指し、先進的な農業者や企業、研究機関と連携しながら、収益性を向上させる技術や環境負荷を低減する技術を開発するとともに、新技術の現場実装の加速化に取り組むこととしております。
- ・また、本センターは、園芸農業の主要な産地である筑後地域の中から、交通の利便性等を勘案して筑後市に設置することとしており、9年度中の供用開始を目指します。



園芸 ADTEC センターイメージ図



実施する研究の例 (イメージ)

トピック

○ 北九州ストックポイントが共用を開始

- ・北九州市中央卸売市場内に、「Marukita Logistics Base」(丸北物流拠点)が完成し、令和5年10月から共用を開始しました。
- ・当施設は、青果物流の中継基地として、配送する青果物を一時的に保管するストックポイント機能を有するだけでなく、低温荷捌き場と温度の異なる2種類の冷蔵施設をあわせ持つことで、青果物の種類に合わせた品質管理ができる施設となっています。
- ・また、当施設は、各産地からの出荷情報を事前に集約し、効率的な積み替え作業を可能にする物流システムやトラックドライバーの待機時間の削減につながるトラック予約管理システムを導入するなど、物流の「2024年問題」に対応した物流施設となっています。

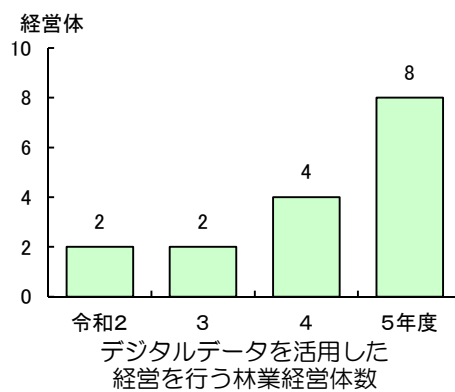


「Marukita Logistics Base」の外観

(ICT等の先端技術を活用するスマート林業を推進)

- ・県では、森林作業の効率化や省力化を図るため、森林管理に地理空間情報などのデジタルデータを活用するスマート林業を推進しています。
- ・令和5年度は、先端技術に対応できる人材を育成するため、林業経営体を対象に、知識や技能を習得する「林業ICT人材育成研修」を実施しました。
- ・この取組の結果、ドローンによる写真測量やGNSS測量*で得られたデジタルデータを活用する経営体数が前年度から倍増し、8経営体となりました。

*GNSS測量：衛星測位システムを用いて行う測量のこと。



資料：林業振興課調べ



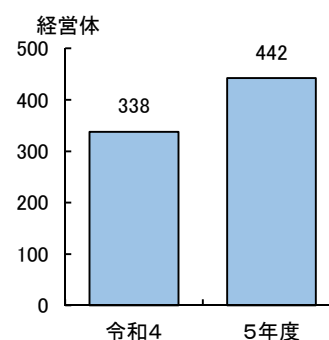
GNSS 測量研修

(ICT技術を活用した7日先までの海況予測を配信)

- ・県では、これまで、科学的データを基にした効率的な操業を推進するため、筑前海区において3日先までの水温や潮流の予測データを、漁業者のタブレット端末に配信する「海況予測システム」を開発し、高い評価を得てきました。
- ・このような中、漁業者から、「予測できる期間が長くなれば、より計画的な出漁や効率的な操業につながる」との声が聞かれたことから、県では、令和5年度に、調査船で測定した詳細な海底地形データをシステムに取り込むといった改良を行い、7日先までの予測データ配信が可能となりました。
- ・また、この海況予測システムの活用事例を紹介する研修会を開催し、漁業者への普及を進めています。



県調査船による海底地形データの収集



資料：漁業管理課調べ

トピック

○ 有明海でのICTを活用した取組を推進

- ・有明海のノリ養殖では、^{ちょうせき}潮汐表を基にノリ網を吊す高さを調整していますが、気圧や風向によっては潮汐表どおりに潮が引かないことがあります。
- ・そこで、県では養殖管理の高度化を図るため、既存の水温等のリアルタイムデータに加え、海況予測モデルを開発し、県HPの「うみえる福岡」で3日先までの潮位などの予測値の配信を開始しました。
- ・また、天然の「福岡有明あさり」を消費者が信頼して購入できる新しい流通体制（福岡モデル）を構築するために、データ改ざん防止技術を用いたトレーサビリティシステムの開発を進めています。

日付	干潮時刻	予測潮位－潮汐表潮位(m)
05月17日	11:04	-0.06
	23:08	0.39
05月18日	11:59	0.08
05月19日	00:06	0.47
	12:39	0.21
05月20日	00:52	0.50
	13:16	0.34

※「-」表示は潮汐表より低くなる予測

※空欄は潮位データなし

「うみえる福岡」予測潮位の配信画面

（農地の大区画化・集約化により水田農業の生産性を向上）

- ・県では、スマート農業機械の導入や農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化による規模拡大に向け、畦畔除去やほ場の均平作業による大区画化など、生産コストの低減に取り組む生産者を支援しています。
- ・令和5年度は、筑紫野市の西小田地区において、1筆あたりの平均面積が県平均の約3倍となる52aまで拡大するなど、7市町12地区における農地の大区画化・集約化の取組が実施されました。



バックホウによる畦畔除去作業

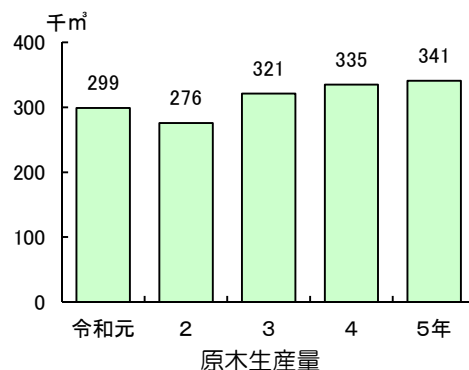


レーザーレベラーによる均平作業

(県産木材の生産量は 341 千 m^3 まで拡大)

- ・県では、県産木材の供給力を強化するとともに、資源の循環利用を図るため、主伐[※]を推進しています。
- ・令和5年は、主伐経費への助成や高性能林業機械の導入支援による主伐の推進に加え、円安などの影響が続く中、輸入木材の供給減少による国産材需要の高まりから、主伐が積極的に実施され、原木生産量は、前年から6千 m^3 増の341千 m^3 となりました。

※主伐：一定の林齢に生育した立木を材木として販売するために伐採すること。



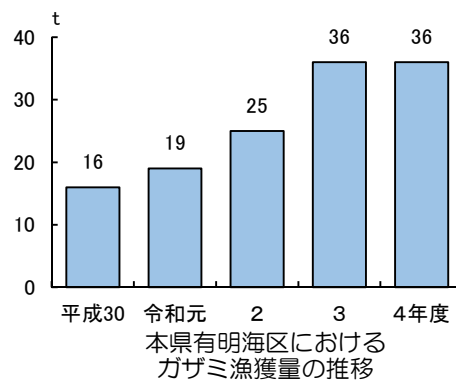
資料：林業振興課調べ



主伐による原木生産の現場

(有明海でガザミの資源管理を強化)

- ・漁業者は、水産資源の持続的な利用を図るため、自主的な資源管理に取り組んでいます。また、水産資源は漁獲や漁場環境の変化により変動することから、状況に応じて管理方法を見直す必要があります。
- ・このため、令和5年度は、県の指導のもと、13団体が休漁日や禁漁区の設定といった、資源管理方法の見直しを行いました。
- ・有明海では、ガザミの資源を増やすため、関係4県の漁業者が、種苗放流や脱皮直後で甲羅が軟らかく商品価値の低いガザミを、再び海に戻すといった取組を継続して行っています。
- ・さらに、4県の協議がまとまり、6年度から全県で甲羅の長さ13cm以下のガザミを再放流することとし、資源管理を強化しました。



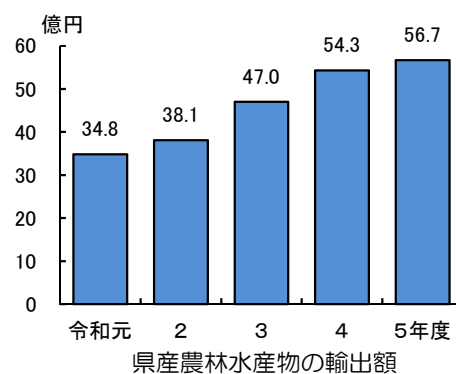
資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(組替集計)、漁業管理課調べ



2 「選ばれる福岡県」に向けてブランド力を強化し、販売を促進

(農林水産物の輸出額は56億7千万円で過去最高を更新)

- ・県では、県産農林水産物の海外への販路拡大及び海外市場でのブランド力強化を図るため、販売促進フェアの開催や商談会への出展支援、輸出向けの生産体制構築に取り組んでいます。
- ・令和5年度は、北米や台湾向け需要が増加したことにより県産農林水産物の輸出額は前年比4.5%、2億4千万円増の56億7千万円となり、過去最高を更新しました。



(ベトナムで県産みかんをPR)

- ・令和3年にベトナムが日本産みかんの輸入を解禁して以降、県では、県産みかんの輸出拡大を進めており、5年度は、ベトナムにおける県産みかんの販売促進や認知度向上に取り組みました。
- ・具体的には、ホーチミンの百貨店や量販店での福岡みかんフェアや、みかんを使ったスイーツを作る料理教室を開催し、県産みかんの販売促進を図りました。
- ・加えて、福岡みかんフェアや料理教室について、ベトナム在住インフルエンサーのSNSを活用し情報発信することで、県産みかんの認知度向上に取り組みました。



福岡みかんフェア



県産みかんを使用した
スイーツを作る料理教室

(九州・山口各県や経済団体と連携して、シンガポールで県産農産物をPR)

- ・県では、九州地域戦略会議*の一員として、九州・山口各県、経済団体と連携し、農林水産物・食品の輸出拡大に取り組んでいます。
- ・令和5年度は、シンガポールの日系スーパーで、九州・山口各県の農産物や加工品の美味しさをPRする農産物販売促進フェアを開催しました。
- ・販売促進フェアでは、九州ロゴマークで装飾した特設コーナーを設置し、福岡県産のいちご「あまおう」をはじめ、九州・山口各県産の農産物の試食販売を行いました。

※九州地域戦略会議：九州各県、山口県及び（一社）九州経済連合会で構成。「九州はひとつ」の理念のもと、九州独自の政策に取り組んでいる。



シンガポールでの販売促進フェア



フェアチラシ

トピック

○ 八女茶の輸出拡大に向けた米国でのプロモーション

- ・八女茶の輸出拡大を図るためには、近年、日本茶の需要が大きく伸びている米国における認知度向上や販路拡大が必要です。
- ・このため、県では、ニューヨークの三つ星レストランにおいて、八女茶と食事のペアリング試食会を開催しました。
- ・また、ハワイの飲食店においても、現地のメディアや飲食店関係者、観光関係者等を対象に、八女茶や福岡有明のり等を使った福岡フェアを開催し、福岡の食材の魅力をPRしました。
- ・この試食会では、煎茶や水出し玉露、抹茶といった八女茶に合う料理が提供され、服部知事が、現地の飲食店関係者やインフルエンサーに、高級料理との相性が良い八女茶の魅力を直接発信しました。
- ・今後も、600年を超える歴史や伝統的な生産方法といった八女茶の特長を現地関係者に広く紹介することで認知度向上を図り、更なる輸出拡大につなげていきます。



試食会であいさつする服部知事



八女茶と食事のペアリング試食会



福岡フェアでの特別メニュー

（「博多ぶなしめじ」が美味しくなってリニューアル）

- ・県では、県産農林水産物のブランド化を推進しており、令和5年度末現在で、14品目が福岡県農林水産物ブランド化推進協議会により県産ブランドとして認定されています。
- ・林産物については、「博多ぶなしめじ」の安定供給を図るため、株式会社大木きのこ種菌研究所と共同で、新品種「福おおき 173号」を6年の歳月をかけて育成しました。
- ・新品種は従来品種と比べて苦味が少なく、食味が良いのが特長です。また、高温に強いため、近年の猛暑により増大する冷房コストを低減することができます。
- ・5年4月から、新品種の本格導入を開始し、9月にはすべての「博多ぶなしめじ」が既存品種から新品種に切り替わりました。
- ・また、リニューアルした「博多ぶなしめじ」の美味しさを県民に広く周知するため、生産者が実施する市場でのお披露目会や量販店での試食会といったPR活動を支援しました。



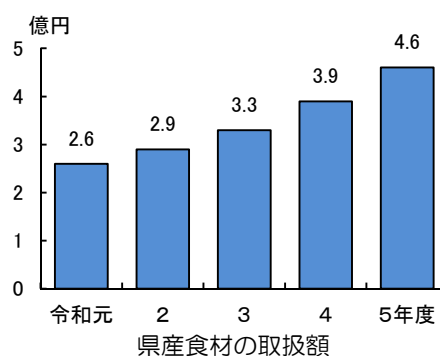
リニューアルした
「博多ぶなしめじ」



福岡市中央卸売市場での
お披露目会

（県産食材の取扱額が4億6千万円に拡大）

- ・県では、東京と大阪に「福岡よかもん・よかとこプロモーションセンター」を設置し、首都圏及び関西圏のホテルやレストランに向けた県産農林水産物のPRに取り組んでいます。
- ・令和5年度は、多くの飲食事業者や小売店とつながりを持つ首都圏の卸売事業者と連携し、県産食材の新たな販路開拓に取り組みました。
- ・また、バイヤーの産地招へいや食品サンプルの提供により、県産食材フェアの開催を働きかけました。
- ・加えて、ホテルや百貨店のバイヤーを講師に招き、県内の生産者を対象とした研修会を開催し、事業者の具体的なニーズの把握につなげました。
- ・こうした取組の結果、県産食材の取扱額は前年度に比べ18%増の4億6千万円となりました。



資料：福岡の食販売促進課調べ



「鐘崎天然とらふく」を使用した懐石料理
(麹町なだ万 福岡別邸)

(福岡・大分DCに向けた「おもてなし飾花」で県産花きをPR)

- ・県では、令和6年4月から6月に開催された福岡・大分DC※に先駆け、この観光キャンペーンを盛り上げるため、JR主要4駅（博多・小倉・久留米・新飯塚）と県営公園内の3施設（旧福岡県公会堂貴賓館、大濠テラス、九州芸文館）で、5年9月と6年2月に約10日間ずつ、キクやバラ、トルコギキョウ、ガーベラといった県産花きで色とりどりに装飾するとともに、各駅では、県産のバラやカーネーションの一輪花を配布しました。
- ・花の装飾の前では、多くの観光客が足を止め、写真を撮る姿が見られ、観光客へのおもてなしを契機に、4月からのDC本番へとつなげました。

※福岡・大分DC：「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」の略で、福岡・大分両県とJRグループが共同開催する大型観光キャンペーン。



JR 博多駅での飾花の様子

トピック

○ 県内最大の酒のイベント「& SAKE FUKUOKA」が4年ぶりに本格開催

- ・福岡の素晴らしいお酒を県内外の皆様により深く知ってもらう、県産酒の大規模PRイベント「& SAKE FUKUOKA」が、令和5年9月30日、10月1日の2日間、福岡国際センターで開催されました。
- ・近年ではコロナ禍の影響により中止や規模縮小を余儀なくされていましたが、実に4年ぶりの本格開催となり、県内43の酒蔵と人気飲食店30店舗が一堂に会し、2日間で約1万3千人が福岡の酒と食を楽しみました。



「& SAKE FUKUOKA」
(福岡国際センター)

(福岡・大分DCを活用し県産水産物をPR)

- ・福岡・大分DCを契機に、国内外から来福する観光客の大幅な増加が期待されます。
- ・この機を捉え、観光客に「ふくおかの地魚応援の店」の情報を提供し、誘客を図ることは、県産水産物を広くPRすることにつながります。
- ・そこで、県は令和5年7月から、「ふくおかの地魚応援の店」紹介冊子のWEB版を、日・英・中・韓の四か国語で配信するとともに、SNSのバナー広告を活用したPRを行いました。

※「ふくおかの地魚応援の店」紹介冊子WEB版URL
<https://fukuoka.jizakanavi-plus.jp/>



「ふくおかの地魚応援の店」WEB版
(上段：日本語・下段：外国語)

(「ふくおかごちそうマルシェ」で県産農林水産物のPR)

- ・県では、県関係団体で構成する福岡県農林水産物ブランド化推進協議会を通じて、県産農林水産物の認知度向上やブランド化を推進するため、イベントや販売会などのPR活動を実施しています。
- ・令和6年2月には、県営天神中央公園西中洲エリアで「ふくおかごちそうマルシェ」を開催しました。
- ・このマルシェでは、販売単価が20年連続で日本一となった「あまおう」の配布や、販売開始から1周年を迎えた大豆「ふくよかまる」などの県産農林水産物を使用した料理を販売しました。また、旧福岡県公会堂貴賓館では、県産の花を多数使用した飾花を行い、2日間で約3万人が来場しました。



マルシェ会場における
知事による「あまおう」配布



旧福岡県公会堂貴賓館での飾花

トピック

○ 「八女茶発祥 600 年」を契機に「福岡の八女茶」を全国へPR

- ・令和5年は、八女茶の発祥から600年となる記念の年でした。県では、この機を捉え、関係機関と連携し、「第77回全国お茶まつり福岡大会」を18年ぶりに開催するとともに、八女茶ブランドの統一ロゴマークを活用し、県内外で「福岡の八女茶」の様々なPRイベントを行いました。
- ・大会の一環として開催した「第77回全国茶品評会」では、「玉露の部」で八女市の倉住 努氏が農林水産大臣賞、八女市が23年連続となる産地賞を受賞しました。
- ・5年10月には、八女茶の魅力発信イベント「八女茶の宴(えん)」を福岡市と北九州市で開催し、2万人以上の来場がありました。
- ・また、県内外の茶販売店53店舗でロゴマークをデザインしたオリジナルボトルのプレゼントキャンペーンを実施したほか、首都圏の商業施設や茶販売店で開催したPRイベントでは、試飲や販売に加え、美味しいお茶の淹れ方や八女伝統本玉露のすすり茶体験のワークショップを行い、若年層を中心に「福岡の八女茶」の認知度向上に取り組みました。



第77回全国お茶まつり福岡大会記念式典



八女茶の宴（福岡市）

トピック

○ 「うまかばい！博多和牛フェア」で博多和牛をPR

- ・県では、関係団体と構成する博多和牛販売促進協議会を通じて、「博多和牛」の消費拡大、認知度向上を図るため、PR活動を実施しています。
- ・令和5年度は、5月12日から14日までの3日間、博多駅前広場で、博多和牛販売促進協議会、JA全農ふくれん、他関係各社が共催して、「うまかばい！博多和牛フェア」を開催しました。
- ・このフェアでは、紹介パネル展示や、「博多和牛」を使用した料理の販売を行い、来場者に「博多和牛」の魅力をPRしました。

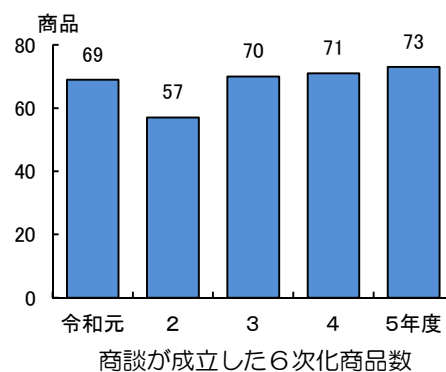


フェア開幕のテープカット

(6次化商品の販路拡大を支援)

- ・県では、百貨店やスーパーのバイヤーが参加する大規模商談会への6次化商品*の出展を積極的に支援し、販路拡大を進めています。
- ・令和5年度は、福岡市で開催された「Food EXPO Kyushu2023」や、首都圏での「アグリフード EXPO 東京 2023」、「スーパーマーケット・トレードショー 2024」への出展支援のほか、東京の商業施設で2日間開催した「福岡県6次化商品PR販売会」にあわせて、バイヤーとの商談を実施しました。
- ・また、6次化商品の付加価値向上とPRを目的とする「ふくおか6次化商品セレクション」には、農林漁業者や農業高校から計42点の出品がありました。このうち、11点が県知事賞をはじめ各賞を受賞し、「DOCORE（どおこれ）ふくおか商工会ショップ」でPR販売を行いました。
- ・これらの取組の結果、73商品の商談が成立しました。

*6次化商品：農林漁業と二次、三次産業が連携し、地域資源を活用した付加価値を生み出した商品。



スーパーマーケット・トレードショー2024

トピック

○ 県産米粉を使用した新商品をPR

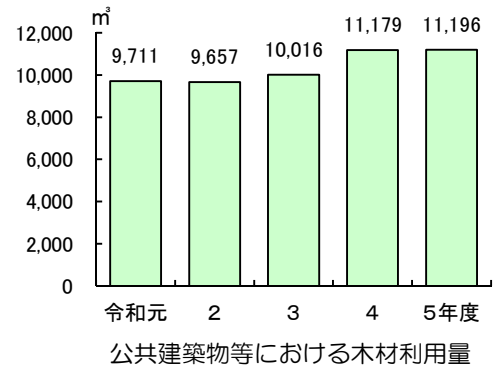
- ・米粉用米は、水田の維持・活用を図るうえで重要な品目です。近年は、グルテンフリーといった健康志向、米粉の特徴を生かした商品開発により需要が増加しています。
- ・県では、県産米粉商品の認知度向上に向けて、県の広報テレビ番組や広報誌等を活用した周知のほか、「&SAKE FUKUOKA」や「Food EXPO Kyushu2023」などのイベント、商談会への出展など、様々な機会をとらえてPRしました。



福岡県だよりでのPR
(令和5年7月号)

(建築物の木造・木質化を促進)

- ・県では、県産木材の需要拡大を図るため「福岡県内の建築物等における木材の利用の促進に関する方針」に基づき、公共施設及び民間施設の木造・木質化を促進しています。
- ・令和5年度は、朝倉警察署宝珠山駐在所の木造化や、築上高等学校教室棟の木質化を行いました。市町村においても、八女市役所をはじめとした施設で木造・木質化が進められました。
- ・これらの結果、5年度の公共施設等における木材利用量は前年度並みの11,196^m³となりました。
- ・また、商業ビルやオフィスビルといった民間施設の木造化を進めるため、中高層の木造建築物の設計ができる建築士を育成するとともに、関係事業者で構成される協議会が取り組む、ビル建築に使用する製材品の規格化や県産木材の供給体制づくりを支援しました。



資料：林業振興課調べ



朝倉警察署宝珠山駐在所

(県産木材のある暮らしの実現に向けた取組を開始)

- ・県では、県民の暮らしの中に県産木材を取り入れてもらうため、木の魅力を実感できる木製玩具やデザイン性の高い家具の販売促進に取り組んでいます。
- ・令和5年度は、多くの県民が利用する施設のキッズスペースへの木製玩具の導入や、木製家具の展示販売会の開催を支援しました。
- ・県内の百貨店で開催された展示販売会には、大川の家具メーカーのグループが、そのブランド力を活かして製作した25商品を出品し、好評を博しました。

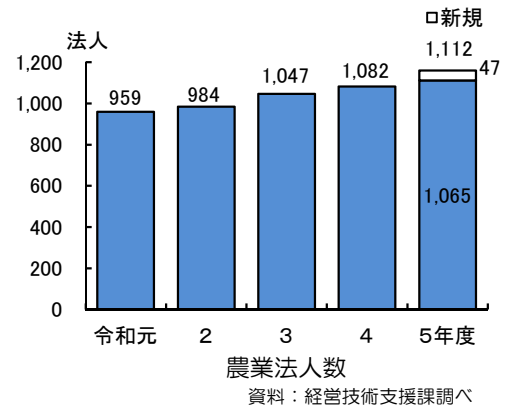


木製家具の展示販売会

3 農林水産業の次代を担う「人財」を育成

(本県農業をけん引するトップランナーを育成)

- ・県では、経営発展に意欲のある農業経営者を対象に、リカレント教育の一環として、企業管理や人材育成、スマート農業技術等の実践的な課題解決手法などを学ぶ「農業トップランナーキャリアアップ講座」を実施しています。
- ・令和5年度は、より実践的な研修とするため、すべての講座で、受講生のは場巡回や経営改善に向けた演習・意見交換を多く取り入れました。
- ・こうした取組により、5年度の新規農業法人数は、47法人となりました。



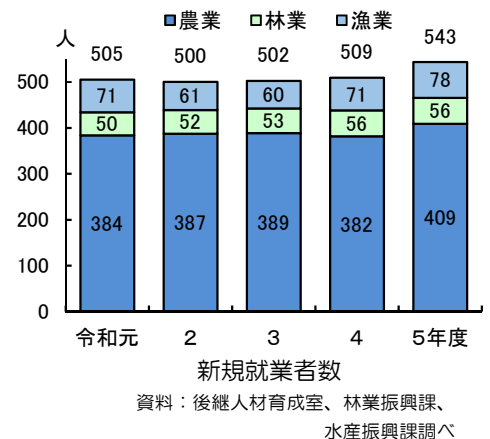
ふくおか農業トップランナー
キャリアアップ講座

(新規就業者数は7年連続で500人を突破)

- ・県では、新規就業者の確保に向け、就業希望者が農林水産業への理解を深め、スムーズに就業できるよう、就業セミナーや相談会の開催といった取組を行っています。
- ・令和5年度は、県内の新規就農支援関係の情報を集約した県ホームページ「農業せんね！福岡で」を、就農希望者が活用しやすいようにリニューアルしました。
- ・また、近年、首都圏から地方への移住希望者が増加している状況を踏まえ、林業就業セミナー・相談会を東京で初開催しました。
- ・これらの取組の結果、5年度の新規就業者数は543人で、7年連続で500人を超えました。
- ・農業では、雇用就農者が152人、新規就農者が257人の合計409人に、林業では、森林組合や民間事業者への就業者が合計56人、漁業では、まき網漁業やノリ養殖業などに合計78人が就業しました。



セミナーでの就農相談



(トライアル就農支援で雇用就農を促進)

- ・雇用就農者は、近年増加傾向にあり、県農業の担い手として、重要な役割を担っています。
- ・一方で、雇用就農したものの、就農前に抱いていたイメージとの相違等から、早期離職するケースも見られています。
- ・このため、県では、雇用就農のミスマッチを防ぐため、就農前に、基礎的な農作業を体験し、自らの適性を見極める「基礎研修」や、農業法人等で短期間就業する「トライアル就農」等の取組を新たに実施しています。
- ・令和5年度は、9人が、これらの取組に参加した後に雇用就農しています。



就農前の基礎研修

(「^{たくみ}匠の技」の伝承を支援)

- ・県では、本県を代表するブランド農産物の「あまおう」や、かんきつ、柿、ブドウ等の果樹を、高い品質で生産する熟練農業者を「匠」として認定し、匠による新規就農者への遠隔指導により「匠の技」の伝承を支援しています。
- ・遠隔指導にあたっては、リアルタイムに映像・音声を共有できる「スマートグラス」等の先端機器を活用しており、指導を行った「匠」からは「遠隔で状況確認が出来るため、移動時間が短縮できる」、新規就農者からは、「両手がふさがらないため、作業しながら指導を受けることが出来る」といった好評の声が聞かれています。



スマートグラスで「匠」から指導を受ける新規就農者



新規就農者へ遠隔指導を行う「匠」

(水産高校生を対象に体験実習やガイダンスを実施)

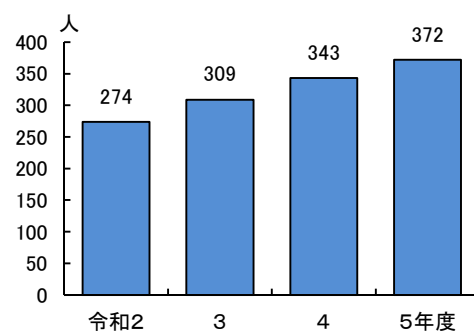
- ・県では、水産高校から県内の漁業への就業を促進するため、遠賀漁協と連携した体験実習や本県漁業のガイダンスを実施しています。
- ・令和5年度は、まき網や定置網、ノリ養殖といった本県漁業について、漁法や1日の操業スケジュールなどを紹介するとともに、養殖ウニの飼育体験や試験販売を行いました。



水産高校での漁業ガイダンス

(女性農林漁業者の経営発展を支援)

- ・本県の農業従事者の4割は女性であるものの、認定農業者に占める女性の割合は低い状況です。
- ・このため、県では、令和4年度から、認定農業者を目指す女性を対象に、認定農業者となるために必要な経営改善計画の作成を支援するとともに、新たな品目の導入に要する経費を支援しています。
- ・また、5年度からは、売上1,000万円以上を目指す女性農林漁業者と応援する企業をマッチングするベンチャーマーケットを開催し、女性起業家の経営発展を支援しています。
- ・この結果、4人の女性農業者が経営改善計画を作成し、ユリなどの新たな品目を導入しました。また、2人の女性農業者が、ベンチャーマーケットに参加し、販路拡大に向けた商品改良や機器整備を行いました。



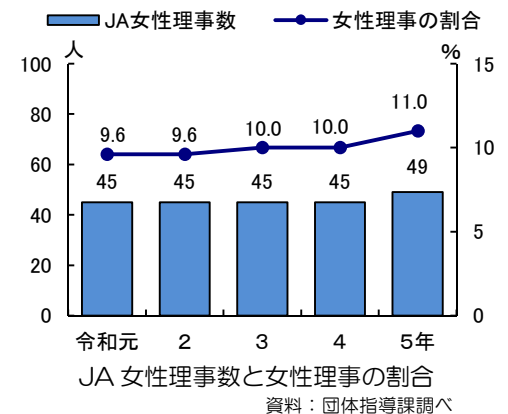
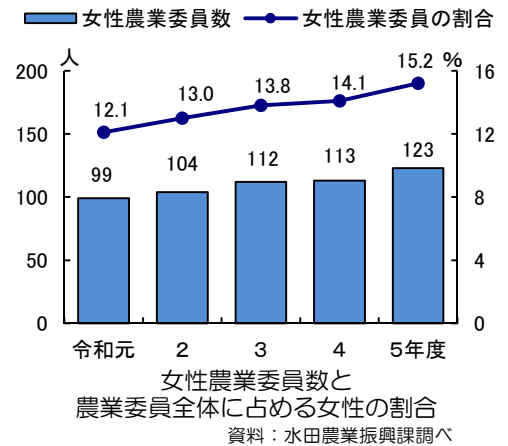
経営参画する女性農業者数※

資料：経営技術支援課調べ

※女性認定農業者及び農業法人の女性役員数

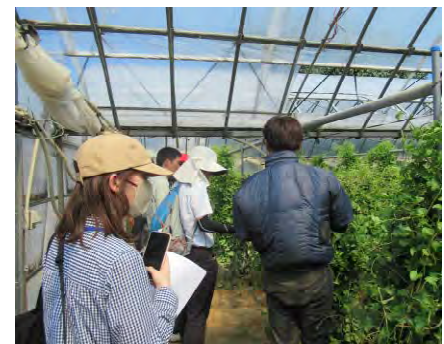
(女性農業者の社会参画を推進)

- ・女性農業委員やJAグループの女性理事は、女性農業者の相談相手として、また、地域農業を支える人材として重要な役割を果たしています。
- ・このため、県では、県農業会議や「農業委員会女性ネットワーク」と連携し、農業委員が改選される市町村では女性の登用を、JAグループでは女性理事の登用を推進しました。
- ・この結果、令和5年度の女性農業委員は123人となり、農業委員全体に占める割合は約15%となりました。また、JAグループの女性理事数は49人で、理事全体に占める割合は11%となりました。

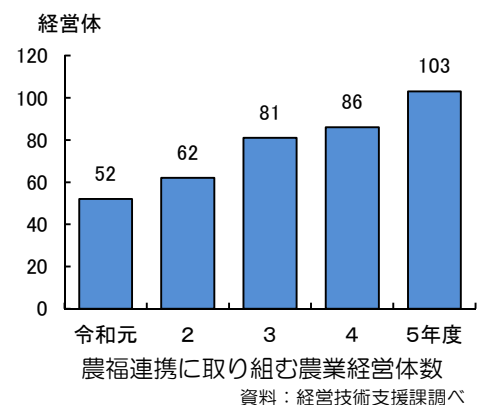


(農業者の取り組む農福連携を支援)

- ・農福連携は、障がいのある方の活躍の場を広げるだけでなく、人手を確保したい農業者にとっても労働力の確保につながる取組です。
- ・県では、農福連携への理解を深めるため、農福連携を志向する農業者を対象に、障がい福祉の概要や、実践事例について学ぶ講座を開催しています。
- ・令和5年度は、14人の農業者や行政関係者等が講座に参加し、農福連携のメリットや障がいのある方とのコミュニケーションについて理解を深めるとともに、農作業の細分化などの手法を学びました。
- ・受講生からは、「農福連携の仕組みが理解できたため、前向きに実施していきたい」といった声が聞かれました。
- ・また、農業者、福祉施設関係者等50人が参加する農福連携推進交流会では、障がい者に対する理解を深め、県外の優良事例を学ぶとともに、農福連携についての情報交換を行いました。



農福連携の先進事例の視察



4 持続可能な農林水産業に向けワンヘルスを推進

(「福岡県ワンヘルス認証制度」の認証取得者数が1万経営体を突破)

- ・県では、ワンヘルスの実践が次世代の食と農につながることから、農林水産業におけるワンヘルスの取組を進めています。
- ・その一環として、令和4年9月、食の安全・安心や環境への配慮など、ワンヘルスの理念に沿って生産・販売された農林水産物や加工品を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を、全国で初めて創設しました。
- ・5年度は、制度の周知を図るため、農協や漁協といった生産者団体に対する説明会を開催するとともに、ワンヘルスの実践につながる取組を推進するため、堆肥の製造や散布に必要な施設・機械の整備などを支援しました。
- ・また、消費者の認知度向上を図るため、制度をPRするテレビCMを放映するとともに、大手量販店において、販売促進フェアや常設販売コーナーの設置を行いました。
- ・この制度には、122件・11,078経営体の414品目が認証されています(6年3月末現在)。

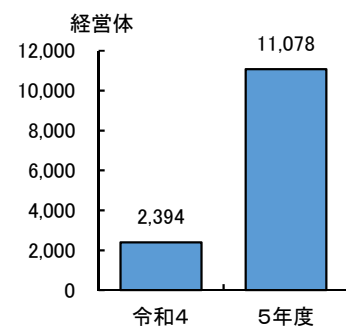
※「福岡県ワンヘルス認証」ホームページURL：
<https://onehealth-certify.pref.fukuoka.lg.jp>



制度をPRするテレビCM



大手量販店の常設販売コーナー

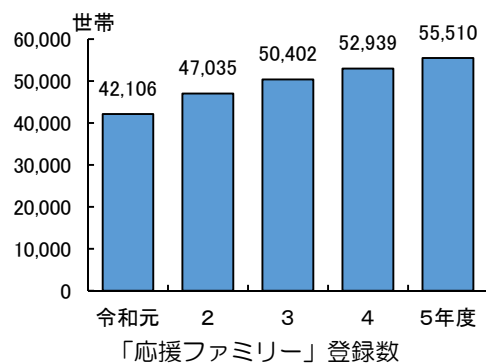


ワンヘルス認証取得経営体数

資料：食の安全・地産地消課調べ

(イベントを通じて農林漁業応援団づくりを推進)

- ・県では、県民の農林水産業への理解促進を図るため、県産農林水産物を積極的に利用していただく「地産地消応援ファミリー」、「地産地消応援の店」、「農林漁業応援団体」からなる「ふくおか農林漁業応援団」づくりを推進しています。
- ・令和5年度は、県内の「応援の店」432店舗で、取得ポイントに応じて県産農林水産物が抽選で当たる来店ポイントキャンペーンを実施し、「応援の店」を広くPRしました。
- ・11月に福岡市で開催した「食育・地産地消月間メインイベント」では、農林水産業の振興や地産地消に特に貢献した「応援団体」2団体を表彰するとともに、来場者に「応援ファミリー」への登録を呼びかけました。
- ・こうした取組により、「応援ファミリー」は55,510世帯、「応援の店」は1,861店、「応援団体」は917団体に拡大しました。



資料：食の安全・地産地消課調べ



「農林漁業応援団体」表彰式



「食育・地産地消月間メインイベント」での「応援ファミリー」登録ブース

(食育動画や学校給食を通して、子どもたちの地産地消に対する理解を促進)

- ・県では、子どもたちに農林水産業におけるワンヘルスの取組や地産地消の大切さを伝えるため、いちご、ぶなしめじ、博多和牛、マダイといった、県内で生産されている農林水産物 10 品目について、小中学校の給食時間や総合学習で活用できる食育動画を作成し、YouTube で公開しています*。
- ・また、学校給食における県産農林水産物の利用を促進するため、「夢つくし」や「元気つくし」の導入を支援するとともに、学校給食関係者に対して、旬の県産農林水産物の出荷量や価格動向といった情報を定期的に発信しました。
- ・令和 5 年度の学校給食における県産農林水産物の利用率は、前年度から横ばいの 33.9% となりました。

※YouTube チャンネル「いただきます！福岡の美味しい幸せ」

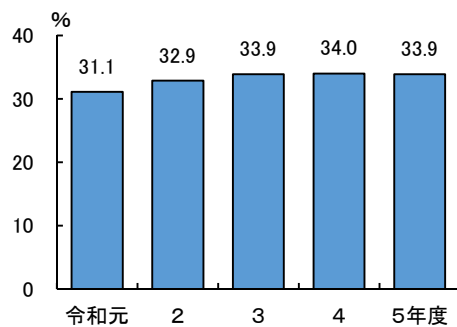
【福岡食育アドベンチャー】知って・食べて・学ぼう

～小中学生向け食育動画～ URL:

<https://www.youtube.com/watch?v=BAzd0gxSPaU>



小中学生向け食育動画（いちご編）

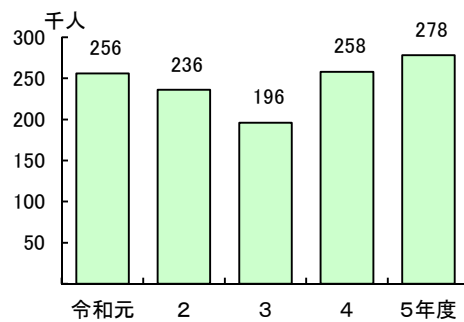


学校給食における県産農林水産物の利用率

資料：食の安全・地産地消課調べ

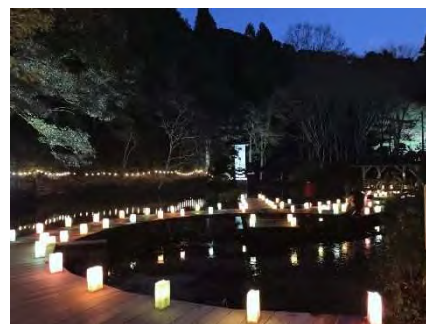
(「ワンヘルスの森 四王寺」の来訪者が増加)

- ・県では、「ワンヘルスの森 四王寺」において、ワンヘルスの理解促進や自然とのふれあいを通じた健康づくりを推進しています。
- ・令和 5 年度は、ワンヘルスガイドによる森林浴の体験ツアーを実施するとともに、11 月には「ワンヘルスの森 四王寺」の魅力の一つである秋の紅葉を楽しんでいただくため、ライトアップイベントを開催しました。
- ・こうした取組により、5 年度の来訪者数は約 28 万人と、4 年度に比べ約 2 万人増加しました。



「ワンヘルスの森」来訪者数

資料：林業振興課調べ

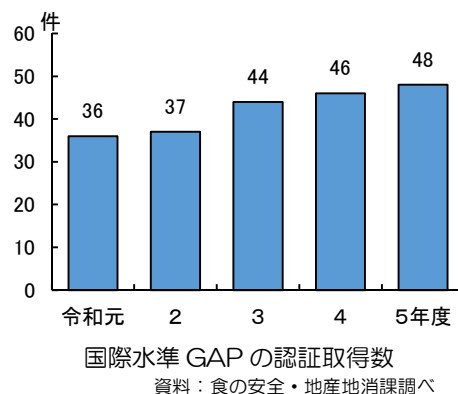


ライトアップイベント

(国際水準GAPの認証取得は48件に拡大)

- ・県では、安全で持続可能な農業の実践に向けて、GLOBALG.A.P.をはじめとする国際水準GAP※の認証取得を目指す農業者を支援しています。
- ・令和5年度は、審査費用や環境整備といった認証取得に要する経費を支援するとともに、農場管理の見える化や、食品安全に係るリスク評価を学ぶ「国際水準GAPレベルアップ研修会」を開催しました。
- ・また、農業者や実需者等を対象とした「GAP普及推進研修会」を開催し、JGAP認証取得者や実需者からの講演、大手量販店等と生産者の情報交換会を実施し、販路拡大につながる支援を行いました。
- ・この結果、5年度の認証取得数は、前年度に比べ2件増加し、48件となりました。

※GAP： Good Agricultural Practice の略で、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動であり、食品の安全性向上や農業経営の改善や効率化等に資する取組。



GAP 普及推進研修会

(動物保健衛生所の基本設計を策定)

- ・県では、家畜に加え、愛玩・展示動物、野生動物の保健衛生を一元的に取り扱う全国初となる動物保健衛生所の建設に向け、施設の基本設計を策定しました。
- ・施設は、家畜エリア及び愛玩・展示・野生動物エリアにそれぞれ専用の検査室、解剖室、階段等を配置することで、検査材料や職員の動線を分離し、野生動物の病原体が畜産農場に持ち込まれないよう対策しています。
- ・また、外観は、同じ敷地に建設する保健環境研究所の研究棟と合わせ、田園風景に調和する色彩を採用し、玄関ホール等は木質化により、安心と親しみを持てる温かみのあるデザインとします。
- ・今後、この基本設計を基に、令和6年度は施設の実設計を行い、施設の建設や人材の確保を進め、9年度中の開設を目指します。



動物保健衛生所イメージ図

(動物の保健衛生業務を担う人材を育成)

- ・現在、県が整備を進めている動物保健衛生所では、家畜に加え愛玩・展示動物や野生動物の保健衛生業務を行うこととしています。
- ・家畜保健衛生所の職員がこれらの業務に対応できるよう、必要となる知識や技術を習得するための研修を実施しています。
- ・令和5年度は、野生動物の疾病、人獣共通感染症及び薬剤耐性菌に関する研修のため、連携する専門機関に職員8人を最長で4週間派遣しました。
- ・また、野生動物の専門家を招へいし、国内への鳥インフルエンザウイルスの侵入状況や、野生動物の生態などの内容で講演会を開催し、延べ67人が受講しました。

大学	北海道大学 北海道大学リサーチセンター 山口大学 日本獣医生命科学大学 岐阜大学 酪農学園大学
行政機関	国立感染症研究所 農研機構(動物衛生研究部門)
団体	日本野生動物医学会 大牟田市動物園

人材育成のための連携専門機関

トピック

○ 佐賀県の豚熱発生に伴う防疫体制の強化

- ・令和5年8月末に、佐賀県の2件の養豚農場で九州初となる豚熱が発生しました。これにより、国から本県を含む九州各県がワクチン接種推奨地域に指定されたため、本県では県内飼養豚・イノシシ全頭を対象としたワクチン接種の知事命令を発出し、同年10月5日までに、県内養豚農場の約6万頭の豚に対しワクチンの初回接種を完了しました。
- ・また、県内の養豚農場のうち森林に接する20農場を対象に、イノシシの侵入防止対策として、農場周辺の雑草木を伐採した緩衝地帯を整備しました。
- ・さらに、県内の野生イノシシで豚熱が発生した場合の対応を協議するため、県庁関係各課、市町村、県猟友会、森林組合等を構成員とした「福岡県豚熱感染拡大防止対策協議会」を5年10月に設立しました。
- ・引き続き、全ての畜産農場に対し、飼養衛生管理基準の遵守徹底を指導するとともに、野生イノシシへの豚熱の感染に備えた対策に取り組んでいきます。



養豚農場でのワクチン接種



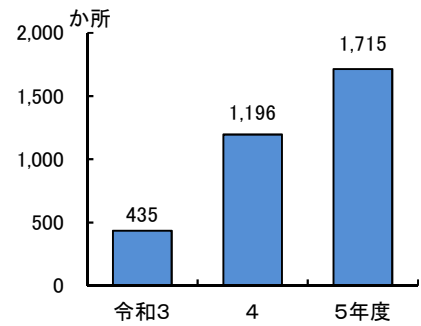
緩衝地帯の整備

5 安心して住み続けられる農山漁村づくりを推進

(農業水利施設や治山施設、漁港施設の防災機能を維持)

- ・近年頻発する気象災害によるリスクを低減していくためには、農業水利施設や治山施設、漁港施設の防災機能を維持していくことが重要です。
- ・このため、県では、施設の中長期的な長寿命化対策を定めた機能保全計画を策定し、補修や更新等を計画的に行っています。
- ・また、防災重点農業用ため池^{*}の防災工事を計画的に推進するため、市町村が行う劣化状況評価に対し、技術的な助言等を行っています。
- ・令和5年度は、41市町村、519か所のため池を調査し、堤体の変状や漏水、地震や豪雨による決壊の危険性について評価しました。

^{*}防災重点農業用ため池：決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。



防災重点農業用ため池の劣化状況評価の実施状況 (累計)

資料：農山漁村振興課調べ

(都市住民による農作業や地域の取組を支援)

- ・県では、魅力ある中山間地域を支えるため、地域住民と一緒に活動する都市住民を「中山間応援サポーター」として登録しています。
- ・令和5年度は、令和5年梅雨前線豪雨により被災した久留米市の農地の土砂撤去や、添田町でのスキの刈り取りといった、7市町村、計15回の地域活動にサポーターの参加を呼びかけ、204人が参加しました。
- ・さらに、これらの地域で収穫された農産物やその加工品を中心に販売する「中山間地域応援マルシェ」を県庁ロビーや天神地下街などで6回開催し、中山間地域の魅力を発信するとともに、サポーターへの登録を呼びかけました。加えて、ホームページ^{*}やSNSでの募集にも取り組んだ結果、サポーター数は6年3月末で2,830人となりました。

^{*}中山間応援サポーターホームページURL：

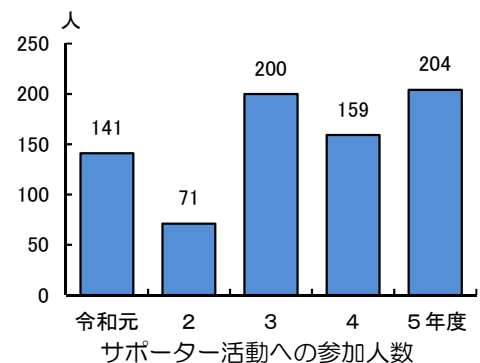
<https://f-ouen.com/chusankan/>



スキの刈り取り



中山間地域応援マルシェ



資料：農山漁村振興課調べ

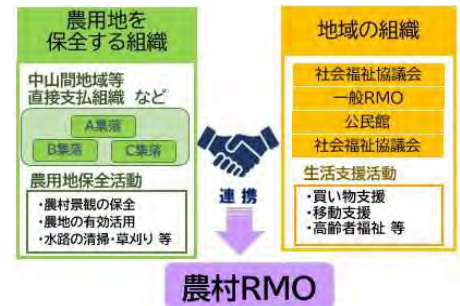
(持続的な活力ある中山間地域づくりを推進)

- ・県では、中山間地域において、農地の保全や買い物支援、高齢者の見守りといった生活支援などに取り組む農村型地域運営組織（農村RMO[※]）の形成支援に取り組んでいます。
- ・令和5年度は、組織形成へのアプローチや地域との協働などを学ぶ、市町村職員向けの研修会を添田町と東峰村で開催したほか、添田町では、地域住民を対象とした地域の将来を話し合うワークショップを開催しました。
- ・さらに、農村RMOの取組を県内に広く周知するため、他県の先進事例や県内の取組事例を紹介する「福岡県農村RMOフォーラム」を開催し、市町村や地域活動組織等から30人が参加しました。

※農村RMO：地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となり、農地の保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を持続的に実践する組織。



農村RMOフォーラム

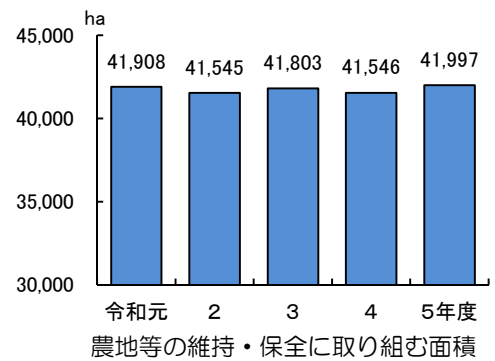


農村RMOのイメージ

資料：九州農政局

(農地等の維持・保全への取組を支援)

- ・農業や農村が持つ多面的機能を維持発揮するには、農地や水利施設の継続的な保全活動が不可欠です。
- ・このため、県では、多面的機能支払制度と中山間地域等直接支払制度を活用し、水路の泥上げや農道の草刈り、農地の維持・管理といった保全活動を行う活動組織を支援しています。
- ・令和5年度は、41,997haにおいて保全活動が実施されました。加えて、福岡県農地・水・環境保全協議会と連携し、水路等の補修技術や保全活動の優良事例を紹介する研修会を開催し、活動組織から1,028人が参加しました。
- ・また、福智町で刈払機安全講習会を開催し、30人の参加者が刈払機の安全な取扱方法を学びました。



資料：農山漁村振興課調べ



刈払機安全講習会

(公益的機能の持続的な発揮に向けた森林整備を推進)

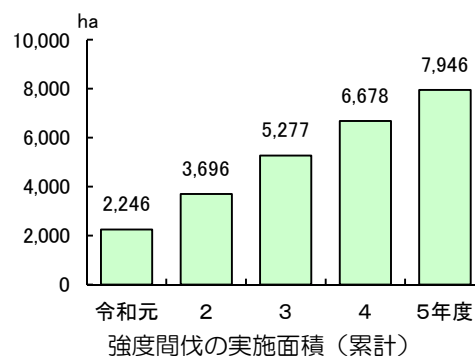
- ・県では、土砂災害の防止や水源のかん養といった公益的機能を持続的に発揮できる森林を育てるため、福岡県森林環境税を活用して森林の整備に取り組んでいます。
- ・令和5年度は、強度間伐^{※1}1,268ha、広葉樹植栽21.1haを実施するとともに、5年度からは、雨水による地表の浸食を抑えるため、筋工^{※2}を面的に設置する取組を新たに始めました。
- ・平成30年度から開始した第Ⅱ期事業における森林整備の累計面積は8,503haとなり、うち強度間伐の面積は、7,946haとなりました。

※1 強度間伐：間伐率を通常より高く設定した間伐のこと。間伐率は、災害を誘発することがないように、一律ではなく現地に応じて適切に設定している。

※2 筋工：斜面の等高線に沿って間伐材等を設置する工法。雨水を分散させ、地表の浸食を防止し、表土の流出を抑える。



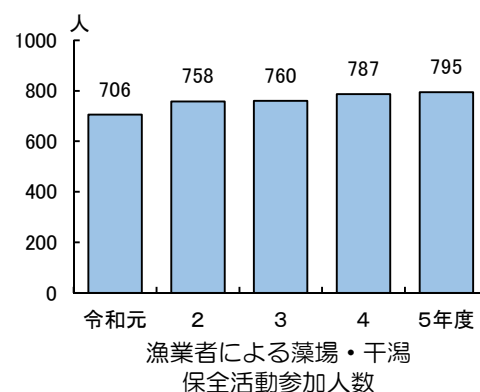
強度間伐後の林内



資料：林業振興課調べ

(藻場保全活動によるブルーカーボンを推進)

- ・県では、漁業者グループが実施する藻場や干潟の保全活動を支援しており、令和5年度は17グループ、795人が活動に参加しました。
- ・このうち、藻場では、海藻を食害するウニの除去や海藻の種の投入などの活動が実施されています。
- ・海藻に吸収して固定される炭素「ブルーカーボン」は、脱炭素社会の実現に向けて、大きな役割が期待されています。これらの活動を支援し、藻場を再生することで、ブルーカーボンの創出を推進していきます。



資料：漁業管理課調べ



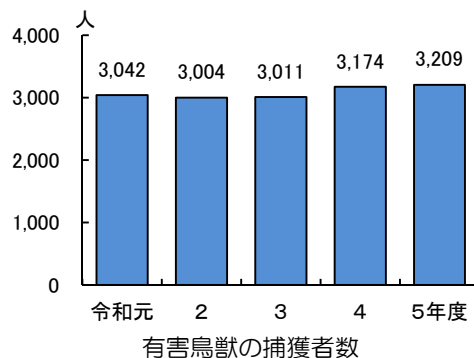
ウニの除去活動

(有害鳥獣被害軽減に向け、狩猟者の確保・育成を強化)

- ・県では、野生鳥獣による農林水産物被害の軽減に向け、捕獲に従事する狩猟者を確保するため、令和5年度から、狩猟免許取得希望者を対象とした講習会を開催しています。
- ・また、免許を取得しても、捕獲活動に従事しない狩猟者も多いことから、経験の浅い免許取得者を対象に、わなの設置や猟銃の取扱いに関する研修会のほか、ベテラン狩猟者がマンツーマンで指導を行う研修を開催しています。
- ・これらの取組の結果、5年度に狩猟登録を行った狩猟者は3,209人と、前年より35人増加しました。



わな研修会の様子



資料：経営技術支援課調べ

(野生動物との棲み分けを図る緩衝地帯の整備を推進)

- ・県では、農地に隣接し、野生動物が身を隠すことができる里山が、農作物被害拡大の要因の一つとなっているため、雑草木を除去し、野生動物が身を隠すことができない、見通しの良い緩衝地帯を整備する取組を進めています。
- ・令和5年度は、岡垣町に加え、古賀市、うきは市、糸島市、添田町が実施する緩衝地帯の整備を支援しました。整備した区域では、イノシシの出没の抑制に高い効果が確認できました。
- ・また、この取組の効果を持続させるには、緩衝地帯の草刈りや見回りといった地域ぐるみの対策が必要であるため、近隣の地域住民に対し緩衝地帯を活かした被害対策についての研修会を実施しました。



緩衝地帯の整備
(上段：整備前・下段：整備後)



地域住民への研修会

トピック

○ 令和5年梅雨前線豪雨からの復旧

- ・ 令和5年7月の令和5年梅雨前線豪雨では、4度にわたって県内全域に線状降水帯が発生し、記録的な大雨となりました。
- ・ 県内の広い範囲において、農業では農作物の冠水、ハウス施設や水路をはじめとする農業用施設の損壊、林業では山腹や林道法面の崩壊、漁業では河川への土砂の流入といった大きな被害が発生しました。
- ・ 県では、災害発生後、直ちに相談窓口を設置するとともに、被災した農地・農業用施設、山地や林道における二次被害を防ぐ応急対策を実施し、順次、復旧工事に着手しています。
- ・ また、ハウス施設や農業用機械の再取得・修繕及び営農再開に必要な種苗や肥料といった生産資材の購入に対する支援、孵化直前のアユ卵の放流といった対策を実施しました。
- ・ 今後も、豪雨災害に備えた農業用施設の機能強化に取り組むとともに、クリーク^{せきいた}の先行排水や田んぼダム^{はいすいます}*といった流域治水の取組拡大を図ります。

※田んぼダム：流出量を抑制する堰板^{せきいた}などを水田の排水^{はいすいます}柵^{はし}に取付け、大雨の際、通常^{せいじょう}の管理水位を超えて一時的に貯留し、時間をかけて排水することで、水路や河川の急激な増水を抑える取組。



被災後



復旧後

復旧した農業用ため池



被災後



復旧後

復旧した農業用道路

○ 令和5年度に表彰行事で受賞された方々

農業

全国・ 地域の別	表彰行事名	部門・賞の名称	市町村名	氏名・団体名
全国	令和5年秋の褒章	黄綬褒章	八女市	小松 保夫
	令和5年度農事功績表彰	農事功労者 緑白綬有功章	筑後市	角 整樹
	第62回全国青年農業者会議	意見発表の部 農林水産大臣賞	添田町	高瀬 寛人
	令和5年度全国優良経営体表彰	経営改善部門 全国担い手育成総合支援協議会会長賞	久留米市	有限会社 古賀農産
	令和5年度農山漁村女性活躍表彰	女性地域社会参画部門 審査委員特別賞	飯塚市	長野 路代
	令和5年度全国麦作共励会	農家の部 農林水産大臣賞	糸島市	株式会社 百笑屋 代表取締役 松崎 治久
	令和5年度全国麦作共励会	集団の部 全国米麦改良協会会長賞	築上町	農事組合法人 今津の里
	第25回全国果樹技術・経営コンクール	農林水産省農産局長賞	朝倉市	筑前あさくら農業協同組合かき部会
	第77回全国茶品評会	玉露の部 農林水産大臣賞	八女市	倉住 努
	第77回全国茶品評会	玉露の部 農林水産省農産局長賞	八女市	農事組合法人 みどり園大洲 林田 和広
	第77回全国茶品評会	玉露の部 農林水産省農産局長賞	八女市	山口 英昭
	第40回全国茶生産青年茶審査技術競技会	農林水産大臣賞	八女市	徳永 慎太郎
	第45回全国土地改良大会福井大会	土地改良事業功績者表彰 農林水産大臣表彰	みやま市	山川地区土地改良区 理事長 柿原 廣典
	第45回全国土地改良大会福井大会	土地改良事業功績者表彰 全国土地改良事業団体連合会長表彰	糸島市	糸島市二丈土地改良区 理事長 重 正善
	第65回全国土地改良功労者等表彰	全土連会長賞 団体表彰	宮若市	宮若市吉川土地改良区
	第65回全国土地改良功労者等表彰	全土連会長賞 個人表彰	久留米市	筑後川下流土地改良区連合 理事長 金子 健次
	第65回全国土地改良功労者等表彰	農林水産省農村振興局長表彰 団体表彰	朝倉市	山田堰土地改良区
	県域	令和5年度福岡県麦作共励会	農家の部 福岡県知事賞	うきは市
令和5年度福岡県麦作共励会		農家の部 福岡県知事賞	遠賀町	浪松 薫
令和5年度福岡県麦作共励会		集団の部 福岡県知事賞	飯塚市	ニューアグリかいた合同会社
令和5年度福岡県麦作共励会		集団の部 福岡県知事賞	筑後市	農事組合法人 富久
令和5年度福岡県大豆作経営改善共進会		農家の部 福岡県知事賞	久留米市	江頭 和彦
令和5年度福岡県大豆作経営改善共進会		集団の部 福岡県知事賞	朝倉市	農事組合法人 あさくら大角ファーム
令和5年度福岡県花き品評会		産物の部 農林水産大臣賞	うきは市	柳 壽幸
令和5年度福岡県花き品評会		技術・ほ場の部 農林水産大臣賞	八女市	加藤 幸一
令和5年度福岡県果樹苗ほ品評会		農林水産大臣賞	久留米市	江上 弾
令和5年度福岡県茶業共進会		玉露の部 農林水産大臣賞	八女市	グリーンティ日向神 月足 靖彦
令和5年度福岡県茶業共進会		煎茶の部 農林水産大臣賞	筑後市	永松園 永松 敏治
令和5年度福岡県茶業共進会		玉露園の部 農林水産大臣賞	八女市	小山田 幹男
令和5年度福岡県茶業共進会		煎茶園の部 農林水産大臣賞	八女市	坂田 輝彦
第59回福岡県肉畜共進会		和牛の部 農林水産大臣賞・福岡県知事賞	筑紫野市	平山 英一

全国・ 地域の別	表彰行事名	部門・賞の名称	市町村名	氏名・団体名
県域	第59回福岡県肉畜共進会	国産牛の部 福岡県知事賞	久山町	西原 弥子
	第59回福岡県肉畜共進会	肉豚の部 農林水産省畜産局長賞・福岡県知事賞	糸島市	有限会社 王宇義農産
	令和5年度ふくおか6次化商品セレクション	福岡県知事賞	豊前市	株式会社 瑞徳
	令和5年度ふくおか6次化商品セレクション	福岡県知事賞	うきは市	うきはの宝株式会社
	福岡県農林業団体等功労者表彰	福岡県知事賞	みやこ町	時本 数章
	ふくおか農林漁業応援団体表彰	福岡県知事賞	福岡市	福岡交通株式会社
	ふくおか農林漁業応援団体表彰	福岡県知事賞	福岡市	学校法人 中村学園
	令和5年度福岡県青年農業者会議	意見発表の部 福岡県知事賞	朝倉市	重松 良輔
	令和5年度福岡県青年農業者会議	プロジェクト発表の部 福岡県知事賞	八女市	住吉 健太
	令和5年度福岡県農業指導功労者表彰	福岡県知事賞	岡垣町	俵口 和義
	令和5年度福岡県農業指導功労者表彰	福岡県知事賞	宮若市	安田 克徳
	令和5年度福岡県農業指導功労者表彰	福岡県知事賞	大木町	大藪 進
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	福岡市立 箱崎小学校 小学1年生 渡邊 碧生
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	北九州市	私立 明治学園小学校 小学2年生 いは ゆうり
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	私立 西南学院小学校 小学3年生 藤井 創仁
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	私立 福岡雙葉小学校 小学4年生 古田 優姫
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	福岡市立 箱崎小学校 小学5年生 渡邊 咲空
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	私立 福岡雙葉小学校 小学6年生 古田 姫菜
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	北九州市	北九州市立 洞北中学校 中学1年生 丹野 生路
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	国立大学法人 福岡教育大学附属福岡中学校 中学2年生 野副 由衣
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	個人賞の部 福岡県知事賞	福岡市	私立 博多女子中学校 中学3年生 渡邊 佳音
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	学校賞の部 福岡県知事賞	北九州市	私立 明治学園小学校
	第59回「JA共済」小・中学生作文コンクール	学校賞の部 福岡県知事賞	北九州市	北九州市立 洞北中学校

林業

全国・ 地域の別	表彰行事名	部門・賞の名称	市町村名	氏名・団体名
全国	第48回全国児童・生徒木工工作コンクール	小学校高学年の部 ウッドワン賞	大川市	大川市立 川口小学校 6年 吉岡 煌眞
	令和5年度全国山林苗畑品評会	林野庁長官賞	朝倉市	熊本 廣文
	第46回林道維持管理コンクール	日本林道協会会長賞	みやこ町	みやこ町
県域	第49回福岡県竹林品評会	農林水産大臣賞	宮若市	安田 克徳
	第54回福岡県椎茸品評会	乾椎茸の部 農林水産大臣賞	八女市	松延 正博
	第54回福岡県椎茸品評会	生椎茸の部 農林水産大臣賞	八女市	松延 真弓
	令和5年度福岡県緑化樹芸木ほ場品評会	農林水産大臣賞	うきは市	吉岡 和馬
	令和5年度福岡県緑化樹芸木ほ場品評会	農林水産省農産局長賞	久留米市	上野 恭一
	令和5年度福岡県緑化樹芸木ほ場品評会	福岡県知事賞	小郡市	黒岩 智史
	令和5年度福岡県緑化樹芸木ほ場品評会	福岡県知事賞	朝倉市	丸山 英昭
	令和5年度福岡県緑化樹芸木ほ場品評会	福岡県知事賞	小郡市	箴島 翔平
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	遠賀町	遠賀町木守区
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	遠賀町	遠賀町中央区
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	岡垣町	三里松原防風保安林保全対策協議会
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	芦屋町	芦屋町立山鹿小学校緑の少年団
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	福岡市	ダイドードリンコ株式会社九州営業部
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	朝倉市	福岡県樹苗農業協同組合サシスギ部会
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県知事賞	飯塚市	小河 誠司
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県植樹祭実行委員長賞	岡垣町	岡垣緑のまちづくりの会
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県植樹祭実行委員長賞	福岡市	ぐりーんぱんだ
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県植樹祭実行委員長賞	添田町	落合小学校緑の少年団
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県植樹祭実行委員長賞	みやま市	清水小学校緑の少年団
	第74回福岡県植樹祭	緑化功労者 福岡県植樹祭実行委員長賞	みやこ町	みやこ伊良原学園緑の少年団
	令和5年度水源の森ポスター原画コンクール	福岡県知事賞（小学校の部）	苅田町	野川 桃菜
	令和5年度水源の森ポスター原画コンクール	福岡県知事賞（中学校の部）	宇美町	岳本 悠吾
	第48回福岡県児童・生徒木工工作コンクール	小学校低学年の部 福岡県知事賞	北九州市	北九州市立 吉田小学校 4年 宮浦 結美
	第48回福岡県児童・生徒木工工作コンクール	小学校高学年の部 福岡県知事賞	大川市	大川市立 川口小学校 6年 吉岡 煌眞
	第10回福岡県木造・木質化建築賞	木造の部 大賞	福岡市	鳥飼八幡宮 対拝殿
	第10回福岡県木造・木質化建築賞	木質化の部 大賞	福岡市	やまや総本店 膳 / 白金小径
	第10回福岡県木造・木質化建築賞	木造の部 優秀賞	太宰府市	陰翳を愉しむコートハウス
第10回福岡県木造・木質化建築賞	木質化の部 優秀賞	福岡市	ボタニカルライフスクエア	
第10回福岡県木造・木質化建築賞	特別賞	糸島市	学校法人瑠璃学園 認定こども園 瑠璃幼稚園	

全国・ 地域の別	表彰行事名	部門・賞の名称	市町村名	氏名・団体名
県域	第10回福岡県木造・木質化建築賞	特別賞	飯塚市	大和興業ビル
	福岡県青少年健全育成アワード2023	福岡県知事表彰	大木町	木佐木小学校緑の少年団
	第33回世界子ども愛樹祭コンクール	詩・作文の部 みどりの賞福岡県知事賞	八女市	野中 美遥
	第33回世界子ども愛樹祭コンクール	絵画の部 みどりの賞福岡県知事賞	徳島県 吉野川市	尾崎 めい

水産業

全国・ 県域の別	表彰行事名	部門・賞の名称	市町村名	氏名・団体名
全国	令和5年度（第62回）農林水産祭	内閣総理大臣賞	宗像市	宗像漁業協同組合 鐘崎あまはえ縄船団
	第71回浅海増殖研究発表全国大会	水産庁長官賞	柳川市	福岡県有明海区研究連合会 大淵 芳博（浜武漁協所属）
	第29回全国青年・女性漁業者交流大会	農林中央金庫理事長賞	柳川市	両開漁業協同組合女性部 田中 恵美子
	第54回全日本総合錦鯉品評会	福岡県知事賞	北九州市	田中 龍平
	第40回錦鯉全国若鯉品評会	福岡県知事賞	福岡市	井上 亨
県域	第60回福岡県海の子児童作品展	習字の部 福岡県知事賞	柳川市	柳川市立 昭代第二小学校 6年 北原 心
	第60回福岡県海の子児童作品展	図画の部 福岡県知事賞	福岡市	福岡市立 玄界小学校 6年 井上 愛結

— 部門別の動き —

部門別の動き

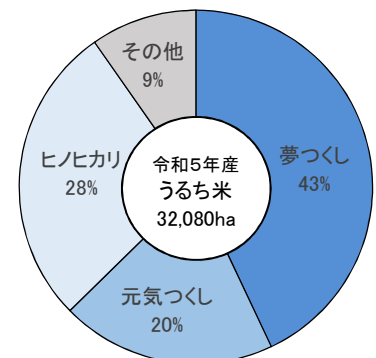
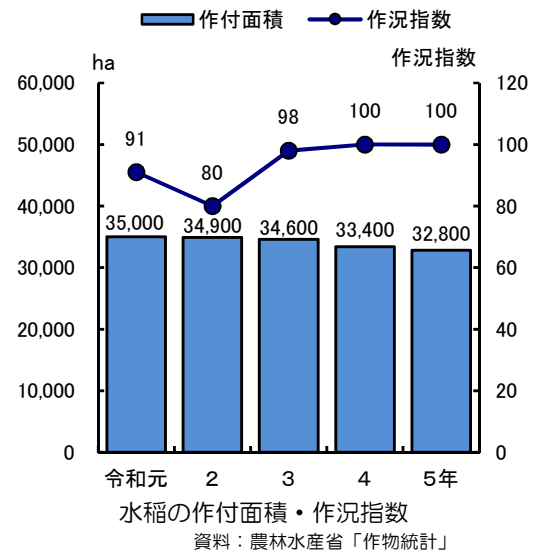
1 農業

(1) 水田農業

○米

(作況指数は100の「平年並み」)

- ・作付面積は、前年に比べ600ha減の32,800ha。生産量は6,600t減の157,400t。10a当たりの収量は480kg、作況指数は100の「平年並み」。
- ・これは、6月下旬から7月上旬の日照不足により全もみ数が平年に比べ少なかったものの、出穂後から好天が続き、登熟が良かったことが主な要因。
- ・うるち米全体に占める県育成品種の割合は、前年並みで「夢つくし」が43%、「元気つくし」が20%。

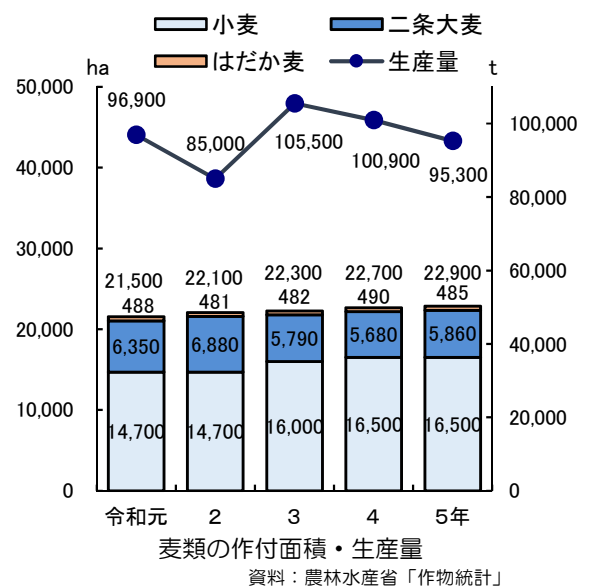


○麦

(麦は6年連続で豊作)

- ・作付面積は、前年に比べ200ha増の22,900ha。生産量は平年※に比べ12%増の95,300tとなり、6年連続で豊作。
- ・これは、適期播種や排水対策の徹底により穂数及び粒数を確保できたことが主な要因。
- ・小麦の生産量は、平年に比べ14%増の70,000t、二条大麦は7%増の23,600t。
- ・ラーメン用小麦「ラー麦」の作付面積は、前年並みの1,870ha。生産量は平年に比べ5%増の7,368t。

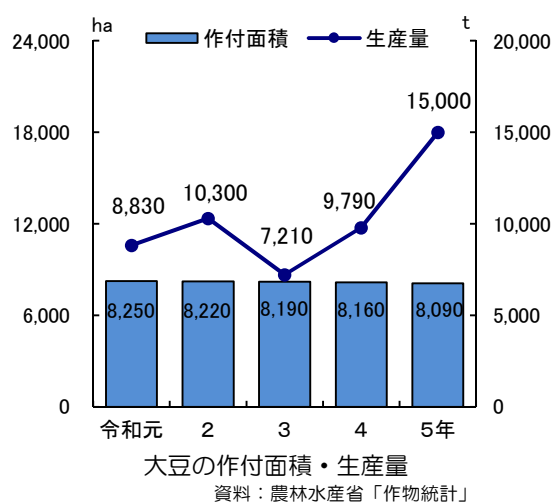
※生産量の平年値：平成28年産～令和4年産平均（直近7か年のうち最高及び最低を除いた5か年平均）。



○大豆

(大豆の作付面積は前年並み、生産量は4,316t増)

- ・作付面積は、ほぼ前年並みの8,090ha、うち令和4年から本格栽培を開始した大豆新品種「ふくよかまる（品種名：ちくしB5号）」の作付面積は4,366ha。
- ・生産量は、平年に比べ4,316t増の15,000t。
- ・10a当たりの収量は平年比143%の185kg。
- ・これは、出芽から着莢期まで適度に降雨があり、莢数が多く確保されたことが主な要因。

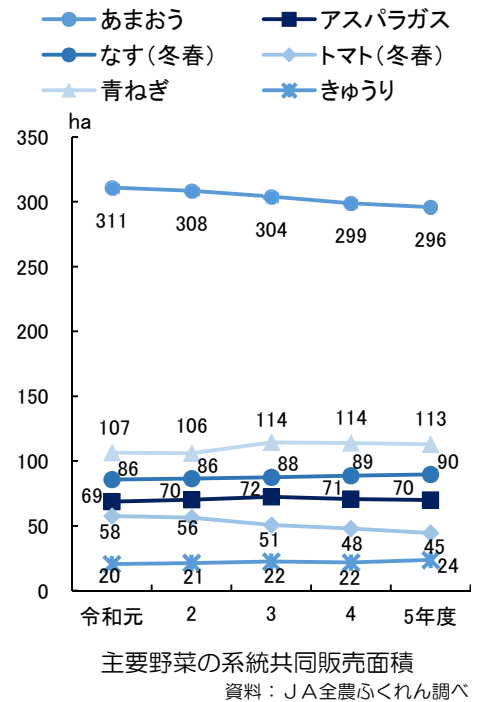


(2) 園芸・特産

○野菜

(「あまおう」の販売単価は20年連続で日本一)

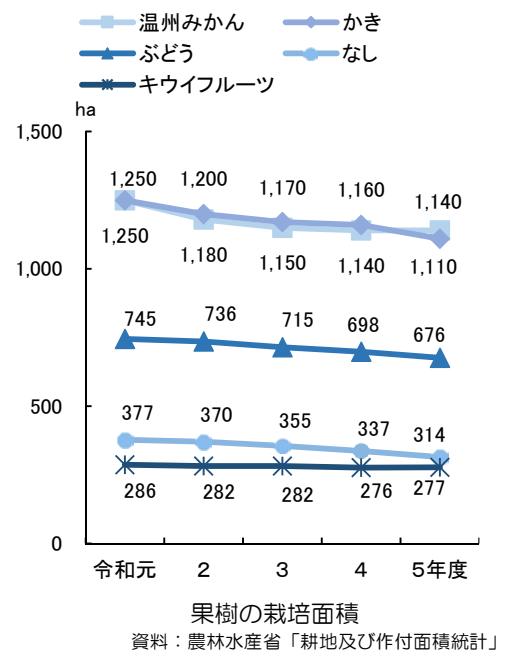
- いちご「あまおう」の作付面積は、前年産に比べ3ha減の296ha。販売量は、収穫期間を通して高温で推移したことや冬期の日照不足の影響により収穫量が減少し、前年産に比べ9%減の8,929t。販売単価は1,683円/kgとなり、20年連続日本一。販売金額は150億円。
- なすは、授粉作業の省力化と収量向上を目的とした省力性品種の導入率が、前年産から1ポイント増の98%。
- アスパラガスの作付面積は、前年産に比べ0.9ha減の69.9ha。1戸当たりの作付面積は19.4aと、10年前の平成25年産と比べて1.1倍に拡大。
- 露地野菜の令和4年産作付面積は、ほうれんそう等の作付が減少したことにより、前年産から46ha減の3,194ha。



○果樹

(県育成品種の作付けが拡大)

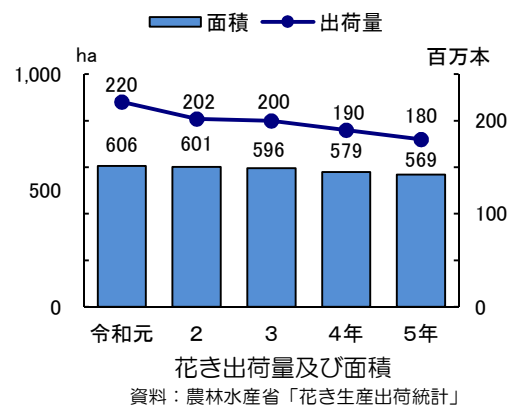
- 温州みかんの栽培面積は、前年と同じ1,140ha。県内で育成された「早味かん」や「北原早生」の栽培面積は、前年比5ha増の182ha。生産量は、夏期の高湿少雨によって日焼け果や、小玉果が発生し、前年比3%減の2,694t。
- かきの栽培面積は、前年に比べ50ha減の1,110ha。県育成品種「秋王」の栽培面積は41haと微増。成園化が進展した一方で、梅雨時の寡日照により生理落果が増加し、生産量は、前年同様の171t。
- キウイフルーツの栽培面積は、前年より1ha増の277ha。県育成品種「甘うい」の栽培面積は、前年より2ha増の22ha。生産量は、夏期の高湿乾燥で小玉傾向であったものの前年並の290t。



○花き・花木

(花きの作付面積、出荷量は前年並み)

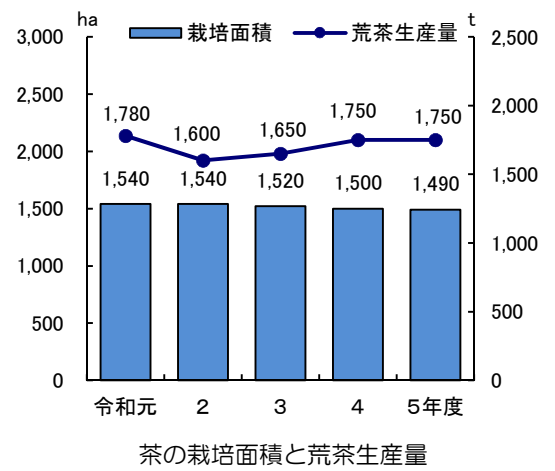
- ・花きの作付面積は、569haで前年よりやや減。作付面積全体の3割を占めるキクは前年に比べ3ha減の192ha。
- ・花きの出荷量は、前年に比べ5%減の180百万本。



○特産（茶）

(全国茶品評会「玉露の部」で八女市が23年連続産地賞を受賞)

- ・茶の栽培面積は前年並みの1,490ha。八女伝統本玉露の栽培面積は、前年に比べ0.4ha減の11.7ha。
- ・「さえみどり」や「おくみどり」といった優良品種の栽培面積は、前年に比べ1ha減の198ha。
- ・荒茶の生産量は、前年に同じく1,750t。
- ・一番茶の荒茶価格は、普通煎茶が前年に比べ3%低下し3,197円/kg、玉露が前年に比べ5%低下し5,536円/kg。
- ・八女茶は、令和5年度の全国茶品評会において、八女市が「玉露の部」で23年連続となる産地賞*を受賞。



*産地賞：茶種ごとに成績優秀な市町村に対し褒賞するもので、同一市町村から3点以上出品があり、審査成績の上位3点の合計審査得点をもって決定。

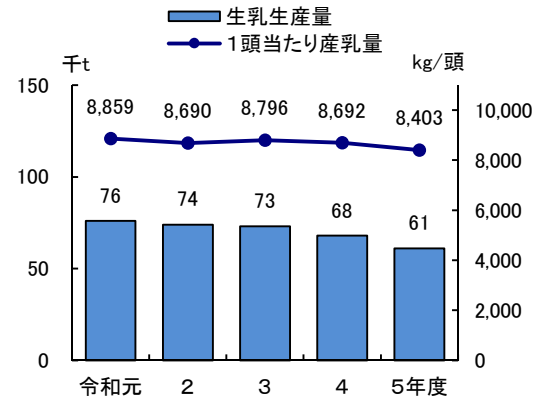
(3) 畜産

○乳用牛

(生乳生産量は前年比 7,599t 減)

- ・乳用牛飼養頭数は、飼養戸数の減により前年に比べ1,000頭減の10,700頭。1戸当たりの飼養頭数は、前年並みの62.9頭。
- ・生乳生産量は、前年に比べ7,599t減の60,543t。
- ・令和4年度の高能力牛*の飼養頭数は、飼料価格高騰の影響により、前年度に比べ64頭減の548頭。搾乳牛全体に占める割合は12.5%。
- ・経産牛1頭当たりの産乳量は、前年に比べ289kg減の8,403kg。

*高能力牛：年間産乳量が12,000kg以上の乳牛のこと。

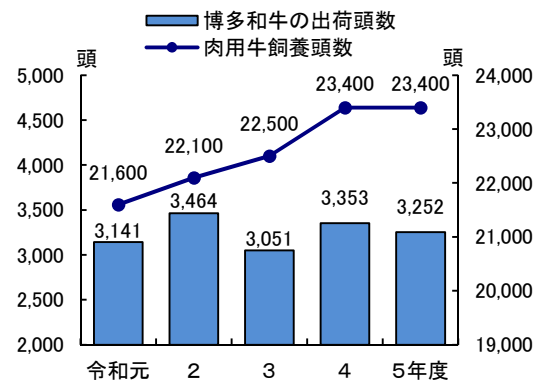


生乳生産量、経産牛1頭あたりの産乳量
資料：農林水産省「牛乳製品統計」等

○肉用牛

(「博多和牛」出荷頭数は101頭減の3,252頭)

- ・肉用牛飼養戸数、飼養頭数は、前年から横ばいの169戸、23,400頭。1戸当たりの平均飼養頭数は138.5頭。
- ・「博多和牛」の出荷頭数は、前年に比べ101頭減の3,252頭。
- ・年平均枝肉価格は、物価高騰に伴う消費者の牛肉の買い控えにより、前年に比べ和牛は15.5%、交雑種は2.5%、乳用種は16.1%低下。

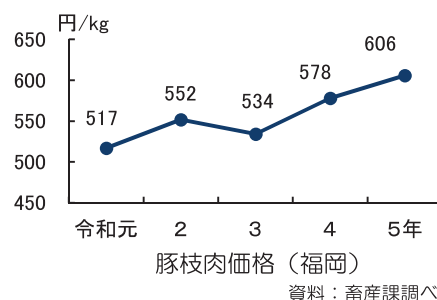


肉用牛の飼養頭数と博多和牛の出荷頭数
資料：畜産課調べ

○養鶏・養豚

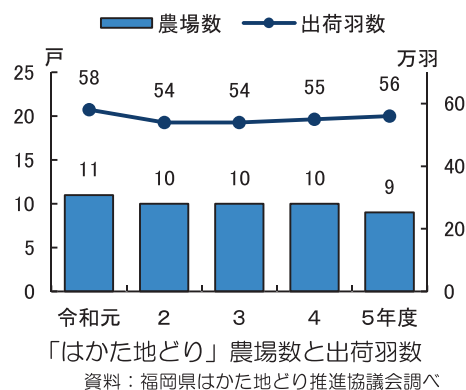
(豚の飼養頭数は78,800頭、鶏卵価格は前年比43%上昇)

- 豚の飼養頭数は、飼養戸数の減により、前年に比べ3,200頭減の78,800頭。豚肉価格は、前年に比べ4.9%上昇の606円/kg。
- 鶏卵生産量は、飼養戸数の減少により、前年に比べ7,763t減の35,486t。鶏卵価格は、令和4年10月からの鳥インフルエンザ発生による鶏の殺処分増加の影響が長引き、全国的に流通量が減少したため、前年に比べ43%上昇の309円/kg。



(「はかた地どり」の出荷羽数は前年度並み)

- 肉用鶏飼養羽数は、前年並みの114万羽。
- 「はかた地どり」の令和5年度の出荷羽数は、農場数は減少したが、前年度並みの56万羽。
- 「はかた一番どり」の令和5年度の出荷羽数は、前年度並みの49万羽。



○家畜衛生

(関係機関と連携し、家畜防疫体制を強化)

- 令和5年12月、久留米市において、鳥インフルエンザ等の発生を想定し、コンテナを利用した家きん等の効率的な処分方法について、家畜保健衛生所、関連業者と検討。
- 韓国の釜山広域市で感染が確認されたアフリカ豚熱の県内への侵入を防止するため、令和6年2月に県観光局と連携し、県内を訪問する外国人観光客に対し防疫対策を周知。



コンテナを利用した家きん等の効率的な処分方法の検討

(4) 福岡県農業の主要指標

項目	区分	単位	福岡県	全国	全 国 シェア(%)	全 国 ランク	備 考
農 家 数		戸	41,351	1,747,079 (1,709,485)	2.4	19	2020年農林業センサス 注：()は都府県
	うち販売農家	戸	27,187	1,027,892	2.6	17	
	自給的農家	戸	14,164	719,187	2.0	20	
農 業 経 営 体 数		経営体	28,375	1,075,705 (1,040,792)	2.6	17	2020年農林業センサス 注：()は都府県
	うち個人経営	経営体	27,239	1,037,342	2.6	17	
	団体経営	経営体	1,136	38,363	3.0	9	
基幹的農業従事者数		人	38,077	1,363,038	2.8	14	2020年農林業センサス (個人経営体)
	うち女性の割合	%	40.3	39.7	—	—	
	65歳以上の割合	%	66.2	69.6	—	—	
耕 地 面 積		ha	78,400	4,297,000 (3,156,000)	1.8	15	令和5年耕地面積調査 注：()は都府県
	うち水田面積	ha	63,500	2,335,000 (2,113,000)	2.7	14	
	畑面積	ha	14,900	1,962,000	0.8	26	
水 田 率		%	81.0	54.3 (67.0)	—	12	
1戸当たり平均耕地面積		a	189.6	246.0 (184.6)	—	21	注：1戸当たり平均耕地面積は耕地面積/農家戸数で算出
農 業 産 出 額		億円	2,021	90,147	2.2	16	令和4年生産農業所得 統計 注：全国は都道府県の 合計値
	うち 米	億円	328	14,015	2.3	15	
	麦 類	億円	32	663	4.8	3	
	豆 類	億円	15	731	2.1	8	
	野 菜	億円	686	22,298	3.1	10	
	果 実	億円	266	9,232	2.9	11	
	花 き	億円	185	3,493	5.3	3	
	そ の 他 作 物	億円	60	717	8.4	1	
	工 芸 農 作 物	億円	26	1,551	1.7	12	
畜 産	億円	402	34,673	1.2	25		
乳用牛飼養頭数		頭	10,700	1,356,000	0.8	21	令和5年畜産統計調査 注：採卵鶏は成鶏めす 羽数
肉用牛飼養頭数		頭	23,400	2,687,000	0.9	25	
豚飼養頭数		頭	78,800	8,956,000	0.9	27	
採卵鶏飼養羽数		千羽	3,454	172,265	2.0	21	
ブロイラー飼養羽数		千羽	1,185	141,463	0.8	21	

(5) 福岡県農業の全国的地位

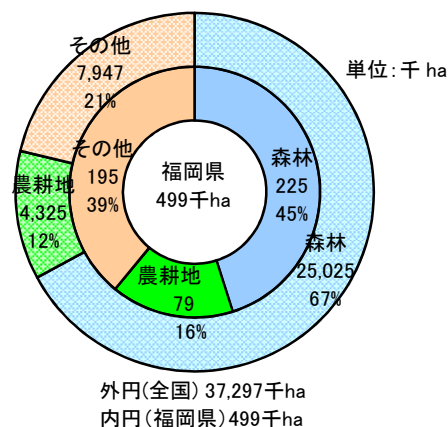
項目	区分	単位	全国順位 全国計	主産県					全国シェア		全国面積 県面積 (単位:ha)
				1	2	3	4	5	面積	収穫量	
麦類	4 麦計	t	2 1,326,000	北海道 723,400	福岡 95,300	佐賀 94,700	栃木 49,100	愛知 34,800	8%	7%	295,700 22,900
	(うち小麦)	t	2 1,094,000	北海道 717,100	福岡 70,000	佐賀 50,900	愛知 34,300	三重 26,800	7%	6%	231,700 16,500
	(うち二条大麦)	t	3 151,300	佐賀 42,800	栃木 35,300	福岡 23,600	岡山 8,800	熊本 8,240	15%	16%	38,900 5,860
	(うちはだか麦)	t	4 16,600	愛媛 4,590	大分 2,670	香川 2,300	福岡 1,660	佐賀 1,000	9%	10%	5,520 485
野菜	いちご	t	2 161,100	栃木 24,400	福岡 16,800	熊本 11,700	愛知 10,600	静岡 10,400	9%	10%	4,850 425
	みずな	t	2 39,000	茨城 19,300	福岡 3,280	京都 2,730	兵庫 1,530	滋賀 1,410	9%	8%	2,320 216
	冬春なす	t	3 114,600	高知 39,600	熊本 25,500	福岡 14,200	愛知 7,190	群馬 6,390	10%	12%	1,030 103
	セルリー	t	3 29,300	長野 12,200	静岡 5,280	福岡 3,570	愛知 2,780	茨城 1,040	9%	12%	532 47
	こまつな	t	3 120,100	茨城 25,100	埼玉 13,700	福岡 11,000	東京 8,360	群馬 6,700	8%	9%	7,390 624
	しゅんぎく	t	2 26,000	大阪 3,330	福岡 2,470	千葉 2,430	茨城 2,120	群馬 2,090	10%	8%	1,730 178
	アスパラガス	t	5 26,000	北海道 3,500	熊本 2,320	佐賀 2,270	山形 1,950	福岡 1,810	2%	8%	4,360 86
	冬春トマト	t	4 385,900	熊本 108,600	愛知 43,800	栃木 27,000	福岡 17,100	千葉 16,200	3%	4%	3,790 113
果樹	キウイフルーツ	t	2 22,900	愛媛 4,790	福岡 3,990	和歌山 3,350	神奈川 1,140	群馬 828	14%	17%	1,860 256
	かき	t	3 216,100	和歌山 42,000	奈良 29,500	福岡 17,700	岐阜 16,200	愛知 15,200	6%	8%	17,800 1,120
	いちじく	t	5 10,143	和歌山 1,844	愛知 1,698	大阪 1,273	兵庫 1,170	福岡 849	8%	8%	831 69
	ぶどう	t	5 162,600	山梨 40,800	長野 28,900	岡山 14,600	山形 14,000	福岡 7,170	4%	4%	16,400 676
花き	ガーベラ(切花)	千本	2 121,800	静岡 51,700	福岡 17,200	和歌山 10,600	愛知 8,980	千葉 6,260	15%	14%	75 11
	きく	千本	3 1,227,000	愛知 437,700	沖縄 216,500	福岡 68,300	鹿児島 58,400	長崎 47,200	5%	6%	4,092 195
	トルコギキョウ	千本	3 84,500	長野 13,200	熊本 10,000	福岡 7,100	静岡 3,860	山形 3,660	9%	8%	392 35
	洋ラン類(鉢物)	千鉢	3 11,900	愛知 3,040	熊本 1,190	福岡 1,030	千葉 796	山梨 702	10%	9%	168 16
	ばら	千本	3 188,700	愛知 35,600	静岡 17,900	福岡 12,900	山形 12,800	群馬 9,500	6%	7%	269 16
その他作物 (庭園樹苗木等)	億円	1 135	福岡 39	三重 38	愛知 16	鹿児島 9	熊本 6	—	29%	—	
特産	茶	億円	5 471	鹿児島 154	静岡 132	三重 37	京都 36	福岡 24	4%	3%	36,000 1,490
	い草	t	3 5,935	熊本 5,822	沖縄 33	福岡 31	高知 29	佐賀 10	1%	1%	393 3

注: 麦類: 5年産作付面積(子実用)・収穫量、野菜: 4年産作付面積・収穫量
 果樹: 4年産結果樹面積(いちじくは3年産栽培面積)・収穫量、花き: 4年産作付(収穫)面積・出荷量、
 庭園樹苗木等: 3年産出額、茶: 4年産出額(生葉)、5年産作付面積・生葉収穫量(主産県)、
 い草: 4年産収穫量・作付面積 ※公益財団法人日本特産農産物協会「地域特産作物(工芸作物、薬用作物及び紙原料等)に関する資料」

2 林業

○ 森林率は45%、全国より22ポイント低い

- ・ 本県の森林面積は225千haで、県土面積に対する森林面積の割合である森林率は45%。
- ・ これは全国の森林率67%より22ポイント低い。



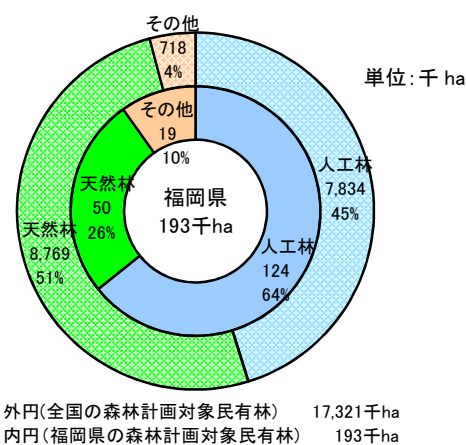
国土・県土に占める森林の面積

資料：福岡県：地域森林計画書（令和6年4月1日現在）
全 国：林野庁「森林資源現況調査（令和4年度）」等

○ 人工林率は64%、全国2位

- ・ 本県の民有林における人工林面積は124千haで、民有林に占める人工林の面積割合を示す人工林率は64%。これは全国の45%より19ポイント高く、全国2位。
- ・ 人工林と天然林を合わせた材積^{*}は61,606千m³。

※材積：木材の体積で、単位は立方メートル。



人工林・天然林別の森林面積

資料：福岡県：地域森林計画書（令和6年4月1日現在）
全 国：林野庁「森林資源現況調査（令和4年度）」

人工林・天然林別の材積

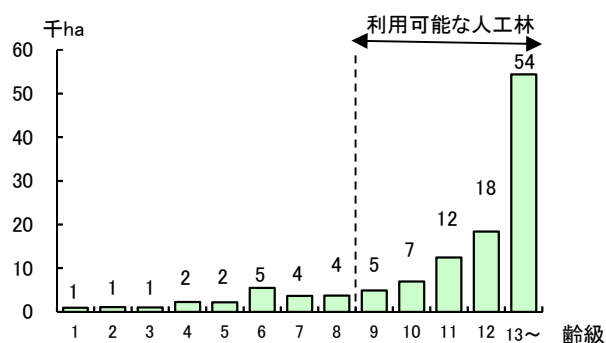
	人工林	天然林	計
全国	2,990,008	1,265,499	4,255,846
福岡県	57,702	3,904	61,606

単位:千m³

資料：福岡県：地域森林計画書（令和6年4月1日現在）
全 国：林野庁「森林資源現況調査（令和4年度）」

○ スギ・ヒノキの資源が充実

- ・ 本県の人工林124千haのうち、スギ・ヒノキ林は117千ha。
- ・ このうち本格的に利用可能な41年生以上の面積は97千ha。



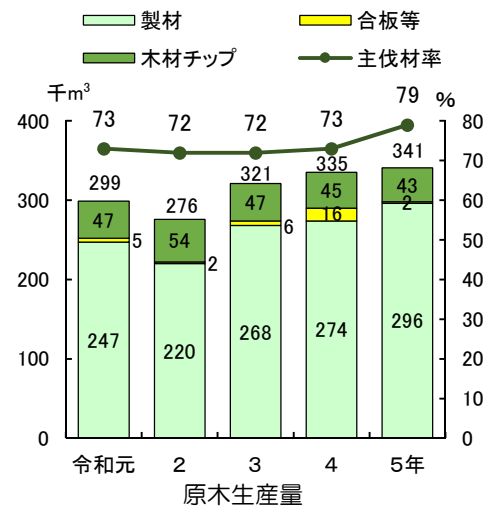
年齢別のスギ・ヒノキ人工林面積

注：年齢の単位は5年
資料：地域森林計画書

(1) 林業

(原木生産量は2%増の341千m³)

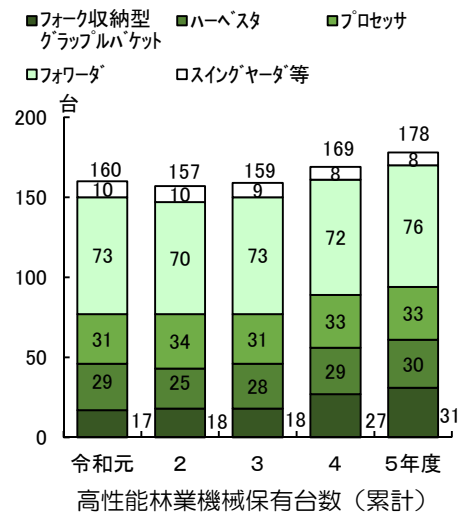
- ・令和5年の原木生産量は、主伐経費の助成や高性能林業機械の導入支援に加え、円安などの影響を受け、国産材の需要が高まったことから、前年に比べ2%増の341千m³。
- ・原木生産に占める主伐材の割合は前年に比べ6%増の79%。
- ・原木の用途別では、製材用が296千m³、合板等用が2千m³、木材チップ用が43千m³。



資料：林業振興課調べ

(高性能林業機械の保有台数は178台)

- ・令和5年度の高性能林業機械の保有台数は、前年度から9台増の178台。
- ・これは、原木生産を効率的に行うため、立木の伐採・集積や作業道の開設に使用できるフォーク収納型グラップルバケットなどの導入が進んだことによるもの。



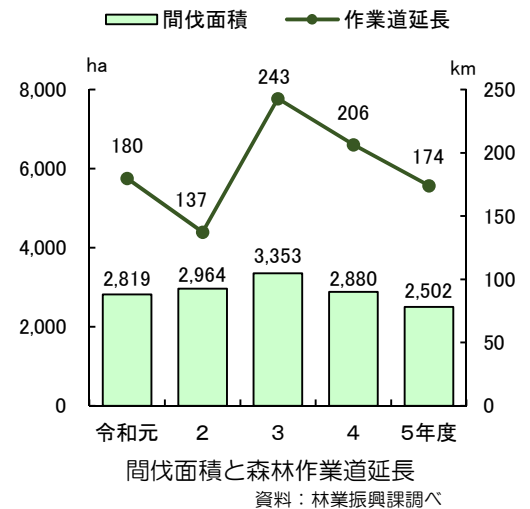
資料：林業振興課調べ



フォーク収納型グラップルバケット

(間伐面積は2,502ha)

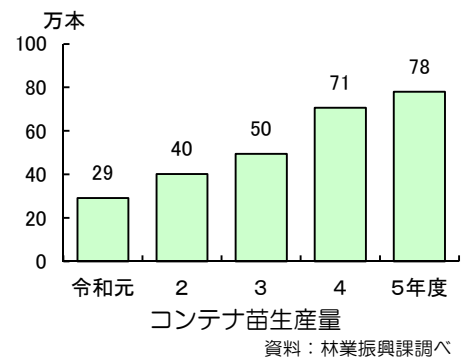
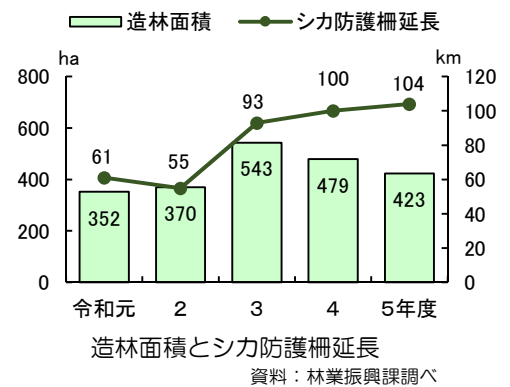
- ・令和5年度の間伐面積は、前年度に比べ378ha減の2,502ha、間伐等と一体的に行う森林作業道の整備延長は、前年度に比べ32km減の174km。



(造林面積は423ha)

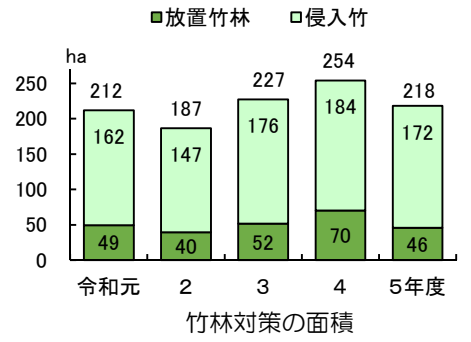
- ・令和5年度の造林面積は、前年度に比べ56ha減の423ha。
- ・シカによる苗木の食害が多い地域では、苗木を保護するためのシカ防護柵を併せて設置し、5年度の設置延長は、4km増の104km。
- ・年間を通して植栽可能なコンテナ苗[※]の生産量は、前年度に比べ7万本多い78万本まで増加。

※コンテナ苗：根鉢があるため、これまでの裸苗よりも活着率が高いことから、年間を通して植栽することが可能な苗。



(竹林対策の面積は218ha)

- ・令和5年度の放置された竹林の伐採とスギや広葉樹への植替えの面積は、前年度に比べ24ha減の46ha、人工林への侵入竹の伐採面積は、前年度に比べ12ha減の172ha。

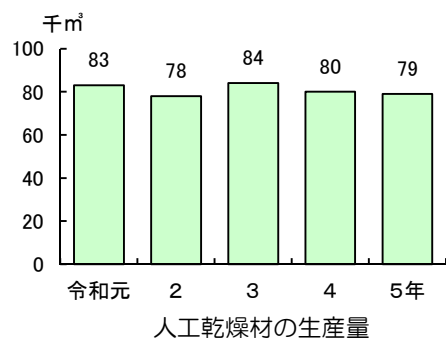


資料：林業振興課調べ

(2) 木材産業

(人工乾燥材生産量は前年並み)

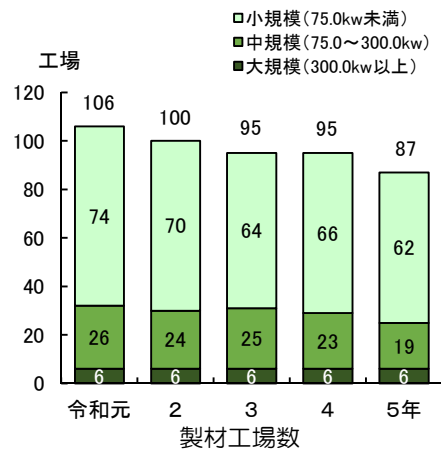
- ・住宅メーカーや工務店が求める曲がりや割れの少ない人工乾燥材の令和5年の生産量は、前年並みの7万9千 m^3 。
- ・県内の製材工場で生産している製材品に占める人工乾燥材の割合は、59%。



資料：林業振興課調べ

(製材工場数は87工場)

- ・令和5年の製材工場数は、前年から8工場減少し、87工場。
- ・製材品の製造能力別にみると、小規模、中規模工場ともに4工場減少し、大規模工場は横ばい。

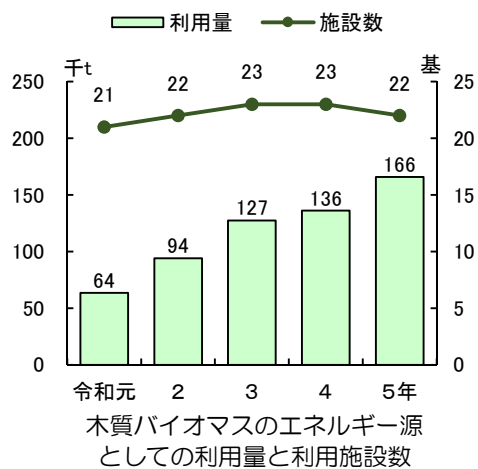


資料：農林水産省「木材統計」

(木質バイオマスのエネルギー源としての利用量が増加傾向)

- ・木質バイオマス*をエネルギー源として利用する施設は、主に温泉施設や発電施設、製材工場の人工乾燥施設で、施設数は前年から1減の22施設。
- ・令和5年の利用量は、前年に比べ22%増の16万6千t。
- ・これは、2年及び3年に稼働を開始した筑前町、苅田町の木質バイオマス発電所における利用量が順調に増加したことによるもの。

※木質バイオマス：再生可能な生物由来の有機性資源で、木本類（枝葉を含む）、竹、製材等残材、木質チップ、薪、木質ペレット、建築資材廃棄物。



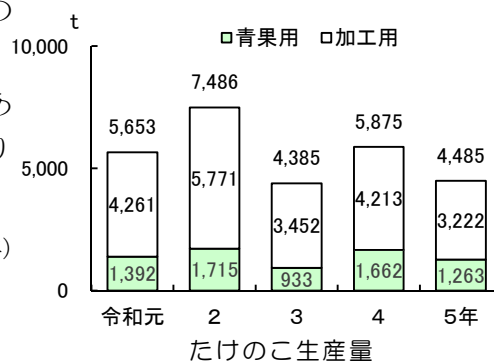
資料：林業振興課調べ

(3) 特用林産物等

(たけのこ生産量は24%減の4,485t)

- ・令和5年のたけのこの生産量は、前年に比べ24%減の4,485t。
- ・これは、主産地の八女地域が裏年[※]であったこととあわせて、3月下旬以降の急激な気温上昇と降雨により出荷期間が短縮したため、生産量が減少したものの。

※表年と裏年：竹は、通常2年に一度葉変わりするため、豊作年（表年）と不作年（裏年）が交互に現れる。

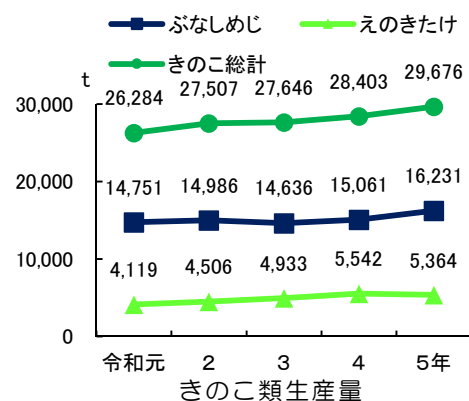


資料：林業振興課調べ

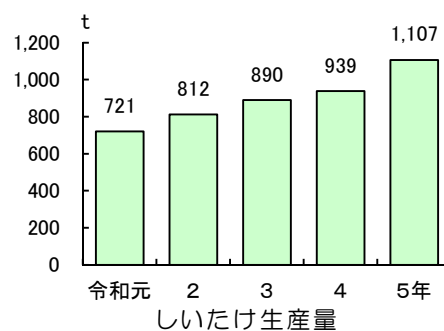
(きのこ類全体の生産量は5%増の29,676t)

- ・令和5年のぶなしめじの生産量は、前年に比べ8%増の16,231t。えのきたけの生産量は、前年に比べ3%減の5,364t。きのこ類[※]全体では前年に比べ5%増の29,676t。
- ・しいたけの生産量は、前年に比べ18%増の1,107t。
- ・これは、菌床しいたけ生産者が規模拡大したことが要因。

※きのこ類：生しいたけ、乾しいたけ、なめこ、えのきたけ、ひらたけ、ぶなしめじ、まいたけ、エリンギ、きくらげ類、ぬめりすぎたけ、ゆきれいたけ、王リングを含む。



資料：林業振興課調べ



資料：林業振興課調べ

(4) 福岡県林業の主要指標

項目	区分	単位	福岡県	全国	全国シェア (%)	全国ランク	備考
民有林の状況							
面積		千ha	193	17,321	—	—	県 : 令和6年4月1日現在(地域森林計画書) 全国: 令和4年3月末現在(森林資源現況調査: 林野庁)
材積		千m ³	61,606	4,255,846	—	—	
造林面積		ha	423	19,441	—	—	県 : 令和5年度実績(林業振興課調べ) 全国: 令和3年度実績(2023年森林・林業統計要覧: 林野庁)
間伐面積		ha	2,502	269,000	—	—	
主伐面積		ha	542	82,122	—	—	県 : 令和5年度実績(農山漁村振興課調べ) 全国: 令和3年度実績(2023年森林・林業統計要覧: 林野庁)
林道延長(自動車道)		km	1,601	93,642	—	—	
林道密度		m/ha	8.3	5.4	—	—	県 : 令和6年3月末現在(農村森林整備課調べ) 全国: 令和4年3月末現在(2023年森林・林業統計要覧: 林野庁)
林業・木材産業の状況							
森林組合数		組合	9	613	—	—	県 : 令和5年3月末現在(団体指導課調べ) 全国: 令和5年3月末現在(令和4年度森林組合統計: 林野庁)
森林組合員数		人	28,392	1,486,979	—	—	
製材工場数		工場	87	3,749	—	—	令和5年6月末現在 (令和5年木材統計: 農林水産省)
主な林産物生産量							
素材		千m ³	341	20,643	1.7	29	令和5年次実績(令和5年木材統計: 農林水産省、林業振興課調べ) 県 : 令和5年次実績(林業振興課調べ) 全国: 令和4年次実績(令和4年特用林産基礎資料: 林野庁) ※しいたけは、生に換算した重量
しいたけ		t	1,107	83,773	1.1	26	
ぶなしめじ		t	16,231	122,840	12.3	3	
えのきたけ		t	5,364	126,321	4.4	4	
たけのこ		t	4,485	21,798	27.0	1	
木ろう		t	10	22	46.4	2	
林業産出額							
木材生産		千万円	274	29,282	0.9	27	令和4年次実績 (令和4年林業産出額: 農林水産省)
薪炭生産		千万円	3	351	0.9	14	
栽培きのこ類		千万円	1,064	20,795	5.1	3	
林野副産物採取		千万円	14	569	2.5	7	
木材価格							
スギ(中丸太)		円/m ³	13,400	15,800	—	—	県 : 令和5年次県森連浮羽事業所実績値 (径18~22cm、4m) 全国: 令和5年次実績 (農林水産統計: 農林水産省)
ヒノキ(中丸太)		円/m ³	21,800	22,000	—	—	
緑化木							
生産本数		千本	3,316	56,444	7.6	3	県 : 令和5年度実績(林業振興課調べ)
生産額		億円	13	—	—	—	全国: 平成30年9月現在(緑化樹木の生産事例調: 林野庁)

注1: 全国ランク・シェアは、全国の数値の統計年次・年度におけるものを示している。

注2: 「—」印は、シェア算出又はランク付けに適さないもの。

注3: 「年度」は4月から翌年3月まで、「年次」は1月から12月までを表す。

(5) 福岡県林業の全国的地位

項目				区分	単位	全国シェア (%) 全国計	主産県				
							1	2	3	4	5
特用林産物	食用	きのこ類	えのきたけ	t	4.4	長野	新潟	宮崎	福岡	長崎	
					126,321	74,853	19,005	-	5,542	-	
			ぶなしめじ	t	12.3	長野	新潟	福岡	香川	茨城	
					122,840	51,580	21,484	15,061	-	3,261	
			まいたけ	t	6.7	新潟	静岡	福岡	三重	長野	
					56,763	36,621	4,996	3,824	-	2,645	
			エリンギ	t	4.7	長野	新潟	広島	福岡	北海道	
					37,798	15,962	11,884	-	1,788	-	
	食用 その他	たけのこ	t	27.0	福岡	鹿児島	京都	熊本	石川		
				21,798	5,875	5,251	3,053	1,482	837		
	非食用	木ろう		t	46.4	愛媛	福岡	長崎	宮城	石川	
				22	11	10	1	0.2	0.2		
		竹炭		t	52.9	福岡	鳥取	徳島	千葉	熊本	
				426	225	98	-	-	7		
緑化木	生産本数			千本	7.6	愛知	愛媛	福岡	東京	千葉	
					56,444	17,446	10,731	4,292	4,241	3,677	
	生産面積			a	20.1	福岡	熊本	愛知	千葉	東京	
					388,832	78,148	65,326	33,104	31,649	31,196	

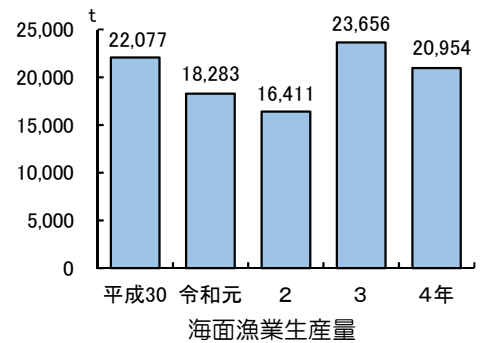
資料：(特用林産物) 令和4年林野庁特用林産基礎資料・令和4年次実績
(緑化木) 緑化樹木の生産事例調(林野庁)・平成30年9月現在

3 水産業

○海面漁業生産量

(海面漁業生産量(沿岸漁業)は前年比11%減の20,954t)

- ・令和4年の本県における海面漁業生産量(沿岸漁業)は、前年比11%減の20,954t。
- ・主な魚種別の生産量は、ブリ類が、前年に比べ471t増の2,694t。来遊が少なかったマアジが、前年に比べ177t減の640t、マダイも前年に比べ69t減の1,450t。
- ・主な漁業種類別の生産量は、さし網6,489t、中小型まき網4,472t、船びき網2,275t、小型底びき網1,032t。

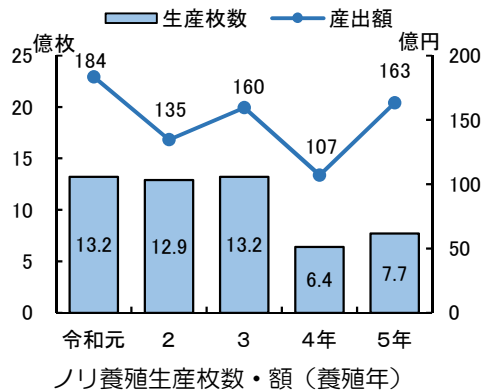


資料：農林水産省統計部「海面漁業生産統計調査」、漁業管理課調べ

○海面養殖生産量

(ノリ生産量は平年比32%減の7.7億枚)

- ・ノリの生産枚数は平年※に比べ32%減の7.7億枚。
- ・秋芽網は、品質が良く単価が高かったことから過去最高の生産額。
- ・一方で、12月中旬から高水温や晴天が続き、植物プランクトンが増殖したことで、栄養塩が減少し、冷凍網生産が低調。
- ・県では、漁場の調査回数を増やし、海況情報を漁業者へリアルタイムで提供するとともに、3日先までの潮の高さや水温等の予測情報の提供を開始。
- ・平均単価は、平年に比べ8.16円高の21.07円/枚で、生産額は平年に比べ11%増の163.1億円。



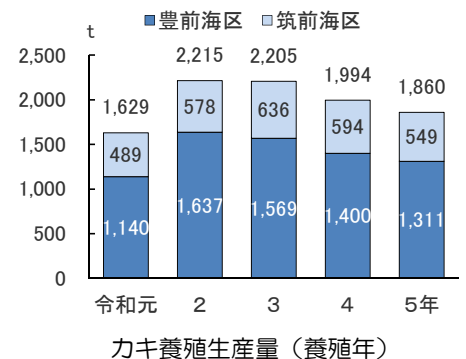
資料：水産振興課調べ

※生産枚数の平年値：平成30年～令和4年の5か年平均。

(カキ養殖生産量は平年並みの1,860t)

- ・カキの養殖生産量は平年※並みの1,860t。
- ・県の指導に基づく食害防止対策や養殖管理を徹底した結果、平年並みの生産を維持。

※生産量の平年値：平成30年～令和4年の5か年平均。

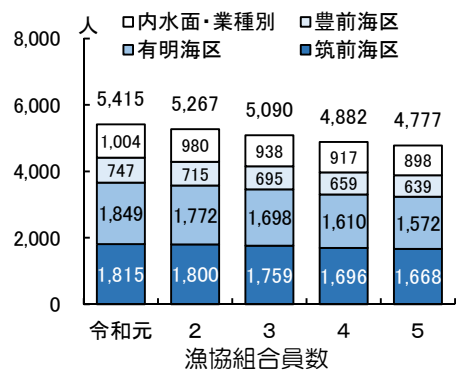


資料：水産振興課調べ

○漁業協同組合員数

(漁業協同組合員数は4,777人)

- ・漁業協同組合員数（内水面を含む）は、前年度に比べ2%減の4,777人。
- ・筑前海区が1,668人、有明海区が1,572人、豊前海区は639人、内水面・業種別は898人。



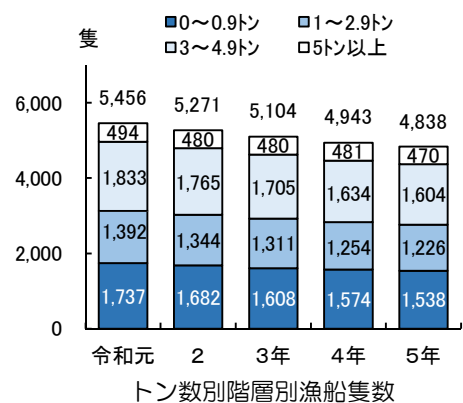
資料：漁業管理課調べ

注：令和5年度は速報値

○漁船隻数

(漁船隻数は4,838隻)

- ・漁船隻数は、前年に比べ2%減の4,838隻。
- ・小規模漁業を営む5トン未満の船4,368隻で全体の90%を占める。



資料：漁業管理課調べ

(1) 筑前海区

(サバ類、ブリは好調、カキ、真珠は平年並みを維持)

- ・令和5年度の漁船漁業の漁獲量は、サバ類、ブリは平年を上回り好調、マアジは平年並み。
- ・カキ養殖及び真珠養殖は、前年度に引き続き平年並みの生産。
- ・クルマエビ130万尾、アワビ48万尾、アカウニ24万尾、トラフグ31万尾の種苗放流を実施。



市場に出荷されたブリ

トピック

○鐘崎あまはえ縄船団が農林水産祭で内閣総理大臣賞を受賞

- ・令和5年11月23日に東京都で令和5年度農林水産祭式典が開催され、鐘崎あまはえ縄船団が内閣総理大臣賞を受賞。
- ・内閣総理大臣賞の受賞は、昨年豊前海区に続き2年連続の快挙。
- ・筑前海区では漁業者自らが水温や潮流などの観測を行い、そのデータを九州大学が計算することで、3日先までの海況予測を漁業者に配信するシステムを構築。
- ・当船団は、県や大学と連携し海況予測の精度向上に努め、その予測を漁場選定に活用することで、操業コスト削減や操業時間短縮を実現。
- ・今回の受賞は、こうしたスマート漁業の導入により、経営改善につながった取組が評価されたことによるもの。



内閣総理大臣賞受賞の様子

(写真提供：株式会社水産経済新聞社)

(2) 有明海区

(アサリ資源が増加、ノリの生産枚数は平年比7割で生産額は1割増)

- ・ノリ養殖は、晴天が続いたことで開始前から植物プランクトンが長期にわたり発生し、令和5年度の生産枚数は平年に比べ33%減の7.7億枚であったが、平均単価は21.02円/枚と過去最高値で、生産額は161億円と10%増。
- ・アサリは、河口域の覆砂漁場を中心に大量発生した稚貝を、河川水の影響を受けにくい漁場に移植する取組を実施。
- ・クルマエビ100万尾、ガザミ240万尾の種苗を放流。



アサリ稚貝の移植

(3) 豊前海区

(マゴチ、ナマコの漁獲が好調)

- ・令和5年度の漁船漁業の漁獲は、マゴチやナマコが好調。ヨシエビ、シバエビは平年並み。
- ・カキ養殖は、秋季に成長の遅れがみられたが、その後、成長、身入りとも回復し、順調に生産。
- ・水産資源の維持に向け、クルマエビ83万尾、ヨシエビ224万尾、ガザミ235万尾の種苗放流を実施。また、卵を持ったガザミの雌を保護するため、甲羅に「トルナ」と書いて、海に戻す取組を継続。



漁獲好調だったマゴチ

(4) 内水面

(アユの漁獲は平年並み)

- ・令和5年度のアユの漁獲は平年並み。
- ・アユは、内水面漁連で生産した種苗等を県内10河川に34万尾放流。
- ・エツは、下筑後川漁協で生産した種苗を筑後川に32万尾放流。
- ・コイヘルペスウイルス病（KHV）は、養殖場や新たな天然水域での発生なし。
- ・錦鯉は、県が防疫対策等の指導を行い、イギリス、ベトナム、タイをはじめとする18か国に輸出。



人工生産したエツの稚魚

トピック

○ アユ資源の回復に向け受精卵を放流

- ・令和5年梅雨前線豪雨により、筑後川と矢部川に多くの土砂が流入し、アユの産卵場の一部が泥で埋まるなど、産卵場としての機能が低下。
- ・アユは一年魚であり、秋の産卵・ふ化状況が翌年春のアユの資源量に大きく影響。
- ・このため県では、海に下る仔アユを確保するため、緊急的にふ化直前の受精卵約8,000万粒を河川に放流。
- ・放流した卵は数日後にふ化し、順調に降河。令和6年2月から4月にかけて、多数のアユの稚魚の遡上を確認。



アユの採卵作業



受精卵収容カゴの設置
(ふ化後カゴから出て海へ)

(5) 福岡県水産業の主要指標

区分 項目	単位	県合計	海面漁業				内水面	全国 ランク	備 考	
			計	筑前海	有明海	豊前海				
経営体数	経営体	2,434	2,386	1,226 ^{*1}	794	366	48	12	平成30年値 (2018年漁業センサス) *1:筑前海には遠洋・沖 合漁業を含む	
就業者数	人	—	4,376	1,917 ^{*2}	1,880	579	—	12	平成30年値 (2018年漁業センサス) *2:筑前海には遠洋・沖 合漁業を含む	
	うち男性	人	—	3,633	1,811	1,403	419	12		
	うち女性	人	—	743	106	477	160	8		
水域面積	km ²	—	—	約7,000	171	930	河川 延長 2,205km	—	水域面積 (筑前海) ・隣接県との主要な陸地 間、島間の中間線を結 ぶ線に囲まれた本県漁 船が操業する水域の面 積	
海岸線の 長さ	km	—	—	420	47	109	人工湖 31か所	—	(有明海・豊前海) ・共同漁業権漁場の面積 (内水面) ・県土整備部河川管理課資 料 ・農林水産部農村森林整備 課資料	
最大水深	m	—	—	120	15	15	溜池 4,777か所	—		
共同漁業権 免許件数	件	75	62	52	4	6	13	—	令和6年3月31日現在 (漁業管理課調べ、水産振 興課調べ)	
区画漁業権 免許件数	件	171	149	58	59	32	22	—		
漁船数	隻	4,838	4,679	2,018 ^{*3}	2,135	526	159	—	令和5年12月31日現在 (漁業管理課調べ) *3:筑前海には遠洋・沖 合漁業を含む	
漁協数	漁協	41	32	7	17	8	9 ^{*4}	—	令和6年3月31日現在 (漁業管理課調べ) *4:内水面には業種別 組合の福岡県養鰻を 含む	
漁組合員 数	人	4,777	3,879	1,668	1,572	639	898 ^{*4}	—		
漁生産 業量	t	47,044	46,800	46,800			244	21	令和5年値 (農林水産省「漁業・養殖 業生産統計(概数)」、漁業 管理課調べ、水産振興課調 べ)	
	漁船漁業 生産量	t	18,267	18,200	18,200			67		26
	養殖業 生産量	t	28,777	28,600	28,600			177		11
漁産出 業額	百万円	29,484	29,190	10,064	16,804	2,324	294	15	令和4年値 (農林水産省「漁業産出 額」、漁業管理課調べ、水 産振興課調べ)	
	漁船漁業 産出額	百万円	12,589	12,486	9,427	1,635	1,426	103		19
	養殖業 産出額	百万円	16,894	16,703	637	15,169	898	191		14

注1：全国ランクは海面漁業の数値で比較。

注2：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

(6) 福岡県水産業の全国的地位

区分 項目	単位	全国シェア 全国計	主産県				
			1	2	3	4	5
マダイ	t	9.4%	兵庫	長崎	愛媛	福岡	愛知
		15,501	2,175	2,088	1,464	1,450	648
イサキ	t	9.0%	長崎	島根	福岡	山口	三重
		3,462	1,136	355	310	211	188
チダイ	t	13.4%	長崎	福岡	宮城	石川	新潟
		1,788	362	240	186	91	85
キダイ	t	3.8%	長崎	島根	山口	福岡	福井
		3,979	1,840	808	471	151	113
アマダイ類	t	7.3%	山口	長崎	島根	秋田	福岡
		1,186	250	183	135	88	86
コノシロ	t	4.4%	千葉	神奈川	熊本	福岡	大阪
		3,034	1,328	530	398	134	107
サワラ類	t	7.8%	京都	石川	福岡	福井	兵庫
		10,269	1,075	878	796	783	658
ガザミ類	t	11.1%	愛知	宮城	福岡	長崎	熊本
		1,433	369	225	159	152	102
タコ類	t	3.3%	北海道	宮城	青森	福岡	岩手
		22,285	14,077	986	840	746	739
ナマコ類	t	5.0%	北海道	青森	山口	石川	福岡
		5,349	1,743	668	452	286	266
ノリ養殖	生産枚数 (百万枚)	15.7%	兵庫	佐賀	熊本	福岡	宮城
	産出額 (億円)	15.6%	兵庫	佐賀	熊本	福岡	宮城
		4,936	1,234	988	841	774	281
		1,044	260	223	183	163	63

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ

注1：ノリは令和5年養殖年（令和5年10月～6年4月）を、その他は令和4年の数値を表示。

— 農林事務所管内の動き —

1 福岡農林事務所管内

■ 農業

- ・福岡市西区の鬼木晴人^{おにきはると}氏は、令和5年春の褒章で黄綬褒章を受章。昭和46年の就農以来、米・麦の収量向上に努め、また、福岡市農業協同組合の組合長や福岡県信用農業協同組合連合会の経営管理員会長を歴任。
- ・古賀市小野地区では、スマート農業技術の導入や高齢者等への生活支援を目的とし、「スマートアグリレッジおの推進協議会」が設立。令和5年度は自動操舵トラクターや半自動乗用移植機の実演会、農用地保全ワークショップやスマートグラスを用いた買い物支援を実施。
- ・防災重点農業用ため池の劣化による決壊の危険性の評価については、ため池特措法の有効期間である、12年度までに完了する予定。管内877か所のうち、656か所の評価作業が完了。
- ・糸島農協養豚部会では、糸島豚ブランドの価値向上による持続可能な養豚経営実現の取組を4年度から開始。これまで、若手生産者勉強会や交流会等により機運を高めるとともに、糸島豚PRイベントを開催し、消費者へアピール。令和6年度は、地域団体商標登録に向け、さらなる取組を行う予定。
- ・4年度に、管内で4件の高病原性鳥インフルエンザが発生したことを受け、管内8か所の養鶏場で野鳥侵入防止ネットを強化したほか、ため池においてドローンや大型カイト（凧）を活用した野鳥の追い払いを実施。また、佐賀県唐津市での豚熱発生を受け、野生イノシシの豚舎接近を防ぐ緩衝帯設置、豚熱ワクチンの全戸接種をはじめとする緊急対策を実施。

地域のトピック

○株式会社百笑屋の代表 ^{まつぎきはるひさ}松崎治久氏が全国麦作共励会農林水産大臣賞受賞

- ・令和5年度全国麦作共励会中央審査委員会（農家の部）において、糸島市の株式会社百笑屋の代表松崎治久氏が最高賞である農林水産大臣賞を受賞。
- ・松崎氏は、麦類49ha、水稻26ha、大豆7ha等を作付けする土地利用型の大規模経営農家であり、地域の農業をけん引する存在として活躍。
- ・県で開発された部分浅耕一工程播種技術やドローン防除、自動操舵システムの導入により、省力低コスト栽培を実現し、県平均を上回る収量を確保。
- ・積極的な女性の雇用や、周辺農家の農作業の請負、耕畜連携などの様々な取組を実施。
- ・県産麦をPRするため、「糸島ビアファーム」を開催するなど、地域農業にも貢献。



株式会社百笑屋



糸島ビアファーム

■ 林業

- ・福岡教育大学附属福岡小学校の5年生児童が取り組む森林学習を支援。令和5年11月及び6年1月に、篠栗町の森林施業現地において、チェーンソーや高性能林業機械による伐倒作業と植栽地の見学を実施。これにより、林業に対するイメージを明確にするとともに、森林組合や農林事務所の職員との活発な質疑応答により、林業の現状や課題を学習。森林・林業のサイクルの理解が深まるよう、2月の総仕上げの授業では、森林に関する取組について作成された児童からの提案書へアドバイスを実施。
- ・糸島市において、「放置竹林の整備」と「メンマの純国産化」を目標として地域の活性化を図るため、「純国産メンマサミット in 糸島 2023」を5年11月に開催。全国から約400人が参加され、竹林整備を実践する全国の代表者による事例発表等により、持続可能な竹林整備や純国産メンマづくりの機運が向上。
- ・また、「森をめぐる糸島の今」をテーマに一般県民を対象とした糸島市林業振興研修大会を、5年11月に開催。同市内の森林・林業に携わる人々の取組の紹介や交流の場として、トークセッションやミニライブを実施。木製遊具コーナーや林業安全衛生用品・チェーンソーをはじめとする林業関連用品の展示販売ブースも設置。県内から187人が参加し、参加者からは「林業従事者の生の声が聴けたことは興味深かった」といった意見もあり高評価。
- ・福岡地区森林・林業推進協議会と協同で、構造材にCLT（直交集成板）を使用した志免町弓道場で見学会を5年12月に開催。建築士や設計士など26人が参加。

地域のトピック

○糸島市の森林基幹道「らいざんうきだけせん第3雷山浮嶽線」が全線開通

- ・糸島市の森林基幹道「第3雷山浮嶽線」（総延長19,181m、幅員5.0m、利用区域内の森林面積1,366ha）が、平成5年度の着工から31年の歳月を経て完成。
- ・当林道は、「ずいばいじ瑞梅寺ダム」の上流に位置していることから、地域林業の振興のみならず、森林整備の促進による水源かん養機能の発揮に貢献。
- ・沿線には、「みずなし水無鍾乳洞」といった景勝地もあり、観光客の増加による地域活性化にも寄与。



森林基幹道「第3雷山浮嶽線」



沿線における間伐

2 朝倉農林事務所管内

■ 農業

- ・令和5年梅雨前線豪雨により被災した農業者の経営再開につなげるため、関係機関と一体となり、農業機械・施設災害復旧支援事業をはじめとする各種事業を活用し、久留米市ほか6市町村で農業機械・施設の再取得や種苗、資材の購入など、総事業費20億円、2,197件の復旧事業を実施。また、農地・農業用施設において、農地やため池への土砂の流入に加え、取水施設及び有害鳥獣侵入防止柵の破損等が発生。令和6年1月までに、国の災害査定は終了し、順次復旧工事に着手。
- ・久留米市の株式会社農業都市デザインシステム研究所が、柿「秋王」の国内外への販路拡大を図るため、県農林業総合試験場が確立した冷蔵及び包装資材技術を活用し、「秋王冷蔵柿」の商品開発に着手。東京・沖縄の大規模商談会にも商品を出展し、バイヤーから高く評価。
- ・JA筑前あさくらとJAにじが、5年産から大豆「フクユタカ」を県育成品種「ふくよかまる」に全面切り替え。関係機関と連携し、適期播種や管理作業の徹底により、初年目で、200kg/10aを超える高収量を達成。
- ・平成29年7月九州北部豪雨災害からの復興を目指して、朝倉市黒川地区では、令和5年8月に地域の農地を守り活用する「一般社団法人くろがわ」を設立。JA筑前あさくらは、6年2月に、同災害における被災農家の営農再開への支援等のために設立した「ドリームファーム」の3期生3人に経営を移譲。3年間で被災農家を含む9人がアスパラガス農家として独立。また、4年度に、復旧園地に開設した「朝倉フルーツファーム」では、スモモ生産者を育成中。

地域のトピック

○農福連携を推進

- ・久留米地区では、障がいのある方が、ミズナ・ホウレンソウ・トマト・イチゴといった施設野菜や花き・花木の生産現場において、収穫調製・育苗・株の抜き取り作業で働くことのできる農福連携の取組を推進。
- ・久留米市農業振興協議会（久留米市、JAくるめ、普及指導センター等で構成）では、今後も、障がいのある方の活躍の場を支援していくため、令和6年1月に福祉作業所7か所が久留米市の株式会社ONE GO（ワンゴー）で、イチゴのパック詰作業見学会と連携推進に向けた意見交換を実施。
- ・久留米市北野町の有限会社千広農産では、農福連携の取組を進める一環として、「ノウフクJAS[※]」の取得に取り組み、普及指導センターがGAPの考え方に基づく安全管理や法人としての行動指針の策定について支援を行った結果、6年2月に認証を取得。

※ノウフクJAS：障がいのある方が生産行程に携わった食品の農林規格認証



有限会社千広農産の
稲吉広樹代表

■ 林業

- ・朝倉市の福岡県樹苗農業協同組合では、国の補助事業を活用し、圧入機・抜取機をはじめとするコンテナ苗生産施設を整備。少花粉サシスギを中心に、周年植え付けを可能とするコンテナ苗の増産を目指す。
- ・筑前町の福岡県立夜須高原記念の森では、開園から約30年が経ち、施設が老朽化していることから、県有施設緑化事業を活用し、溪流園内の木製八つ橋をリニューアル。橋の幅員を拡げることでバリアフリーにも配慮し、県民が利用しやすい公園へと整備。
- ・東峰村の宝珠山きのこ生産組合代表理事である川村卓三氏^{かわむらたくみ}が、日本特用林産振興会の功労賞を受賞。全国に先駆けて、菌床シイタケ生産を開始し、村内のシイタケ農家に働きかけて農事組合法人を設立し、村の地域産業として定着させた功績が評価。
- ・平成 29 年 7 月九州北部豪雨で被災した林地は、県が治山激甚災害対策特別緊急事業を活用して 47 か所の復旧を行い、令和 5 年 11 月までに完了。また、令和 5 年梅雨前線豪雨で被災した林地については、早期復旧を目指し治山事業をはじめとする関連事業を推進。
- ・令和 5 年梅雨前線豪雨で被災した久留米市ほか 3 市では、緑化木や林業用苗木生産者が速やかに生産を再開できるよう、関係機関と一体になり、ほ場からの土砂撤去や生産資材の購入、機械の修理、再取得を支援。

地域のトピック

○福岡県森林組合連合会浮羽事業所が、最新式の選木機を導入

- ・うきは市の福岡県森林組合連合会浮羽事業所では、国の補助事業を活用し、大径木も自動選別が可能な最新式の選木機を導入し、作業を効率化。原木の供給力の強化を図る。



選木機



竣工式

3 八幡農林事務所管内

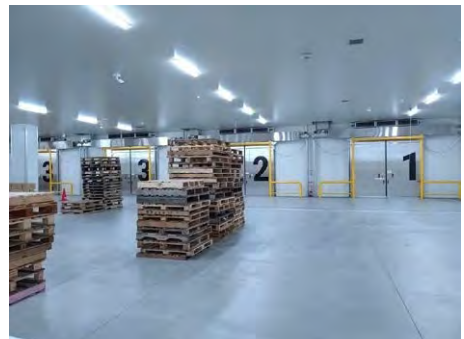
■ 農業

- ・ J A北九では、播種適期が長く、「フクユタカ」より収量が多い、県育成大豆新品種「ふくよかまる」へ全面切り替えを実施。令和5年度の単収は前年比120%に向上。
- ・ 管内で生産された農産物を活用した6次化商品の数は、5年度に2品目が追加となり48品目まで増加。「令和5年度ふくおか6次化商品セレクション」では、遠賀屋糶こめのはなが開発した「博多べいめん玄米衛（げんべい）」が福岡県商工会連合会会長賞を受賞。同社は、4年度の県議会議長賞に続き2年連続の受賞。
- ・ 管内では、ワンヘルスの推進に向け、農林水産物や加工品のワンヘルス認証取得の取組を推進。5年度にキャベツやびわ、赤しそなど38品目が新たにワンヘルス認証を取得し、累計44品目に拡大。
- ・ 岡垣町高倉びわ活性化協議会では、高齢化により生産者の減少が進む産地の活性化のため、新植園地を整備。栽培技術の実習を行うびわ生産塾の取組を開始し、成園となる4年後に入植する塾生（新規就農者）を募集したところ、8人が決定。
- ・ 遠賀町の尾倉・千代丸地区では、担い手への農地集積・集約化を目指し、5年5月に土地改良区が設立され、農地中間管理機構と連携し、なみまつかおる農地整備事業を開始。
- ・ 令和5年度福岡県麦作共励会（農家の部）で、遠賀町の浪松 薫 氏が優秀賞（県知事賞）、特別賞（福岡県農業協同組合中央会会長賞）を受賞。地域平均を大きく上回る単収が評価。
- ・ 令和5年度福岡県大豆作経営改善共進会（農家の部）で、遠賀町のもりしげよし森盛義氏が優秀賞（福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会会長賞）、特別賞（全国農業協同組合連合会福岡県本部長賞）を受賞。
- ・ 令和5年度福岡県青年農業者会議において、岡垣町のひょうぐちかずよし俵 口和義氏が福岡県農業指導功労者として表彰。長年に渡り、地域農業の発展に貢献された実績が評価。

地域のトピック

○北九州市に共同物流施設（ストックポイント）が完成

- ・ 青果卸売業者が、県内各産地の青果物を集約し、大都市圏への共同輸送を行うことを目的として、強い農業づくり総合支援交付金を活用し、共同物流施設（ストックポイント）（6,809 m²）を整備。
- ・ 定温（2℃、15℃）冷蔵庫内での卸売機能の導入により青果物の品質管理が充実。
- ・ 施設内における入荷車両の待機時間の低減を図るため、青果物流デジタル化推進費を活用し、物流情報データ管理システムを整備。
- ・ 送り先ごとの物量やパレット枚数といった物流情報データによるストックポイント内の積み替え作業や配車計画を効率化。



新たに完成した共同物流施設（内観）

■ 林業

- ・北九州市、北九州市森林組合及び住宅メーカーなどの5者が、令和4年度に「地域材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結し、5年度から搬出間伐による地域材の供給、製材、加工した材による住宅建設に着手。
- ・労働環境の改善のため、高性能林業機械の導入を推進するとともに、林業経営体に対して、作業員への研修参加の働きかけや、労働基準監督署との合同パトロールを通して、事故防止にかかる指導を実施。
- ・イノシシによる被害防止対策のため、4年度から岡垣町において、人と野生動物の棲み分けを図る緩衝地帯を整備し、出現頻度が大幅に減少。
- ・「自然という大きな命をみんなで繋ごう」を大会テーマとして、5年11月、第74回県植樹祭が遠賀町の「おんがみらいテラス」で開催され、遠賀町長がワンヘルス推進宣言を発信。
- ・高級食材としてのブランド力を有する「合馬たけのこ」の後継者育成を図るため、生産者、JA北九、北九州市などで組織した「合馬たけのこ生産者育成サポートセンター」と連携し、新たに就業した4人に対する竹林管理に関する研修会を開催。
- ・令和5年梅雨前線豪雨により、岡垣町波津地区で山腹斜面が崩壊し、寺院や人家に被害が発生。早期復旧を図るため、治山事業に着手し、県による施設維持管理事業が6年3月に、岡垣町による林地崩壊防止事業が6年5月に完了。

地域のトピック

○放置竹林対策につながる「竹製残存型枠」

- ・放置竹林対策に向けた竹材利用の一環として、「竹製残存型枠」を北九州市合馬地区で治山ダムに使用。「竹製残存型枠」は竹材と杉材を使ったパネル式の型枠で、従来から使用している「木製残存型枠」より軽量のため施工性が向上。
- ・令和5年12月、「福岡県放置竹林対策連絡会議」の構成市町の職員と県農林事務所の治山事業担当者を対象に、竹の利用拡大に向けた研修会を開催。「竹製残存型枠」の製作に携わる「一般社団法人 森人未来ノ研究所」の出口学でぐちまなぶ 所長による加工組立の実演の後、治山現場での使用状況を見学。



竹製残存型枠



竹製残存型枠の加工組立の実演

4 飯塚農林事務所管内

■ 農業

- ・飯塚普及指導センター管内では女性農業者が、それぞれの経営課題に応じた経営者育成塾や営農基礎講座といった研修会に参加することで、経営参画の意欲が高まっており、経営改善計画の作成支援をはじめとするサポートを受けた結果、新たに2人が認定農業者として認定。
- ・添田町有害鳥獣対策協議会は、令和2年度から、福岡県鳥獣被害対策強化事業（捕獲獣の有効利用の拡大事業）に取り組んでおり、捕獲後の止め刺し・放血・加工施設までの運搬といった作業を ALSOK 福岡株式会社が担った結果、5年度の獣肉処理施設での処理頭数は元年度に比べ、イノシシで81頭、シカで143頭増加。加工品販売についても、4年度からは「道の駅歓遊舎ひこさん」で販売を開始し、5年度からは飲食店へと販路を拡大。
- ・田川市の肉用牛農家（株式会社山崎畜産 代表 山崎竜也氏）が、畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律（令和4年4月1日施行）に基づく畜舎建築利用計画の認定を県内で初めて取得。福岡県堆肥利用拡大によるワンヘルス推進事業を活用し、低コスト堆肥舎を改修。
- ・令和5年度ふくおか6次化商品セレクションにおいて、JA直鞍が「やさしい巨峰サイダー」で福岡県農業協同組合中央会会長賞を、直方市の米貴（代表 山本貴絵氏）が「米粉の笑笑」・「玄米米粉の笑笑」で特別賞（農林漁業者部門）を受賞。
- ・6年3月に行われた全国青年農業者会議において、九州・沖縄地区代表として意見発表した田川4Hクラブの高瀬寛人氏が農林水産大臣賞を受賞。これに先立ち5年7月に行われた九州・沖縄地区青年農業者会議において、高瀬氏と中村 篤氏（プロジェクト発表）が福岡県代表として発表。

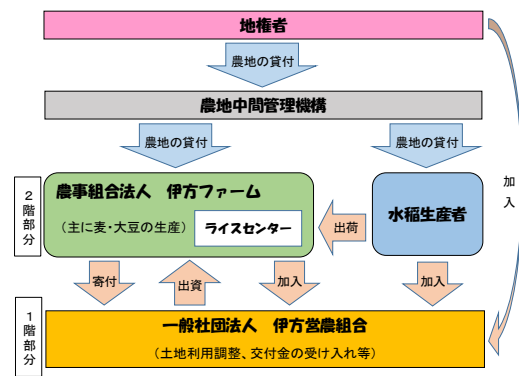
地域のトピック

○福智町で県内初となる法人2階建ての集落営農組織が誕生

- ・福智町の集落営農組織「伊方地区営農組合」は、地域営農を永続的なものにするため、農地の利用管理を行う団体として「一般社団法人 伊方営農組合」を令和5年10月に設立するとともに、5年12月には、営農を行う「農事組合法人 伊方ファーム」を設立し、法人2階建ての集落営農組織として体制を整備。
- ・この2法人が連携することで、地域営農の維持・強化や担い手の確保に期待。



一般社団法人 伊方営農組合
設立記念式典



地域営農システム（2階建て）の概略図

■ 林業

- ・ 添田町では、県産材の有効活用の一環として、早生樹であり、家具材としての利用が期待されるセンダンを植栽しており、植栽木を用材として利用しやすくするため「芽かき研修」を実施し、町、森林組合の職員 24 人が参加。
- ・ 令和 3 年度よりしいたけ栽培を始めた小竹町の事業者が、第 42 回福岡県ほだ場コンクールで福岡県知事賞を、第 54 回福岡県椎茸品評会で福岡県特用林産振興会会長賞を受賞。
- ・ 添田町では、人と野生生物の棲み分けを図るため、イノシシの生息密度を把握したうえで、被害も多い野田、中元寺地区において、里山林の間伐、除伐といった「野生動物緩衝林整備事業」を 2.26ha で実施。雑草木を除去し野生動物が身を隠すことのできない緩衝林（緩衝地帯）を整備することにより農林業被害の軽減を目指す。
- ・ 添田町では、日田彦山線沿線の地域振興と交流人口の増加を図るため、「道の駅歓遊舎ひこさん」の背後に広がる森林を、福岡県森林環境税を活用して除伐、間伐の森林整備を行い、誰でも森と親しむことのできる施設として「フォレストアドベンチャー・添田」を 5 年 4 月にオープン。
- ・ 令和 5 年梅雨前線豪雨による林道施設被害は、管内 4 市町村（飯塚市、添田町、赤村、福智町）において 10 路線 15 か所発生。添田町の 1 か所を除く全ての箇所の復旧工事に着手し、赤村 2 か所と福智町の 1 か所の計 3 か所で復旧工事が完了。

地域のトピック

○ゴルフ場内で原木しいたけを栽培

- ・ 小竹町にあるゴルフ場の運営会社は、イノシシ被害を軽減するため、場内にあるクヌギ林を伐採。これを有効活用して、全国でも珍しいゴルフ場内での原木しいたけ栽培を開始。
- ・ ゴルフ場の低温高湿な環境を利用して良質なしいたけを生産し、「天空茸」という名称でブランド化し、ゴルフ場内のレストランで提供。
- ・ 環境教育にも力を入れており、地元小学生 48 人を対象にしいたけ駒打ち体験を実施。駒打ちした原木は学校に持ち帰り、しいたけ発生の観察学習及び収穫体験に利用。



ゴルフ場内でのしいたけ原木栽培



しいたけ駒打ち体験

5 筑後農林事務所管内

■ 農業

- ・ J Aみなみ筑後は、かんきつ集出荷施設の機能向上のため、国の補助事業を活用し、新たに高精度カメラやAIによる果実品質を判定する選果機と製品プールラインを整備。これにより、生産規模拡大の阻害要因であった農業者の選別作業を自動化し、全国トップクラスのかんきつ産地をより一層強化。
- ・ ワンヘルスの取組を進めるため、化学肥料低減を目的とした堆肥の製造・散布を行う機械導入や、「福岡県ワンヘルス認証制度」を取得した八女茶やいちごといった県農林水産物等に係る、出荷資材経費の助成など、生産から流通・販売まできめ細かく支援。
- ・ 農事功績者表彰で、筑後市の角整樹すみせいき氏が緑白綬有功章を受章。八女地域はもとより、地域のナシ、ブドウ部会長も歴任するなど、長年にわたる県内の果樹産地発展に対する功績が高く評価。
- ・ 福岡県青年農業者会議の実績発表の部で、八女地区4Hクラブ員の住吉健太すみよしけんた氏が、クラブ員による狩猟免許取得から箱わな設置マニュアルの作成までをプロジェクト班で取り組み、地域の鳥獣被害減少に挑戦した活動成果を発表し、知事賞を受賞。令和6年度九州大会に出場予定。
- ・ 第45回全国土地改良大会福井大会において、みやま市の柿原廣典かきはらひろのり氏が農林水産大臣賞を受賞。山川地区土地改良区の理事長として、中山間地域でのほ場整備の事業推進に尽力し、地域農業の発展に貢献したことが評価。

地域のトピック

○福岡の八女茶発祥 600 年祭の開催・八女茶の発展に貢献した小松保夫こまつやすお氏（八女市）が黄綬褒章受章

- ・ 令和5年度は、第77回全国お茶まつり福岡大会と併せて、福岡の八女茶発祥600年を記念して八女市内で記念式典を開催。功労者表彰や講演会のほか、記念茶会や八女茶マルシェが開催。
- ・ 5年秋の褒章において、八女市の小松保夫氏が茶業で黄綬褒章を受章。「福岡県茶業青年の会」を設立するなど長年の後継者育成や地域茶業の振興が評価。



福岡の八女茶発祥 600 年祭



黄綬褒章を受章した小松氏

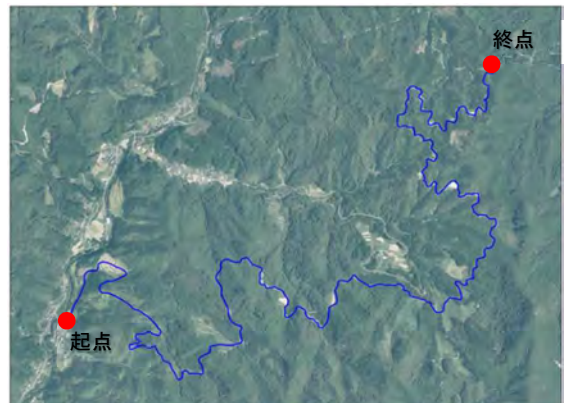
■ 林業

- ・早生樹の植樹活動を通じたワンヘルスの普及のため、一般社団法人ワン・ヘルス・クリエイツは、大川市の家具業者や福岡県八女森林組合と協力し、「第1回ワンヘルスセンダンププロジェクト」を開催。当日は一般公募による親子連れなど 58 人が植樹活動に参加。
- ・全国の林業研究グループが活動発表を行う全国林業グループコンクールに、八女市の黒木町林業振興会が九州ブロック代表として参加。日頃のグループ活動の地域林業への貢献などが認められ、林野庁長官賞を受賞。
- ・八女地区林業研究連絡協議会は、八女林業の振興と地域林業者の技術向上を目的とした「八女林業振興研修大会」を4年ぶりに開催。地域の林業者をはじめとする78人が参加し、「八女林業を未来に引き継ぐために」を大会テーマに、記念講演や地区林業研究グループの活動報告を実施。
- ・JAふくおか八女たけのこ部会は、たけのこの生産管理の見本となる展示竹林を整備。併せて部会員をはじめとするたけのこ生産の関係者を対象とした生産管理講習会を開催。会員が伐竹手法や今後の肥培管理について理解を深めることで、シーズンを通じた安定出荷を目指す。
- ・福岡県八女森林組合は、花粉が少ないスギの苗木を供給するため、4年度から母樹園を造成、5年度は少花粉スギの母樹200本を植栽。9年の出荷を目指す。

地域のトピック

○森林管理道「仁田坂～国武線」が全線開通

- ・仁田坂～国武線は、八女市星野村字屋敷ノ上から同市星野村字コウカ原を結ぶ全長10,627m、幅員4.0mの森林管理道。
- ・平成21年に着工、令和5年に全線が開通し、林道からの間伐等による森林整備が進む。
- ・林道「石割岳線」や県道「浮羽石川内線」、市道に連絡しており、全線開通によって、より効率的な木材生産が図られ、地域の林業振興に寄与。



森林管理道「仁田坂～国武線」全景

6 行橋農林事務所管内

■ 農業

- 管内の市町では、地域計画策定の先行実践区域である築上町八津田地区が実施した意向調査、現況地図の作成及び目標地図の作成手法を共有。今後、関係機関が一丸となり、地域計画策定に向けた取組を推進。
- 管内では、近年の「シャインマスカット」の人気を受け、ぶどう栽培希望者が増加。これに伴い、京築普及指導センターでは、栽培技術習得や生産者相互の交流のため、「京築ぶどう研究会」を設立。
- J A福岡京築いちご部会では、栽培技術の向上を目的に、ハウス内の温度、湿度、照度及び炭酸ガス濃度を測定する環境測定機器の導入を推進。高収量生産者とのハウス内環境や生育の比較が可能となり、生育に応じた適切な栽培技術を学ぶことで、新規栽培者2人が県平均以上の単収を達成。
- 令和4年度の「築上きくいもふりかけ」に続き、株式会社瑞穂の「豊前姫かほりごぼ^{みずほ}う茶」が令和5年度ふくおか6次化商品セレクションで福岡県知事賞を受賞。県の6次産業化発展事業を活用して「帆柱和紅茶」、「冷凍あまおうパフェ」といった商品も誕生。
- 京築地域農業・農村活性化協議会では、近年、農作物や生活環境への被害が問題となっている特定外来生物のアライグマについて、その生態や防除対策への理解を深めるための研修会を開催。農作物被害を防ぐため、農業者自身の狩猟免許取得を推進。
- 行橋市の稲童地区、豊前市の三毛門北部地区、築上町の安武4地区では、担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地中間管理機構と連携し、農地の集団化・大区画化を行う農地整備事業に着手。また、これに伴い設立された稲童土地改良区では県内初の女性理事長が就任。

地域のトピック

○令和5年度全国麦作共励会（集団の部）で全国米麦改良協会会長賞を受賞

- 築上町の農事組合法人今津の里が農林水産大臣賞に次ぐ全国米麦改良協会会長賞を受賞。
- 堆肥や土壌改良資材の投入による土づくりを行い、排水対策・土入れといった基本的管理作業を徹底し、高い収量・品質を達成。
- 経営面では、築上町が製造するし尿処理液肥や汚泥肥料といった低コスト資材を活用して経費を削減。機械の点検・整備は、組合員自らが実施。
- 地域の防風林の除草作業や小学生の農作業体験を積極的に行うなど、地域農業の重要な担い手として活躍。



全国米麦改良協会会長賞を受賞した
農事組合法人 今津の里

■ 林業

- ・みやこ町の丸山健二^{まるやまけんじ}氏は、適切な施肥と親竹管理により良質なたけのこを生産。その生産林が評価され、第 48 回福岡県竹林品評会で、管内初の農林水産大臣賞を受賞。
- ・令和 3 年度から中国に向けた原木輸出に取り組んでいる「福岡京築・大分北部地域連携木材輸出協議会」では、中津港で輸出材の径級や材質に関する研修会を実施し、30cm 以上の大径材も需要があることが改めて認識され、今後は、大径材の出荷を促進し、更なる輸出量の増加を目指す。
- ・京都森林組合では、新たな経営理念と経営方針を設定し、原木生産の取組を強化していくという方向性を職員全員で共有。今後は、理念の実現に向けて、普及指導員と連携しながら中長期計画を策定する予定。
- ・「京築ヒノキと暮らすプロジェクト（ちくらす）※」では、都市住民に森林と海の大切さを伝えるために、福岡市の水族館で木育イベントを開催。ちくらすの活動を紹介するパネルを展示するとともに、京築ヒノキを材料に形取った「スナメリフィギュア」を紙やすりで磨き上げるワークショップや、山と海のつながりに関する講話を実施。「ヒノキの香りに癒された」、「磨かれたフィギュアの木目が綺麗だった」、「森林の大切さが良く分かった」といった感想が聞かれ、好評を博す。

※京築のヒノキと暮らすプロジェクト（ちくらす）：平成 27 年度から開始した京築地区森林・林業推進協議会と地元の大学等による産学官連携で、京築ヒノキの新たな活用方法を提案する取組。

地域のトピック

○森林基幹道「西犀川線」が全線開通

- ・京都郡みやこ町と田川郡赤村を結ぶ森林基幹道「西犀川線」が平成 11 年度の着工から 25 年の年月を経て、令和 5 年 11 月に全線開通。
(総延長 25,353m、幅員 5.0m、利用区域内の森林面積 1,827ha)
- ・町道に連絡しており、^{ほらいがわ}祓川、今川上流域の林業生産性の向上だけでなく、生活道路や災害時の迂回路としての役割も期待。
- ・周辺には鷹岨^{たかくつごんげん}権現をはじめとする史跡もあるため、観光振興にも寄与。



西犀川線 3-2 工区

— 付属統計・資料 —

① 農業産出額

(単位：億円)

	福岡県					全国		都道府県計	九州計	
	平成30	令和元	2	3	4年	令和3	4年	令和4年	令和4年	
農業産出額	2,124	2,027	1,977	1,968	2,021	88,384	90,015	90,147	18,208	
耕種	計	1,703	1,626	1,584	1,560	1,608	53,787	54,772	54,909	9,065
	米	429	376	344	327	328	13,699	13,946	14,015	1,408
	麦類	30	34	27	34	32	709	647	663	x
	雑穀・豆類	20	15	20	11	15	775	798	817	42
	いも類	9	11	12	13	9	2,358	2,199	2,123	583
	野菜	729	702	707	668	686	21,467	22,298	22,298	4,298
	果実	229	239	239	257	266	9,159	9,232	9,232	1,353
	花き	172	168	159	165	185	3,306	3,493	3,493	667
	工芸農作物	27	26	22	24	26	1,727	1,551	1,551	492
	種苗・苗木類・その他	59	56	56	61	60	587	607	717	x
畜産	計	408	389	383	397	402	34,048	34,678	34,673	8,978
	肉用牛	73	66	66	75	83	8,232	8,257	7,912	3,199
	乳用牛	100	100	95	97	89	9,222	9,013	8,844	771
	生乳	82	82	78	83	78	7,861	7,916	7,917	690
	豚	49	49	51	47	54	6,360	6,713	6,775	2,042
	鶏	180	168	164	170	168	9,364	9,716	10,162	2,908
	鶏卵	122	111	111	113	111	5,470	5,638	5,716	750
	その他畜産物 (養蚕含む)	5	6	8	7	8	869	979	979	57
加工農産物	14	12	10	10	12	549	565	565	166	
生産農業所得	957	918	921	904	890	33,479	31,051	31,826	6,701	

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

② 林業産出額

(単位: 千万円)

		平成30	令和元	2	3	4年	全国 (令和4年)
林業 産出額	木材生産	258	223	187	239	274	36,046
	針葉樹	249	212	177	234	269	27,878
	スギ	186	146	128	157	182	16,745
	ヒノキ	62	64	48	75	82	5,657
	アカマツ クロマツ	1	2	1	1	1	477
	広葉樹	7	10	9	5	5	1,453
	竹材	2	1	1	0	0	47
	薪炭生産	4	4	4	3	3	639
	栽培きのご類生産	1,178	1,162	1,257	1,109	1,064	20,795
	生しいたけ	34	37	45	40	50	5,769
	乾しいたけ	4	5	6	7	8	777
	えのきたけ	113	93	115	107	116	2,593
	ぶなしめじ	570	555	583	490	491	4,853
	まいたけ	x	309	319	266	234	3,214
	エリンギ	102	107	125	118	95	1,758
	林野副産物採取	7	12	9	10	14	586
計	1,447	1,400	1,457	1,362	1,355	58,066	
生産林業所得	-	-	-	-	-	30,700	

資料: 農林水産省「林業産出額」

注1: 原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

注2: 林業産出額のピークは、昭和55年の1,766千万円。

注3: 「林野副産物採取」については、「野生鳥獣」の産出額を含んでいる。

注4: 主要な品目のみを表示している。

③ 漁業産出額

(単位：百万円)

福岡県	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
漁業総産出額(A+B)	30,123	26,054	30,752	30,680	35,143	29,532	29,266	30,887	28,651	29,484
海面漁業総産出額(A)	29,360	25,475	30,201	30,190	34,659	29,122	28,897	30,549	28,326	29,190
海面漁業	15,983	12,482	14,302	12,101	12,407	13,066	10,838	8,888	10,923	12,486
うち 遠洋漁業	3,706	1,831	1,967	850	898	1,203	-	-	-	-
うち 沖合漁業										
うち 沿岸漁業	12,232	10,651	12,334	11,251	11,509	11,863	10,838	8,888	10,923	12,486
海面養殖業	13,422	12,993	15,899	18,089	22,252	16,056	18,059	21,661	17,403	16,703
うち 板ノリ生産(暦年)	12,546	12,245	15,011	17,206	21,316	15,265	17,414	20,229	15,958	15,250
内水面漁業生産額(B)	763	579	551	490	484	410	369	338	325	294
内水面漁業	419	220	184	155	122	118	128	124	129	103
内水面養殖業	344	359	367	335	362	292	241	214	196	191

(単位：億円)

全国	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
漁業総産出額(A+B)	14,139	14,809	15,621	15,596	15,714	15,396	14,686	13,178	13,736	15,747
海面漁業総産出額(A)	13,320	13,922	14,629	14,505	14,566	14,230	13,495	12,078	12,526	14,372
海面漁業	9,439	9,663	9,957	9,617	9,587	9,369	8,693	7,721	8,020	9,161
うち 遠洋漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち 沖合漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち 沿岸漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海面養殖業	3,882	4,259	4,673	4,887	4,979	4,861	4,802	4,357	4,505	5,211
うち 板ノリ生産(暦年)	687	695	820	1,002	1,167	945	942	1,043	714	780
内水面漁業生産額(B)	818	887	992	1,091	1,148	1,167	1,190	1,100	1,210	1,375
内水面漁業	168	177	184	198	198	185	164	165	154	155
内水面養殖業(※)	650	710	809	894	949	982	1,027	935	1,056	1,219

資料：農林水産省「漁業産出額」、水産振興課調べ
 ※平成30年からのしきごい含む

④ 食料自給率

(ア)食料自給率

		昭和	50	60	平成			17	22	25	26	27	28	29	30	令和	2	3	4年度
		40			2	7	12								元			(概数)	
品 目 別 自 給 率	米	95	110	107	100	104	95	95	97	96	97	98	97	96	97	97	97	98	99
	小麦	28	4	14	15	7	11	14	9	12	13	15	12	14	12	16	15	17	15
	大麦・はだか麦	73	10	15	13	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	12	12	12	12
	いも類	100	99	96	93	87	83	81	76	76	78	76	74	74	73	73	73	72	70
	かんしょ	100	100	100	100	100	99	93	93	93	94	94	94	94	95	95	96	95	96
	ばれいしょ	100	99	95	90	83	78	77	71	71	73	71	69	69	67	68	68	67	65
	豆類	25	9	8	8	5	7	7	8	9	10	9	8	9	7	7	8	8	7
	大豆	11	4	5	5	2	5	5	6	7	7	7	7	7	6	6	6	7	6
	野菜	100	99	95	91	85	81	79	81	79	79	80	80	79	78	79	80	80	79
	果実	90	84	77	63	49	44	41	38	40	42	41	41	40	38	38	38	39	39
	みかん	109	102	106	102	102	94	103	95	103	104	100	100	100	100	103	101	103	102
	りんご	102	100	97	84	62	59	52	58	55	56	59	60	57	60	56	61	58	59
	肉類(鯨肉を除く)	90	77	81	70	57	52	54	56	55	55	54	53	52	51	52	53	53	53
	牛肉	95	81	72	51	39	34	43	42	41	42	40	38	36	36	35	36	38	39
	豚肉	100	86	86	74	62	57	50	53	54	51	51	50	49	48	49	50	49	49
	鶏肉	97	97	92	82	69	64	67	68	66	67	66	65	64	64	64	66	65	64
	鶏卵	100	97	98	98	96	95	94	96	95	95	96	97	96	96	96	97	97	97
	牛乳・乳製品	86	81	85	78	72	68	68	67	64	63	62	62	60	59	59	61	63	62
	魚介類	100	99	93	79	57	53	51	55	55	55	55	53	52	55	53	55	58	54
	うち食用	110	100	86	72	59	53	57	62	60	60	59	56	56	59	55	57	59	56
	海藻類	88	86	74	72	68	63	65	70	69	67	70	69	69	68	65	70	68	67
	砂糖類	31	15	33	32	31	29	34	26	29	31	33	28	32	34	34	36	36	34
	油脂類	31	23	32	28	15	14	13	13	13	13	12	12	13	13	13	13	14	14
	きのこ類	115	110	102	92	78	74	79	86	87	88	88	88	88	88	88	89	89	89
	飼料用を含む穀物全体の自給率	62	40	31	30	30	28	28	27	28	29	29	28	28	28	28	28	29	29
	主食用穀物自給率	80	69	69	67	65	60	61	59	59	60	61	59	59	59	61	60	61	61
	飼料自給率	55	34	27	26	26	26	25	25	26	27	28	27	26	25	25	25	26	26
供給熱量ベースの総合食料自給率	73	54	53	48	43	40	40	39	39	39	39	38	38	37	38	37	38	38	
福岡県	-	-	-	-	-	22	22	21	20	20	20	19	20	20	19	17	20	-	
生産額ベースの総合食料自給率	86	83	82	75	74	71	70	70	66	64	66	68	66	66	66	67	63	58	
福岡県	-	-	-	-	-	43	41	44	42	39	40	40	39	37	36	36	34	-	

注1：米については、国内生産と国産米在庫の取崩しで国内需要に対応している実態を踏まえ、平成10年度から国内生産量に国産米在庫取崩し量を加えた数量を用いて、次式により品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率を算出している。
 自給率＝国産供給量（国内生産量＋国産米在庫取崩し量）／国内消費仕向量×100（重量ベース）
 なお、国産米在庫取崩し量は、22年度が150千トン、23年度が224千トン、24年度が▲371千トン、25年度が▲244千トン、26年度が126千トン、27年度が261千トン、28年度が86千トン、29年度が98千トン、30年度が102千トン、令和元年度が48千トン、2年度が▲300千トン、3年度が▲45千トンである。
 また、飼料用の政府売却がある場合は、国産供給量及び国内消費仕向量から飼料用政府売却数量を除いて算出している。

注2：品目別自給率、穀物自給率及び主食用穀物自給率の算出は次式による。
 自給率＝国内生産量／国内消費仕向量×100（重量ベース）

注3：供給熱量ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物及び加工品については、飼料自給率及び原料自給率を考慮して算出している。
 自給率＝国産供給熱量／供給熱量×100（供給熱量ベース）

注4：生産額ベースの総合食料自給率の算出は次式による。ただし、畜産物及び加工品については、輸入飼料及び輸入食品原料の額を国内生産額から控除して算出している。
 自給率＝食料の国内生産額／食料の国内消費仕向額×100（生産額ベース）

注5：飼料自給率については、TDN（可消化養分総量）に換算した数量を用いて算出している。

注6：福岡県の食料自給率は、国全体の総合食料自給率の基となるデータや都道府県ごとの統計データ等を基にして算出している。

(イ) 諸外国の食料自給率(カロリーベース) (試算)

(単位:%)

	昭和36	40	45	50	55	60	平成2	7	12	17	22	26	27	28	29	30	令和元	2年	3年	4年
	(1961)	(1965)	(1970)	(1975)	(1980)	(1985)	(1990)	(1995)	(2000)	(2005)	(2010)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
オーストラリア	204	199	206	230	212	242	233	261	280	245	182	213	214	202	233	200	169	173	-	-
カナダ	102	152	109	143	156	176	187	163	161	173	225	232	255	257	255	266	233	221	-	-
フランス	99	109	104	117	131	135	142	131	132	129	130	124	132	119	130	125	131	117	-	-
ドイツ	67	66	68	73	76	85	93	88	96	85	93	100	93	91	95	86	84	84	-	-
イタリア	90	88	79	83	80	77	72	77	73	70	62	59	62	63	59	60	58	58	-	-
韓国	-	-	80	-	70	-	63	51	51	45	47	42	43	39	38	35	35	34	32	-
オランダ	67	69	65	72	72	73	78	72	70	62	68	72	64	64	70	65	61	61	-	-
スペイン	93	96	93	98	102	95	96	73	96	73	92	80	83	89	83	100	82	94	-	-
スウェーデン	90	90	81	99	94	98	113	79	89	81	72	80	77	76	78	63	81	80	-	-
スイス	-	-	-	-	-	-	-	-	59	57	52	55	51	48	52	51	50	49	-	-
イギリス	42	45	46	48	65	72	75	76	74	69	69	74	71	65	68	65	70	54	-	-
アメリカ	119	117	112	146	151	142	129	129	125	123	135	133	129	138	131	132	121	115	-	-
日本	78	73	60	54	53	53	48	43	40	40	39	39	39	38	38	37	38	37	38	38

資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算した(酒類等は含まない)。
 スイスについてはスイス農業庁「農業年次報告書」、韓国については、韓国農村経済研究院「食品需給表」による。

注1：日本は年度、それ以外は暦年。

注2：食料自給率(カロリーベース)は、総供給熱量に占める国産供給熱量の割合である。畜産物、加工食品については、輸入飼料、輸入原料を考慮している。

注3：ドイツについては、統合前の東西ドイツを合わせた形で適している。

注4：日本及び上記諸外国以外は、データが不足しているため試算していない。

注5：FAO「Food Balance Sheets」のデータは、過去に遡って修正されることがある。

(ウ) 諸外国の品目別自給率(2020) (試算)

(単位:%)

	年	穀類	穀類内訳			いも類	豆類	野菜類	果実類	肉類	卵類	牛乳・乳製品	魚介類	砂糖類	油脂類
			食用穀物	うち小麦	粗粒穀物										
アメリカ	2020	116	153	154	111	101	195	83	66	114	104	102	63	75	88
カナダ	2020	188	340	375	121	145	386	58	23	144	96	95	86	8	237
ドイツ	2020	103	117	134	84	129	15	40	31	117	75	105	27	122	92
スペイン	2020	71	74	74	70	60	13	227	130	157	118	90	57	27	67
フランス	2020	168	153	166	193	139	74	71	67	104	99	104	30	151	88
イタリア	2020	64	74	63	56	57	33	182	102	82	96	89	17	14	32
オランダ	2020	11	19	20	5	172	0	303	35	295	170	187	129	149	42
スウェーデン	2020	141	133	135	154	87	85	35	6	77	101	80	69	97	22
イギリス	2020	72	60	63	93	87	45	41	14	77	91	89	53	55	47
スイス	2020	49	45	48	57	93	39	48	37	84	63	98	2	56	39
オーストラリア	2020	208	206	226	210	84	221	90	101	155	98	105	33	362	93
日本	2018	28	60	12	1	73	7	78	38	51	96	59	55	34	13
	2019	28	62	16	1	73	7	79	38	52	96	59	53	34	13
	2020	28	64	15	1	73	8	80	38	53	97	61	55	36	13
	2021	29	64	17	1	72	8	80	39	53	97	63	58	36	14
	2022	29	61	15	1	70	7	79	39	53	97	62	54	34	14

資料：農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算した。

注1：穀類のうち、米については玄米に換算している。

注2：食用穀物とは、小麦、ライ麦、米及びその他の食用穀物(日本はそばを含む)の合計である。

注3：粗粒穀物とは、大麦、オート麦、とうもろこし、ソルガム、ミレット及びその他の雑穀(日本は裸麦を含む)の合計である。

注4：牛乳・乳製品については、生乳換算によるものであり、バターを含んでいる。

注5：魚介類については、飼料も含む魚介類全体についての自給率である。

⑤ 過去の主な農林水産業被害（被害額3億円以上）

（単位：百万円）

災害発生日	災害名称種別	農業		林業		水産業		計	
		農産物等	農業用施設等	林産物	林道・林地等	水産物等	漁港等施設	農林水産物	生産施設等
昭和51年6月22日～6月25日	梅雨前線による豪雨	1	-	0	-	0	-	1	628
昭和51年8月3日～8月4日	寒冷前線活動による九州北西部の大雨	0	-	0	-	0	-	0	637
昭和51年9月10日～9月13日	台風17号	9,775	-	1,023	-	9	-	10,807	2,077
昭和52年6月9日～6月10日	梅雨前線による大雨	0	-	0	-	0	-	0	829
昭和52年6月16日～6月17日	梅雨前線による大雨	0	-	0	-	0	-	0	525
昭和52年9月3日	寒冷前線による局地的大雨	94	-	15	-	1	-	109	724
昭和53年6月11日	梅雨前線による大雨	0	-	0	-	0	-	0	1,314
昭和53年9月15日	台風18号	0	-	0	-	0	-	0	2,157
昭和54年6月27日	梅雨前線による大雨	2,330	-	109	-	25	-	2,465	17,925
昭和55年7月30日	梅雨前線の停滞による大雨	707	-	0	-	0	-	707	3,472
昭和55年8月31日	前線の停滞による大雨	6,948	-	0	-	0	-	6,948	13,804
昭和56年6月25日～7月7日	梅雨前線の活動による大雨（竜巻を含む）	360	-	4	-	0	-	364	5,712
昭和57年7月10日～7月25日	昭和57年7月豪雨	208	-	0	-	0	-	208	3,488
昭和58年7月4日～7月5日	梅雨前線による大雨	8	-	109	-	0	-	117	3,735
昭和58年7月15日～7月17日	梅雨前線による大雨	2	-	4	-	0	-	6	1,470
昭和58年9月27日～9月28日	台風10号	501	-	0	-	0	-	501	630
昭和59年1月18日～1月31日	降雪	1,845	-	0	-	0	-	1,845	0
昭和59年6月22日～6月27日	梅雨前線による大雨	0	-	0	-	0	-	0	655
昭和59年8月21日	台風10号	1,008	-	0	-	0	-	1,008	846
昭和60年6月21日～7月6日	梅雨前線による大雨	774	-	15	-	3	-	792	10,084
昭和60年8月31日～9月1日	台風13号	4,947	-	84	-	403	-	5,434	658
昭和60年10月5日	台風20号	0	-	0	-	418	-	418	0
昭和61年6月15日～7月16日	梅雨前線による大雨	217	-	6	-	0	-	223	12,884
昭和62年6月8日～7月26日	梅雨前線	60	-	0	-	150	-	210	3,456
昭和62年8月30日～8月31日	台風12号	3,731	-	37	-	10	-	3,778	460
昭和63年6月1日～6月3日	集中豪雨	526	-	0	-	0	-	527	50
昭和63年6月7日～6月12日	梅雨前線	245	-	0	-	0	-	245	177
昭和63年6月23日～6月24日	集中豪雨	61	-	0	-	0	-	61	2,594
昭和63年7月15日	集中豪雨	0	-	0	-	0	-	0	1,469
昭和63年7月22日～7月23日	集中豪雨	0	-	0	-	0	-	0	733
平成1年7月27日～7月29日	台風11号	177	-	177	-	33	-	387	80
平成1年8月13日～8月14日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	492
平成1年9月1日～9月3日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	1,818
平成2年6月14日～6月16日	梅雨前線豪雨	0	-	0	-	0	-	0	2,759
平成2年6月28日～7月3日	梅雨前線豪雨	1,254	-	59	-	176	-	1,488	11,632
平成3年6月9日～6月10日	梅雨前線大雨	139	-	14	-	0	-	153	824
平成3年6月30日～7月5日	梅雨前線大雨	0	-	0	-	0	-	0	1,352
平成3年7月27日	前線による大雨	0	-	0	-	0	-	0	492
平成3年7月28日～7月30日	台風9号	1,319	-	0	-	0	-	1,319	79
平成3年9月14日	台風17号	15,743	-	523	-	330	-	16,596	4,602
平成3年9月27日	台風19号	25,307	-	31,434	-	838	-	57,579	3,786
平成4年8月8日～8月9日	台風10号	1,640	-	369	-	21	-	2,031	233
平成4年8月12日～8月13日	大雨	0	-	110	-	0	-	110	974
平成5年6月18日～6月19日	大雨	15	-	39	-	0	-	54	1,736
平成5年7月27日～7月29日	台風5・6号	2,239	-	26	-	0	-	2,265	152
平成5年8月9日～8月10日	台風7号	2,349	-	83	-	9	-	2,441	45
平成5年8月19日～8月20日	大雨	0	-	9	-	0	-	9	1,365
平成5年9月3日	台風13号	604	-	103	-	29	-	736	1,535
平成7年6月30日～7月6日	大雨	32	-	0	-	0	-	32	2,053

(単位：百万円)

災害発生日	災害名称種別	農業		林業		水産業		計	
		農産物等	農業用施設等	林産物	林道・林地等	水産物等	漁港等施設	農林水産物	生産施設等
平成8年6月19日～6月21日	梅雨前線による大雨	0	-	0	-	0	-	0	815
平成8年7月18日～7月19日	台風6号	0	-	0	-	0	-	0	405
平成8年8月14日	台風12号	919	-	5	-	80	-	1,004	808
平成9年5月13日～5月14日	大雨	268	-	0	-	0	-	268	703
平成9年6月27日～6月28日	台風8号	48	-	0	-	3	-	51	712
平成9年7月6日～7月13日	7月梅雨前線豪雨	169	-	1	-	0	-	170	4,919
平成9年8月6日～8月7日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	346
平成9年8月12日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	424
平成9年9月16日	台風19号	53	-	1	-	6	-	60	323
平成9年10月14日	落雷・雹	593	-	0	-	0	-	593	0
平成11年6月23日～7月3日	大雨	377	-	8	-	3	-	388	7,646
平成11年9月23日～9月24日	台風18号	7,579	-	344	-	597	-	8,520	564
平成12年8月17日～8月22日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	377
平成13年6月19日～6月25日	大雨	21	-	5	-	16	-	41	2,229
平成13年7月5日～7月6日	大雨	0	-	14	-	0	-	14	960
平成13年7月11日～7月12日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	352
平成15年6月18日～6月19日	台風6号	754	-	0	-	2	-	755	0
平成15年7月11日	大雨	0	-	0	-	0	-	0	408
平成15年7月18日～7月19日	集中豪雨	155	-	1	-	0	-	157	9,747
平成16年6月25日～6月27日	大雨	0	759	1	132	0	0	1	891
平成16年8月29日～8月30日	台風16号	1,599	15	26	13	147	108	1,773	136
平成16年9月6日～9月7日	台風18号	12,624	654	6,606	1,830	310	18	19,540	2,502
平成16年9月28日～9月29日	台風21号	297	32	0	43	0	0	298	75
平成16年10月19日～10月20日	台風23号	370	228	133	923	4	0	508	1,152
平成17年3月20日	福岡県西方沖地震	91	328	4	509	1,844	3,260	1,939	4,097
平成17年7月8日～7月11日	大雨	22	912	0	1,714	0	0	22	2,626
平成17年9月5日～9月7日	台風14号	2,176	455	0	218	37	87	2,213	760
平成18年6月22日～6月26日	大雨	4	933	0	489	0	5	4	1,427
平成18年7月1日～7月5日	大雨	49	405	0	375	0	0	49	780
平成18年9月17日～9月18日	台風13号	8,279	241	50	37	128	86	8,457	363
平成19年7月2日～7月8日	大雨	0	393	0	587	28	0	28	980
平成19年7月9日～7月13日	大雨	84	561	0	0	0	0	84	561
平成19年8月1日～8月3日	台風5号	134	163	0	134	5	1	139	298
平成20年6月19日～6月22日	大雨	22	606	0	113	0	0	22	719
平成21年6月29日～7月1日	大雨	65	560	0	132	0	0	65	692
平成21年7月24日～8月6日	中国・九州北部豪雨	995	3,636	0	4,086	15	0	1,009	7,722
平成22年7月11日～7月16日	大雨	117	1,005	0	1,401	0	0	117	2,407
平成24年7月3日～7月5日	大雨	259	67	0	411	0	0	259	478
平成24年7月13日～8月6日	平成24年7月九州北部豪雨	3,807	12,037	1	8,256	284	395	4,091	20,688
平成24年9月16日～9月18日	台風16号	0	0	0	0	0	450	0	450
平成25年8月30日～9月2日	台風15号、台風17号	0	435	0	82	0	0	0	517
平成26年7月2日～7月3日	大雨	0	412	0	0	0	0	0	412
平成27年8月24日～8月26日	台風15号	1,527	172	0	109	17	0	1,544	281
平成28年1月23日～1月25日	大雪、低温	941	0	0	0	0	0	941	0
平成28年6月19日～7月13日	大雨	24	541	0	419	0	0	24	960
平成29年7月5日～7月6日	平成29年7月九州北部豪雨	4,233	34,687	38	30,149	32	78	4,303	64,914
平成30年7月3日～7月6日	平成30年7月豪雨	3,577	6,830	0	5,152	4	84	3,581	12,066

(単位：百万円)

災害発生日	災害名称種別	農業		林業		水産業		計	
		農産物等	農業用施設等	林産物	林道・林地等	水産物等	漁港等施設	農林水産物	生産施設等
令和元年7月20日～7月23日	大雨	1,124	1,681	0	107	10	0	1,134	1,788
令和元年8月26日～8月30日	大雨	1,695	1,570	0	1,002	5	9	1,700	2,581
令和元年9月22日～9月23日	台風17号	3,396	13	0	0	1	0	3,397	13
令和2年7月5日～7月6日	令和2年7月豪雨	3,546	6,973	0	2,448	190	49	3,736	9,470
令和2年9月4日～9月8日	台風10号	1,092	14	0	0	3	28	1,095	42
令和3年8月11日～8月19日	大雨	2,512	4,537	0	2,804	0	9	2,512	7,350
令和5年6月29日～7月10日	大雨	3,687	24,744	0	7,716	0	2	3,687	32,462

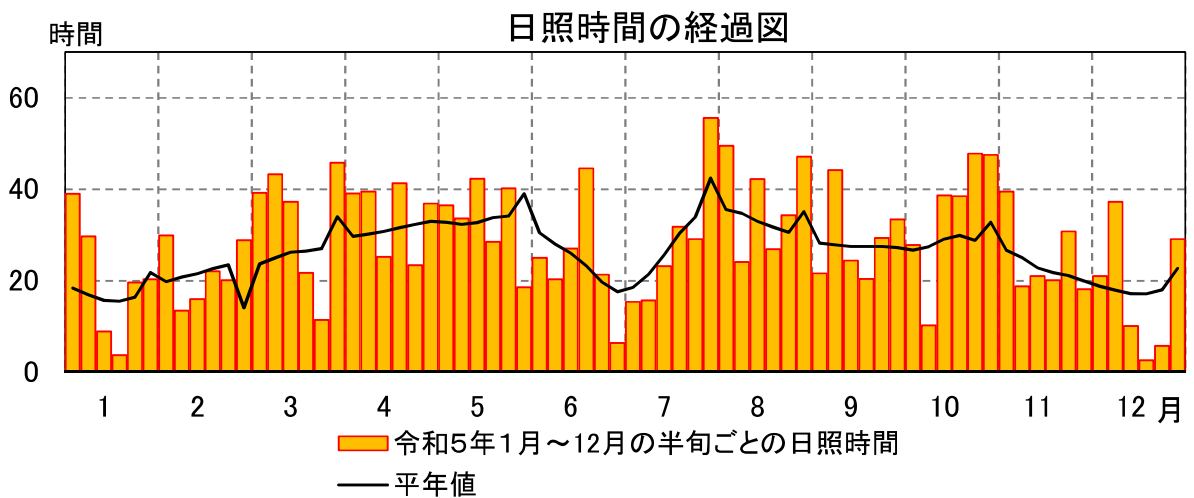
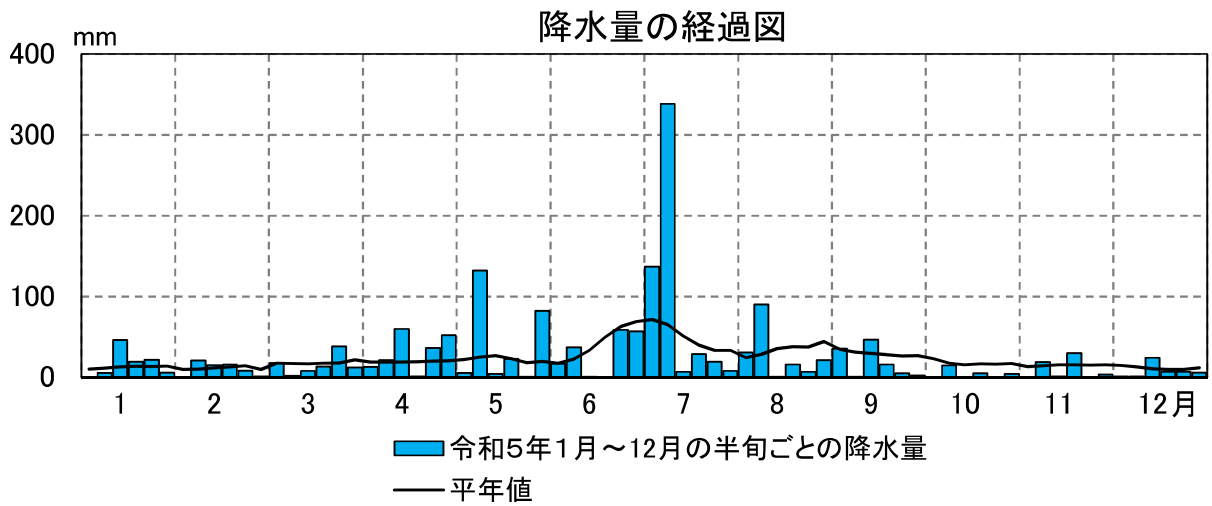
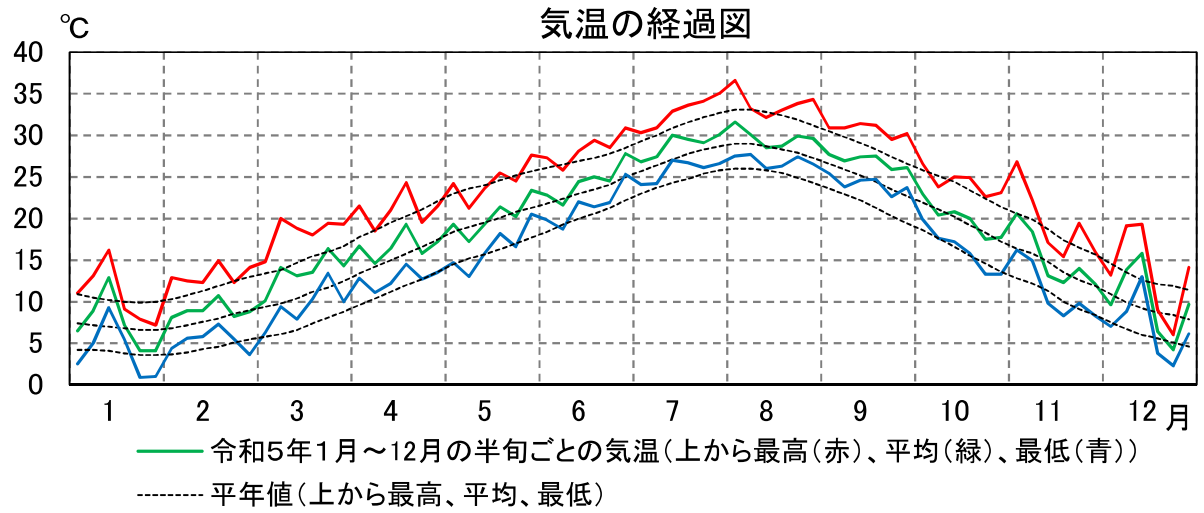
資料：福岡県災害年報、令和5年は農林水産政策課調べ

注1：農産物等には、家畜、畜舎等の被害額を含む。

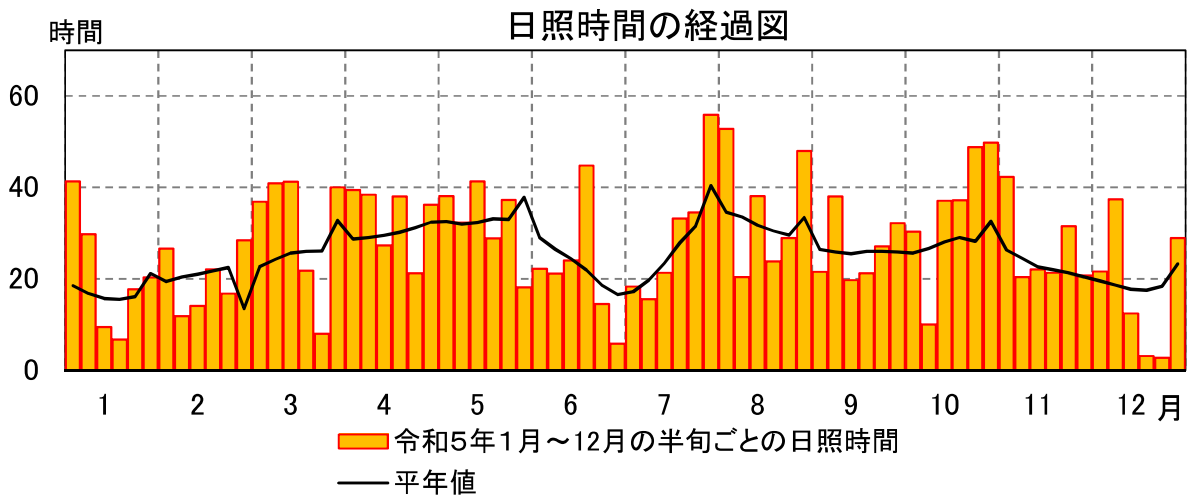
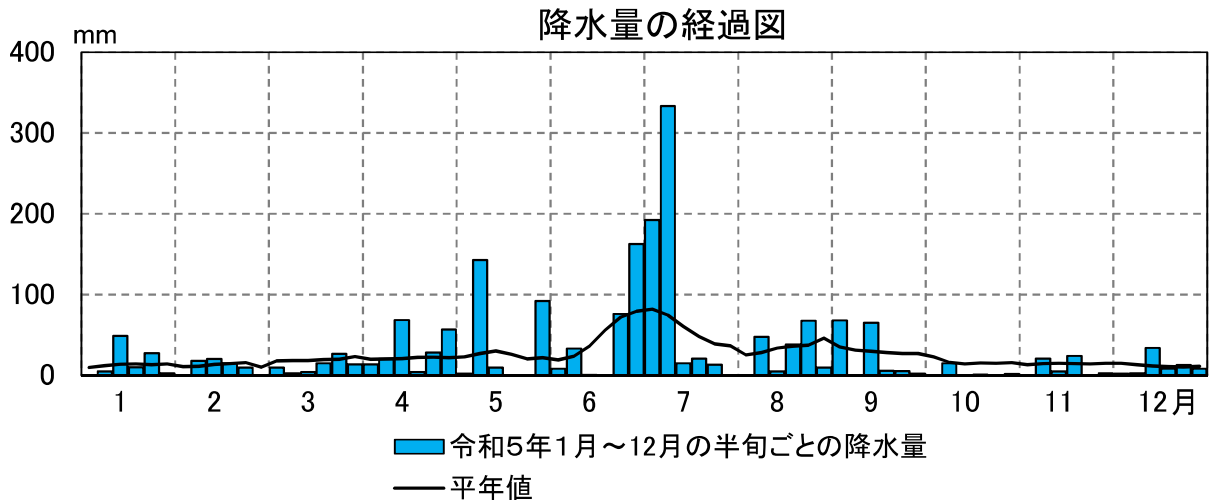
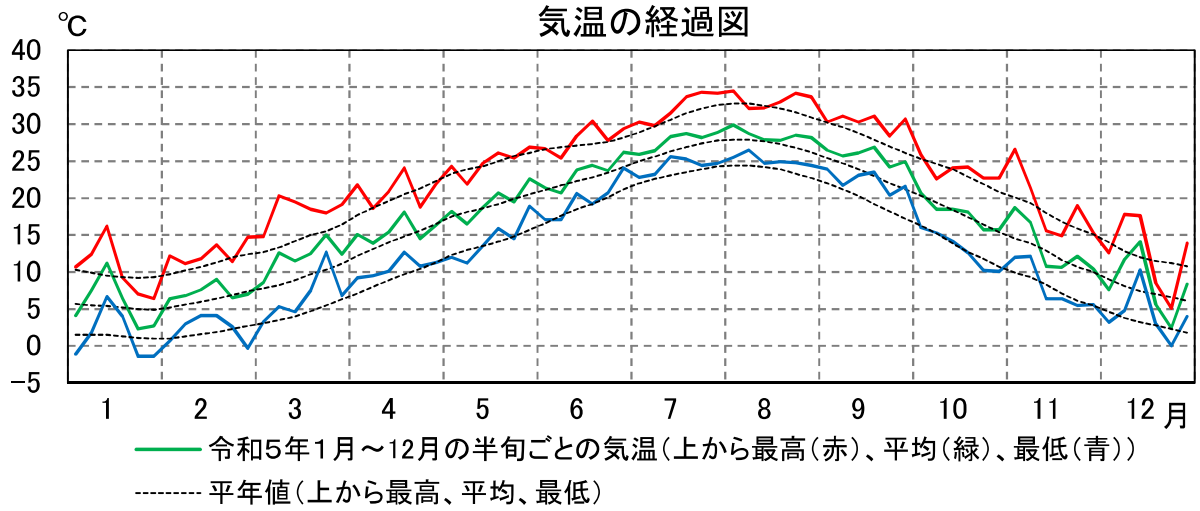
注2：水産物等には、漁具、漁船等を含む。

注3：生産施設等には、公共施設を含まない。

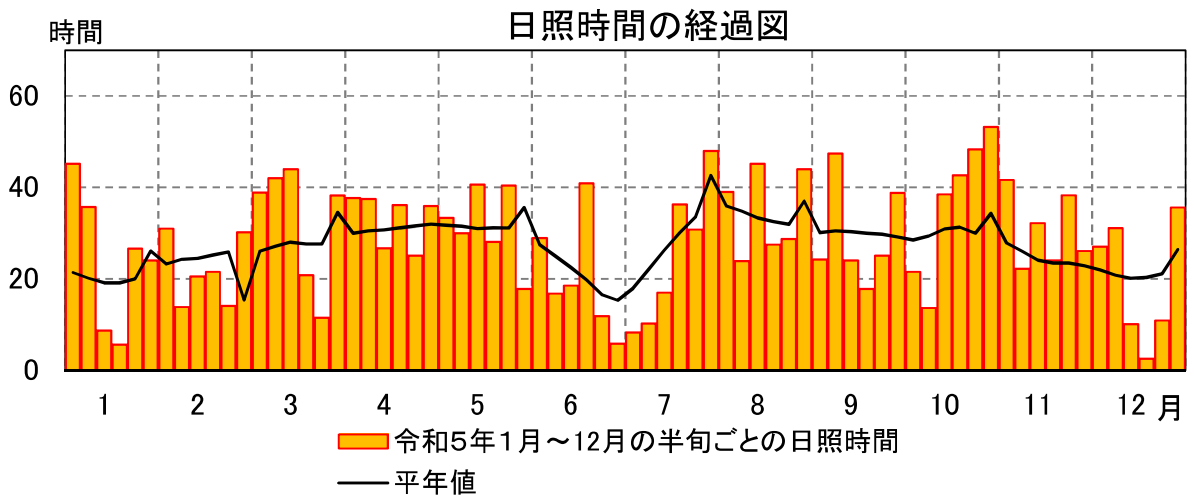
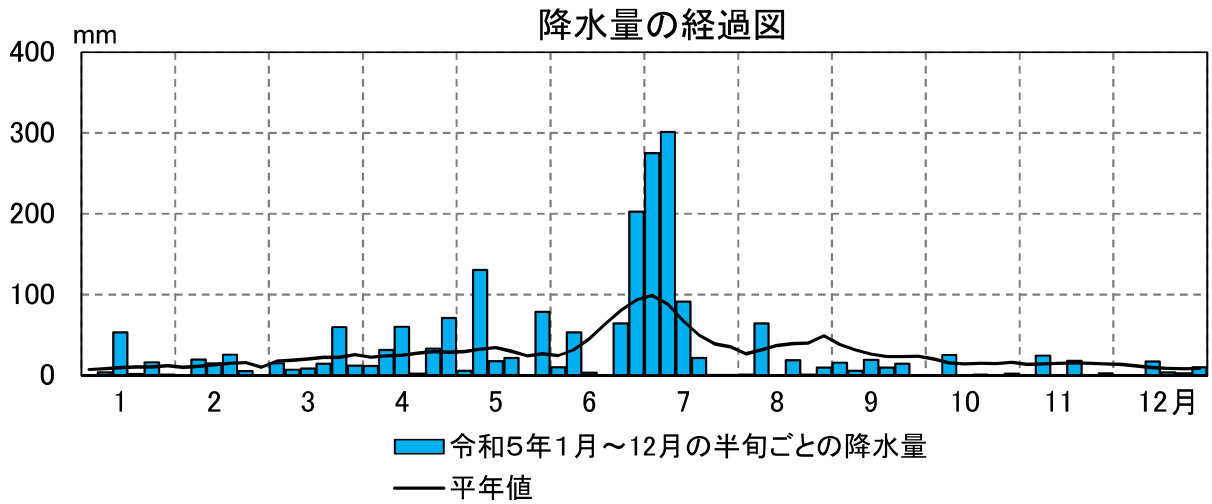
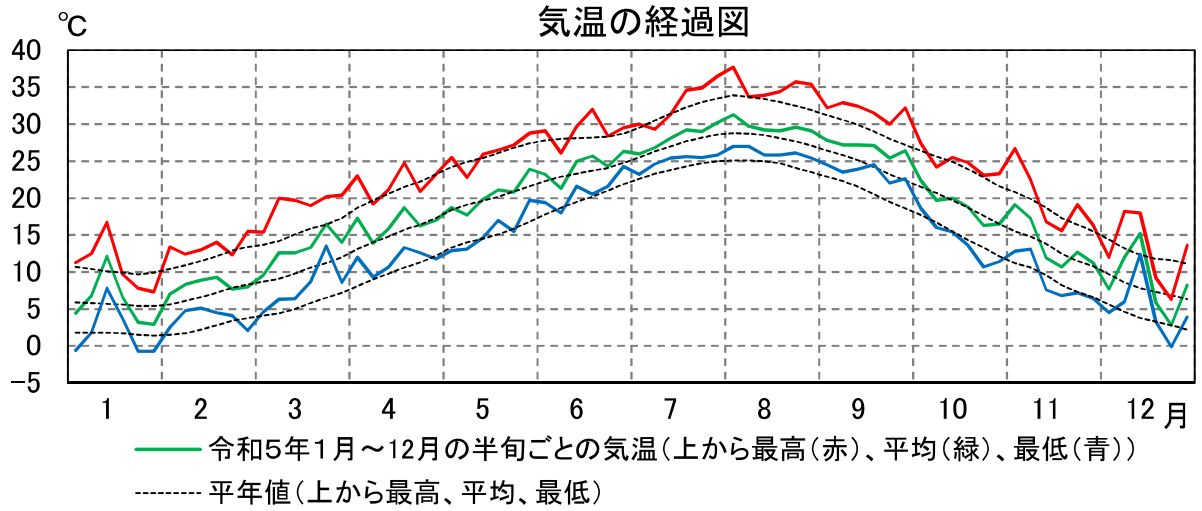
⑥ 気象経過図（福岡市：令和5年1月～12月）



気象経過図（飯塚市：令和5年1月～12月）



気象経過図（久留米市：令和5年1月～12月）



付属統計・資料（農業編）

目 次

I 福岡県農業の構造

1 農家数、農業従事者数

①農家数及び農業経営体数	1
②農業従事者数等	1
③農家人口	1
④農業経営組織別農家数	1
⑤販売金額規模別及び農業経営組織別経営体数	2
⑥経営耕地面積規模別面積	2

2 耕地面積等

⑦耕地面積	3
⑧農業振興地域の土地利用状況	3
⑨農作物作付延べ面積	3
⑩主要農産物の生産流通	4

II 主要品目の生産動向

1 土地利用型（米・麦・大豆）

(1) 米

⑪水稲品種別作付面積	5
⑫主食用旧自主流通米の販売実績	5
⑬カントリーエレベーターの設置状況	6

(2) 麦・大豆

⑭麦種別・品種別作付面積	7
⑮大豆の作付面積・収穫量	7

2 園芸・特産

(1) 野菜

⑯野菜の作付面積・生産量・産出額	8
------------------	---

(2) 果樹

⑰果樹の栽培面積・生産量・産出額	9
------------------	---

(3) 花き・花木

⑱花き・花木の作付面積・出荷数量・産出額	10
----------------------	----

(4) 茶・い草

⑲茶の栽培面積・生産量	11
⑳い草の作付面積・生産量	11

3 畜産

(1) 大家畜

㉑肉用牛の飼養戸数等	12
㉒乳用牛の飼養戸数等	12
㉓飼料作物の作付面積	12

(2) 中小家畜

㉔豚の飼養戸数等	12
㉕採卵鶏の飼養戸数等	13
㉖肉用鶏の飼養戸数等	13

(3) 畜産環境・家畜衛生

㉗畜産環境汚染問題（苦情）の発生状況	13
㉘家畜の監視伝染病の発生状況	13

III 農業・農村の基盤づくり

1 意欲ある人づくり

㉙新規就業者	14
㉚青年農業者等	14
㉛認定農業者	14
㉜女性の基幹的農業従事者数	15
㉝農業委員における女性農業委員数	15
㉞農協理事における女性理事数	15
㉟経営参画する女性農業者数	15
㊱農業法人数	16
㊲農家経済	16
㊳農業物価指数（全国）	16
㊴農業制度資金の融資状況	17
㊵農業共済制度の引受実績	17
㊶農地転用面積	18
㊷農地流動化面積	18
㊸農業経営基盤強化促進事業の実施状況	19

2 農村づくり、環境にやさしい農業の展開

㊹生活環境の整備状況	20
㊺中山間地域農業の概要	20
㊻中山間地域等直接支払制度の実施状況	21
㊼減農薬、減化学肥料栽培に取り組む面積	22
㊽農薬の種類別流通量	22
㊾肥料の流通量	22
㊿バイオマスの発生量と活用状況	22
㊽野生鳥獣による農林水産物被害額	23
㊿狩猟者登録数	23
㊽侵入防止柵の設置状況	23
㊿県内の公設獣肉加工処理施設の設置状況	23

IV 都市と農村の共生

㊽農産物直売所の設置数	24
㊿米飯給食の実施状況	24

V 地域の動向

㊽地域別の主要農業指標	25
㊿地域別の農業構造指標	25
㊽地域別の耕地面積	25
㊿地域別の生産動向	26

VI その他

㊽農協管轄図	28
㊿農林事務所管轄図	29
㊽用語の説明	30

I 福岡県農業の構造

1 農家数、農業従事者数

① 農家数及び農業経営体数

(単位：戸、経営体)

	平成17	22	27		令和2年	
					九州	全国
総農家	74,976	61,981	52,704	41,351	247,411	1,747,079
販売農家	54,515	41,727	34,659	27,187	156,940	1,027,892
主業農家	12,921	10,416	8,713	-	-	-
65歳未満の農業専従者がいる農家	11,208	9,117	7,620	-	-	-
準主業農家	10,590	9,004	5,919	-	-	-
65歳未満の農業専従者がいる農家	3,143	3,264	2,246	-	-	-
副業的農家	31,004	22,307	20,027	-	-	-
自給的農家	20,461	20,254	18,045	14,164	90,471	719,187
農業経営体	55,696	43,085	36,032	28,375	164,560	1,075,705
個人経営体	-	-	-	27,239	157,635	1,037,342
団体経営体	-	-	-	1,136	6,925	38,363

資料：農林水産省「農林業センサス」

注1：「農業専従者」とは、調査期日前1年間に自営農業に150日以上従事した者をいう。

注2：2020年農林業センサスから、主業農家、準主業農家、副業的農家の区分が廃止され、個人経営体、団体経営体の区分が公表されている。調査内容変更により調査未実施のデータは「-」で表している。

② 農業従事者数等

(単位：人)

	平成17	22	27		令和2年	
					九州	全国
農業従事者	152,789	114,399	86,374	64,179	358,506	2,493,672
65歳以上の割合	36.5	39.0	43.9	52.6	52.6	52.5
農業就業人口	95,023	68,091	56,950	-	-	-
65歳以上の割合	54.4	58.2	60.2	-	-	-
基幹的農業従事者	61,188	51,332	45,742	38,077	224,672	1,363,038
65歳以上の割合	53.1	56.0	60.7	66.2	64.5	69.6

資料：農林水産省「農林業センサス」

注1：2020年農林業センサスから、農業就業人口の区分が廃止されている。調査内容変更により調査未実施のデータは「-」で表している。

注2：2020年農林業センサスの調査内容変更により、平成27年までは販売農家、令和2年は個人経営体における人数を記載。

③ 農家人口

(単位：人)

	平成17	22	27		令和2年	
					九州	全国
農家人口	229,395	163,039	123,287	88,460	487,988	3,489,686
14歳以下	24,233	14,662	9,044	6,005	35,404	255,071
15～29	38,657	23,875	14,730	8,374	40,375	317,734
30～59	81,084	55,631	39,098	25,971	139,845	1,031,754
60歳以上	85,421	68,871	60,415	48,110	272,364	1,885,127
65歳以上	70,078	54,826	47,686	39,893	223,415	1,557,110

資料：農林水産省「農林業センサス」

注：2020年農林業センサスの調査内容変更により、平成27年までは販売農家、令和2年は個人経営体における農家人口を記載。

④ 農業経営組織別農家数（販売農家のうち農産物販売のあった農家）

(単位：戸)

	平成17	22	27		令和2年	
					九州	全国
農産物販売農家数	48,037	37,946	31,227	26,303	150,604	978,210
単一経営	31,968	28,069	23,944	20,339	117,985	798,771
稲作	20,229	17,800	14,395	11,600	51,435	478,387
露地・施設野菜	3,953	4,142	3,878	3,855	22,385	108,075
果樹類	3,821	3,332	3,182	2,785	14,740	109,254
畜産	592	430	391	351	14,188	39,803
その他	3,373	2,365	2,098	1,748	15,237	63,252
複合経営（主位部門80%未満）	16,069	9,877	8,228	5,964	32,619	179,439
準単一複合経営	11,386	7,220	5,934	3,968	23,557	126,827
複合経営	4,683	2,657	2,294	1,996	9,062	52,612

資料：農林水産省「農林業センサス」

注1：「単一経営」とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上の経営体をいう。

注2：「準単一複合経営」とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満の経営体をいう。

注3：「複合経営」とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満の経営体をいう。

注4：2020年農林業センサスの調査内容変更により、平成27年までは販売農家、令和2年は個人経営体のうち農産物販売のあった農家または経営体数を記載。

⑤ 販売金額規模別及び農業経営組織別経営体数

(単位：戸)

		単一 経営 複合 経営	単一 経営 農家数	稲作	麦類 作	雑穀 ・ いも 類 ・ 豆類	工芸 農作 物	露地 野菜	施設 野菜	果樹 類	花き ・ 花木	その 他の 作物	酪農	肉用 牛	養豚	養鶏	その 他の 畜産	準単一 複合 経営 及び 複合 経営 農家数
		合計 ①+②	①															②
計	2年	26,303	20,339	11,600	51	87	305	1,471	2,384	2,785	1,129	176	148	81	31	74	17	5,964
	27年	32,172	23,944	14,395	58	130	429	1,464	2,414	3,182	1,337	144	190	74	31	83	13	8,228
50万未満	2年	8,021	7,375	6,442	17	46	50	275	27	351	120	43	1	1	-	2	-	646
	27年	12,110	10,796	9,457	20	94	89	346	40	568	124	49	2	1	1	5	-	1,314
50～100	2年	4,618	3,778	2,883	6	13	46	281	45	374	94	30	4	1	-	-	1	840
	27年	5,155	3,896	2,977	7	13	60	252	29	432	104	17	1	-	-	3	1	1,259
100～300	2年	4,944	3,292	1,666	12	13	61	382	181	775	167	20	2	7	1	4	1	1,652
	27年	5,797	3,448	1,537	17	13	91	390	245	903	229	12	3	4	1	1	2	2,349
300～500	2年	2,184	1,360	319	6	5	35	169	256	407	129	13	4	9	1	4	3	824
	27年	2,168	1,244	198	4	2	44	149	265	432	126	8	5	5	1	4	1	924
500～1,000	2年	2,686	1,765	178	5	7	38	170	645	464	211	16	8	11	3	4	5	921
	27年	3,007	1,904	147	8	3	58	152	732	493	261	7	16	11	3	9	4	1,103
1,000～3,000	2年	2,918	2,095	90	5	2	56	154	1,037	380	285	13	38	11	6	14	4	823
	27年	3,101	2,069	64	2	5	71	146	976	339	350	7	65	19	4	18	3	1,032
3,000～5,000	2年	517	364	17	-	1	12	24	119	29	80	15	45	10	4	8	-	153
	27年	471	297	6	-	-	9	21	68	13	83	14	57	7	7	11	1	174
5,000～1億	2年	258	179	4	-	-	4	8	49	4	33	10	36	15	5	11	-	79
	27年	226	175	7	-	-	3	6	41	2	45	13	30	13	4	10	1	51
1～3億	2年	119	95	1	-	-	2	8	18	-	10	12	10	10	7	16	1	24
	27年	103	86	2	-	-	4	-	11	-	15	10	11	13	7	13	-	17
3～5億	2年	11	11	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	2	3	3	-	-
	27年	16	14	-	-	-	-	-	2	5	-	2	-	1	2	2	-	2
5億以上	2年	27	25	-	-	-	-	-	6	1	-	3	-	4	1	8	2	2
	27年	18	15	-	-	-	-	-	2	-	-	5	-	-	1	7	-	3
1,000万円 以上	2年	3,850	2,769	112	5	3	75	194	1,230	414	408	54	129	52	26	60	7	1,081
	27年	3,935	2,656	79	2	5	87	175	1,103	354	493	51	163	53	25	61	5	1,279
3,000万円 以上	2年	932	674	22	-	1	19	40	193	34	123	41	91	41	20	46	3	258
	27年	834	587	15	-	-	16	29	127	15	143	44	98	34	21	43	2	247
1億円 以上	2年	157	131	1	-	-	3	8	25	1	10	16	10	16	11	27	3	26
	27年	137	115	2	-	-	4	2	18	-	15	17	11	14	10	22	-	22

資料：農林水産省「農林業センサス」

注1：「単一経営」とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上の経営体をいう。

注2：「準単一複合経営」とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満の経営体をいう。

注3：「複合経営」とは、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満の経営体をいう。

⑥ 経営耕地面積規模別面積（農業経営体）

(単位：ha)

	計	0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0
令和2年	61,154	173	1,904	6,222	5,380	4,202	5,506
平成27年	68,316	164	2,480	8,485	7,430	5,438	6,858
	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100ha 以上
令和2年	6,734	7,981	7,681	4,333	4,745	3,116	3,176
平成27年	7,576	7,927	6,258	3,612	3,934	3,680	4,473

資料：農林水産省「農林業センサス」

注：「経営耕地」とは、調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地（けい畔を含む田、樹園地及び畑）をいい、自ら所有し耕作している耕地（自作地）と、他から借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計。土地台帳の地目や面積に関係なく、実際の地目別の面積とした。経営耕地＝所有地（田、畑、樹園地）－貸付耕地－耕作放棄地＋借入耕地

2 耕地面積等

⑦ 耕地面積

(単位：ha)

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
耕地面積計	89,900	86,500	84,500	79,700	79,300	78,900	78,400
水田	69,800	67,900	66,800	64,200	64,000	63,800	63,500
普通畑	8,430	7,950	8,140	7,430	7,370	7,330	7,210
樹園地	11,400	10,400	9,280	7,940	7,770	7,620	7,480
牧草地	264	235	227	176	176	176	173

資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注1：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑧ 農業振興地域の土地利用状況

(単位：ha)

	平成12	17	22	27	令和2	3	4年
農業振興地域	241,394	240,455	239,921	239,589	238,795	238,694	238,638
農用地(A)	99,647	98,307	97,365	94,250	91,151	90,917	90,708
山林原野	70,510	71,071	71,234	73,656	75,140	75,108	75,089
その他	71,237	71,077	71,322	71,683	72,504	72,669	72,841
農用地区域	81,700	79,678	77,944	77,677	76,849	76,744	76,814
農用地(B)	78,064	76,855	75,056	73,479	71,433	71,458	71,399
農用地区域設定率 (B/A×100)	78.3%	78.2%	77.1%	78.0%	78.4%	78.6%	78.7%

資料：水田農業振興課調べ

注1：平成17年までは前年度の3月末時点、平成22年は前年度の12月1日時点、平成27年度以降は12月31日時点。

注2：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑨ 農作物作付延べ面積

(単位：ha)

		平成12	17	22	27	令和2	3	4年	九州 (令和4年)	全国 (令和4年)
作付 面積 (ha)	稲(水陸稲) (注1)	42,600	41,600	39,400	36,500	-	-	-	-	-
	水稲	-	-	-	-	34,900	34,600	33,400	150,100	1,355,000
	麦類 (注2)	17,000	19,900	20,400	21,700	22,100	22,300	22,700	60,800	290,600
	かんしょ	267	210	170	149	-	-	-	-	-
	雑穀 (注3)	61	87	57	51	-	-	-	-	-
	豆類	6,350	7,880	7,970	8,490	-	-	-	-	-
	大豆	-	-	-	-	8,220	8,190	8,160	21,000	151,600
	野菜 (注4)	12,800	11,200	10,400	10,200	-	-	-	-	-
	果樹	9,460	8,230	7,390	6,220	-	-	-	-	-
	工芸農作物	1,820	1,750	1,740	1,710	-	-	-	-	-
	飼肥料作物 (注5)	8,230	5,740	4,890	5,890	5,210	-	-	-	-
	その他作物 (注6)	4,480	3,980	3,920	3,460	26,000	-	26,200	288,600	2,083,000
合計面積	103,000	100,600	96,300	94,400	91,300	91,200	90,500	523,200	3,947,000	
耕地面積 (ha)	94,400	89,900	86,500	84,500	79,700	79,300	78,900	511,100	4,325,000	
耕地利用率 (%) (注7)	109.1	111.9	111.3	111.7	114.6	115.0	114.7	102.4	91.3	
本地利用率 (%) (注8)	114.7	117.5	117.0	117.3	120.1	120.6	120.2	109.0	95.0	

資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注1：H29から陸稲、かんしょ、小豆、いんげん、らっかせい、野菜、茶、飼料作物、桑、花き、花木、種苗等は、その他作物に含まれる。

注2：麦類の面積は、6麦の子実用のみ。

注3：雑穀の面積は、乾燥子実で未成熟との兼用を含む。

注4：野菜の面積は、とうもろこしと豆類の未成熟及びびわいれいしょを含む。

注5：飼料作物の面積は、稲、雑穀、豆類等のほか麦類の青刈りを含む。

注6：その他作物の面積は、花木、苗木、花き、種苗、芝等のほか、麦類その他用(農作物の保護用、生花用等)を含む。

注7：合計を耕地面積計で除した100分率。

注8：合計を田畑本地面積計で除した100分率。

⑩ 主要農産物の生産流通(令和4年)

(単位：t、%)

	県内 生産量 A	出荷量 B	自家消 費量等 C= A-B	県内市場 入荷量 D	県内産		県外産		備考	
					E	割合 G=E/D ×100	F	割合 H=F/D ×100		
米	164,000	98,614	65,386	-	-	-	-	-	農林水産省 九州農政局 福岡県拠点 B：検査結果	
小麦	75,400	74,205	1,195	-	-	-	-	-		
大豆	9,790	9,737	53	-	-	-	-	-		
野 菜	だいこん	13,900	11,600	2,300	21,491	5,030	23.4	16,462	76.6	農林水産省「野 菜生産出荷統 計」
	かぶ	3,540	3,100	440	800	783	97.9	17	2.1	
	にんじん	2,490	2,040	450	15,532	147	0.9	15,385	99.1	
	はくさい	5,940	4,640	1,300	57,480	473	0.8	57,007	99.2	
	キャベツ	24,400	22,000	2,400	43,880	10,514	24.0	33,366	76.0	
	ほうれんそう	9,340	8,530	810	1,962	1,299	66.2	663	33.8	
	ねぎ	6,540	5,980	560	7,182	816	11.4	6,366	88.6	
	たまねぎ	3,930	2,220	1,710	42,962	359	0.8	42,604	99.2	
	なす	17,500	16,000	1,500	6,336	3,841	60.6	2,496	39.4	
	トマト	18,900	17,300	1,600	13,062	3,529	27.0	9,533	73.0	
	きゅうり	9,310	8,490	820	13,181	3,435	26.1	9,747	73.9	
	レタス	15,500	14,800	700	21,308	3,589	16.8	17,720	83.2	
	ブロッコリー	3,580	3,270	310	3,798	1,623	42.7	2,175	57.3	
	いちご	16,800	15,900	900	4,516	2,628	58.2	1,888	41.8	
果 樹	みかん	17,600	16,600	1,000	8,822	2,574	29.2	6,248	70.8	農林水産省 「果実生産出荷 統計」 ※すももは、園 芸振興課調べ
	早生	14,100	13,400	700	6,091	2,235	36.7	3,856	63.3	
	普通	3,470	3,200	270	2,732	338	12.4	2,394	87.6	
	ぶどう	7,170	6,840	330	1,990	982	49.3	1,008	50.7	
	なし	7,530	7,180	350	3,666	1,199	32.7	2,467	67.3	
	かき	17,700	16,100	1,600	4,383	3,086	70.4	1,297	29.6	
	すもも	420	417	3	246	117	47.6	129	52.4	
畜 産 物	肉牛	13,576	13,576	0	54,440	8,572	15.7	45,868	84.3	肉牛は農林水産省「畜 産物流通統計」、生乳 は農林水産省「牛乳 製品統計」 単位：肉牛、鶏卵、 生乳はt
	鶏卵	43,249	-	-	-	-	-	-	-	
	生乳	68,142	68,142	0	163,026	55,279	33.9	107,747	66.1	

注1：出荷量は生食用、加工用として販売した量。なお、生産者が自家消費したもの及び種子、飼料用として販売したものを含まない。

注2：自家消費量等には、市場外流通も含む。

注3：野菜・果実の県内市場入荷量は、福岡市及び北九州市中央卸売市場の入荷量。

注4：肉牛・肉豚の県内市場総入荷量は、県内のと畜頭数とした。

注5：生乳の県内市場総入荷量は、県内生産量から県外移出量を差し引いたものに、県外移入量を合わせたもの。

注6：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

Ⅱ 主要品目の生産動向
1 土地利用型(米・麦・大豆)
(1)米

⑪ 水稲品種別作付面積

	品 種 別	作 付 面 積 (ha)							5 年産 品種別割合 (%)		
		平成17	22	27	令和2	3	4	5年	水稲 全体	うるち ・もち 別	
うるち	極早生	コシヒカリ	1,020	580	410	370	380	350	330	1.0	1.0
		夢つくし	14,200	15,600	14,060	13,650	13,750	13,830	13,790	42.0	43.0
		恵つくし	—	—	—	—	—	—	70	0.2	0.2
	早生	ほほえみ	220	—	—	—	—	—	—	—	—
		つくし早生	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		つくしろまん	1,710	720	220	180	180	160	50	0.2	0.2
	中生 ～晩生	元気つくし	—	1,090	6,030	6,630	6,430	6,170	6,310	19.2	19.7
		ヒノヒカリ	20,200	18,300	12,800	10,570	10,320	9,610	8,860	27.0	27.6
		つやおとめ	—	300	240	140	150	90	90	0.3	0.3
		ニシホマレ*	1,250	170	—	—	—	—	—	—	—
		ツクシホマレ	210	210	210	380	390	370	430	1.3	1.3
		実りつくし	—	—	10	370	440	390	330	1.0	1.0
		レイホウ *	110	—	—	—	—	—	—	—	—
酒造好適米	山田錦	230	200	340	290	270	260	350	1.1	1.1	
その他うるち		570	600	930	1,380	1,370	1,310	1,370	4.2	4.3	
うるち 小計		40,120	38,050	35,380	34,100	33,800	32,640	32,080	97.8	100.0	
もち	早生	はつもち	—	—	—	—	—	—	—	—	
	晩生	ひみこもち	180	—	—	—	—	—	—	—	
		ヒヨクモチ	1,240	1,270	1,010	720	710	670	630	1.9	87.5
	その他もち		60	80	110	80	100	90	80	0.2	11.1
もち 小計		1,480	1,350	1,120	800	810	760	720	2.2	100.0	
合 計		41,600	39,400	36,500	34,900	34,600	33,400	32,800	100.0	—	

資料：農林水産省、水田農業振興課調べ

注1：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

注2：*は、酒造用一般米。

⑫ 主食用旧自主流通米の販売実績 (単位：千玄米 t)

	計				
	県内向		県外向		
	令和3	4年産	令和3	4年産	
夢つくし	16.7	17.9	1.1	3.3	21.2
元気つくし	14.7	13.8	1.3	3.3	17.1
ヒノヒカリ	14.7	11.5	3.4	4.8	16.3
コシヒカリ	1.0	0.7	0.1	0.3	1.0
その他	3.4	2.8	0.8	0.9	3.7
計	50.5	46.5	6.6	12.6	59.2

資料：水田農業振興課調べ

注1：旧自主流通米：平成16年3月まで「自主流通米」として流通した米。それまで自主流通法人であったJA全農ふくれん、県主要食糧集荷商業協同組合が集荷したもの。

注2：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑬ カントリーエレベーターの設置状況

設置年度	市町村名	事業主体	貯蔵能力(稲換算)	区 分
昭和42	大川市	大川市農協	2,750t (稲 2,000t、小麦 900t)	モ
44	大川市	大川市農協	2,500t (稲 2,000t、小麦 600t)	パ
45	柳川市	昭代農協	2,000t (稲 2,000t) D S 500t	パ
46	大和町	皿垣開農協	2,000t (稲 2,000t) D S 500t	パ
47	筑後市	筑後市農協	2,000t (稲 2,000t、小麦 1,500t、大麦 250t) D S 500t	パ
50	三潞町	三潞町農協	2,500t (稲 2,000t、小麦 600t)	二
51	三輪町	大三輪農協	3,000t (稲 2,000t、小麦 1,200t) D S 500t	二
53	柳川市	柳川農協	3,500t (稲 2,500t、小麦 1,200t) D S 500t	二
54	大和町	福岡大和農協	2,000t (稲 2,000t)	生
	三橋町	三橋町農協	2,500t (稲 1,000t、小麦 1,200t)	生
	大和町	皿垣開農協	2,000t (稲 1,000t、小麦 1,200t)	生
55	津屋崎町	宗像農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	生
	小郡市	小郡市農協	3,600t (稲 2,400t、小麦 1,440t)	生
	三輪町	大三輪農協	2,500t (稲 1,500t、小麦 1,000t)	生
56	前原町	糸島郡農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	生
	筑紫野市	筑紫農協	4,800t (稲 3,600t、小麦 1,440t)	生
	甘木市	甘木市農協	3,000t (稲 2,000t、小麦 1,000t)	生
	瀬高町	瀬高町農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	生
57	岡垣町	遠賀郡農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	二
	吉井町	福岡吉井町農協	4,200t (稲 3,000t、小麦 1,440t)	新
	田主丸町	田主丸町農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	新
	城島町	城島町農協	3,000t (稲 2,400t、小麦 720t)	新
58	三橋町	三橋町農協	2,500t (稲 1,500t、小麦 1,200t)	新
	行橋市	行橋市農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	新
	高田町	高田町農協	3,600t (稲 2,700t、小麦 1,080t)	新
59	久留米市	久留米市農協	3,000t (稲 2,250t、小麦 900t)	構
	大木町	大木町農協	3,000t (稲 2,250t、小麦 900t)	新
	三潞町	三潞町農協	2,500t (稲 1,750t、小麦 900t)	新
60	甘木市	甘木市農協	3,000t (稲 2,250t、小麦 900t)	新
	夜須町	夜須町農協	4,200t (稲 3,000t、小麦 720t、大麦 600t)	新
	宗像市	宗像農協	2,900t (稲 2,000t、小麦 750t、大麦 150t) D S 500t	新
61	川崎町	田川農協	3,000t (稲 3,000t、小麦 720t)	新
	久山町	粕屋農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	新
	田主丸町	田主丸町農協	3,600t (稲 3,000t、小麦 720t)	緊
62	柳川市	柳川農協	3,000t (稲 2,100t、小麦 1,080t)	体
	久留米市	久留米市農協	3,000t (稲 2,250t、小麦 900t)	緊
	瀬高町	瀬高町農協	3,000t (稲 2,100t、小麦 1,080t)	緊
	豊前市	豊前市農協	2,500t (稲 1,750t、小麦 600t、大麦 250t)	緊構
63	二丈町	糸島郡農協	4,800t (稲 4,200t、小麦 360t、大麦 300t)	体
	嘉穂町	嘉穂町農協	3,300t (稲 3,000t、小麦 360t)	体
	筑後市	筑後市農協	3,600t (稲 2,700t、小麦 1,080t)	体
	朝倉町	朝倉町農協	4,200t (稲 3,000t、小麦 1,440t)	体
2	久留米市	久留米市農協	2,400t (稲 935t、小麦 1,052t)	構
	夜須町	夜須農協	3,600t (稲 2,400t、小麦 720t、大麦 600t)	構
	小郡市	小郡市農協	3,000t (稲 2,400t、小麦 720t)	体
3	新吉富村	築上東部農協	2,000t (稲 1,000t、小麦 600t) D S 500t	構
	前原市	糸島郡農協	3,000t (稲 2,500t、小麦 500t)	構
	大木町	大木町農協	2,250t (稲 1,750t、小麦 600t)	体
	久留米市	久留米市農協	3,000t (稲 2,500t、小麦 600t)	体
4	朝倉町	朝倉町農協	2,100t (稲 1,800t、小麦 360t)	先
6	北野町	みい農協	3,000t (稲 2,400t、小麦 360t、大麦 300t)	先
	椎田町	福岡豊築農協	2,500t (稲 2,250t、小麦 250t)	先
7	飯塚市	飯塚市農協	2,000t (稲 2,000t)	先
	築城町	福岡豊築農協	2,000t (稲 2,000t)	防衛庁
8	大刀洗町	みい農協	4,200t (稲 3,300t、小麦 720t、大麦 300t)	制
11	八女市	福岡八女農協	1,500t (稲 1,500t、小麦 600t) (稲サイロ兼用)	制
30	柳川市	柳川農協	10,500t (稲 4,500t、小麦 6,000t) D S 2,200t	産
令和3	宗像市	宗像農協	4,800t (稲 3,600t、小麦 1,080t、大麦 300t) D S 500t	強

資料：水田農業振興課調べ、市町村名、農協名は設置当時の名称を使用

注1：モ…米麦生産流通合理化モデルプラント設置事業、パ…米麦生産総合改善パイロット事業、二…第二次農業構造改善事業、生…地域農業生産総合振興対策事業、新…新地域生産総合振興対策事業、構…新農業構造改善事業、緊…高生産性水田農業確立緊急対策事業（農業園芸局分）、緊構…高生産性水田農業確立緊急対策事業（構造改善局分）、体…農業生産体質強化総合推進対策事業、先…先進的農業生産総合推進対策事業、防衛庁…築城基地周辺農業用施設設置助成事業、制…農業生産体制強化総合推進対策事業、産…産地パワーアップ事業、強…強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業

注2：D S…ドライストア。乾燥処理前に稲のむれを防ぐために通風処理をする一時貯留庫。

(2) 麦・大豆

⑭ 麦種別・品種別作付面積

(単位：ha)

		品種名	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
小 麦		農林61号	1,770	320	—	—	—	—	—
		シロガネコムギ	6,720	6,320	5,680	5,340	5,760	6,010	5,910
		チクゴイズミ	5,880	4,990	5,430	5,070	5,690	5,510	5,410
		ニシホナミ	1,370	1,030	810	720	800	830	800
		イワイノダイチ	90	—	—	—	—	—	—
		ミナミノカオリ	270	1,570	1,990	1,730	1,910	1,780	2,000
		ちくしW2号	—	566	1,290	1,840	1,820	1,880	1,870
		そ の 他	—	—	—	—	20	490	520
		小 計	16,100	14,800	15,200	14,700	16,000	16,500	16,500
二 条 大 麦	ビール 大 麦	あまぎ二条	—	—	—	—	—	—	—
		アサカゴールド	520	—	—	—	—	—	—
		ミハルゴールド	250	—	—	—	—	—	—
		ほうしゅん	900	1,270	1,080	1,040	1,100	310	—
		しゅんれい	30	520	860	50	—	—	—
		はるみやび	—	—	110	—	—	—	—
		はるさやか	—	—	—	60	70	920	1,270
	食料用 大 麦	ニシノチカラ	1,250	—	—	—	—	—	—
		ニシノホシ	580	1,260	1,220	—	—	—	—
		はるしづく	—	2,190	2,770	1,490	1,060	1,090	910
		はるか二条	—	—	20	3,630	2,790	2,780	3,640
		その他	—	—	—	610	770	590	50
		小 計	3,530	5,240	6,070	6,880	5,790	5,680	5,860
	は だ か 麦	イチバンボン	267	360	445	430	450	440	430
そ の 他		—	—	—	—	30	50	60	
小 計		267	360	445	430	480	490	490	
作 付 面 積 計			19,900	20,400	21,700	22,100	22,300	22,700	22,900

生 産 量 計 (t)	79,600	59,900	62,400	85,000	105,500	100,900	95,300
-------------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------

資料：農林水産省「作物統計」、水田農業振興課調べ

注：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑮ 大豆の作付面積・収穫量

(単位：ha、t)

	平成17	22	27	令和2	3	4年	5年
作 付 面 積	7,790	7,900	8,430	8,220	8,190	8,160	8,090
生 産 量	15,200	16,700	11,600	10,300	7,210	9,790	15,000

資料：農林水産省「作物統計」

2 園芸・特産

(1) 野菜

⑬ 野菜の作付面積・生産量・産出額

(単位：ha、t、億円)

		平成17			22			27			令和2			3			4年		
		面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額
果 菜 類	きゅうり	214	13,000	23	189	10,400	27	179	9,860	27	168	9,660	26	168	9,910	22	167	9,310	19
	トマト	251	18,600	43	237	19,300	64	231	20,400	71	206	19,200	52	203	19,800	50	198	18,900	45
	なす	324	28,800	58	277	23,200	79	252	18,700	67	230	16,700	59	230	17,800	59	231	17,500	55
	ピーマン	31	476	1	32	482	2	-	-	2	-	-	2	-	-	1	29	416	1
	いちご	516	18,600	178	484	18,100	174	452	16,000	209	435	16,400	231	428	16,600	218	425	16,800	242
	すいか	143	3,470	4	123	2,740	4	110	2,650	4	101	2,150	3	100	2,520	4	99	2,450	3
	豆 類	さやえん どう	82	405	2	85	456	5	-	-	-	50	271	4	49	269	4	49	269
	さやいん げん	140	824	4	121	693	4	107	595	-	92	652	4	91	649	4	90	649	4
葉 茎 菜 類	キャベツ	859	33,700	25	770	28,600	24	724	27,800	22	690	24,300	15	679	21,300	13	690	24,400	12
	はくさい	254	10,000	5	227	8,440	5	200	6,800	4	202	6,860	3	-	-	3	193	5,940	2
	ほうれん そう	620	10,600	30	644	10,200	39	643	8,170	36	795	10,200	39	806	10,100	40	778	9,340	37
	ねぎ	705	9,600	55	636	8,440	67	577	7,120	61	535	6,650	50	533	6,460	48	529	6,540	50
	たまねぎ	187	5,730	4	182	5,570	5	173	5,140	6	145	4,520	4	143	4,450	4	139	3,930	8
洋 菜 類	レタス	970	18,200	33	947	17,100	40	1,090	18,900	55	1,040	17,200	25	928	15,200	32	927	15,500	34
	セルリー	52	3,300	6	54	3,520	9	50	3,390	9	45	3,310	6	46	3,460	6	47	3,570	6
	カリフラ ワー	69	1,710	3	58	1,280	2	55	1,020	-	53	981	-	52	920	-	50	870	-
	ブロッコ リー	386	4,380	11	529	5,050	13	534	5,130	16	553	4,400	10	516	3,850	9	491	3,580	8
根 菜 類	だいこん	450	23,100	13	398	19,800	15	367	16,600	12	315	14,100	7	311	14,000	8	308	13,900	5
	かぶ	121	4,130	3	108	4,020	3	109	4,090	-	104	3,760	3	102	3,710	3	98	3,540	2
	にんじん	89	2,010	2	116	2,870	4	111	2,500	4	-	-	4	-	-	4	112	2,490	3
	さといも	327	2,550	3	265	2,060	4	240	1,800	2	219	1,510	3	217	1,550	3	216	1,550	3
その他野菜	4,010	54,400	132	3,518	61,630	161	3,650	55,100	194	3,900	54,800	157	4,040	103,700	133	3,700	47,500	144	
野 菜 計	10,800	267,600	638	10,000	254,000	750	9,850	231,800	801	9,880	217,600	707	9,640	256,200	668	9,570	208,900	686	
ばれいしょ	406	5,770	6	370	5,210	10	347	4,700	5	-	-	9	-	-	10	317	4,380	6	
その他いも類	210	2,120	3	170	-	2	149	-	4	110	-	3	-	-	0	10	93	0	
計	616	7,900	9	540	5,200	12	496	4,700	9	110	0	12	0	0	10	327	4,500	6	
総 合 計	11,400	275,500	647	10,500	259,200	762	10,300	236,500	810	10,000	217,600	719	9,640	256,200	678	9,900	213,400	692	

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」、「生産農業所得統計」

注1：品目の作付面積の「-」は、その他の面積に加算される。

注2：平成17年のさやえんどうの面積及び生産量は、園芸振興課調べ。

注3：平成17年の以下の品目の面積と生産量は、主たる出荷時期の季節区分のみの調査。

〔ピーマン（夏秋ピーマン）、はくさい（春はくさい、秋冬はくさい）、だいこん（春だいこん、秋冬だいこん）
にんじん（春夏にんじん、冬にんじん）、さといも（秋冬さといも）〕

注4：平成22年以降の野菜計と総合計の生産量は、推計値。園芸振興課調べ。

注5：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

(2)果樹

① 果樹の栽培面積・生産量・産出額

(単位：ha、t、億円)

	平成17			22			27			令和2			3			4年		
	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額	面積	生産量	産出額
うんしゅうみかん	2,230	40,300	40	1,870	28,300	51	1,410	22,500	44	1,180	20,100	49	1,150	20,900	52	1,140	17,600	46
かき	2,190	25,400	31	2,030	14,900	38	1,720	20,400	45	1,200	14,700	41	1,170	15,800	42	1,160	17,700	39
ぶどう	1,040	10,800	60	963	9,150	63	839	8,330	74	736	6,370	75	715	6,910	86	698	7,170	100
なし	548	13,000	29	499	9,230	28	436	7,890	28	370	6,050	27	355	7,490	30	337	7,530	31
キウイフルーツ	300	6,640	18	301	4,680	19	305	4,350	19	282	3,580	16	282	3,880	19	276	3,990	20
いちじく	184	1,960	8	136	1,280	7	111	1,247	10	75	901	6	69	849	6	68	855	7
もも	133	1,480	6	120	932	5	107	761	9	62	590	8	62	616	8	63	613	8
すもも	111	880	3	98	688	4	78	821	-	62	572	5	41	466	4	40	420	4
うめ	474	1,760	5	423	1,660	5	322	468	-	222	712	4	207	949	4	198	888	3
びわ	57	212	2	50	120	1	43	32	-	12	38	-	12	37	-	12	36	-
くり	339	286	1	287	280	1	266	92	-	212	159	1	150	85	1	151	88	1
その他の果樹	617	5,896	10	613	2,310	5	583	1,923	-	515	1,853	7	514	1,849	5	477	1,680	7
合計	8,230	108,600	212	7,390	73,500	227	6,220	68,800	244	4,930	55,600	239	4,730	59,800	257	4,620	58,600	266

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」、「生産農業所得統計」

注1：「その他の果樹」の面積と産出額は、合計から掲載品目を除いたもの、生産量は、園芸振興課調べ。

注2：「いちじく」「もも」「びわ」「くり」の生産量と平成22年以降の面積は、園芸振興課調べ。

注3：平成22年以降の「うめ」、「びわ」、「くり」の生産量は、園芸振興課調べ。

注4：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

(3) 花き・花木

⑩ 花き・花木の作付面積・出荷数量・産出額

(単位：a、千本、千鉢、百万円)

		平成17			22			27			令和2			3年			4年			
		面積	出荷数量	産出額	面積	出荷数量	産出額	面積	出荷数量	産出額	面積	出荷数量	産出額	面積	出荷数量	産出額	面積	出荷数量	産出額	
切花類 切葉・切枝含む	キク	輪ギク	25,900	93,700	—	25,600	90,000	—	20,000	77,800	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		スレンゲキク	1,860	7,540	—	1,550	5,760	—	2,710	11,200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		小ギク	3,480	12,600	—	3,180	11,800	—	2,800	10,600	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		小計	31,300	113,800	6,080	30,330	107,500	5,600	25,510	99,600	5,200	22,300	80,100	3,600	21,500	78,300	3,700	19,500	68,300	3,900
	バラ	3,100	28,000	1,940	2,270	19,700	1,400	1,980	17,700	1,400	1,690	13,800	1,000	1,600	12,800	1,100	1,590	12,900	1,200	
	カーネーション	1,120	12,500	520	1,140	11,600	500	1,070	11,300	500	909	7,950	300	845	7,480	400	803	7,100	400	
	洋ラン	1,630	3,690	390	1,750	3,530	300	1,440	2,950	400	1,110	2,000	200	—	—	—	—	—	—	
	ガーベラ	1,690	34,800	730	1,570	29,200	800	1,220	22,700	700	1,170	17,000	500	1,130	16,500	600	1,100	17,200	700	
	トコシキキク	2,900	8,390	770	3,780	9,170	800	3,910	10,000	1,100	3,810	7,660	800	3,550	7,170	800	3,480	7,100	900	
	ユリ	2,840	7,980	980	3,250	7,490	1,100	3,130	7,120	1,100	3,170	5,770	800	2,850	5,240	800	2,770	5,010	900	
	枝もの類	5,040	6,920	440	5,520	6,150	400	5,460	4,600	400	—	—	—	—	—	400	—	—	—	600
その他切花類	13,280	58,220	2,590	12,420	54,860	2,000	9,170	40,930	2,100	15,041	35,020	2,000	17,025	38,810	※	17,557	38,990	※		
切花類計	62,900	274,300	14,440	62,000	249,200	12,900	52,900	216,900	12,900	49,200	169,300	9,200	48,500	166,300	※	46,800	156,600	※		
鉢物類	シクラメン	990	931	440	873	924	400	820	876	300	734	749	300	712	705	300	698	635	300	
	観葉植物	832	1,730	400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	洋ラン	2,690	2,000	3,150	2,570	1,850	2,500	1,950	1,310	2,500	1,620	1,100	4,000	1,410	959	3,600	1,560	1,030	4,100	
	花木類	3,040	2,320	640	3,070	2,100	600	2,880	2,080	600	2,880	1,870	500	2,820	1,830	600	2,540	1,630	900	
	その他鉢物	2,068	3,319	810	2,677	4,926	1,200	2,180	3,864	900	1,956	3,841	900	2,138	4,256	※	2,282	4,215	※	
	小計	9,620	10,300	5,440	9,190	9,800	4,700	7,830	8,130	4,300	7,190	7,560	5,700	7,080	7,750	※	7,080	7,510	※	
花壇用苗木	5,010	35,800	1,190	4,830	38,400	1,400	4,370	30,700	1,200	3,720	24,700	900	4,070	26,800	※	4,020	25,900	※		
合計	77,530	320,400	21,070	76,020	297,400	19,100	65,100	255,730	18,400	60,110	201,560	15,900	59,650	200,850	16,500	57,900	190,010	18,500		
その他花き(芝)	2,680	—	—	1,538	—	—	1,500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
花き合計	80,210	—	—	77,558	—	—	66,600	—	—	60,110	—	—	59,650	—	—	57,900	—	—		
花木類	132,850	48,722	7,304	109,738	51,520	5,840	86,208	35,691	4,471	57,162	18,069	4,004	57,946	12,068	4,210	55,642	8,086	4,265		
花き・花木合計	213,060	369,122	28,374	187,296	348,920	24,940	152,808	291,421	22,871	117,272	219,629	19,904	117,596	212,918	20,710	113,542	198,096	22,765		

資料：花きの面積、出荷数量は農林水産省「花き生産出荷統計」、生産農業所得統計、産出額は農林水産省「花木等生産状況調査」
 その他の花き(芝)の面積、花木類の面積・出荷数量・出荷額は、農林水産省「花木等生産状況調査」、産出額は同調査の出荷額

注1：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

注2：平成29年以降、キク類は、小分類でのデータ未公表。枝もの類は、調査方法の変更のため当県では未実施。

注3：表中の「※」は未公表。

(4) 茶・い草

⑱ 茶の栽培面積・生産量

(単位：ha、t)

		平成17	22	27	令和2	3	4	5年	
栽培面積		1,580	1,580	1,560	1,540	1,520	1,500	1,490	
生葉収穫量		11,100	10,900	9,410	8,300	8,670	9,040	9,080	
荒茶生産量 計		2,260	2,280	1,940	1,600	1,650	1,750	1,750	
茶期別	一番茶	1,420	1,350	1,150	865	888	893	901	
	二番茶	670	721	628	—	—	—	—	
	三番茶	117	116	28	—	—	—	—	
	四番茶	48	95	—	—	—	—	—	
茶種別	煎茶	1,680	1,600	1,390	—	—	—	—	
	お お い 茶	玉露	82	586	525	—	—	—	—
		かぶせ茶	464						
		てん茶							
	玉緑茶	—	1	1	—	—	—	—	
番茶	37	45	24	—	—	—	—		

資料：農林水産省「作物統計」、「耕地及び作付面積統計」

注1：従来、「玉露」・「かぶせ茶・てん茶」として表示していたものを、平成21年産から合計して「おおい茶」として表示。

これは、農林水産省において、近年増加している20日前後の直接被覆による栽培方法の扱いが明確化するまでの間、暫定的に「おおい茶」として一括して表章することとされたもの。

注2：平成29年以降、荒茶生産量の内訳は、一番茶以外は未公表。

⑳ い草の作付面積・生産量

(単位：ha、t、戸、%)

		平成17	22	27	令和2	3	4	5年
福岡県	作付面積A	65	17	14	4	3	3	3
	生産量B	893	198	165	44	33	31	34
	生産者数	69	26	14	6	5	4	4
全 国	作付面積A'	1,700	899	701	424	451	—	—
	生産量B'	21,800	11,500	7,800	6,300	6,390	—	—
全国対比	A/A'	4	2	2	1	1	—	—
	B/B'	4	2	2	1	1	—	—

資料：農林水産省「作物統計」

注1：平成12年は全国集計、17年以降は主産県集計。

注2：令和4年以降、農林水産省「作物統計」での公表はなし。

注3：令和4年以降は農林事務所調べ。

3 畜産

(1) 大家畜

㉑ 肉用牛の飼養戸数等

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
飼養戸数(戸)	232	233	201	198	191	169	169
一戸当たり飼養頭数(頭)	120	117	101	112	118	139	139
飼養頭数(頭)	27,800	27,300	20,200	22,100	22,500	23,400	23,400
肉専用種(頭)	15,200	18,700	12,100	14,300	14,400	15,200	15,100
交雑種(頭)	8,430	5,810	5,070	5,000	5,810	6,180	6,320
乳用種(頭)	4,160	2,750	3,010	2,810	2,280	2,010	1,960

資料：農林水産省「畜産統計」

㉒ 乳用牛の飼養戸数等

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
飼養戸数(戸)	417	313	247	198	190	183	170
一戸当たり飼養頭数(頭)	54	54	59	61	62	64	63
飼養頭数(頭)	22,600	16,800	14,600	12,100	11,800	11,700	10,700
経産牛(頭)	14,700	11,700	9,720	8,610	8,330	8,350	7,330
未経産牛(頭)	7,900	5,090	4,920	3,530	3,520	3,310	3,410
生乳生産量(t)	122,123	94,247	84,045	73,603	73,360	68,142	60,543
1頭当たり泌乳量(kg/頭)	8,336	8,533	8,408	8,690	8,796	8,692	8,403
県内飲用牛乳消費量(kl)	174,933	123,191	99,721	99,677	97,884	96,979	96,899

資料：農林水産省「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」

㉓ 飼料作物の作付面積

(単位：ha)

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
作付面積	2,540	3,100	4,650	5,210	-	-	6,370
地目別							
水田	1,730	2,470	4,170	4,760	-	-	6,010
畑地	810	630	486	446	-	-	363
草種別							
牧草	1,770	1,740	1,440	1,500	-	-	1,490
稲発酵粗飼料用稲	198	561	1,366	1,517	1,657	1,837	2,068
青刈ソルガム	345	212	138	151	-	-	138
青刈トウモロコシ	130	110	61	62	-	-	108
飼料米	-	-	1,533	1,886	2,192	2,482	2,475
その他	97	477	162	94	-	-	23

資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、新規需要米取組計画認定面積

注：平成29年以降、稲発酵粗飼料用稲・飼料米以外の調査は3年毎に実施。

(2) 中小家畜

㉔ 豚の飼養戸数等

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
飼養戸数(戸)	82	67	52	46	46	43	39
飼養頭数(頭)	77,536	86,258	81,839	83,391	80,300	82,000	78,800
一戸当たり飼養頭数(頭)	946	1,287	1,574	1,813	1,746	1,907	2,021

資料：農林水産省「畜産統計」

注：平成17、22、27、令和2年の飼養戸数、飼養頭数は畜産課調べ。

㉕ 採卵鶏の飼養戸数等

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
飼養戸数(戸)	180	119	100	80	77	74	73
飼養羽数(千羽)	3,404	3,151	2,579	2,546	2,738	2,727	2,520
出荷量(t)	59,885	64,127	55,469	51,121	46,191	43,249	35,486
卸売価格(円/kg)	190	184	214	166	208	216	309

資料：飼養戸数、飼養羽数は畜産課調べ、出荷量、卸売価格は農林水産省「畜産物流通統計」
注：平成15年以降、卸売価格は全農「畜産物情報」（福岡・M）で年次価格。

㉖ 肉用鶏の飼養戸数等

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
飼養戸数(戸)	60	51	41	37	37	35	35
飼養羽数(千羽)	1,550	1,386	1,039	1,134	1,003	1,140	1,144
出荷羽数(千羽)	5,983	7,078	5,850	4,999	-	-	-
卸売価格(円/kg)	229	251	341	287	322	354	407

資料：飼養戸数、飼養羽数は畜産課調べ、出荷羽数、卸売価格は農林水産省「畜産物流通統計」
注：出荷羽数は令和2年以降、畜産課調べ。卸売価格は平成17年以降、農畜産業振興機構調べ（東京むね肉価格）。

(3) 畜産環境・家畜衛生

㉗ 畜産環境汚染問題(苦情)の発生状況

(単位：件、%)

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
乳用牛	33	14	20	6	8	7	2
肉用牛	6	4	3	2	6	8	2
豚	18	10	7	4	4	3	2
採卵鶏	10	15	9	5	8	6	2
その他	1	2	3	0	0	1	0
計	68	45	42	17	26	25	10
苦情発生率(%)	8	7	8	4	5	5	2

資料：畜産課調べ

注：「苦情発生率」は、苦情発生件数を県内の全畜産農家数で除した100分率。

㉘ 家畜の監視伝染病の発生状況

(単位：頭、羽、群)

対象家畜	伝染病名	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
牛	ヨーネ病	14	1	3	2	1	0	0
	アカバネ病	0	0	0	0	0	0	0
	牛ウイルス性下痢	11	3	5	1	0	0	0
	牛伝染性鼻気管炎	16	1	6	0	4	0	0
	牛伝染性リンパ腫	29	80	116	193	175	179	171
	破傷風	1	3	2	0	2	2	2
	サルモネラ症	0	1	40	0	0	2	0
ネオスポラ症	0	0	0	0	0	0	0	
めん羊	伝達性海綿状脳症	0	0	0	0	0	0	0
犬	レプトスピラ症	6	2	1	1	3	6	2
豚	サルモネラ症	1	15	1	7	7	19	0
	流行性下痢	0	0	0	0	0	0	0
	豚繁殖・呼吸障害症候群	0	2	2	0	0	0	0
	豚丹毒	19	38	119	117	8	4	13
	豚赤痢	0	0	9	0	0	1	0
鶏	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	10	0	3	2
	ニューカッスル病	537	0	0	0	0	0	0
	鶏痘	0	0	15	0	16	0	4
	マレック病	6	3	20	0	0	6	0
	鶏伝染性気管支炎	0	6	199	0	0	0	4
	鳥マイコプラズマ症	0	0	0	1	0	0	0
	ロイコチトゾン症	150	12	0	12	3	0	2
伝染性ファブリキウス嚢病	0	0	0	278	177	5	9	
その他家畜	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	2
みつばち	腐蛆病	0	0	0	0	0	0	0
	アカリダニ症	0	0	0	3	9	6	6

資料：畜産課調べ

注：めん羊の伝達性海綿状脳症は、非定型スクレイピー。

Ⅲ 農業・農村の基盤づくり

1 意欲ある人づくり

㊸ 新規就業者

(単位：人)

		平成17	22	27	令和2	3	4	5年度
新規就業者	新規学卒者	53	25	36	15	20	17	13
	Uターン	83	96	127	84	57	75	76
	新規参入者	12	27	72	119	149	145	168
	合計	148	148	235	218	226	237	257
	うち青年農業者 青年農業者の割合	131 89%	126 85%	171 73%	125 57%	118 52%	146 62%	144 56%
雇用就業者	11	58	106	169	163	145	152	

資料：普及指導センター調べ

注1：青年農業者は、平成13年度まで30歳以下、14年度から39歳以下。

注2：新規参入者は29年度から法人を含む。

㊹ 青年農業者等

青年農業者数・農業青年クラブ員数

(単位：人)

		平成17	22	27	令和2	3	4	5年度
米麦		155	145	172	159	151	145	139
園芸		1,522	1,351	1,552	1,306	1,250	1,233	1,219
畜産		141	117	110	84	77	68	58
その他		126	126	132	101	95	88	79
合計		1,944	1,739	1,966	1,650	1,573	1,534	1,495
	農業青年クラブ員数	478	319	340	246	236	208	185

資料：普及指導センター調べ

注：青年農業者は、平成13年度まで30歳以下、14年度から39歳以下。

農業士等

(単位：人)

		平成17	22	27	令和2	令和3	4	5年度
指導農業士		79	80	80	80	80	79	79
女性農村アドバイザー		152	139	126	105	104	104	102
青年農業士		77	70	70	68	66	66	67

資料：経営技術支援課、後継人材育成室調べ

㊺ 認定農業者(経営類型別)

(単位：経営体)

		平成17	22	27	令和2	3	4	5年度
準単一経営・ 単一経営	水稲主体	2,189	2,190	181	1,055	323	189	203
	野菜主体	1,172	1,447	1,159	1,002	1,484	1,256	1,277
	果樹主体	854	779	591	551	533	538	549
	花き主体	596	642	410	449	403	369	376
	畜産主体	298	370	306	286	279	245	245
	その他	230	288	217	273	201	172	158
複合経営		553	697	3,146	574	2,680	3,093	3,037
計		5,892	6,413	6,010	4,190	5,903	5,862	5,845

資料：後継人材育成室調べ

注1：単一経営・・・主位部門が総販売額の80%以上を占める経営。

準単一経営・・・主位部門が総販売額の60～80%を占める経営。

複合経営・・・総販売額の60%以上を占める部門が無い経営。

注2：平成25年度以降、準単一経営と複合経営が統合され、複合経営に一本化。

⑳ 女性の基幹的農業従事者数

(単位：人)

	平成7	12	17	22	27	令和2年
基幹的農業従事者数	66,275	63,894	61,188	51,332	45,742	38,077
うち女性	30,234	29,960	28,186	22,326	19,489	15,343
割合	45.6%	46.9%	46.1%	43.5%	42.6%	40.3%

資料：農林水産省「農林業センサス」

注：平成27年までは販売農家、令和2年は個人経営体における数値。

㉑ 農業委員における女性農業委員数

(単位：人)

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年
農業委員数	1,637	1,247	1,228	801	812	799	808
うち女性	66	52	88	104	112	113	122
割合	4.0%	4.2%	7.2%	13.0%	13.8%	14.1%	15.1%

資料：水田農業振興課調べ

㉒ 農協理事における女性理事数

(単位：人)

	平成17	22	27	令和2	3	4年	5年
農協理事数	542	523	474	470	452	450	445
うち女性	50	49	44	45	45	45	49
割合	9.2%	9.4%	9.3%	9.6%	10.0%	10.0%	11.0%

資料：団体指導課調べ

㉓ 経営参画する女性農業者数

(単位：人)

	令和2	3	4	5年
経営参画する女性農業者数	274	309	343	372

資料：経営技術支援課調べ

③⑥ 農業法人数

	農 業 法 人 数										
		法人形態別			部門別						
		農事 組合法人	会社 法人	その 他	米・ 麦・ 大豆	野菜	果樹	花き	畜産	茶	その 他
平成17	452	131	319	2	50	62	17	55	140	19	109
22	559	180	373	6	127	78	18	49	158	20	109
27	764	289	469	6	273	121	22	49	144	27	128
令和2	984	375	603	6	382	181	38	49	146	27	161
3	1,047	387	648	12	394	207	44	51	147	27	177
4	1,082	393	678	11	406	215	44	55	151	26	185
5年	1,112	395	706	11	417	221	49	58	150	28	189

資料：経営技術支援課調べ

③⑦ 農家経済

(単位：千円)

		九 州			全 国		
		平成27	令和3年	4年	平成27	令和3年	4年
農 業	粗収益	7,470	11,293	11,055	5,440	7,244	7,701
	経営費	5,511	9,295	9,595	3,913	6,092	6,670
	所得	1,959	1,998	1,460	1,527	1,152	1,031
	所得率	26.2%	17.7%	13.2%	28.1%	15.9%	13.4%

資料：農林水産省「農業経営統計調査」

注：平成27年は個別経営体、令和2年以降は個人経営体における値。

③⑧ 農業物価指数(全国) (令和2年=100)

	平成29	30	令和元	2	3	4年
農産物総合	97.7	100.7	98.5	100.0	100.8	102.2
農業生産資材総合	97.1	98.9	100.1	100.0	106.7	116.6

資料：農林水産省「農業物価統計」

注：令和2年を100とした場合の指数。

③⑨ 農業制度資金の融資状況

(単位：件、百万円)

事業種目・融資内容		平成17	22	27	令和2	3	4	5年度
農業近代化資金	件数	213	89	38	90	86	92	97
	金額	1,346	489	171	458	538	499	715
農業改良資金	件数	1	—					
	金額	10	—					
就農支援資金	件数	3	10	1				
	金額	15	85	2				
日本政策金融公庫資金	件数	221	190	235	550	311	333	280
	金額	3,797	3,510	6,850	7,804	8,354	6,435	4,460
スーパーL資金	件数	71	122	150	171	162	164	126
	金額	1,054	2,116	3,195	3,107	3,295	2,795	2,742
農業改良資金	件数		14	—	—	—	—	—
	金額		168	—	—	—	—	—
青年等就農資金	件数			63	78	64	117	102
	金額			355	543	568	766	550
合計	件数	438	289	274	640	397	425	377
	金額	5,168	4,084	7,023	8,262	8,892	6,933	5,175

資料：団体指導課調べ

注1：農業改良資金は、平成22年10月から貸付主体が県から日本政策金融公庫へ変更。

注2：就農支援資金は、平成26年4月から制度改正により青年等就農資金となり、貸付主体が県から日本政策金融公庫へ変更。（就農支援資金については、新制度への経過期間が設けられていたがH30で貸付終了）

注3：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

④⑩ 農業共済制度の引受実績

事業種目		引受実績						令和4年引受率 (%)	令和4年支払共済金 (千円)	
		平成17	22	27	令和2	3	4年			
農作物	水稲 (ha)	35,501	36,516	35,100	27,619	26,060	21,355	59.5	132,671	
	麦 (ha)	16,602	19,973	21,422	17,935	16,789	14,271	62.9	58,741	
畑作物(大豆) (ha)		5,976	7,599	8,304	6,717	6,318	5,476	67.1	532,782	
家畜 (旧制度)	乳用牛 (頭)	27,173	24,540	23,724						
	肉用牛 (頭)	20,495	20,759	14,918						
	肉豚 (頭)	7,733	10,029	12,066						
	その他 (頭)	363	797	706						
家畜 (新制度)	死亡廃用	乳用牛 (頭)				15,941	15,685	14,946	92.7	263,504
		肉用牛 (頭)				26,745	25,931	25,306	76.4	130,628
		肉豚 (頭)				11,882	12,716	12,534	22.2	21,031
		その他 (頭)				491	613	601	4.2	0
	疾病傷害	乳用牛 (頭)				11,086	11,099	10,440	92.1	167,410
		肉用牛 (頭)				9,353	11,517	11,821	65.8	53,419
		肉豚 (頭)				—	—	—	—	—
		その他 (頭)				1	0	—	—	—
果樹	なし (ha)	151	173	155	59	42	29	9.1	2,714	
	かき (ha)	151	274	239	61	38	32	2.9	268	
	キウイフルーツ (ha)	38	31	66	90	81	76	29.6	36,259	
	ぶどう (ha)	17	54	54	21	18	15	2.2	251	
	うんしゅうみかん (ha)		35	9	6	6	7	0.7	56	
	キウイフルーツ樹体共済 (ha)			94	73	64	62	24.1	33,938	
園芸施設 (ha)		1,003	935	950	1,070	1,036	1,041	58.1	113,390	
合計									1,547,062	

資料：団体指導課調べ

注1：乳用牛、肉用牛は、平成16年から胎児を含む。

注2：果樹（樹体）、家畜、園芸施設は、年度。

注3：うんしゅうみかんにおける共済は平成18年から、キウイフルーツの樹体における共済は27年度から引受開始。

⑪ 農地転用面積

(単位：ha)

	平成12	17	22	27	令和2	3	4年
住宅用地	161	136	106	134	98	123	133
工鉱業用地	12	10	4	2	11	14	10
公共施設	112	113	57	121	62	47	23
その他建物施設用地等	237	229	164	267	138	149	158
植林用地	18	20	27	12	32	46	30
計	540	508	359	536	340	378	354

資料：農林水産省「土地管理情報収集分析調査」及び「農地の権利移動・借賃等調査」

注1：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

注2：令和4年の値は速報値。

⑫ 農地流動化面積

(単位：ha)

	平成12	17	22	27	令和2	3	4年
農地の権利移動面積（フロー）	3,918	4,650	6,013	8,957	7,160	8,192	8,779
基盤強化法	所有権移転	93	140	84	161	174	217
	利用権設定	3,239	3,906	5,517	7,054	5,569	6,411
農地法	所有権移転	530	575	393	418	698	747
	賃借権設定	56	29	19	18	25	9
機構法	賃借権設定	—	—	—	1,306	401	1,003
	賃借権移転	—	—	—	—	—	17
	使用貸借による権利設定	—	—	—	—	216	163
	使用貸借による権利移転	—	—	—	—	—	—
農地の権利移動面積（ストック）	14,362	18,092	21,768	28,430	32,921	33,285	34,002
利用権設定率（％）	16%	20	25	34	41	42	43

資料：農林水産省「土地管理情報収集分析調査」及び「農地の権利移動・借賃等調査」

注1：農地法による所有権移転については、許可を受ける必要のない相続等の権利取得を除く。

注2：農地の権利移動面積（フロー）は水田農業振興課調べ（12月末現在） ※令和4年の値は速報値

注3：農地の権利移動面積（ストック）は水田農業振興課調べ（3月末現在）

注4：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑬ 農業経営基盤強化促進事業の実施状況

(令和5年3月末現在)

	基本構想	農用地面積 (ha)	利用権設定面積 (ha)				利用権設定率 (%)	認定農業者数 (経営体)
			賃借権	使用貸借	経営受委託	合計		
福岡市	○	1,760	531	230	0	761	43.3%	191
筑紫野市	○	874	327	112	0	439	50.3%	62
春日市		23	0	0	0	0	0.0%	
大野城市		51	0	0	0	0	0.0%	
宗像市	○	2,000	805	228	0	1,033	51.7%	106
太宰府市		133	0	0	0	0	0.0%	
古賀市	○	446	162	51	0	213	47.7%	33
福津市	○	1,130	345	170	0	515	45.6%	60
糸島市	○	4,190	1,611	547	0	2,158	51.5%	366
那珂川市	○	357	40	27	0	67	18.7%	17
宇美町	○	92	6	13	0	19	20.3%	2
篠栗町	○	209	19	33	0	52	25.0%	4
志免町	○	59	0	6	0	6	10.9%	1
須恵町	○	137	10	23	0	33	24.1%	7
新宮町	○	165	0	1	0	1	0.8%	21
久山町	○	219	15	54	0	69	31.6%	2
粕屋町	○	247	4	34	0	38	15.3%	3
福岡農林計	14	12,092	3,875	1,531	0	5,406	44.7%	875

	基本構想	農用地面積 (ha)	利用権設定面積 (ha)				利用権設定率 (%)	認定農業者数 (経営体)
			賃借権	使用貸借	経営受委託	合計		
直方市	○	650	173	11	0	185	28.4%	32
飯塚市	○	2,360	742	120	0	861	36.5%	87
田川市	○	661	175	4	0	179	27.0%	45
宮若市	○	1,710	478	6	0	485	28.4%	57
嘉麻市	○	1,850	670	135	0	805	43.5%	84
小竹町	○	151	98	5	0	103	67.9%	9
鞍手町	○	829	306	7	0	313	37.8%	53
桂川町	○	433	161	30	0	190	44.0%	15
香春町	○	473	110	0	0	110	23.2%	7
添田町	○	518	108	8	0	117	22.5%	23
糸田町	○	157	55	0	0	55	35.1%	9
川崎町	○	403	131	0	0	131	32.5%	7
大任町	○	296	61	2	0	63	21.4%	6
赤村	○	380	166	0	18	184	48.4%	21
福智町	○	804	192	5	0	197	24.5%	37
飯塚農林計	15	11,675	3,626	334	18	3,977	34.1%	492

久留米市	○	8,370	3,345	550	0	3,895	46.5%	836
小郡市	○	1,840	880	214	0	1,093	59.4%	117
うきは市	○	2,580	740	136	0	876	34.0%	261
朝倉市	○	4,880	1,714	597	0	2,310	47.3%	355
筑前町	○	2,350	1,064	130	0	1,194	50.8%	127
東峰村	○	264	17	4	0	21	8.0%	4
大刀洗町	○	1,210	611	113	0	723	59.8%	84
朝倉農林計	7	21,494	8,370	1,743	0	10,113	47.1%	1,784

大牟田市	○	1,060	87	43	0	130	12.3%	39
柳川市	○	3,890	2,151	560	0	2,712	69.7%	254
八女市	○	6,390	808	308	0	1,116	17.5%	715
筑後市	○	1,940	1,202	66	57	1,325	68.3%	150
大川市	○	1,300	687	76	60	823	63.3%	123
みやま市	○	4,050	2,026	384	0	2,410	59.5%	360
大木町	○	977	511	96	0	607	62.2%	101
広川町	○	694	176	37	0	214	30.8%	141
筑後農林計	8	20,301	7,649	1,571	117	9,337	46.0%	1,883

北九州市	○	2,140	283	93	0	376	17.6%	71
中間市	○	273	105	6	0	112	40.9%	29
芦屋町	○	83	15	4	0	19	22.9%	6
水巻町	○	106	30	19	0	49	46.4%	8
岡垣町	○	555	159	88	0	247	44.5%	43
遠賀町	○	674	223	111	0	334	49.6%	44
八幡農林計	6	3,831	816	321	0	1,138	29.7%	201

行橋市	○	1,970	691	131	0	822	41.7%	51
豊前市	○	1,690	477	236	0	713	42.2%	49
畑田町	○	528	142	9	0	150	28.4%	12
みやこ町	○	2,310	742	72	0	814	35.3%	86
吉富町	○	190	30	95	0	124	65.4%	6
上毛町	○	997	452	41	0	492	49.4%	50
築上町	○	1,880	774	141	0	915	48.7%	83
行橋農林計	7	9,565	3,307	724	0	4,031	42.1%	337

県計	57	78,900	27,643	6,224	135	34,002	43.1%	5,572
----	----	--------	--------	-------	-----	--------	-------	-------

資料：水田農業振興課、後継人材育成室調べ
対象農用地面積は、農林水産省「耕地面積調査」

注1：利用権設定率は、(利用権設定面積÷対象農用地面積×100)で算出。

注2：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

2 農村づくり、環境にやさしい農業の展開

④ 生活環境の整備状況

(単位：%)

	年度	都市的 地域	農村地域				県平均	
			平地 農村 地域	中山間 農業 地域	山間 農業 地域	中間 農業 地域		
上水道普及率	平成7	94.8	—	55.8	57.9	61.8	57.8	89.5
	27	96.5	72.2	84.2	65.5	95.7	64.4	94.0
	令和4年	98.1	75.7	87.9	68.7	99.1	67.7	96.0
汚水処理施設	平成7	74.0	15.4	18.6	11.0	4.1	11.6	65.9
	27	94.1	66.9	70.5	64.9	62.8	65.0	91.1
	令和4年	96.3	75.6	81.9	72.1	49.7	72.9	94.3

資料：県水資源対策課「福岡県の水道」、下水道課「福岡県の下水道」

注1：汚水処理施設＝水洗化人口／行政人口×100

水洗化人口は、下水道、農業・漁業集落排水事業、合併浄化槽、コミュニティプラントによる処理人口。

注2：平成7年度は福岡県汚水処理構想策定（当初年度）、平成27年は中期目標年度。

⑤ 中山間地域農業の概要

	平成27年			令和2年		
	福岡県 全体	中山間 地域	割合	福岡県 全体	中山間 地域	割合
人口 (人)	5,101,556	586,236	11.5	5,135,214	573,346	11.2
農家戸数 (戸)	52,704	16,001	30.4	41,351	12,598	30.5
基幹的農業従事者数 (人)	56,950	16,378	28.8	38,077	10,515	27.6
うち65歳以上の割合 (%)	60.2	64.5	—	66.2	71.2	—
経営耕地面積 (ha)	68,316	15,671	22.9	61,154	14,841	24.3
1戸当たり経営耕地面積 (a)	130	98	75.4	148	118	79.7
耕作放棄地 (ha)	6,992	2,790	39.9	—	—	—

資料：農山漁村振興課調べ

注：中山間地域については、農林統計区分の中間・山間農業地域を含む市町村のうち、農林業センサスにおいて、以下のいずれかに該当する市町村を計上。

- ・中間・山間農業地域の経営耕地面積が過半となる市町村
- ・中間・山間農業地域の農産物販売額（農産物販売規模別経営体数から推定）が過半となる市町村

④ 中山間地域等直接支払制度の実施状況（令和5年度）

（令和6年3月末現在）

	協定数		協定参加者数	交付金額 (千円) (区+県+市町村 村)		うち 共同取組 活動充当 割合	協定農用地面積 (ha)								
							合計	田			畑			草地	
								小計	急傾斜	小区画 不整形	緩傾斜	小計	急傾斜	緩傾斜	小計
福岡市	16	0	210	15,221	45.5%	84.7	84.5	72.4	0.0	12.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0
筑紫野市	6	0	104	14,968	30.6%	71.3	71.3	71.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宗像市	13	0	136	10,897	43.4%	76.0	76.0	37.0	0.0	39.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
糸島市	19	0	366	41,689	56.3%	216.2	185.7	134.8	0.0	51.0	30.5	13.7	16.8	0.0	0.0
久留米市	6	0	343	10,589	45.5%	132.4	132.4	0.0	0.0	132.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うきは市	32	3	911	60,603	54.1%	426.0	112.1	110.1	0.0	2.0	313.9	154.2	159.7	0.0	0.0
朝倉市	30	0	377	18,842	17.2%	233.8	79.7	22.5	0.0	57.2	154.1	110.8	43.3	0.0	0.0
筑前町	1	0	10	1,735	13.0%	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東峰村	25	0	424	27,152	45.7%	118.6	112.4	105.1	5.7	1.6	6.2	0.0	6.2	0.0	0.0
北九州市	7	0	121	8,721	41.3%	54.5	54.5	50.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
岡垣町	5	0	60	10,475	35.3%	55.4	54.0	46.3	0.0	7.8	1.4	1.1	0.3	0.0	0.0
直方市	4	0	19	2,887	50.0%	14.6	14.6	13.2	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯塚市	12	0	100	11,822	65.2%	57.3	54.6	54.6	0.0	0.0	2.7	2.3	0.4	0.0	0.0
田川市	2	0	18	1,294	0.0%	7.6	7.6	5.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宮若市	10	0	80	6,210	0.0%	35.4	25.1	25.1	0.0	0.0	10.3	5.5	4.8	0.0	0.0
嘉麻市	19	1	458	84,836	42.3%	354.9	354.9	354.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
桂川町	1	0	18	3,788	20.0%	22.6	22.6	15.2	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
香春町	3	0	54	6,958	0.0%	33.1	33.1	33.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
添田町	10	0	87	7,344	29.7%	42.8	42.8	30.2	0.0	12.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
川崎町	6	0	64	5,346	13.3%	25.5	25.5	25.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
赤村	1	0	15	1,596	30.0%	14.9	14.9	3.1	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福智町	9	0	164	21,561	2.1%	122.9	122.9	90.2	0.0	32.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大牟田市	11	0	112	6,792	51.7%	59.0	35.0	11.6	0.0	23.4	23.9	21.7	2.2	0.0	0.0
八女市	197	0	2,611	197,156	45.2%	1,734.8	433.6	358.8	0.0	74.7	1,301.2	837.3	463.9	0.0	0.0
みやま市	31	1	346	34,900	50.2%	318.9	64.4	24.5	0.0	39.9	254.5	245.3	9.2	0.0	0.0
広川町	5	1	37	1,034	43.0%	20.6	1.4	1.4	0.0	0.0	19.2	0.9	18.3	0.0	0.0
行橋市	4	0	55	13,548	30.5%	82.7	82.7	53.3	0.0	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
豊前市	14	0	314	30,485	38.2%	160.6	160.2	132.9	0.0	27.3	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
荏田町	1	0	24	2,159	52.5%	10.3	10.3	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
みやこ町	12	0	322	24,157	48.6%	164.5	163.7	84.7	0.0	79.0	0.8	0.3	0.5	0.0	0.0
上毛町	9	0	103	8,682	56.6%	58.1	57.8	31.1	0.0	26.7	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0
築上町	10	0	233	20,528	47.8%	96.2	96.2	96.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	531	6	8,296	713,978	42.6%	4,914.4	2,794.7	2,113.2	5.7	675.8	2,119.8	1,393.7	726.0	0.0	1.0

資料：農山漁村振興課調べ

注：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

④⑦ 減農薬、減化学肥料栽培に取り組む面積

(単位：ha)

	平成17	22	27	令和2	令和3	4	5年度
水稻	3,490	7,072	6,559	6,172	5,983	5,713	5,490
野菜	978	1,295	1,202	927	891	924	883
果樹	1,346	1,482	1,190	1,010	966	954	882
茶	154	105	100	79	54	46	48
その他	63	119	2,015	2,901	2,899	3,281	2,910
合計	6,031	10,073	11,066	11,089	10,793	10,918	10,213

資料：食の安全・地産地消課調べ

注：減農薬、減化学肥料栽培に取り組む面積とは、化学合成農薬または化学肥料の使用量が、県基準の半分以下で栽培される面積。

④⑧ 農薬の種類別流通量

(単位：t)

	平成17	22	27	令和2	3	4年度
除草剤	2,306	2,492	2,998	3,826	4,138	3,914
殺虫剤	2,817	2,126	2,023	2,017	1,731	1,813
殺虫殺菌剤	906	843	675	737	584	517
殺菌剤	1,489	907	984	806	704	805
その他	126	120	128	84	109	119
合計	7,644	6,488	6,807	7,470	7,266	7,168

資料：日本植物防疫協会調べ

注1：年度は、農薬年度（前年10月～当年9月）。

注2：原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

④⑨ 肥料の流通量

(単位：t)

		平成17	22	27	令和2	3	4年度
普通肥料	窒素質肥料	9,193	7,815	6,871	6,756	6,911	5,860
	リン酸質肥料	7,450	6,187	5,514	5,776	5,845	5,043
	加里質肥料	8,386	6,723	5,983	6,167	6,293	5,297
	計	25,029	20,725	18,368	18,699	19,049	16,200
主な有機質肥料	油かす	5,525	5,284	3,018	2,299	1,681	1,499
	骨粉	0	5	21	169	66	79
	魚かす	200	49	91	153	116	109

資料：経営技術支援課調べ

注：普通肥料の成分量と有機質肥料は、流通量。年度は肥料年度（該年度の7月～翌年6月）。

⑤⑩ バイオマスの発生量と活用状況

	令和3		4		5年度		
	発生割合 (%)	利用率 (%)	発生割合 (%)	利用率 (%)	発生割合 (%)	利用率 (%)	
県内発生量	264万トン	—	268万トン	—	253万トン	—	
全体	100	61	100	61	100	59	
	家畜排せつ物	26	88	26	88	27	87
	食品廃棄物	26	15	25	15	27	15
	木質系	26	56	27	53	24	46
	汚泥	12	96	12	99	13	97
	農作物非食用部	10	80	10	81	10	79

資料：林業振興課調べ

⑤1 野生鳥獣による農林水産物被害額

(単位：千円)

	平成22	27	令和2	3	4	5年度
合計	1,574,866	1,079,409	743,869	742,109	716,673	709,852
イノシシ	582,351	388,723	329,616	319,042	305,038	293,776
シカ	214,546	236,202	91,472	84,380	85,134	84,900
サル	20,525	8,031	3,454	6,480	3,314	2,951
カラス	305,002	133,040	91,215	89,711	91,134	93,692
ヒヨドリ	170,207	54,402	41,133	33,140	35,362	29,904
その他	282,235	259,011	186,979	209,356	196,691	204,630

資料：経営技術支援課調べ

⑤2 狩猟者登録数

(単位：人)

	平成22	27	令和2	3	4	5年度
総数	3,293	3,108	3,004	3,011	3,174	3,209
網猟	14	23	42	42	42	44
わな猟	1,267	1,465	1,589	1,645	1,749	1,800
第1種銃猟	1,933	1,544	1,281	1,230	1,282	1,269
第2種銃猟	79	76	92	94	101	96

資料：経営技術支援課調べ

注：平成19年度から、「網わな猟」が、「網猟」と「わな猟」に細分化。

⑤3 侵入防止柵の設置状況

(単位：km)

	平成22	27	令和2	3	4	5年度
侵入防止柵	169.7	717.9	325.5	522.2	405.1	585.7

資料：経営技術支援課調べ

⑤4 県内の公設獣肉加工処理施設の設置状況

施設名	施設設置者	開設年月日	活用事業名
添田町食肉処理加工施設	添田町	H22.3.30	地域活性化生活対策臨時交付金
みやこ町有害鳥獣加工施設	みやこ町	H22.4.01	地域活性化・経済危機対策臨時交付金
浮嶽（うきだけ）くじら処理加工組合	糸島市鳥獣害防止対策協議会	H24.3.30	鳥獣被害防止総合支援事業
宗像市外2市1町鳥獣加工処理施設	宗像市	H25.1.23	鳥獣被害防止総合支援事業
田川市ジビエ（狩猟肉）食品加工施設	田川市	H30.6.30	地方創生拠点整備交付金
豊前市獣肉処理加工施設	豊前市	H30.10.01	鳥獣被害防止総合支援事業

資料：経営技術支援課調べ

IV 都市と農村の共生

⑤ 農産物直売所の設置数

(単位：か所)

	平成17	22	27	令和2	3	4	5年度
福岡	76	56	49	48	50	49	50
朝倉	51	49	48	40	38	39	39
八幡	21	20	16	14	14	14	14
飯塚	33	31	28	22	23	21	21
筑後	36	43	34	31	28	28	27
行橋	18	16	16	14	14	12	13
計	235	215	191	169	167	163	164

資料：普及指導センター調べ、表中の平成27年度以降は食の安全・地産地消課調べ（令和6年3月末現在）

⑤ 米飯給食の実施状況

(令和5年5月1日現在)

	学校総数 (公立校のみ)	米飯給食 実施校数	割合 (米飯給食実施校数÷学校総数)
小学校	699	697	99.7%
中学校	323	305	94.4%
義務教育 学校	8	8	100.0%
計	1,030	1,010	98.1%

資料：文部科学省「学校給食実施状況等調査」

V 地域の動向

⑤7 地域別の主要農業指標

(単位:戸、経営体、人)

	(1) 総農家数	(2) 販売農家	(3) 自給的 農家	(4) 農業 経営体		(5) 農業従事者		(6) 基幹的農業従事者 (個人経営体)
				個人 経営体	団体 経営体	(個人経営体)	(個人経営体)	
福 岡	7,680	4,765	2,915	4,943	4,770	173	11,788	6,718
朝 倉	9,945	6,741	3,204	7,120	6,759	361	16,737	10,813
八 幡	2,865	1,559	1,306	1,606	1,564	42	3,600	2,076
飯 塚	6,397	4,630	1,767	4,753	4,620	133	10,370	4,740
筑 後	9,300	6,094	3,206	6,399	6,128	271	14,728	10,400
行 橋	5,164	3,398	1,766	3,554	3,398	156	6,956	3,330
県 計	41,351	27,187	14,164	28,375	27,239	1,136	64,179	38,077

資料:農林水産省「2020年農林業センサス」

⑤8 地域別の農業構造指標

(単位:戸)

	3.0ha以上の経営体数 (個人経営体)		年間農産物販売額1,000万円以上の経営体数 (個人経営体)	
	数	割合	数	割合
福 岡	617	15.8%	604	15.7%
朝 倉	1,191	30.4%	1,263	32.8%
八 幡	216	5.5%	97	2.5%
飯 塚	617	15.8%	232	6.0%
筑 後	854	21.8%	1,547	40.2%
行 橋	418	10.7%	107	2.8%
県 計	3,913	100.0%	3,850	100.0%

資料:農林水産省「2020年農林業センサス」

⑤9 地域別の耕地面積

(単位:ha)

		耕地面積	田				畑		
			田	畑	普通畑	樹園地	牧草地		
福 岡	平成27	12,984	10,445	2,539	—	—	—	—	
	令和2	12,294	10,055	2,233	—	—	—	—	
	4	12,092	9,962	2,137	—	—	—	—	
	5年	11,952	9,869	2,091	—	—	—	—	
朝 倉	平成27	23,166	18,388	4,776	—	—	—	—	
	令和2	21,671	17,483	4,194	—	—	—	—	
	4	21,494	17,396	4,091	—	—	—	—	
	5年	21,280	17,295	3,983	—	—	—	—	
八 幡	平成27	4,218	3,448	767	—	—	—	—	
	令和2	3,867	3,246	626	—	—	—	—	
	4	3,831	3,222	607	—	—	—	—	
	5年	3,794	3,193	593	—	—	—	—	
飯 塚	平成27	12,510	10,909	1,590	—	—	—	—	
	令和2	11,808	10,443	1,351	—	—	—	—	
	4	11,675	10,374	1,313	—	—	—	—	
	5年	11,610	10,327	1,284	—	—	—	—	
筑 後	平成27	21,362	14,578	6,791	—	—	—	—	
	令和2	20,479	14,296	6,190	—	—	—	—	
	4	20,301	14,248	6,056	—	—	—	—	
	5年	20,172	14,182	5,982	—	—	—	—	
行 橋	平成27	10,241	9,052	1,186	—	—	—	—	
	令和2	9,644	8,691	959	—	—	—	—	
	4	9,565	8,632	932	—	—	—	—	
	5年	9,577	8,627	939	—	—	—	—	
県 計	平成27	84,500	66,800	17,600	8,140	9,280	227	—	
	令和2	79,700	64,200	15,600	7,430	7,940	176	—	
	4	78,900	63,800	15,100	7,330	7,620	176	—	
	5年	78,400	63,500	14,900	7,210	7,480	173	—	

資料:農林水産省「耕地面積調査」

注:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑥ 地域別の生産動向

福岡農林事務所管内の作付面積(飼養頭羽数)及び生産量

(単位: ha、頭、t、千本、千羽)

	平成12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)		令和2 (2020)		3 (2021)		4年 (2022)	
	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量
米	7,000	34,700	6,848	32,348	6,360	29,781	6,040	28,509	5,814	23,156	5,797	26,542	5,567	26,524
麦	1,140	5,170	1,491	5,093	1,714	4,763	1,880	4,984	2,010	6,557	2,058	9,102	2,095	8,612
大豆	458	788	543	988	552	839	454	332	406	485	365	358	350	364
キャベツ	345	13,600	264	10,800	149	5,711	199	7,144	148	5,147	157	5,744	148	5,891
だいこん	197	11,700	139	9,470	66	6,206	79	6,702	74	6,660	66	6,748	71	6,752
ブロッコリー	218	2,290	215	2,320	222	2,040	217	1,697	219	1,819	219	1,728	211	1,599
いちご	150	4,510	120	3,458	68	2,158	59	1,966	52	1,930	76	1,985	52	1,936
らんしゅうみかん	374	5,070	237	3,550	111	840	86	643	69	676	64	634	63	588
なつみかん	138	2,590	85	1,610	31	612	23	447	22	366	24	393	24	449
ばら	20	20,200	19	17,700	11	6,178	7	4,910	7	4,494	7	4,607	6	4,452
乳用牛	5,714	-	5,569	-	4,489	-	4,549	-	3,645	-	3,597	-	3,637	-
肉用牛	9,976	-	8,982	-	9,135	-	5,838	-	6,670	-	6,610	-	6,526	-
豚	23,866	-	24,954	-	26,284	-	22,703	-	24,453	-	19,983	-	19,161	-
採卵鶏	1,114	-	1,051	-	1,159	-	992	-	964	-	1,037	-	937	-
肉用鶏	578	-	686	-	522	-	560	-	486	-	395	-	544	-

資料: 農林水産省「耕地及び普通作物市町村別データ」、「野菜・果樹・工芸作物・花き市町村別データ」、畜産及び表中の平成22年以降の野菜・果樹・花きは福岡県調べ

朝倉農林事務所管内の作付面積(飼養頭羽数)及び生産量

(単位: ha、頭、t、千羽)

	平成12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)		令和2 (2020)		3 (2021)		4年 (2022)	
	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量
米	9,440	50,400	10,505	51,357	10,251	51,773	9,277	45,810	8,561	36,415	8,501	40,810	8,192	40,542
麦	6,600	28,800	8,357	33,820	8,106	24,695	8,478	25,866	8,216	31,878	8,242	38,890	8,398	37,657
大豆	2,030	5,090	2,682	6,199	2,593	6,222	2,824	4,353	2,762	3,969	2,725	2,506	2,738	3,649
ほうれんそう	426	7,000	396	7,130	195	2,218	352	4,193	126	1,628	124	2,125	190	1,950
ねぎ	516	7,630	498	6,890	320	4,168	340	3,659	285	4,366	293	4,336	288	4,367
レタス	607	12,600	726	13,200	496	10,499	790	13,915	666	11,626	648	9,795	625	9,940
トマト	76	8,060	60	6,240	35	4,663	38	5,037	23	4,398	23	4,396	21	3,706
いちご	72	2,890	94	3,404	68	2,407	61	2,229	53	2,155	54	2,034	52	1,959
かき	1,900	27,500	1,830	23,000	1,057	14,322	897	11,900	722	8,465	641	8,994	630	8,991
ぶどう	419	4,830	379	3,990	332	3,275	287	2,807	194	1,742	175	1,502	108	754
なし	302	8,000	258	6,550	196	4,561	124	2,423	82	1,784	80	1,764	79	1,709
乳用牛	8,553	-	8,185	-	7,120	-	6,061	-	5,117	-	5,075	-	5,059	-
肉用牛	9,614	-	8,391	-	7,130	-	5,861	-	6,789	-	7,328	-	7,450	-
豚	11,569	-	11,463	-	9,638	-	8,926	-	5,792	-	6,475	-	6,480	-
採卵鶏	1,221	-	1,167	-	1,225	-	1,119	-	1,209	-	1,255	-	1,230	-
肉用鶏	157	-	141	-	172	-	177	-	154	-	145	-	179	-

資料: 農林水産省「耕地及び普通作物市町村別データ」、「野菜・果樹・工芸作物・花き市町村別データ」、畜産及び表中の平成22年以降の野菜・果樹は福岡県調べ

注: 平成12年は旧城島町、旧三瀬町を含まない。

八幡農林事務所管内の作付面積(飼養頭羽数)及び生産量

(単位: ha、頭、t、千羽)

	平成12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)		令和2 (2020)		3 (2021)		4年 (2022)	
	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量
米	2,590	12,820	2,352	11,074	2,215	10,627	2,091	9,892	2,036	8,501	2,038	9,619	1,970	9,726
麦	169	728	277	858	336	762	420	849	454	1,567	467	2,074	470	1,909
大豆	123	231	203	223	189	194	182	92	120	90	121	69	120	86
キャベツ	275	12,400	245	9,930	193	7,267	192	9,919	174	7,268	175	6,337	162	7,160
はくさい	42	2,080	33	1,494	7	398	10	444	8	401	8	409	7	376
だいこん	67	3,280	56	2,621	24	1,430	16	861	14	846	14	853	14	864
ほうれんそう	85	1,340	68	1,035	13	163	11	180	13	198	13	201	9	173
いちご	13	337	11	248	6	208	5	141	5	151	5	157	5	147
らんしゅうみかん	38	361	29	281	25	340	19	240	13	154	14	179	14	179
いちじく	22	287	22	248	11	57	7	58	5	62	5	55	4	48
乳用牛	486	-	348	-	149	-	49	-	39	-	35	-	19	-
肉用牛	762	-	660	-	762	-	632	-	597	-	568	-	600	-
採卵鶏	156	-	111	-	38	-	26	-	18	-	16	-	17	-

資料: 農林水産省「耕地及び普通作物市町村別データ」、「野菜・果樹・工芸作物・花き市町村別データ」、畜産及び表中の平成22年以降の野菜・果樹は福岡県調べ

飯塚農林事務所管内の作付面積(飼養頭羽数)及び生産量

(単位: ha、頭、t、千本、千羽)

	平成12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)		令和2 (2020)		3 (2021)		4年 (2022)	
	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量
米	7,250	36,300	7,134	34,249	6,854	32,344	6,611	30,185	6,269	25,772	6,245	29,317	6,131	29,965
麦	628	2,400	1,173	4,150	1,330	3,935	1,443	3,273	1,617	4,918	1,641	6,666	1,744	6,617
大豆	764	1,390	1,056	1,415	886	1,276	892	507	889	813	893	726	898	696
キャベツ	86	3,210	71	2,190	38	1,316	32	1,120	30	1,203	33	1,235	33	1,244
はくさい	72	2,470	49	1,878	36	1,426	31	1,070	24	779	23	759	23	749
いちご	40	1,320	33	904	25	691	19	519	24	590	24	620	20	577
ぶどう	200	1,790	188	1,740	118	1,308	91	875	97	507	97	515	100	516
なし	84	1,270	82	1,340	44	620	43	635	34	460	26	367	26	361
かき	95	690	98	837	47	482	35	436	36	350	36	420	34	417
きく	34	11,700	32	10,700	29	6,664	30	7,544	12	4,277	11	2,996	10	3,093
トルコキョウ	12	3,280	13	3,070	21	3,258	12	2,965	8	1,672	7	1,531	8	1,404
乳用牛	4,037	-	3,283	-	2,165	-	1,855	-	1,586	-	1,551	-	1,395	-
肉用牛	8,394	-	6,485	-	5,979	-	5,352	-	5,496	-	5,275	-	5,493	-
豚	16,248	-	17,341	-	17,853	-	19,956	-	21,121	-	20,173	-	21,090	-
採卵鶏	1,562	-	1,080	-	794	-	647	-	511	-	530	-	558	-
肉用鶏	314	-	309	-	352	-	157	-	202	-	165	-	147	-

資料: 農林水産省「耕地及び普通作物市町村別データ」、「野菜・果樹・工芸作物・花き市町村別データ」、畜産及び表中の平成22年以降の野菜・果樹・花きは福岡県調べ

筑後農林事務所管内の作付面積(飼養頭羽数)及び生産量

(単位: ha、頭、t、千本、千羽)

	平成12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)		令和2 (2020)		3 (2021)		4年 (2022)	
	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量
米	10,200	54,300	8,959	43,835	8,329	40,710	7,468	37,090	7,113	30,474	6,952	33,689	6,573	32,813
麦	7,390	33,400	7,408	32,370	7,325	22,380	7,623	23,813	7,776	33,009	7,778	40,163	7,812	37,084
大豆	2,240	5,620	2,489	5,424	2,738	6,963	3,192	5,805	3,220	4,225	3,195	2,915	3,140	4,413
いちご	276	12,730	248	10,044	204	8,896	189	7,483	180	7,949	178	7,781	178	7,957
レタス	159	3,250	124	2,600	105	1,762	93	2,142	59	1,193	52	1,014	63	993
なす	194	24,410	181	22,900	118	16,267	98	13,487	90	13,244	91	13,134	90	13,642
うんしゅうみかん	2,260	41,800	1,910	35,500	915	17,682	848	16,731	684	14,670	664	15,833	645	12,608
ぶどう	510	5,640	411	4,580	244	2,872	212	2,521	200	2,208	188	2,160	189	2,268
キウイフルーツ	272	6,364	254	6,220	232	3,465	245	3,188	214	3,043	221	3,312	219	3,416
なし	217	5,555	192	4,850	145	3,284	110	2,239	95	1,998	91	2,435	90	2,406
きく	223	84,100	200	71,900	195	66,523	147	55,339	129	51,132	119	47,238	113	43,829
い草	134	1,450	63	867	16	197	14	175	4	44	3	41	3	31
茶	1,419	9,640	1,460	10,600	1,452	11,026	1,443	8,827	1,436	7,437	1,436	7,950	1,437	7,820
乳用牛	4,224	-	3,438	-	1,986	-	1,758	-	1,358	-	1,320	-	1,232	-
肉用牛	3,404	-	2,745	-	2,511	-	2,162	-	1,941	-	1,858	-	1,879	-
豚	19,019	-	23,566	-	32,373	-	30,241	-	31,712	-	30,388	-	31,585	-
採卵鶏	1,124	-	839	-	426	-	359	-	338	-	361	-	384	-
肉用鶏	406	-	303	-	232	-	86	-	233	-	238	-	205	-

資料: 農林水産省「耕地及び普通作物市町村別データ」、「野菜・果樹・工芸作物・花き市町村別データ」、畜産及び表中の平成22年以降の野菜・果樹・花き・い草・茶は福岡県調べ

注: 平成12年は旧城島町、旧三瀬町を含む。

行橋農林事務所管内の作付面積(飼養頭羽数)及び生産量

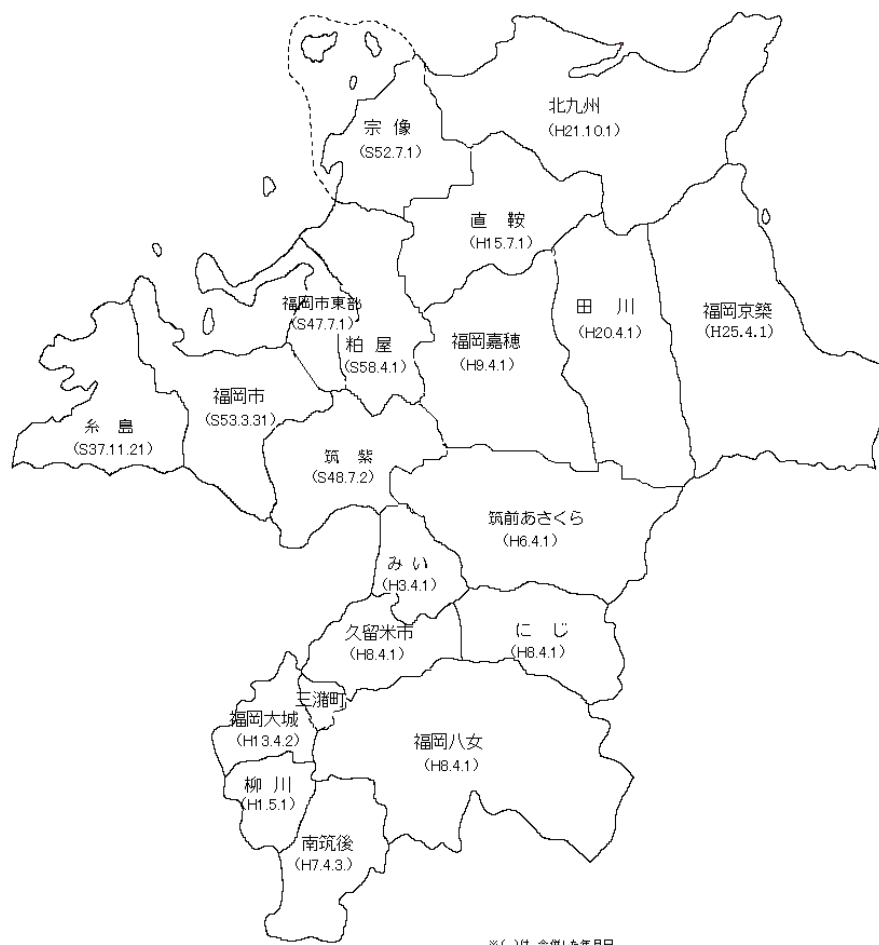
(単位: ha、頭、t、千羽)

	平成12 (2000)		17 (2005)		22 (2010)		27 (2015)		令和2 (2020)		3 (2021)		4年 (2022)	
	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量	面積等	生産量
米	6,120	27,400	5,835	27,279	5,422	26,237	4,981	23,708	5,118	20,938	5,096	23,708	4,946	24,447
麦	976	3,546	1,210	3,348	1,387	3,361	1,767	3,401	1,887	6,705	1,979	7,993	2,029	8,432
大豆	611	1,100	815	939	936	1,165	892	522	826	682	894	632	876	555
レタス	114	1,780	72	1,614	48	1,355	51	1,080	38	620	28	384	24	265
キャベツ	47	1,360	38	1,129	25	743	23	978	51	1,188	49	1,134	20	605
いちご	26	634	21	484	14	370	11	306	11	308	11	315	11	295
いちじく	81	745	77	713	58	652	41	482	23	269	23	236	22	245
もも	24	337	25	337	14	176	15	97	11	66	12	66	12	66
茶	55	184	49	110	51	129	48	112	45	287	45	285	43	283
乳用牛	1,539	-	1,490	-	1,103	-	779	-	691	-	671	-	640	-
肉用牛	1,121	-	629	-	600	-	337	-	346	-	351	-	450	-
採卵鶏	413	-	399	-	296	-	45	-	34	-	34	-	17	-
肉用鶏	95	-	111	-	109	-	39	-	38	-	43	-	44	-

資料: 農林水産省「耕地及び普通作物市町村別データ」、「野菜・果樹・工芸作物・花き市町村別データ」、畜産及び表中の平成22年以降の野菜・果樹・茶は福岡県調べ

VI その他

⑥ 農協管轄図



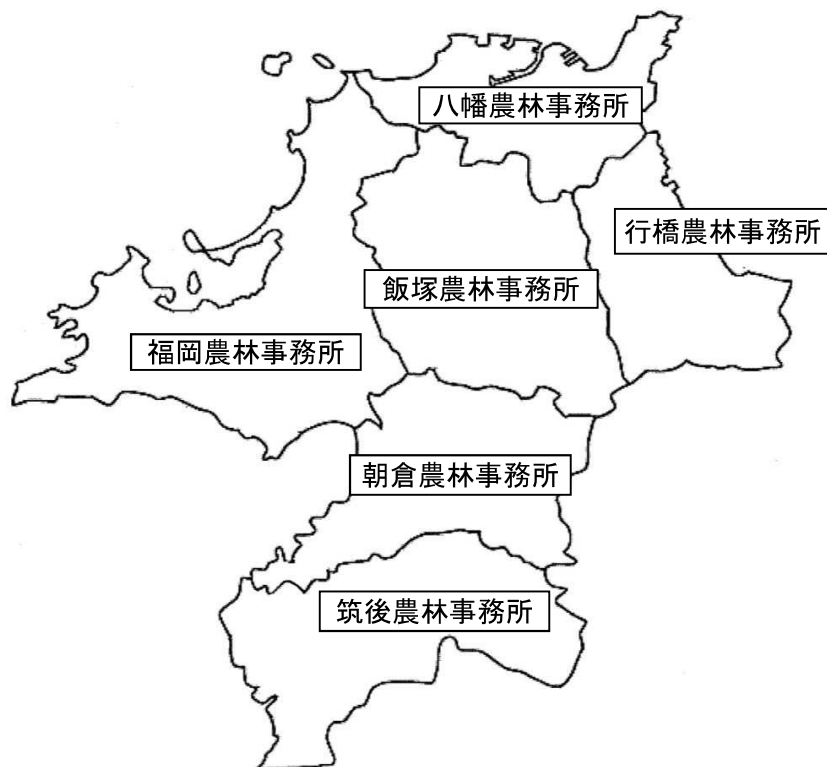
※()は、合併した年月日

県内の農協数

年度	年度末 農協数	合併による設立解散		年度	年度末 農協数	合併による設立解散	
		設立	解散			設立	解散
昭和29	337	1	2	昭和57	82	1	2
31	336	1	2	58	78	1	5
34	334	1	3	60	71	2	9
36	294	10	50	63	70	1	2
37	172	31	153	平成元	67	2	5
38	133	14	53	3	65	1	3
39	127	2	8	6	53	3	15
40	117	6	16	7	48	3	8
43	114	2	5	8	37	4	15
44	113	1	2	9	33	1	5
46	112	1	2	10	30	1	4
47	105	3	10	11	29	1	2
48	99	3	9	13	26	2	5
49	96	1	4	15	25	1	2
52	90	3	9	20	23	0	2
53	85	1	6	21	21	1	3
56	83	1	3	25	20	1	2

注：設立、解散は左の年度中の数

⑥ 農林事務所管轄図



区 分

令和6年4月1日現在

農林事務所	地域区分	関 係 市 町 村
福 岡	福 岡	福岡市
	筑 紫	筑紫野市 [春日市] [大野城市] [太宰府市] 那珂川市
	粕 屋	古賀市 [宇美町] 篠栗町 [志免町] 須恵町 新宮町 久山町 粕屋町
	宗 像	宗像市 福津市
	糸 島	糸島市
朝 倉	朝 倉	朝倉市 筑前町 東峰村
	三 井	小郡市 大刀洗町
	耳 納 山 麓	久留米市 うきは市
八 幡	北九州 東部	北九州市 (門司区 小倉北区 小倉南区)
	北九州 西部	北九州市 (若松区 戸畑区 八幡東区 八幡西区)
	中間・遠賀	中間市 芦屋町 水巻町 岡垣町 遠賀町
飯 塚	嘉 飯 山	飯塚市 嘉麻市 桂川町
	直 鞍	直方市 宮若市 小竹町 鞍手町
	田 川	田川市 香春町 添田町 糸田町 川崎町 大任町 赤村 福智町
筑 後	三 潞・大川	大川市 大木町
	八 女	八女市 筑後市 広川町
	山 門 西 部	柳川市
	山 門 東 部	大牟田市 みやま市
行 橋	行橋・京都	行橋市 荻田町 みやこ町
	豊前・築上	豊前市 吉富町 上毛町 築上町

注：[]内は農業振興地域の指定がない市町

㉟ 用語の説明

- 農 家 : 調査期日現在で、経営耕地面積が10 a 以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても、調査期日前1年間における農作物販売金額が15万円以上あった世帯。
- 販 売 農 家 : 経営耕地面積が30 a 以上又は調査期日前1年間における農作物販売金額が50万円以上の農家。
- 自 給 的 農 家 : 経営耕地面積が30 a 未満で、かつ、調査期日前1年間における農作物販売金額が50万円未満の農家。
- 主 業 農 家 : 農業所得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家。
- 準 主 業 農 家 : 農外所得が主(農家所得の50%未満が農業所得)で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家。
- 副 業 的 農 家 : 調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない農家(主業農家及び準主業農家以外の農家)。
- 農 業 経 営 体 : 農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、(1)経営耕地面積が30 a 以上、(2)農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数等、一定の外形基準以上の規模(露地野菜15a、施設野菜350㎡、搾乳牛1頭等)、(3)農作業の受託を実施、のいずれかに該当するもの。
- 個 人 経 営 体 : 農業経営体のうち、個人(世帯)で事業を行う経営体。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない。(2020年農林業センサスから公表。)
- 団 体 経 営 体 : 農業経営体のうち、個人経営体以外の経営体。(2020年農林業センサスから公表。)
- 農 業 従 事 者 : 15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者。
- 農 業 就 業 人 口 : 農業従事者(自営農業に従事した世帯員)のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。
- 基 幹 的 農 業 従 事 者 : 15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。

(参考)世帯員の就業状態区分

区 分		仕事への従事状況				
		自営農業のみに従事	自営農業とその他の仕事の両方に従事		その他の仕事のみに従事	仕事に従事しない
			自営農業従事日数が多い	その他の仕事への従事日数が多い		
ふだんの状況	仕事の主	基幹的農業従事者		農業従事者		
	主に自営農業	農業就業人口				
	主に他に勤務					
	主に農業以外の自営業					
	主に家事・育児					
	主に学生					
その他						

- 認 定 農 業 者 : 「農業経営基盤強化促進法」に基づき、市町村の基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自ら作成した農業経営改善計画が市町村等(複数市町村で農業を営む農業者の場合は、営農区域に応じて都道府県又は国)から認定を受けた農業者。
- 単 一 経 営 経 営 体 : 農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上の経営体。
- 準 単 一 複 合 経 営 経 営 体 : 農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満の経営体。
- 複 合 経 営 経 営 体 : 農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満(販売のなかった経営体を除く)の経営体。

付属統計・資料（林業編）

目 次

I 森林資源

- ①市町村別の土地利用区分及び森林率 …………… 1
- ②市町村別計画対象森林の状況 …………… 3
- ③民有林計画対象森林の齢級配置表 …………… 5
- ④民有林計画対象森林の資源構成表 …………… 7

II 林業

1 林業経営

- ⑤年齢別林業就業者数 …………… 8
- ⑥規模別林家数及び保有山林面積 …………… 8
- ⑦組織形態別林業経営体数 …………… 8
- ⑧林業機械の保有状況 …………… 9
- ⑨林業研究グループの組織状況 …………… 9
- ⑩労働災害発生状況 …………… 9

2 林業事業体

- ⑪森林組合の現況 …………… 10
- ⑫森林組合名簿 …………… 11
- ⑬森林組合作業員 …………… 11
- ⑭認定事業体の現況 …………… 12

3 生産

- ⑮林産物・特用林産物生産の概要 …………… 13
- ⑯伐採面積と材積 …………… 14
- ⑰原木生産量 …………… 14
- ⑱主要特用林産物生産量 …………… 14

4 価格

- ⑲山元立木価格 …………… 15
- ⑳原木価格 …………… 15
- ㉑製材品価格 …………… 15
- ㉒主要な特用林産物価格 …………… 15

III 木材産業

1 製材

- ㉓規模別製材工場数 …………… 16
- ㉔原木需要量 …………… 16
- ㉕製材品出荷量 …………… 16

2 流通等

- ㉖福岡県森林組合連合会浮羽事業所実績 …………… 17
- ㉗福岡県八女森林組合八女木材共販所実績 …………… 17
- ㉘豊築森林組合木材流通センター実績 …………… 17
- ㉙新設住宅着工戸数と木造率 …………… 17
- ㉚木質バイオマスの発生量と利用量 …………… 17
- ㉛木質チップ生産量 …………… 17

IV 森林の整備及び保全

1 造林

- ㉜樹種別造林面積 …………… 18
- ㉝施策別造林面積 …………… 18
- ㉞保育・森林作業道開設状況 …………… 19
- ㉟山林用苗木生産量 …………… 19
- ㊱指定採取源・採種園・採穂園の現況 …………… 19

2 林道

- ㊲既設林道延長 …………… 20
- ㊳林道事業実績 …………… 20
- ㊴林道災害発生状況 …………… 20

3 治山

- ㊵保安林面積 …………… 21
- ㊶治山事業実績 …………… 22
- ㊷林地・治山施設被害 …………… 22

4 森林保護

- ㊸森林被害 …………… 23
- ㊹松くい虫防除対策の実施状況 …………… 24
- ㊺森林保険の契約状況と損害てん補実績 …………… 24

V 金融

- ㊻日本政策金融公庫融資状況 …………… 25
- ㊼林業・木材産業改善資金融資状況 …………… 25
- ㊽木材産業等高度化推進資金融資状況 …………… 25
- ㊾農林漁業信用基金債務保証状況 …………… 25

VI その他

- ㊿県有林及び県行造林の分取率別面積 …………… 26
- ①県有林及び県行造林の樹種別面積と材積 …………… 26
- ②県営林における森林整備面積 …………… 26
- ③緑化木生産状況 …………… 27
- ④緑の少年団数及び団員数 …………… 27
- ⑤森林ボランティア活動実績 …………… 27
- ⑥林地開発許可処分状況 …………… 28
- ⑦人口と高齢者率 …………… 28
- ⑧振興山村の概要 …………… 28

I 森林資源

① 市町村別の土地利用区分及び森林率

	土地面積	森林			農耕地			その他	森林率
		総数	国有林	民有林	総数	田	畑		
県 総 数	* 498,766	225,091	25,541	199,550	78,400	63,500	14,900	195,275	45
福岡農林計	117,189	51,400	8,402	42,998	11,952	9,869	2,091	53,837	44
福岡市	34,347	12,177	2,990	9,187	1,740	1,480	262	20,430	35
筑紫野市	8,773	4,527	530	3,998	866	802	64	3,380	52
春日市	1,415	50	-	50	20	10	10	1,345	4
大野城市	2,689	1,040	16	1,023	45	38	7	1,604	39
宗像市	11,994	5,122	331	4,791	1,980	1,530	448	4,892	43
太宰府市	2,960	1,193	114	1,079	131	118	13	1,636	40
古賀市	4,207	1,635	220	1,415	444	381	63	2,128	39
福津市	5,276	1,493	80	1,413	1,140	845	298	2,643	28
糸島市	21,569	10,132	1,090	9,042	4,120	3,470	655	7,317	47
那珂川市	7,495	5,429	1,256	4,173	352	318	34	1,714	72
宇美町	3,021	1,852	688	1,164	90	76	14	1,079	61
篠栗町	3,893	2,695	401	2,294	206	186	20	992	69
志免町	869	46	7	39	57	51	6	766	5
須恵町	1,631	650	122	528	135	120	15	846	40
新宮町	1,893	655	121	534	165	51	114	1,073	35
久山町	3,744	2,615	437	2,178	217	184	33	912	70
粕屋町	1,413	90	-	90	244	209	35	1,079	6
朝倉農林計	78,155	29,437	3,126	26,311	21,280	17,295	3,983	27,438	38
久留米市	22,996	3,475	1	3,474	8,330	7,200	1,130	11,191	15
小郡市	4,551	129	-	129	1,820	1,690	121	2,602	3
うきは市	11,746	5,913	-	5,913	2,550	1,520	1,030	3,283	50
朝倉市	24,671	13,330	1,616	11,714	4,790	3,440	1,350	6,551	54
筑前町	6,710	2,236	147	2,089	2,340	2,140	203	2,134	33
東峰村	5,197	4,354	1,361	2,992	250	195	55	593	84
大刀洗町	2,284	-	-	-	1,200	1,110	94	1,084	-
八幡農林計	* 60,184	22,859	4,538	18,321	3,794	3,193	593	33,531	38
北九州市	49,250	19,683	3,721	15,962	2,120	1,730	382	27,447	40
中間市	1,596	77	-	77	271	259	12	1,248	5
芦屋町	1,158	112	12	100	77	43	34	969	10
水巻町	1,101	106	-	106	104	89	15	891	10
岡垣町	4,864	2,517	686	1,831	550	457	93	1,797	52
遠賀町	* 2,215	364	119	245	672	615	57	1,179	16

注1:土地面積は、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令6.1.1)の各市町村面積を記載した。*印は、境界未定市町村である。
注2:森林は、森林法第2条森林(主として農地、宅地、これらに準ずる土地として使用されている土地以外で木竹が集団して生育している森林)の規定に基づくもので、国有林は林野庁所管及び他省庁所管の計である。
注3:農耕地は、農林水産省 作物統計調査(面積調査 市町村別データ)福岡県耕地面積(令和6年2月29日現在)である。
注4:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

令和6年4月1日 現在
(単位:面積 ha、森林率 %)

	土地面積	森林			農耕地			その他	森林率
		総数	国有林	民有林	総数	田	畑		
飯塚農林計	* 98,457	53,129	6,255	46,874	11,610	10,327	1,284	33,718	54
直方市	* 6,176	2,137	783	1,354	647	542	105	3,392	35
飯塚市	21,396	10,686	1,987	8,699	2,330	2,100	230	8,380	50
田川市	* 5,455	1,579	8	1,570	657	612	45	3,219	29
宮若市	13,999	8,325	1,204	7,121	1,710	1,510	197	3,964	59
嘉麻市	13,511	7,855	711	7,144	1,830	1,700	134	3,826	58
小竹町	* 1,428	323	0	323	151	142	9	954	23
鞍手町	* 3,560	1,260	140	1,119	824	721	103	1,476	35
桂川町	2,014	635	17	618	429	407	22	950	32
香春町	4,450	2,891	76	2,815	470	404	66	1,089	65
添田町	* 13,220	11,037	866	10,171	515	395	120	1,668	83
糸田町	* 804	226	-	226	157	136	21	421	28
川崎町	3,614	1,733	0	1,733	406	343	63	1,475	48
大任町	1,426	442	0	442	296	271	25	688	31
赤村	3,198	2,311	0	2,311	385	315	70	502	72
福智町	4,206	1,690	464	1,227	803	729	74	1,713	40
筑後農林計	87,803	37,851	837	37,014	20,172	14,182	5,982	29,780	43
大牟田市	8,145	1,915	-	1,915	1,040	682	360	5,190	24
柳川市	7,715	-	-	-	3,890	3,820	62	3,825	-
八女市	48,244	32,246	832	31,414	6,340	2,430	3,910	9,658	67
筑後市	4,178	-	-	-	1,920	1,570	349	2,258	-
大川市	3,362	-	-	-	1,290	1,280	11	2,072	-
みやま市	10,521	2,264	5	2,259	4,040	3,060	978	4,217	22
大木町	1,844	-	-	-	974	967	7	870	-
広川町	3,794	1,426	-	1,426	678	373	305	1,690	38
行橋農林計	56,977	30,415	2,382	28,032	9,577	8,627	939	16,985	53
行橋市	7,007	1,266	0	1,266	1,990	1,770	218	3,751	18
豊前市	11,101	6,873	993	5,880	1,690	1,480	203	2,538	62
荏田町	4,958	1,663	0	1,663	523	465	58	2,772	34
みやこ町	15,134	9,531	507	9,024	2,310	2,090	219	3,293	63
吉富町	572	-	-	-	189	168	21	383	-
上毛町	6,244	3,864	305	3,558	995	914	81	1,385	62
築上町	11,961	7,218	577	6,640	1,880	1,740	139	2,863	60

資料:農山漁村振興課調べ

② 市町村別計画対象森林の状況

	総数		国有林		民有林					
	面積	材積	面積	材積	計		公有林		私有林	
					面積	材積	面積	材積	面積	材積
県 総 数	216,843	68,372	24,041	6,766	192,802	61,606	23,607	7,843	169,195	53,762
福岡農林計	47,580	14,864	7,751	2,210	39,829	12,653	8,927	3,123	30,902	9,530
福岡市	10,626	3,234	2,477	695	8,150	2,538	2,116	738	6,034	1,800
筑紫野市	4,255	1,454	416	117	3,839	1,337	800	302	3,039	1,034
春日市	48	7	—	—	48	7	17	5	32	2
大野城市	986	265	—	—	986	265	498	142	488	123
宗像市	4,683	1,226	330	65	4,353	1,161	272	47	4,081	1,114
太宰府市	1,165	321	114	36	1,051	286	429	125	622	160
古賀市	1,352	432	220	60	1,132	372	14	3	1,119	368
福津市	1,330	305	79	12	1,250	293	44	7	1,206	286
糸島市	9,648	3,514	1,090	275	8,558	3,239	1,738	759	6,820	2,480
那珂川市	5,367	1,542	1,256	390	4,111	1,152	255	83	3,856	1,069
宇美町	1,824	560	688	218	1,136	342	496	143	640	199
篠栗町	2,595	889	401	137	2,193	752	712	290	1,481	462
志免町	7	1	—	—	7	1	2	0	5	1
須恵町	618	223	122	50	496	173	357	129	139	44
新宮町	471	110	121	32	351	78	6	1	345	78
久山町	2,547	774	437	123	2,110	651	1,169	348	941	303
粕屋町	57	7	—	—	57	7	2	0	54	7
朝倉農林計	29,032	11,548	3,125	872	25,907	10,675	2,322	883	23,585	9,793
久留米市	3,347	1,202	—	—	3,347	1,202	631	225	2,715	977
小郡市	97	19	—	—	97	19	0	0	97	19
うきは市	5,848	2,524	—	—	5,848	2,524	542	216	5,306	2,308
朝倉市	13,235	5,439	1,616	434	11,619	5,005	934	376	10,685	4,630
筑前町	2,164	703	147	45	2,017	658	144	46	1,873	612
東峰村	4,342	1,661	1,361	394	2,980	1,267	71	19	2,909	1,247
八幡農林計	21,672	3,606	3,694	875	17,978	2,731	1,836	400	16,142	2,331
北九州市	18,535	3,097	2,877	722	15,659	2,375	1,559	341	14,100	2,034
中間市	72	1	—	—	72	1	9	0	62	1
芦屋町	105	5	12	2	93	3	46	2	47	2
水巻町	95	2	—	—	95	2	19	0	76	2
岡垣町	2,502	441	686	121	1,816	321	191	54	1,624	267
遠賀町	364	59	119	31	244	28	13	2	232	25

令和6年4月1日 現在
(単位:面積 ha、材積 千m³)

	総数		国有林		民有林					
	面積	材積	面積	材積	計		公有林		私有林	
					面積	材積	面積	材積	面積	材積
飯塚農林計	52,026	16,827	6,253	1,884	45,774	14,943	5,913	1,936	39,860	13,007
直方市	2,097	532	783	187	1,315	345	147	37	1,168	309
飯塚市	10,342	2,932	1,987	592	8,356	2,340	1,677	467	6,679	1,873
田川市	1,479	396	8	2	1,472	394	313	102	1,159	292
宮若市	8,290	2,711	1,203	341	7,087	2,370	948	326	6,139	2,043
嘉麻市	7,629	2,915	710	219	6,919	2,696	1,030	383	5,889	2,313
小竹町	262	29	—	—	262	29	66	11	196	18
鞍手町	1,239	263	140	41	1,099	223	76	9	1,023	214
桂川町	601	151	17	6	584	144	159	41	425	104
香春町	2,842	697	76	23	2,766	674	149	40	2,617	634
添田町	11,002	4,566	866	282	10,136	4,285	827	387	9,309	3,897
糸田町	208	29	—	—	208	29	38	3	169	26
川崎町	1,683	496	—	—	1,683	496	160	39	1,524	457
大任町	413	74	—	—	413	74	62	19	350	55
赤村	2,279	546	—	—	2,279	546	100	24	2,179	522
福智町	1,659	489	464	191	1,195	299	160	48	1,035	251
筑後農林計	36,407	14,122	836	246	35,570	13,876	1,368	542	34,202	13,333
大牟田市	1,762	178	—	—	1,762	178	83	9	1,679	169
八女市	31,376	13,198	832	245	30,544	12,953	1,221	523	29,323	12,430
みやま市	1,943	269	4	1	1,938	268	62	10	1,877	259
広川町	1,325	476	—	—	1,325	476	3	0	1,323	476
行橋農林計	30,126	7,406	2,382	678	27,744	6,728	3,240	960	24,504	5,768
行橋市	1,238	187	—	—	1,238	187	88	11	1,150	177
豊前市	6,812	1,661	993	270	5,819	1,391	940	306	4,879	1,085
荏田町	1,634	155	—	—	1,634	155	214	11	1,420	143
みやこ町	9,470	2,719	506	165	8,963	2,555	337	121	8,626	2,434
上毛町	3,827	979	305	85	3,522	894	688	222	2,834	672
築上町	7,146	1,705	577	159	6,569	1,546	974	289	5,594	1,257

資料:農山漁村振興課調べ

注1:国有林は、森林法第7条の2の規定に基づく地域別の森林計画対象森林である。

注2:民有林は、森林法第5条の規定に基づく地域森林計画対象森林である。

注3:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

参考:計画対象森林と計画対象外森林の状況

令和6年4月1日 現在
(単位:ha)

	国有林		民有林		計
	計画対象森林	計画対象外森林	計画対象森林	計画対象外森林	
面積	24,041	1,500	192,802	6,748	225,091

資料:農山漁村振興課調べ

③ 民有林計画対象森林の齢級配置表

区分	樹種	1			2			3			4		
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
針葉樹	スギ	786	-	-	846	-	-	703	102	8	1,070	240	14
	ヒノキ	119	-	-	194	-	-	320	48	3	1,167	235	10
	マツ	8	-	-	19	-	-	9	0	0	10	0	0
	その他針	-	-	-	-	-	-	2	0	0	5	1	0
	計	913	-	-	1,059	-	-	1,033	150	11	2,251	477	24
広葉樹	クヌギ(人)	58	-	-	111	1	0	198	2	0	167	4	0
	クヌギ(天)	5	-	-	26	0	0	31	1	0	93	3	0
	ザツ	104	-	-	340	1	0	687	8	1	796	17	1
	その他広	148	-	-	193	2	0	167	2	0	159	4	0
	計	315	-	-	671	4	1	1,084	13	2	1,214	29	2
針広計		1,228	-	-	1,729	4	1	2,117	162	13	3,465	505	26
マツ(人)		8	-	-	19	-	-	9	0	0	10	0	0
マツ(天)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	樹種	5			6			7			8		
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
針葉樹	スギ	834	231	8	1,906	642	20	1,162	439	12	1,195	502	13
	ヒノキ	1,318	305	6	3,562	893	15	2,453	662	11	2,481	713	11
	マツ	13	1	0	8	1	0	6	1	0	26	4	0
	その他針	3	1	0	2	1	0	5	1	0	1	0	0
	計	2,168	537	14	5,478	1,536	36	3,626	1,102	23	3,703	1,220	23
広葉樹	クヌギ(人)	102	4	0	240	10	0	264	13	0	273	20	0
	クヌギ(天)	27	1	0	12	1	0	25	2	0	54	5	0
	ザツ	720	21	1	754	30	1	1,081	56	1	687	40	1
	その他広	141	5	0	124	5	0	60	3	0	21	1	0
	計	990	31	2	1,130	46	2	1,429	75	2	1,036	65	2
針広計		3,158	568	15	6,608	1,582	37	5,055	1,177	25	4,739	1,285	25
マツ(人)		12	1	0	8	1	0	5	1	0	20	3	0
マツ(天)		0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	1	0

注:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

令和6年4月1日 現在

(単位:面積 ha、材積 千m³、成長量 千m³)

区分	樹種	9			10			11			12		
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
針葉樹	スギ	1,689	790	17	2,712	1,406	27	5,836	3,251	53	10,706	6,403	90
	ヒノキ	3,218	980	14	4,221	1,373	18	6,634	2,307	29	7,669	2,833	33
	マツ	35	6	0	67	13	0	197	39	1	543	103	1
	その他針	5	1	0	16	2	0	22	4	0	35	8	0
	計	4,946	1,776	32	7,015	2,795	45	12,689	5,602	83	18,953	9,347	124
広葉樹	クヌギ(人)	336	27	0	252	25	0	246	25	0	212	22	0
	クヌギ(天)	15	2	0	8	1	0	2	0	0	2	0	0
	ザツ	847	55	1	1,368	111	1	2,326	204	2	4,573	414	2
	その他広	38	3	0	11	1	0	51	6	0	43	4	0
	計	1,236	87	1	1,638	138	2	2,624	235	2	4,830	440	2
針広計		6,182	1,863	33	8,653	2,933	47	15,313	5,836	85	23,783	9,787	126
マツ(人)		30	5	0	52	10	0	109	22	0	393	72	1
マツ(天)		5	1	0	14	3	0	88	17	0	150	31	0

区分	樹種	13以上			小計(1~8齢級)			小計(9齢級以上)			合計		
		面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
針葉樹	スギ	35,097	24,469	226	8,502	2,155	75	56,040	36,320	412	64,542	38,475	487
	ヒノキ	19,267	8,158	78	11,612	2,856	56	41,009	15,652	173	52,621	18,508	229
	マツ	3,509	635	2	98	7	0	4,351	794	4	4,449	802	4
	その他針	55	23	0	17	4	0	132	39	0	149	42	0
	計	57,928	33,285	305	20,230	5,022	131	101,532	52,805	589	121,761	57,826	721
広葉樹	クヌギ(人)	423	44	0	1,413	54	2	1,469	143	1	2,882	197	3
	クヌギ(天)	1	0	-	274	13	1	29	4	0	302	16	1
	ザツ	32,857	2,560	8	5,169	173	8	41,969	3,343	14	47,138	3,516	21
	その他広	178	14	0	1,013	22	1	321	28	0	1,333	50	2
	計	33,459	2,618	8	7,869	262	12	43,787	3,517	15	51,656	3,779	26
針広計		91,387	35,902	313	28,099	5,284	143	145,319	56,322	604	173,418	61,606	747
マツ(人)		1,634	315	1	91	6	0	2,218	424	2	2,309	430	3
マツ(天)		1,876	320	1	7	1	0	2,133	371	1	2,140	372	1

区分	竹林	無立木地	更新困難地	計
面積	13,323	2,615	3,446	19,384

合計	面積	材積	成長量	人工林率(%)
	192,802	61,606	747	64

資料:地域森林計画書

④ 民有林計画対象森林の資源構成表

令和6年4月1日 現在
(単位:面積 ha、材積 千m³)

			総数	福岡	朝倉	八幡	飯塚	筑後	行橋	
総数	面積		192,802	39,829	25,907	17,978	45,774	35,570	27,744	
	材積		61,606	12,653	10,675	2,731	14,943	13,876	6,728	
人工林	針葉樹	スギ	面積	64,542	12,046	11,217	2,629	15,968	18,182	4,500
			材積	38,475	6,739	6,939	1,551	9,227	11,392	2,627
		ヒノキ	面積	52,621	12,043	8,961	2,307	12,976	5,685	10,649
			材積	18,508	4,170	3,215	827	4,693	1,969	3,634
		マツ他	面積	2,458	868	130	230	547	43	640
			材積	472	219	40	28	94	9	82
	小計	面積	119,621	24,957	20,308	5,165	29,492	23,910	15,789	
		材積	57,455	11,129	10,194	2,406	14,014	13,370	6,342	
	広葉樹	クスギ	面積	2,883	223	476	145	609	979	451
			材積	197	21	49	4	41	68	14
		その他	面積	1,327	254	192	117	391	196	176
			材積	50	10	8	2	18	9	3
	小計	面積	4,209	477	668	261	1,001	1,175	627	
		材積	247	31	57	7	59	77	17	
計	面積	123,831	25,434	20,976	5,427	30,493	25,085	16,416		
	材積	57,702	11,160	10,251	2,413	14,072	13,447	6,359		
天然林	針葉樹	マツ	面積	2,140	441	131	144	439	47	938
			材積	372	118	35	17	73	8	122
	広葉樹	ザツ	面積	47,138	10,516	3,039	9,368	9,882	5,546	8,786
			材積	3,516	1,375	382	301	797	414	246
	クスギ他	面積	309	13	70	3	36	173	14	
		材積	17	1	7	0	1	7	0	
	小計	面積	47,447	10,529	3,109	9,371	9,919	5,719	8,800	
		材積	3,532	1,376	389	301	798	421	247	
	計	面積	49,587	10,970	3,240	9,516	10,358	5,765	9,738	
		材積	3,904	1,494	424	318	871	429	368	
竹林			面積	13,323	2,154	678	2,219	3,455	3,954	863
無立木地			面積	2,615	406	397	239	695	564	314
更新困難地			面積	3,446	865	615	577	774	202	414
人工林率				64	64	81	30	67	71	59

資料:地域森林計画書

注1:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

注2:人工林率の算定は、人工林面積/総面積による。

Ⅱ 林業

1 林業経営

⑤ 年齢別林業就業者数

(単位: %、人)

	平成17	22	27	令和2年
15～29歳	(7) 41	(10) 103	(8) 80	(8) 79
30～39歳	(11) 60	(18) 178	(18) 173	(17) 157
40～49歳	(14) 79	(15) 154	(19) 177	(24) 227
50～59歳	(27) 155	(25) 245	(20) 194	(17) 166
60～64歳	(10) 55	(14) 144	(14) 137	(11) 106
65歳以上	(31) 178	(18) 176	(21) 199	(23) 216
計	(100) 568	(100) 1,000	(100) 960	(100) 951

資料: 国勢調査(狩猟業を含む)

注1: 就業者とは、9月末1週間に主として林業に従事した者。

注2: ()は構成比。

⑥ 規模別林家数及び保有山林面積

(単位: 戸、ha)

		平成17	22	27	令和2年
3ha未満	戸数	10,634	10,591	9,628	7,544
	面積	17,655	17,451	15,828	12,384
3～5ha	戸数	2,783	2,786	2,604	2,167
	面積	9,903	9,890	9,282	7,707
5～20ha	戸数	2,742	2,752	2,611	2,078
	面積	23,067	23,205	22,125	17,614
20～50ha	戸数	368	393	361	287
	面積	10,273	10,813	9,948	7,754
50～100ha	戸数	87	79	90	64
	面積	5,664	5,140	5,866	4,119
100ha以上	戸数	59	55	63	51
	面積	11,784	9,669	16,675	15,552
計	戸数	16,673	16,656	15,357	12,191
	面積	78,345	76,168	79,723	65,131

資料: 農林水産省「農林業センサス」

注: 林家とは、保有山林面積が1ha以上の世帯。

⑦ 組織形態別林業経営体数

(単位: 経営体)

	平成17	22	27	令和2年
法人経営	143	98	85	45
会社	61	33	33	18
各種団体	59	56	47	23
その他の法人	23	9	5	4
個人経営体	3,563	2,674	1,704	642
地方公共団体等	81	60	47	32
計	3,787	2,832	1,836	719

資料: 農林水産省「農林業センサス」

注: 経営体とは、保有山林3ha以上で、かつ森林経営計画を作成している又は、過去5年間に林業作業を行ったもの、若しくは委託を受けて育林、素材生産(過去1年間200㎡以上)を行うもの並びに立木買いにより素材生産したものをいう。

⑧ 林業機械の保有状況

(単位:台)

		令和元	2	3	4	5年度
高性能 林業機械	タワーヤーダ	1	1	1	0	0
	スイングヤーダ	9	9	8	8	8
	プロセッサ	31	34	31	33	33
	ハーベスタ	29	25	28	29	30
	フォワーダ	73	70	73	72	76
	フォーク収納型グ ラッフルバケット	17	18	18	27	31
	そ の 他	0	0	0	0	0
計	160	157	159	169	178	

資料:林業振興課調べ

⑨ 林業研究グループの組織状況

(単位:人)

		令和元	2	3	4	5年度	
県林研 加入組織	団体数	20	17	16	16	15	
	会員 数	男	295	275	269	270	266
		女	63	58	58	64	45
		計	358	333	327	334	311
県林研 未加入組織	団体数	7	9	10	10	8	
	会員 数	男	108	127	136	136	119
		女	2	2	2	2	2
		計	110	129	138	138	121
計	団体数	27	26	26	26	23	
	会員 数	男	403	402	405	406	385
		女	65	60	60	66	47
		計	468	462	465	472	432

資料:林業振興課調べ

注:県林研加入組織とは、「福岡県林業研究グループ連合会」加入組織のことをいう。

⑩ 労働災害発生状況

(単位:人)

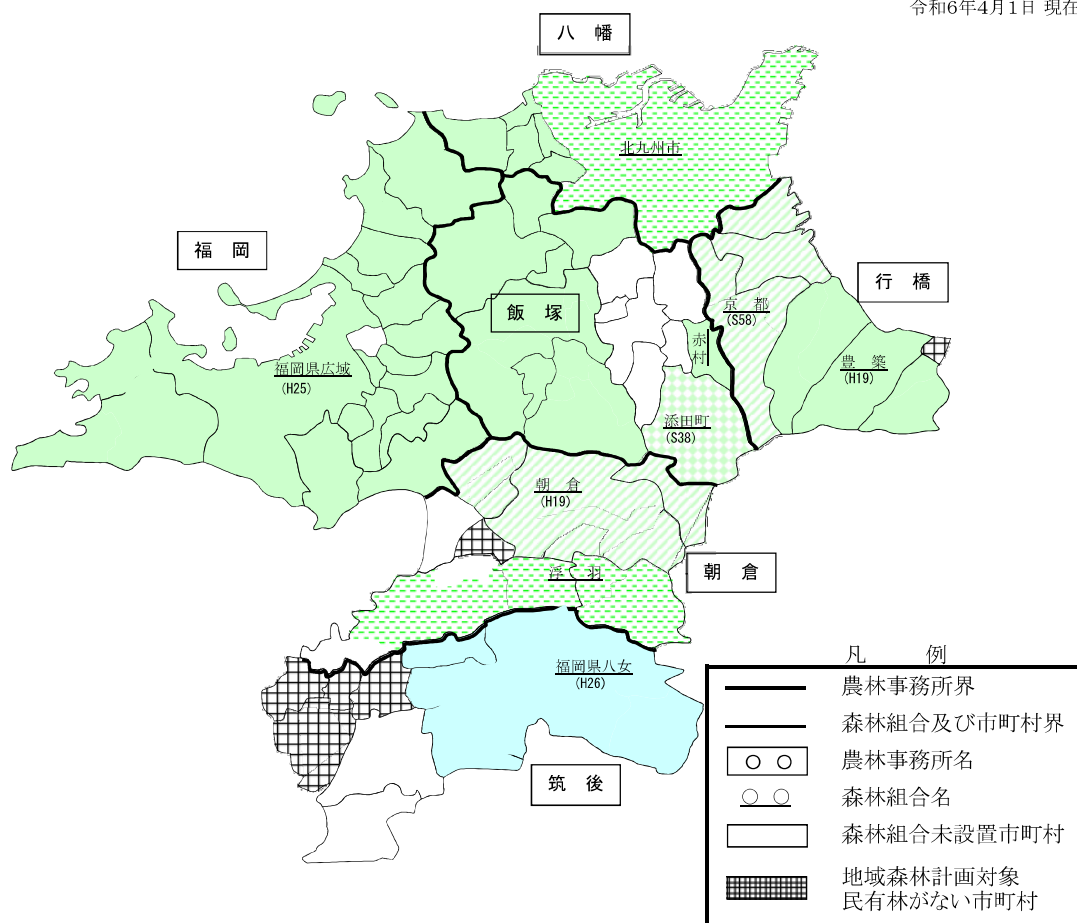
	令和元	2	3	4	5年
死亡者数	0	2	0	1	0
負傷者数	24	29	31	25	18
計	24	31	31	26	18

資料:林業振興課調べ

注:負傷とは、休業4日以上の怪我。

2 林業事業体
⑪ 森林組合の現況

令和6年4月1日 現在



※()は、最終合併した年度

森林組合数の推移と主要指標

年度	年度末 組合数	合併 による		新設	解散	組員所有 森林面積 (ha)	組員数 (人)	役員数 (人)	専従 職員数 (人)	出資金 (千円)
		新設	解散							
平成5	39					125,112	33,837	530	182	629,138
6	39					124,307	33,848	534	170	673,409
7	39					126,728	33,849	526	191	706,641
8	39					126,540	33,731	529	194	797,541
9	37	1	3			126,131	33,645	502	190	814,361
10	36				1	124,394	32,628	486	192	829,231
11	36					125,738	32,604	486	190	851,132
12	31	2	7			125,509	32,397	446	200	910,136
13	29	1	3			125,944	32,428	397	212	984,736
14	29					124,922	32,363	399	211	1,002,638
15	29					125,801	32,333	388	207	1,032,032
16	29					124,622	32,205	391	215	1,047,641
17	29					124,456	31,684	388	207	1,071,535
18	26	1	4			123,617	31,482	341	201	1,164,499
19	23	1	4			122,661	31,356	290	217	1,292,755
20	22				1	121,794	30,897	277	205	1,255,909
21	22					120,244	30,751	269	221	1,268,298
22	22					119,351	30,569	271	221	1,284,876
23	22					119,331	30,411	271	224	1,287,003
24	22					118,974	30,213	271	153	1,312,813
25	12	1	11			118,980	30,005	156	169	1,737,248
26	9	1	4			118,991	29,791	137	171	1,737,846
27	9					119,186	29,611	137	170	1,740,958
28	9					119,110	29,508	132	167	1,750,523
29	9					119,133	29,421	127	169	1,758,318
30	9					119,026	29,299	126	171	1,759,826
令和元	9					115,202	29,142	129	169	1,763,792
2	9					117,553	28,977	126	170	1,756,306
3	9					114,711	28,781	126	174	1,757,261
4	9					124,932	28,392	127	170	1,748,172

資料：団体指導課調べ

⑫ 森林組合名簿

令和6年4月1日現在

組合名	組合長名	所在地	郵便番号	電話番号 FAX番号	設立年月日	広域組合の地区
福岡県広域	吉村 幸一	糟屋郡篠栗町中央2-2-13	811-2417	092-410-1237 092-410-1238	H25.4.1	福岡市、直方市、飯塚市、中間市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、古賀市、福津市、宮若市、嘉麻市、糸島市、那珂川市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町
浮羽	岩佐 達郎	うきは市浮羽町朝田381-5	839-1401	0943-77-2158 0943-77-6017	S26.12.25	久留米市(うち旧久留米市及び旧田主丸町)、うきは市
朝倉	井手 裕康	朝倉市三奈木2978	838-0023	0946-22-4411 0946-22-5442	H19.4.2	朝倉市、筑前町、東峰村
北九州市	森元 義男	北九州市小倉南区大字堀越350	802-0835	093-962-6078 093-962-6336	S27.6.3	
添田町	吉竹 公正	田川郡添田町大字添田1232-12	824-0602	0947-82-0069 0947-82-0070	S39.3.31	
赤村	小林 利夫	田川郡赤村大字内田1188 (村役場内)	824-0432	0947-62-3000 0947-62-3007	S36.7.15	
福岡県八女	樋口 良夫	八女市山内1060-3	834-0012	0943-23-2112 0943-23-2174	H26.4.1	八女市、広川町
京都	田中 稔	京都郡みやこ町犀川本庄577-1	824-0231	0930-42-0037 0930-42-1438	S58.7.14	行橋市、荻田町、みやこ町
豊築	白川 義雄	豊前市大字塔田51	828-0052	0979-82-7529 0979-82-7551	H13.4.1	豊前市、築上町、上毛町

資料: 団体指導課調べ

注: 組合名アンダーラインは広域組合。

⑬ 森林組合作業員

(単位: 人)

		令和元	2	3	4	5年
雇 用 作 業 員	伐出班	84	85	96	87	87
	造林班	67	50	44	52	52
	その他	35	51	47	45	45
	計	186	186	187	184	184

資料: 団体指導課調べ

⑭ 認定事業体の現況

令和6年3月31日現在

農林	林業事業体名	代表者名	所在地	認定年月日
福岡	株式会社梅本林業	代表取締役 梅本 大地	宗像市東郷2丁目1番43号 櫻井ビル103号	R4.7.1
	福岡県広域森林組合	代表理事組合長 吉村 幸一	糟屋郡篠栗町中央二丁目2番13号	R4.6.1
	福岡都市開発株式会社	代表取締役 北方 紀史	糟屋郡須恵町大字須恵346-104	R2.12.22
	山下木材	山下 淳一	福岡市南区向新町2丁目5-2	R3.3.23
	笠林業	笠 徳和	糸島市波多江駅北2-6-8	R4.3.22
	有限会社ティー・アール・ピー	川井田 英士	那珂川市今光5丁目199-1	R6.1.31
朝倉	浮羽森林組合	代表理事組合長 岩佐 達郎	うきは市浮羽町朝田381-5	R5.6.15
	株式会社佐藤木材	代表取締役 佐藤 俊一	朝倉郡筑前町三箇山1059	R4.3.29
	朝倉森林組合	代表理事組合長 井手 裕康	朝倉市三奈木2978	R4.7.1
	株式会社福木林産	代表取締役 岩佐 賢一	うきは市吉井町福益451-2	R4.12.28
	梶原林業	梶原 大源	うきは市浮羽町流川414-1	R5.12.28
八幡	平山木材株式会社	代表取締役 平山 礎	北九州市八幡東区東鉄町11-30	R5.9.14
飯塚	筑豊林業有限会社	取締役 佐藤 喜久夫	嘉麻市上西郷58番地	R5.6.15
	添田町森林組合	代表理事組合長 吉竹 公正	田川郡添田町大字添田1232-12	R2.3.23
	松尾木材有限会社	代表取締役 松尾 寛和	飯塚市八木山12632	R4.7.1
	白石林業	白石 孝司	田川郡赤村大字赤2442	R4.3.29
	中村林業	中村 吉之	田川郡添田町大字添田2622-1	R4.12.28
	飯塚伐採株式会社	代表取締役 永末 敬典	飯塚市下三緒41番地23	R3.3.23
	株式会社ウッドイー	代表取締役 林 雅文	田川郡添田町野田1927	R3.3.23
	株式会社グリーンロード	代表取締役 齋藤 悠久	飯塚市相田1082-41	R3.12.22
	株式会社修成工業	代表取締役 藤本 隆二	飯塚市勢田1868-1	R4.3.22
	株式会社コスモ環境グリーンサービス	代表取締役 江藤 正男	嘉麻市桑野2124番地	R5.5.11
筑後	株式会社九州緑資源開発	代表取締役 諸富 一文	八女市矢部村北矢部2764	R3.3.31
	有限会社原田木材	取締役 原田 隆利	八女市星野村14531-1	R3.3.31
	株式会社足達木材	代表取締役 足達 透	八女市星野村16004-1	R3.3.31
	森山林業株式会社	代表取締役 森山 浩三	八女市矢部村北矢部12075-10	R4.3.29
	小松林業建設	小松 茂	八女市黒木町笠原11376番地12	R4.12.28
	星野林業株式会社	代表取締役 足達 祐治	八女市星野村16004番地-1	R5.9.14
	福岡県八女森林組合	代表理事組合長 樋口 良夫	八女市山内1060-3	R1.5.31
	横溝林業	横溝 浩樹	八女市黒木町146	R2.3.23
	森松林業	森松 大輔	八女市星野村11924番地	R4.3.22
	株式会社クリエイトやべ	代表取締役 田島 富士雄	八女市矢部村北矢部10516-1	R4.9.21
	行橋	京都森林組合	代表理事組合長 田中 稔	京都府みやこ町犀川本庄577-1
豊築森林組合		代表理事組合長 白川 義雄	豊前市大字塔田51	R3.3.23
株式会社ロッガーフォレスト		代表取締役 岩下 尚史	豊前市大字今市656-1	R2.3.23
末松林産		末松 元	築上郡上毛町大字西友枝727-2	R4.12.28
株式会社京築伐採		代表取締役 沖永 征一郎	京都府菊田町大字与原968-1	R5.1.20
A伸林業		笹原 敦	築上郡上毛町大字下唐原2148-92	R5.12.28

資料：林業振興課調べ

注：認定事業主とは、林業労働力の確保に関する法律に基づき、雇用管理の改善と事業の合理化に一体的に取り組む意欲と能力のある林業事業体で、その改善計画を作成し知事の認定を受けた事業主。

3 生産

⑮ 林産物・特用林産物生産の概要

		全 国(令和4年)		福岡県(令和4年)		備 考	福岡県 (令和5年)	
		生産量	生産額	生産量	生産額		生産量	
林 産 物	素材生産	千m ³ 22,082	億円 2,928	千m ³ 335	百万円 2,740		千m ³ 341	
	特 用 林 産 物	きのこ類	乾しいたけ	t 2,034	億円 78	t 21	百万円 80	
生しいたけ			69,532	577	795	500		970
なめこ			23,738	92	2	0		3
えのきたけ			126,321	259	5,542	1,160	生産量全国4位	5,364
ひらたけ			4,501	29	1,104	580	生産量全国2位	1,392
ぶなしめじ			122,840	485	15,061	4,910	生産量全国3位	16,231
まいたけ			56,763	321	3,824	2,340	生産量全国3位	3,747
エリンギ			37,798	176	1,788	950	生産量全国4位	1,703
その他			5,156	62	144	120	ぬめりすぎたけ・きくらげ類 等	129
小計			460,890	2,080	28,404	10,640		29,676
たけのこ		21,798	49	5,875	1,318	生産量全国1位	4,485	
木ろう		22	1	10	29	生産量全国2位	10	
竹材		828	5	5	2	生産量全国9位	5	
竹炭		426	1	225	29	生産量全国1位	182	
その他	-	91	413	110	ふき、さかき 等	331		
合 計	-	2,225	35,075	12,128		34,833		
総 計	-	5,153	-	14,868		-		
※参考(緑化木)	-	-	千本 3,605	百万円 1,254		千本 3,316		

資料:農林水産省「農林水産統計(令和4年次調査)」、林野庁「令和4年次特用林産基礎資料」、林野庁発表資料、
林業振興課調べ

- 注1:生産量の単位:「竹材」は千束。合計欄は1束=30kgで換算している。
 注2:全国のたけのこの生産額は福岡県が独自に算定したもの。
 注3:きのこ類のその他欄を含む乾きくらげ類は、生換算(生重量=乾重量×10)している。
 注4:きのこ生産量の小計欄は、乾しいたけを生換算(生重量=乾重量×7)している。
 注5:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑩ 伐採面積と材積

(単位:面積 ha、材積 m³)

			令和元	2	3	4	5年度
主伐	針葉樹	面積	495	356	464	497	502
		材積	292,709	238,965	268,303	308,068	336,719
	広葉樹	面積	49	41	52	43	40
		材積	4,735	3,556	4,556	4,178	4,517
	計	面積	544	397	516	540	542
		材積	297,444	242,521	272,859	312,246	341,236

資料:農山漁村振興課調べ

注1:主伐には被害木整理は含まない。

注2:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑪ 原木生産量

(単位:千m³)

		令和元	2	3	4	5年
樹種別	スギ	199	193	282	232	229
	ヒノキ	73	58	30	79	102
	マツ	5	3	1	7	0
	その他針葉樹	0	2	2	4	4
	広葉樹	22	20	6	13	6
	計	299	276	321	335	341
用途別	製材用	247	220	268	274	296
	合板用	5	2	6	16	2
	木材チップ用	47	54	47	45	43
	計	299	276	321	335	341

資料:農林水産省「木材統計」、林業振興課調べ

注:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

⑫ 主要特用林産物生産量

(単位:t(竹材は千束))

	令和元	2	3	4	5年
乾しいたけ	18	20	22	21	20
生しいたけ	595	671	738	795	970
たけのこ	5,653	7,487	4,386	5,875	4,485
竹材(まだけ)	1	1	0	0	0
竹材(もうそう)	17	14	15	5	5
木ろう	6	10	11	10	10
木炭	16	14	13	12	7
竹炭	261	239	234	225	182
えのきたけ	4,119	4,506	4,933	5,542	5,364
ぶなしめじ	14,751	14,986	14,636	15,061	16,231
くり	77	-	-	-	-
ぎんなん	38	-	-	-	-
ふき	72	294	242	270	231

資料:林業振興課調べ

注:令和2年以降のくり、ぎんなん生産量は調査対象外。

4 価格

⑱ 山元立木価格

(単位:円/m³)

	令和元	2	3	4	5年
スギ	2,148	1,976	2,399	4,438	3,639
ヒノキ	5,146	4,991	6,086	9,935	7,770

資料:(財)日本不動産研究所

注:スギ山元立木価格が一番高かったのは、昭和55年で20,928円/m³。

⑳ 原木価格

(単位:円/m³)

	令和元	2	3	4	5年
スギ	12,700	11,000	15,600	14,500	13,400
ヒノキ	17,200	15,900	25,300	23,800	21,800

資料:県森運浮羽事業所実績値(径18~22cm、4m)

注:スギ原木価格が一番高かったのは、昭和54年で44,800円/m³。

㉑ 製材品価格

(単位:円/m³)

	令和元	2	3	4	5年
スギ	38,700	38,900	50,300	58,900	55,100
ヒノキ	50,700	49,900	68,200	84,000	76,900

資料:農林水産省「木材価格」(正角10.5×10.5、3m)

注:スギ製材品価格が一番高かったのは、令和4年で58,900円/m³。

㉒ 主要な特用林産物価格

(単位:円/kg)

	令和元	2	3	4	5年
たけのこ(青果用)	525	439	422	476	508
たけのこ(加工用)	150	109	125	125	177
乾しいたけ	3,533	3,725	3,976	4,303	4,587
生しいたけ	594	536	530	618	602
ぶなしめじ	329	346	305	296	374
えのきたけ	250	281	245	240	294
まいたけ	1,117	965	819	539	562
エリンギ	585	578	500	473	582

資料:林業振興課調べ

Ⅲ 木材産業

1 製材

㉓ 規模別製材工場数

(単位:工場)

	令和元	2	3	4	5年
小規模(75.0kw未満)	74	70	64	66	62
中規模(75.0～300.0kw)	26	24	25	23	19
大規模(300.0kw以上)	6	6	6	6	6
計	106	100	95	95	87

資料:農林水産省「木材統計」

注:製材工場数が一番多かったのは、昭和43年で608工場。

㉔ 原木需要量

(単位:千m³)

	令和元	2	3	4	5年	
県産材	230	227	321	325	305	
他県産材	265	259	234	156	164	
外材	米材	8	12	x	5	1
	南洋材	x	3	x	1	x
	北洋材	-	5	x	x	x
	NZ材	-	-	-	-	-
	その他	x	4	0	x	-
小計	17	24	10	7	2	
計	512	510	565	488	471	

資料:農林水産省「木材統計」、林業振興課調べ

注1:原木需要量が一番大きかったのは、昭和48年で2,432千m³。

注2:「x」は、個人又は団体の秘密保護のため、公表しないもの。

㉕ 製材品出荷量

(単位:千m³)

	令和元	2	3	4	5年
建築用材	229	201	207	192	118
土木建設用材	17	13	13	11	1
家具・建具用材	0	5	11	5	4
その他	14	24	29	23	11
計	260	243	260	231	134

資料:農林水産省「木材統計」

注:製材品出荷量が一番大きかったのは、昭和51年で1,244千m³。

2 流通等

㉔ 福岡県森林組合連合会浮羽事業所実績

(単位: m³、千円)

	令和元	2	3	4	5年
取扱数量	40,565	26,008	43,002	38,671	36,861
売上高	441,946	287,094	680,306	541,972	542,460

資料: 林業振興課調べ

㉕ 福岡県八女森林組合八女木材共販所実績

(単位: m³、千円)

	令和元	2	3	4	5年
取扱数量	54,348	58,867	64,080	64,625	58,150
売上高	571,976	610,007	892,378	844,779	731,763

資料: 林業振興課調べ

㉖ 豊築森林組合木材流通センター実績

(単位: m³、千円)

	令和元	2	3	4	5年
取扱数量	17,080	16,134	17,940	17,014	17,080
(うち、福岡県森林組合連合会共販分)	13,420	13,678	16,131	17,014	17,080
売上高	191,582	170,100	283,433	229,929	231,401

資料: 林業振興課調べ

㉗ 新設住宅着工戸数と木造率

(単位: (全国)千戸、(県)戸、%)

		令和元	2	3	4	5年
全国	着工戸数(千戸)	905	815	856	860	820
	木造率(%)	58	58	59	55	55
福岡県	着工戸数(戸)	39,860	34,464	40,298	41,458	37,752
	木造率(%)	49	49	48	47	50

資料: 国土交通省「住宅着工統計」

注: 福岡県の新設住宅着工戸数が一番多かったのは、平成2年で82,113戸。

㉘ 木質バイオマスの発生量と利用量

(単位: 千t)

		令和元	2	3	4	5年度
発生量	林地残材	554	651	682	709	597
	製材所残材	199	282	306	347	340
	竹材	182	195	203	189	84
	建設発生木材	47	47	47	47	47
	建設発生木材	110	110	110	110	110
	その他	16	16	16	16	16
利用量	製紙原料	300	378	379	373	275
	たい肥	55	59	63	57	32
	敷料	42	45	46	43	22
	燃料	83	88	91	86	48
	燃料	90	109	102	110	98
	竹炭	2	2	2	2	2
	その他	28	75	75	76	74

資料: 林業振興課調べ

注: 原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

㉙ 木質チップ生産量

(単位: 千t)

	令和元	2	3	4	5年
原木	14	14	48	31	6
工場残材	31	29	26	28	29
林地残材	-	-	-	3	3
解体材・廃材	34	36	38	34	44
計	79	79	114	96	82

資料: 農林水産省「木材統計」

IV 森林の整備及び保全

1 造林

㊸ 樹種別造林面積

(単位:ha)

		令和元	2	3	4	5年度
針葉樹	ミスギ	2	2	-	1	4
	サンスギ	209	219	(2)	320	278
	スギ計	211	221	(2)	321	282
	ヒノキ	37	49	(0)	50	46
	アカマツ	-	-	-	-	-
	クロマツ	9	12	22	(0)	(1)
	マツ計	9	12	22	(0)	(1)
	その他針葉樹	0	2	-	-	-
	針葉樹計	257	283	450	383	334
	広葉樹	クヌギ	45	38	25	(0)
その他広葉樹		(0)	(0)	(1)	(0)	(2)
広葉樹計		(0)	(0)	(1)	(0)	(2)
合計		(0)	(0)	(3)	(0)	(3)
合計		351	370	540	478	420

資料: 林業振興課調べ

注1: 上段()書きは、樹下植栽等で外数。

注2: 原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

㊹ 施策別造林面積

(単位:ha)

		令和元	2	3	4	5年度	
単層林	国庫補助	拡大造林	10	5	19	7	6
		再造林	256	281	412	361	319
		計	266	286	431	368	325
	県単補助	拡大造林	1	0	1	1	0
		再造林	13	10	1	7	1
		計	14	10	1	8	1
	融資	拡大造林	-	-	-	-	-
		再造林	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	-
	自力	拡大造林	11	10	11	16	18
		再造林	-	6	-	(3)	(4)
		計	47	50	71	62	42
	機構	再造林	(25)	(28)	(46)	(25)	(16)
		計	58	60	82	78	59
		拡大造林	12	11	19	8	17
	単層林計	再造林	2	3	8	17	18
		計	14	15	26	25	34
拡大造林		33	27	49	32	41	
複層林	再造林	318	343	491	446	379	
	計	351	370	540	478	420	
	複層林	0	0	3	0	3	
合計		352	370	543	479	423	

資料: 林業振興課調べ

注1: 再造林には、災害造林を含む。

注2: 自力欄の()書きは、治山関係事業で内数。

注3: 原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

③④ 保育・森林作業道開設状況

(単位:ha、路線、m)

		令和元	2	3	4	5年度
保育	下刈	1,321	1,655	1,775	(44) 1,929	(64) 1,831
	除伐	262	262	282	(70) 347	(87) 367
	間伐	(58) 2,761	(111) 2,853	(141) 3,212	(144) 2,737	(99) 2,403
	除間伐計	(58) 3,023	(111) 3,115	(141) 3,494	(214) 3,084	(185) 2,770
更新伐		-	-	-	(15)	(21)
森林作業道等	路線数	(7) 218	(-) 167	(18) 212	(11) 194	(9) 186
	延長	(4,779) 175,117	(-) 137,266	(9,960) 233,054	(13,086) 193,410	(13,929) 159,608

資料:林業振興課調べ

注1:上段()書きは、(国研)森林研究・整備機構分で外数。
注2:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

③⑤ 山林用苗木生産量

(単位:千本)

		令和元	2	3	4	5年度
スギ	サシスギ	274	299	224	283	215
	ミスギ	61	67	73	72	37
	少花粉サシスギ	161	180	190	229	229
	少花粉コンテナ苗	261	385	486	689	748
	コンテナ苗	6	-	0	3	11
計		762	930	973	1,275	1,240
ヒノキ	実生ヒノキ	236	251	245	198	181
	サシヒノキ	-	-	-	-	-
	コンテナ苗	25	17	9	15	23
計		260	268	254	213	203
マツ	アカマツ	2	5	1	3	2
	クロマツ	16	21	17	23	8
	抵抗性クロマツ	77	61	36	31	42
	計	95	87	54	56	51
クヌギ		183	168	156	144	180
ヤシヤブシ		11	11	12	7	15
合計		1,234 (1,311)	1,403 (1,464)	1,412 (1,448)	1,665 (1,696)	1,648 (1,689)

資料:林業振興課調べ

注1:苗畑実態調査による。
注2:合計欄の()書きは、抵抗性クロマツを含んだ苗木の生産量。
注3:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

③⑥ 指定採取源・採種園・採穂園の現況

(単位:ha)

		スギ	ヒノキ	クロマツ	センダン	合計
指定採取源	育種	4.22	10.06	1.01	-	15.29
	普通	-	73.05	1.57	-	74.62
採種園		0.44	9.68	0.93	0.35	11.40
採穂園		3.78	0.38	0.08	-	4.24

資料:林業振興課調べ

注:育種は育種母樹林、普通は普通母樹林。

2 林道

㊦ 既設林道延長

各年度末現在
(単位:延長 m、密度m/ha)

		令和元	2	3	4	5年度		
民有林面積 (A)		193,759	193,759	193,085	193,085	192,802		
既設林道延長(実績) (B)		2,017,244	2,024,210	2,028,879	2,033,362	2,037,936		
〃 密度 (B/A)		10.4	10.4	10.5	10.5	10.6		
林道現況延長(認定) (C)		1,584,689	1,590,594	1,593,778	1,597,263	1,600,620		
〃 密度 (C/A)		8.2	8.2	8.3	8.3	8.3		
種類別 林道延長	自動車道	車道幅員 4.0m超	路線数 延長	2 9,157	2 9,157	2 9,157	2 9,157	2 7,869
		4.0m	路線数 延長	39 426,938	39 429,643	39 430,325	39 430,403	39 431,880
		4.0m未満	路線数 延長	710 1,148,594	710 1,151,794	709 1,154,296	708 1,157,703	710 1,160,871
		小計	路線数 延長	751 1,584,689	751 1,590,594	750 1,593,778	749 1,597,263	751 1,600,620
	軽車道	路線数 延長	59 52,489	59 52,489	59 52,489	59 52,489	59 52,489	
	合計	路線数 延長	810 1,637,178	810 1,643,083	809 1,646,267	808 1,649,752	810 1,653,109	
	舗装延長	路線数 延長	454 1,154,379	455 1,160,583	458 1,164,933	458 1,167,641	458 1,168,927	

資料:農村森林整備課調べ

注1:既設林道延長は、令和3年度までに開設された車道幅員1.8m以上(自動車道以上)的林道延長であって、用途変更及び認定による林道の増減は含まない。

注2:林道現況延長(認定)は、用途変更及び認定による延長の増減を含む。

注3:既開設林道は、繰越分を含まない。

注4:同一路線に2つ以上の幅員がある場合は、起点の幅員に計上している。

㊧ 林道事業実績

(単位:延長 m)

		令和元	2	3	4	5年度
開設	路線数	14	15	13	11	12
	延長	(0) 8,580	(668) 7,634	(14) 4,669	(22) 4,483	(0) 4,610
改良	路線数	15	32	19	22	19
	延長	715	3,051	2,475	1,627	2,558
舗装	路線数	[17]	[18]	[18]	[13]	[11]
	延長	10 [8,013]	10 [7,146]	10 [4,784]	7 [3,920]	6 [3,276]
災害	路線数	80	24	32	48	11
	箇所数	194	38	66	67	11
	延長	15,001	3,142	7,282	5,074	537
計	路線数	119	81	74	88	48
	箇所数	194	38	66	67	11
	延長	(0) 26,062	(668) 16,073	(14) 16,186	(22) 12,266	(0) 8,622

資料:農村森林整備課調べ

注1:開設及び計の延長欄の()は改築延長で内数(翌年度への繰越は次年度に含む)。

注2:林道舗装の路線数及び延長欄の[]は、開設による同時舗装を含めたものである。

㊨ 林道災害発生状況

(単位:延長 m、被害額 千円)

		令和元	2	3	4	5年度
路線数		60	122	143	19	184
箇所数		216	294	313	140	832
延長		5,602	5,888	5,207	1,989	23,244
被害額		496,310	1,156,425	1,151,826	147,455	2,837,154

資料:農村森林整備課調べ

3 治山

④ 保安林面積

(単位:ha)

		令和元	2	3	4	5年度
水かん	国有林	21,494	21,474	21,373	21,373	21,384
	民有林	59,751	59,844	60,042	60,030	60,086
	計	81,244	81,318	81,415	81,403	81,470
土流	国有林	(1) 551	(1) 551	(1) 551	(1) 550	(1) 551
	民有林	(610) 21,302	(608) 21,376	(609) 21,444	(610) 21,452	(610) 21,500
	計	(610) 21,853	(609) 21,927	(610) 21,995	(611) 22,002	(611) 22,051
土崩	国有林	(0) 104	(0) 104	(0) 104	(0) 104	(0) 104
	民有林	(14) 80	(14) 80	(14) 80	(14) 79	(14) 79
	計	(14) 184	(14) 184	(14) 184	(14) 183	(14) 183
飛砂	国有林	60	34	34	34	34
	民有林	(13) 37	(13) 36	(13) 36	(13) 36	(13) 36
	計	(13) 96	(13) 70	(13) 70	(13) 70	(13) 70
防風	国有林	(0) 1,038	(0) 1,031	(0) 1,031	(0) 1,031	(0) 1,031
	民有林	(3) 279	(3) 284	(3) 283	(3) 284	(3) 284
	計	(3) 1,317	(3) 1,316	(3) 1,315	(3) 1,315	(3) 1,315
水害	国有林	4	4	4	4	4
	民有林	12	11	11	11	11
	計	16	15	15	15	15
潮害	国有林	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)
	民有林	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2
	計	(7) 2	(7) 2	(7) 2	(7) 2	(7) 2
干害	国有林	-	-	-	-	-
	民有林	(4) 24	(4) 24	(4) 24	(4) 24	(4) 24
	計	(4) 24	(4) 24	(4) 24	(4) 24	(4) 24
防雪	-	-	-	-	-	
防霧	-	-	-	-	-	
なだれ	-	-	-	-	-	
落石	-	-	-	-	-	
防火	国有林	-	-	-	-	-
	民有林	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)
	計	(11)	(11)	(11)	(11)	(11)
魚つき	国有林	7	7	7	7	7
	民有林	(3) 112	(3) 112	(3) 112	(3) 112	(3) 112
	計	(3) 118	(3) 118	(3) 118	(3) 118	(3) 118
航行	国有林	(11) 0	(11) 0	(11) 0	(11) 0	(11) 0
	民有林	3	3	3	3	3
	計	(11) 3	(11) 3	(11) 3	(11) 3	(11) 3
保健	国有林	(2,064) 173	(2,064) 173	(2,064) 173	(2,064) 173	(2,064) 173
	民有林	(9,742) 373	(9,745) 370	(9,744) 370	(9,745) 368	(9,744) 374
	計	(11,806) 547	(11,808) 543	(11,808) 543	(11,808) 542	(11,808) 547
風致	国有林	(11) 7	(11) 7	(11) 7	(11) 7	(11) 7
	民有林	(70) 0	(70) 0	(70) 0	(94) 0	(94) 0
	計	(82) 7	(82) 7	(82) 7	(105) 7	(105) 7
県計	国有林	(2,093) 23,437	(2,093) 23,386	(2,093) 23,285	(2,093) 23,284	(2,093) 23,295
	民有林	(10,471) 81,975	(10,473) 82,143	(10,472) 82,408	(10,498) 82,402	(10,497) 82,512
	計	(12,564) 105,412	(12,566) 105,528	(12,565) 105,693	(12,591) 105,685	(12,591) 105,807

資料:農山漁村振興課調べ

注1:()書きは、兼種指定保安林であり、外数。

注2:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

④ 治山事業実績

(単位:か所)

	令和元	2	3	4	5年度
国庫補助治山	84	91	107	83	70
農山漁村地域整備交付金	25	27	24	23	21
地域自主戦略交付金	—	—	—	—	—
漁場保全関連特定整備	—	—	—	—	—
農山漁村地域整備交付金 (漁場保全)	1	1	—	—	—
地域自主戦略交付金 (漁場保全)	—	—	—	—	—
小計	110	119	131	106	91
災害関連緊急治山等事業	26	18	4	—	4
治山施設災害復旧事業	—	—	—	—	1
林地崩壊防止事業	1	—	—	—	1
小計	27	18	4	0	6
合計	137	137	135	106	97

資料:農村森林整備課調べ

注:か所数は発注件数。

④ 林地・治山施設被害

(単位:か所、千円)

		令和元	2	3	4	5年度
林地被害 (離島分を除く)	か所	25	55	33	1	63
	被害額	609,000	1,292,000	1,551,500	15,000	3,979,400
林地被害 (離島分)	か所	—	—	—	—	—
	被害額	—	—	—	—	—
治山施設被害 (離島分を除く)	か所	—	—	1	—	18
	被害額	—	—	100,000	—	836,000
治山施設被害 (離島分)	か所	—	—	—	—	—
	被害額	—	—	—	—	—
合計	か所	25	55	34	1	81
	被害額	609,000	1,292,000	1,651,500	15,000	4,815,400

資料:農村森林整備課調べ

4 森林保護

④ 森林被害

(単位:松くい虫被害数量 m³、その他の被害数量 ha、被害額 千円)

			令和元	2	3	4	5年度
害 虫 獣	松くい虫	数量	615	754	650	485	459
		被害額	4,165	5,004	4,491	3,681	3,610
	シカ	数量	28	27	25	19	16
		被害額	27,818	27,691	19,590	18,659	17,931
	イノシシ	数量	24	102	27	24	22
		被害額	21,516	19,587	13,292	13,202	12,448
	その他	数量	1	3	2	3	3
		被害額	920	179	253	778	2,206
	計	数量	(615) 53	(754) 132	(650) 54	(485) 46	(459) 41
		被害額	54,419	52,461	37,626	36,320	36,195
火災		数量	-	-	-	-	2
		被害額	-	-	-	-	2,923
気 象 災	干害	数量	-	-	-	-	-
		被害額	-	-	-	-	-
	風水害	数量	-	-	-	-	-
		被害額	-	-	-	-	-
	雪凍霜害	数量	-	-	-	-	-
		被害額	-	-	-	-	-
	計	数量	-	-	-	-	-
		被害額	-	-	-	-	-

資料:林業振興課調べ

注1:害虫獣計の数量欄の上段()書きは松くい虫、下段は他の害虫獣。

注2:松くい虫による過去最大の被害量は、昭和54年度の67,160m³、過去最小の被害量は令和5年度の459m³。

注3:火災と気象災は、年次で取りまとめ。

注4:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

④ 松くい虫防除対策の実施状況

(単位:空中散布・地上散布 ha、樹幹注入 本、伐倒・駆除量 m³)

		令和元	2	3	4	5年度
予防	特別防除 (空中散布)	21	21	21	21	21
	地上散布	200	200	200	203	209
	樹幹注入	6,449	5,494	6,478	5,800	6,481
駆除	薬剤	-	-	-	-	-
	くん蒸	-	-	-	-	-
	破砕	378	455	479	501	404
	全木焼却	22	32	51	-	125

資料: 林業振興課調べ

注: 自力分を除く。

⑤ 森林保険の契約状況と損害てん補実績

(単位: 件、ha、千円)

			令和元	2	3	4	5年度
契約状況	契約高	件数	412	353	357	381	354
		面積	4,342	3,845	4,441	3,840	3,549
		金額	10,143,054	7,861,844	9,061,746	7,890,558	7,033,453
		保険料	46,379	33,380	42,959	37,635	34,699
損害てん補 実績	火災	件数	-	1	-	-	2
		面積	-	1.86	-	-	1.05
		支払保険金	-	1,265	-	-	399
	風水害	件数	34	25	195	21	43
		面積	3.29	1.73	17.89	2.10	3.15
		支払保険金	3,940	2,126	23,973	1,788	3,253
	その他 気象災	件数	-	5	-	-	2
		面積	-	4.29	-	-	8.56
		支払保険金	-	464	-	-	700

資料: 林業振興課調べ

V 金融

④⑥ 日本政策金融公庫融資状況

(単位:百万円、件)

	令和元	2	3	4	5年度
貸付金	324	70	42	27	8
件数	4	6	5	3	2

資料:団体指導課調べ

④⑦ 林業・木材産業改善資金融資状況

(単位:百万円、件)

	令和元	2	3	4	5年度
貸付金	4.5	-	1.5	2.5	6.0
件数	1	-	1	1	1

資料:団体指導課調べ

④⑧ 木材産業等高度化推進資金融資状況

(単位:件、千円)

	令和元		2		3		4		5年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
事業経営改善合理化資金	素材生産等促進資金	18	370,672	17	361,304	16	362,740	7	219,000	8	128,000
	素材転換促進資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	間伐等促進資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	18	370,672	17	361,304	16	362,740	7	219,000	8	128,000
計	18	370,672	17	361,304	16	362,740	7	219,000	8	128,000	

資料:団体指導課調べ

④⑨ 農林漁業信用基金債務保証状況(各年度末残高)

(単位:件、千円)

	令和元		2		3		4		5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
組合関係	3	62,400	3	60,000	3	47,600	2	45,200	2	42,800
会社	44	1,116,894	43	1,041,284	39	894,410	29	716,808	27	646,475
個人	13	105,029	10	73,158	8	55,978	8	55,966	7	48,695
合計	60	1,284,323	56	1,174,442	50	997,987	39	817,974	36	737,970
保証倍率	45.00		45.00		45.00		45.00		45.00	

資料:団体指導課調べ

注:原則として単位未満で四捨五入しているため合計と内数の計は必ずしも一致しない。

VI その他

⑤① 県有林及び県行造林の分収率別面積

(単位:ha)

		令和元	2	3	4	5年度
県有林(10/10)		269	269	269	269	269
県行造林	7/10	131	116	110	110	85
	6/10	2,690	2,538	2,424	1,988	1,591
	5/10	1,291	1,219	1,150	1,068	706
	小計	4,112	3,872	3,684	3,166	2,382
計		4,381	4,141	3,953	3,435	2,651

資料: 林業振興課調べ

⑤② 県有林及び県行造林の樹種別面積と材積

(単位:面積 ha、材積 千m³)

	令和元		2		3		4		5年度	
	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
スギ	1,545	515	1,459	493	1,388	479	1,167	399	887	311
ヒノキ	2,314	506	2,189	488	2,077	473	1,898	434	1,435	339
マツ	149	11	140	11	138	11	119	9	116	9
その他針葉樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広葉樹	63	4	62	4	62	4	47	4	41	4
その他	290	-	270	-	266	-	182	-	151	-
計	4,360	1,036	4,120	996	3,932	966	3,414	846	2,630	663

資料: 林業振興課調べ

注: その他の面積は、除地、道沢敷の面積。

⑤③ 県営林における森林整備面積

(単位:ha)

	令和元	2	3	4	5年度
間伐	92	91	84	52	35
除伐	0	0	-	1	0
枝打	0	-	-	-	0
その他	0	0	0	0	0
計	92	91	84	53	35

資料: 林業振興課調べ

注: その他の面積は、下刈等。

⑤③ 緑化木生産状況

(単位:ha、人、万本)

		令和元	2	3	4	5年度	
生産面積		779	704	618	579	541	
生産者数		2,069	1,825	1,644	1,479	1,359	
生産本数	高 中 木	針葉樹	18	20	18	19	17
		常緑広葉樹	90	89	84	80	76
		落葉広葉樹	31	30	27	26	27
	低木	263	264	255	236	212	
	計	403	403	384	361	332	

資料:林業振興課調べ

⑤④ 緑の少年団数及び団員数

(単位:団体、人)

	令和元	2	3	4	5年度
団体数	46	46	46	46	48
団員数	5,901	5,594	5,639	5,690	6,181

資料:林業振興課調べ

⑤⑤ 森林ボランティア活動実績

	令和元	2	3	4	5年度
実施箇所数(か所)	154	169	236	213	260
実施面積(ha)	318	225	244	271	281
植栽樹種	クロマツ・サクラ類・モミジ・クスギほか	クロマツ・サクラ類・モミジ・クスギほか	クロマツ・サクラ類・モミジ・クスギほか	クロマツ・サクラ類・モミジ・クスギほか	クロマツ・サクラ類・モミジ・クスギほか
植栽本数(本)	6,553	1,897	3,298	3,345	4,175
保育作業種	下刈・枝打・間伐・松葉かき・伐竹ほか	下刈・枝打・間伐・松葉かき・伐竹ほか	下刈・枝打・間伐・松葉かき・伐竹ほか	下刈・枝打・間伐・松葉かき・伐竹ほか	下刈・枝打・間伐・松葉かき・伐竹ほか
保育面積(ha)	293	170	239	169	196
参加人員(人)	39,538	26,096	32,082	31,206	33,235

資料:林業振興課調べ

注:数値は、福岡県で行われた森林ボランティア活動についての総計。保育面積は実施面積の内数。

⑤⑥ 林地開発許可処分状況

(単位:件、ha)

	令和元		2		3		4		5年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
工場・事業所 用地造成	(12)	(81)	(3)	(5)	(1)	(4)	(3)	(10)	(1)	(1)
うち再生可能エネ ルギー発電設備	(9)	(67)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)
住宅 用地造成	(1)	(1)	(1)	(1)	-	-	-	-	(1)	(1)
別荘 用地造成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ゴルフ場造成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レジャー 施設造成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農用地造成	-	-	-	-	(1)	(1)	-	-	-	-
土石の採掘	14	21	(1)	(2)	(1)	(2)	(2)	(3)	5	11
道路新設 改築	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	0	(1)	(4)	-	-	(2)	(7)	-	-
計	(13)	(82)	(6)	(12)	(3)	(7)	(7)	(20)	(2)	(2)
	38	104	22	16	16	13	24	33	15	22

資料:農山漁村振興課調べ

注1:()は内数で新規許可件数及び面積。
注2:面積は許可に係る増減した面積を計上。

⑤⑦ 人口と高齢者率

(単位:千人、%)

		平成12	17	22	27	令和2年
人口	福岡県	5,015,699	5,049,908	5,071,968	5,101,556	5,135,214
	県内振興山村	30,688	28,083	24,896	21,771	17,267
高齢者率	福岡県	17.4	19.8	22.1	25.6	27.9
	県内振興山村	30.8	34.3	37.0	40.7	47.1

資料:国勢調査

⑤⑧ 振興山村の概要

令和6年3月31日現在

農林 事務所	郡	市町村	振興山村	指定番号	指定 年度	二期選 定年度	三期選 定年度	四期選 定年度	五期選 定年度	六期選 定年度	七期選 定年度
福岡	-	福岡市	脇山村	第1135号	S46	S54	-	-	-	-	-
	-	那珂川市	南畑村	第1134号	S46	S51	S57	H3	-	H21	-
朝倉	-	朝倉市	高木村、上秋月村	第1133号	S46	S52	S58	H6	H15	H18	-
	-	うきは市	松末村	第 666号	S44	-	S61	H9	-	H18	-
	朝倉	東峰村	姫治村	第1136号	S46	S51	S57	H5	-	H18	-
飯塚	-	宮若市	小石原村	第 303号	S42	S48	S56	H4	-	H20	-
	田川	添田町	津野村	第1137号	S46	-	-	-	-	-	-
筑後	-	八女市	横山村	第 665号	S44	S50	S57	H7	-	-	H30
	大淵村、笠原村		第 302号	S42	S49	S54	H9	H13	H18	-	
	星野村		第 67号	S40	S47	S55	H4	H11	H18	-	
	矢部村		第 164号	S41	S48	S56	H3	H12	-	-	
行橋	-	豊前市	岩屋村	第 891号	S45	S52	S58	H6	-	-	-
	京都	みやこ町	伊良原村	第 468号	S43	S53	S60	H7	-	-	R2
	築上	築上町	上城井村	第 893号	S45	S50	S56	H5	H15	-	-
		上毛町	友枝村	第 469号	S43	S49	S55	H3	-	-	-
		12市町村	18地域								

資料:農山漁村振興課調べ

付属統計・資料（水産編）

目 次

I 漁業経営、生産構造

1 経営体

①福岡県の階層別経営体数	1
②筑前海区沿岸漁業の階層別経営体数	1
③有明海区沿岸漁業の階層別経営体数	1
④豊前海区沿岸漁業の階層別経営体数	1

2 組合

⑤1組合あたりの正組合員数及び役員数	1
⑥1組合あたりの事業規模と事業利益段階 での損失組合数	1
⑦1組合あたりの長期共済保有高	2
⑧1組合あたりの購買供給高	2
⑨1組合あたりの販売取扱高	2

3 漁船

⑩船質別海水動力漁船数	2
-------------	---

4 資金融資

⑪資金用途別融資実績	3
------------	---

5 新規就業者

⑫新規漁業就業者数及び漁業離職者数	3
⑬新規漁業就業者数の内訳	3

II 漁業・養殖業の生産動向

1 生産量・産出額

⑭令和4年漁業・養殖業生産(概数)	4
⑮福岡県漁業の概要	5
⑯福岡県の海面漁業・海面養殖業生産	6
⑰沿岸漁業の漁業種類別総生産	7
⑱海面養殖業種別生産	7
⑲筑前海区の漁業生産	7
⑳有明海区の漁業生産	8
㉑豊前海区の漁業生産	8

2 漁獲量

⑳海面の魚種別漁獲量	9
㉑筑前海区の魚種別漁獲量	10
㉒有明海区の魚種別漁獲量	11
㉓豊前海区の魚種別漁獲量	12
㉔筑前海区の主要な漁業種類別魚種別 漁獲量	13
㉕有明海区の主要な漁業種類別魚種別 漁獲量	13
㉖豊前海区の主要な漁業種類別魚種別 漁獲量	13
㉗内水面漁業の魚種別漁獲量	14
㉘内水面養殖業の魚種別収獲量	14

III 水産業・漁村の基盤づくり

1 海面

㉙漁場整備の実績	15
㉚種苗配布実績	15
㉛海面漁業免許状況	15
㉜海面漁業許可状況	16
㉝海区漁業調整委員会の種類	16
㉞海区漁業調整委員会開催回数及び審議内容	16

2 内水面

㉟内水面種苗放流実績	17
㊱内水面特別採捕許可件数	17
㊲内水面漁業権数	17
㊳内水面採捕許可件数	17
㊴シラスウナギ採捕許可件数	17
㊵内水面漁場管理委員会開催回数及び審議 内容	17

3 漁港・漁村

㊶漁港漁村整備事業	18
㊷漁港漁村海岸整備実績	18
㊸県内の漁港所在地	18

IV 水産物の供給

1 消費の動向

㊹1世帯あたりの魚介類の年間支出額	19
㊺1世帯あたりの年間魚種別購入量 ベスト10	19
㊻生鮮魚介類の市場価格と消費価格	19
㊼門司税関内の輸入数量と輸入金額	19
㊽食用水産物の自給率等(国ベース)	19

2 卸売市場等

㊾福岡県の水産物卸売市場取扱量及び 取扱金額	20
㊿水産物卸売市場の取扱量	20
㊽水産物卸売市場の取扱金額	20
㊿県内の市場所在地	20
㊽県内の主な水産物直売所	21
㊿県内の主な朝市・夕市	21
㊽県内の水産物直売所と朝市・夕市マップ	22
㊿水産加工工場数、主な営んだ加工種類別 延べ工場数	22
㊽水産加工種類別生産量	22

V その他

㊿福岡県の漁協一覧	23
-----------	----

I 漁業経営、生産構造

1 経営体

① 福岡県の階層別経営体数

		平成20	25	30年
漁船非使用		54	71	76
漁船使用	無動力船	-	-	2
	船外機付漁船	122	97	77
	1ト未満	60	58	46
	1～3ト未満	349	297	267
	3～5ト未満	1,078	905	737
	5～10ト未満	340	321	328
	10～20ト未満	107	95	98
	20ト以上	62	51	50
	定置網	71	61	50
海面養殖業		930	778	655
合計		3,173	2,734	2,386

資料：漁業センサス

② 筑前海区沿岸漁業の階層別経営体数

		平成20	25	30年
漁船非使用		11	9	10
漁船使用	無動力船	-	-	-
	船外機付漁船	54	40	34
	1ト未満	44	35	26
	1～3ト未満	268	216	184
	3～5ト未満	673	562	469
	5～10ト未満	309	280	279
	10～20ト未満	103	92	95
	20ト以上	-	-	-
	定置網	44	39	33
海面養殖業		36	40	46
合計		1,542	1,313	1,176

資料：漁業センサス

③ 有明海区沿岸漁業の階層別経営体数

		平成20	25	30年
漁船非使用		2	-	10
漁船使用	無動力船	-	-	2
	船外機付漁船	27	21	21
	1ト未満	10	19	12
	1～3ト未満	19	28	25
	3～5ト未満	244	219	179
	5～10ト未満	15	22	20
	10～20ト未満	3	1	-
	20ト以上	-	-	-
	定置網	-	-	-
海面養殖業		802	658	525
合計		1,122	968	794

資料：漁業センサス

④ 豊前海区沿岸漁業の階層別経営体数

		平成20	25	30年
漁船非使用		41	62	56
漁船使用	無動力船	-	-	-
	船外機付漁船	41	36	22
	1ト未満	6	4	8
	1～3ト未満	62	53	58
	3～5ト未満	161	124	89
	5～10ト未満	16	19	29
	10～20ト未満	1	2	3
	20ト以上	-	-	-
	定置網	27	22	17
海面養殖業		92	80	84
合計		447	402	366

資料：漁業センサス

2 組合

⑤ 1組合あたりの正組員数及び役員数

	1組合あたり					
	正組員数(人)		常勤役員数(人)		職員数(人)	
	令和3	4年	3年	4年	3年	4年
筑前海	207	203	1.0	1.0	20.9	21.4
有明海	69	67	0.2	0.2	4.3	3.9
豊前海	73	69	0.1	0.1	2.9	3.0
県全体	98	96	0.3	0.3	7.4	7.3

資料：漁業管理課調べ

⑥ 1組合あたりの事業規模と事業利益段階での損失組合数(令和4年)

	購買供給高 (千円)	販売取扱高 (千円)	事業利益段階での 損失組合数
筑前海	301,478	1,157,704	7
有明海	95,100	615,544	16
豊前海	12,027	90,064	8
県平均	118,738	619,193	31

資料：漁業管理課調べ

⑦ 1組合あたりの長期共済保有高

(単位：億円)

	平成30	令和元	2	3	4年
筑前海	35.0	34.2	33.9	33.3	32.6
有明海	9.3	9.3	9.2	9.0	8.8
豊前海	1.6	1.6	1.8	1.8	1.9
県平均	15.3	15.1	15.0	14.7	14.4
全国平均	32.2	31.7	32.4	31.4	30.5

資料：農林水産省「水産業協同組合統計表」、漁業管理課調べ

⑧ 1組合あたりの購買供給高

(単位：千万円)

	平成30	令和元	2	3	4年
筑前海	31.5	29.4	24.7	29.3	30.1
有明海	11.2	13.3	11.1	12.3	9.5
豊前海	1.3	1.3	1.2	1.1	1.2
県平均	13.1	13.8	11.6	13.2	11.9
全国平均	21.2	20.1	19.8	22.3	22.9

資料：農林水産省「水産業協同組合統計表」、漁業管理課調べ

⑨ 1組合あたりの販売取扱高

(単位：億円)

	平成30	令和元	2	3	4年
筑前海	12.7	11.9	10.5	10.8	11.6
有明海	9.1	10.9	8.2	8.5	6.2
豊前海	0.7	0.8	0.7	0.7	0.9
県平均	8.1	8.9	7.1	7.3	6.2
全国平均	13.9	13.0	12.5	13.0	14.8

資料：農林水産省「水産業協同組合統計表」、漁業管理課調べ

3 漁船

⑩ 船質別海水動力漁船数

(単位：隻)

	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5年
FRP船	6,024	5,849	5,676	5,514	5,412	5,218	5,042	4,882	4,727	4,798
木船	29	31	27	22	21	20	17	16	12	19
鋼船	22	22	15	15	14	13	13	12	12	9
軽合金船	15	14	15	15	15	15	15	15	15	12
計	6,090	5,916	5,733	5,566	5,462	5,266	5,087	4,925	4,766	4,838

資料：漁業管理課調べ

4 資金融資

⑪ 資金用途別融資実績

		令和5年度実績	
		件数	融資額
漁業近代化資金	漁船関連資金	36 件	310,930 千円
	養殖用施設資金	0 件	0 千円
	漁具その他施設資金	2 件	30,400 千円
	加工用施設資金	18 件	216,190 千円
	計	56 件	557,520 千円
沿岸改善漁業資金	青年漁業者等養成確保資金	0 件	0 千円
	経営等改善資金	0 件	0 千円
	計	0 件	0 千円

資料：漁業管理課調べ

5 新規就業者

⑫ 新規漁業就業者数及び漁業離職者数

(単位:人)

	新規漁業就業者数				漁業離職者数			
	筑前海区	有明海区	豊前海区	県計	筑前海区	有明海区	豊前海区	県計
平成26	26	13	20	59	81	86	28	195
27	27	25	18	70	70	89	25	184
28	31	20	10	61	61	92	16	169
29	28	30	11	69	77	75	19	171
30	27	29	7	63	50	75	31	156
令和元	36	24	11	71	70	65	39	174
2	27	26	8	61	48	63	29	140
3	31	19	10	60	49	74	34	157
4	28	29	14	71	58	83	34	175
5年度	26	38	14	78	47	68	24	139

資料：水産振興課調べ

⑬ 新規漁業就業者数の内訳

(単位:人)

		令和元	2	3	4	5年度
筑前海区	新規学卒者	4	11	5	3	11
	Uターン	1	2	2	1	0
	Iターン	8	7	4	3	3
	地元からの転職	17	3	11	18	9
	その他	6	4	9	3	3
	小計	36	27	31	28	26
有明海区	新規学卒者	4	2	2	9	7
	Uターン	0	5	1	2	9
	Iターン	1	2	0	0	2
	地元からの転職	19	17	13	9	15
	その他	0	0	3	9	5
	小計	24	26	19	29	38
豊前海区	新規学卒者	0	0	0	6	0
	Uターン	1	0	1	0	0
	Iターン	1	0	2	0	1
	地元からの転職	2	5	4	5	13
	その他	7	3	3	3	0
	小計	11	8	10	14	14
県合計	新規学卒者	8	13	7	18	18
	Uターン	2	7	4	3	9
	Iターン	10	9	6	3	6
	地元からの転職	38	25	28	32	37
	その他	13	7	15	15	8
	総計	71	61	60	71	78

資料：水産振興課調べ

Ⅱ 漁業・養殖業の生産動向

1 生産量・産出額

⑭ 令和4年漁業・養殖業生産（概数）

ア 漁業・養殖業生産の概要

	単位	令和4	5年
漁船数	隻	4,943	4,838
漁業生産量	t	62,484	47,044
海面生産量	t	62,191	46,800
海面漁業	t	20,954	18,200
海面養殖業	t	41,237	28,600
板ノリ生産※	万枚	65,461	77,402
内水面生産量	t	293	244
内水面漁業	t	78	67
内水面養殖業	t	215	177

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ

注1：令和4年は養殖年（令和4年7月～翌年6月）。

注2：令和5年は養殖年（令和5年7月～翌年6月）の数量を表示（ともに水産振興課調べ）。

注3：令和5年は速報値。（100t未満四捨五入）

イ 主な漁業種類別生産量

（単位：t）

	令和4	5年
中・小型まき網	4,472	5,800
船びき網	2,275	2,400
小型底びき網	1,032	1,000
さし網	6,489	4,300
はえ縄	431	x
沿岸いか釣	238	200
ひき縄釣	692	600
その他の釣	569	600
ノリ養殖	39,558	27,100
カキ養殖	1,595	1,500
ワカメ養殖	70	0

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

注1：「x」は、秘密保護上統計値を公表していないもの。

注2：原則として単位未満で四捨五入しているため

合計と内数の計は必ずしも一致しない。

注3：令和5年は速報値。（100t未満四捨五入）

ウ 主な魚種別生産量

（単位：t）

	令和4	5年
マアジ	640	800
サバ類	845	2,300
ブリ類	2,694	2,800
マダイ	1,450 (4)	1,500 (3)
イサキ	310 (3)	200 (2)
チダイ	240 (2)	200 (2)
キダイ	151 (4)	200 (4)
スズキ類	185	200 (5)
アマダイ類	86 (5)	100 (2)
フグ類	164	200 (2)
カニ類	163	100
タコ類	746 (4)	700 (5)

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

注1：（ ）書きは、全国順位。

注2：令和5年は速報値。（100t未満四捨五入）

⑮ 福岡県漁業の概要

福岡県	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
漁業経営体数(海面)	2,734	-	-	-	-	2,386	-	-	-	-
個人経営体数(海面)	2,623	-	-	-	-	2,277	-	-	-	-
漁業就業者数(海面)	5,140	-	-	-	-	4,376	-	-	-	-
うち 男性(人)	4,071	-	-	-	-	3,633	-	-	-	-
うち 女性(人)	1,069	-	-	-	-	743	-	-	-	-
自営漁業就業者数(人)	3,804	-	-	-	-	3,260	-	-	-	-
漁業総生産量(A+B) t	73,723	62,845	68,447	69,489	70,690	62,362	59,914	66,992	70,836	62,484
海面漁業総生産量(A) t	73,061	62,329	67,988	69,049	70,268	61,965	59,520	66,656	70,535	62,191
海面漁業(沿岸漁業) t	24,474	21,163	25,437	22,483	20,529	22,077	18,283	16,411	23,656	20,954
海面養殖業 t	48,587	41,166	42,551	46,566	49,739	39,888	41,237	50,245	46,879	41,237
(参考) 板ノ刀生産(万枚:暦年)	139,205	116,965	122,226	133,427	142,384	113,386	117,982	145,317	135,216	118,613
内水面漁業総生産量(B) t	662	516	459	440	422	397	394	336	301	293
内水面漁業 t	355	181	145	128	105	104	108	96	97	78
内水面養殖業 t	307	335	314	312	317	293	286	240	204	215

資料：農林水産省「漁業センサス」「漁業・養殖業生産統計」、水産振興課調べ

全国	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
漁業経営体数(海面)	94,507	-	-	-	-	79,067	-	-	-	-
個人経営体数(海面)	89,470	-	-	-	-	74,526	-	-	-	-
漁業就業者数(海面)	180,985	-	-	-	-	151,701	-	-	-	-
うち 男性(人)	157,117	-	-	-	-	134,186	-	-	-	-
うち 女性(人)	23,868	-	-	-	-	17,515	-	-	-	-
自営漁業就業者数(人)	109,247	-	-	-	-	99,575	-	-	-	-
漁業総生産量(A+B) t	4,773,695	4,769,371	4,688,011	4,359,260	4,306,130	4,421,207	4,194,675	4,233,948	4,214,832	3,916,946
海面漁業総生産量(A) t	4,712,564	4,704,897	4,618,757	4,296,125	4,244,076	4,364,401	4,141,800	4,183,116	4,163,074	3,862,831
海面漁業 t	3,715,467	3,717,258	3,549,740	3,263,618	3,258,020	3,359,530	3,228,025	3,213,035	3,236,480	2,950,992
うち 遠洋漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち 沖合漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち 沿岸漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海面養殖業 t	997,097	987,639	1,069,017	1,032,507	986,056	1,004,871	913,775	970,081	926,594	911,839
(参考) 板ノ刀生産(万枚:暦年)	813,254	710,573	765,802	779,205	784,568	728,540	646,015	752,561	619,362	601,902
内水面漁業総生産量(B) t	61,131	64,474	69,253	63,135	62,054	56,806	52,875	50,832	51,758	54,115
内水面漁業 t	30,635	30,603	32,917	27,937	25,215	26,957	21,767	21,745	18,904	22,612
内水面養殖業 t	30,496	33,871	36,336	35,198	36,839	29,849	31,108	29,087	32,854	31,503

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」「漁業センサス」

⑯ 福岡県の海面漁業・海面養殖業生産

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年	
生産量 (t)	海面漁業	筑前	16,571	15,757	19,891	16,719	15,831	16,746	13,772	13,594	13,607	12,587
		有明	6,178	3,733	3,986	4,224	3,298	4,027	3,121	1,520	8,669	7,107
		豊前	1,725	1,673	1,560	1,541	1,400	1,303	1,390	1,297	1,380	1,260
		小計①	24,474	21,163	25,437	22,483	20,529	22,077	18,283	16,411	23,656	20,954
		%	26.3 (38.4)	30.8 (29.6)	32.8 (36.5)	31.0 (32.4)	27.3 (31.0)	32.0 (35.3)	30.7 (28.4)	24.6 (26.7)	33.5 (32.9)	33.7 (47.1)
	海面養殖業	筑前	901 (865)	982 (982)	857 (858)	1,187 (1,188)	1,015 (884)	961 (915)	828 (821)	824 (872)	728 (1,286)	769 (754)
		有明	46,172 (36,862)	38,738 (47,928)	40,485 (42,223)	44,112 (44,509)	47,322 (43,447)	37,549 (38,045)	39,156 (43,897)	48,262 (42,932)	44,939 (45,630)	39,349 (21,641)
		豊前	1,514 (1,473)	1,446 (1,463)	1,209 (1,156)	1,267 (1,270)	1,402 (1,362)	1,378 (1,347)	1,253 (1,280)	1,159 (1,177)	1,212 (1,275)	1,119 (1,124)
		小計②	48,587 (39,200)	41,166 (50,373)	42,551 (44,237)	46,566 (46,967)	49,739 (45,693)	39,888 (40,307)	41,237 (46,088)	50,245 (44,981)	46,879 (48,191)	41,237 (23,519)
		%	66.5 (61.6)	66.0 (70.4)	62.6 (63.5)	67.4 (67.6)	70.8 (69.0)	64.4 (64.5)	69.3 (71.6)	75.4 (73.3)	66.5 (67.1)	66.3 (52.9)
合計 (①+②)		73,061 (63,674)	62,329 (71,536)	67,988 (69,674)	69,049 (69,450)	70,268 (66,222)	61,965 (62,459)	59,520 (64,371)	66,656 (61,392)	70,535 (71,845)	62,191 (44,473)	
産出額 (百万円)	海面漁業	筑前	8,490	8,067	9,526	9,128	8,235	8,804	7,796	6,705	8,489	9,427
		有明	2,423	1,147	1,364	1,481	1,813	1,858	1,476	975	1,068	1,635
		豊前	1,319	1,438	1,442	1,492	1,461	1,201	1,566	1,208	1,366	1,426
		小計①	12,232	10,651	14,302	12,101	11,509	11,863	10,838	8,888	10,923	12,488
		%	47.7 (51.0)	45.0 (37.3)	50.7 (46.7)	41.2 (38.5)	34.1 (39.8)	42.5 (42.6)	37.5 (36.3)	29.1 (33.8)	38.6 (47.4)	42.8 (50.7)
	海面養殖業	筑前	400 (384)	479 (479)	562 (570)	540 (533)	700 (577)	441 (427)	354 (375)	697 (633)	602 (682)	637 (723)
		有明	12,410 (10,776)	12,148 (17,055)	14,895 (15,301)	17,198 (18,440)	21,177 (16,478)	15,125 (15,078)	17,323 (18,232)	20,035 (15,825)	15,876 (10,528)	15,169 (10,528)
		豊前	612 (613)	367 (378)	442 (440)	351 (351)	375 (364)	490 (492)	382 (389)	929 (927)	925 (931)	898 (899)
		小計②	13,422 (11,774)	12,993 (17,912)	15,899 (16,312)	18,089 (19,324)	22,252 (17,419)	16,056 (15,997)	18,059 (18,999)	21,661 (17,385)	17,403 (12,141)	16,704 (12,150)
		%	52.3 (49.0)	55.0 (62.7)	56.3 (53.3)	61.7 (61.5)	65.9 (60.2)	57.5 (57.4)	62.5 (63.7)	70.9 (66.2)	61.4 (52.6)	57.2 (49.3)
合計 (①+②)		25,654 (24,006)	23,644 (28,563)	28,234 (30,614)	29,340 (31,425)	33,761 (28,928)	27,919 (27,860)	28,897 (29,837)	30,549 (26,273)	28,326 (23,064)	29,192 (24,638)	

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、「漁業産出額」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ
注：（ ）書きは、ノリを養殖年（7月から翌年6月まで）で表示したものの。

⑪ 沿岸漁業の漁業種類別総生産

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
生産量 (㊦)	小型底びき網	1,677	1,377	1,184	1,184	1,136	1,179	1,090	1,058	1,013	1,032
	中・小型まき網	4,125	4,122	7,450	5,328	4,637	4,362	3,077	3,323	4,828	4,472
	さし網	2,200	3,040	3,283	3,155	2,254	2,986	2,384	2,307	9,442	6,489
	いか釣	424	304	490	509	306	323	187	252	348	238
	その他の釣	1,631	1,876	1,669	1,569	1,719	1,714	1,597	1,607	1,209	569
	はえ縄	377	462	455	453	452	594	488	499	408	431
	船びき網	3,944	3,881	4,670	3,991	3,608	3,628	3,511	3,265	2,533	2,275
	小型定置網	670	667	727	666	672	708	638	565	615	473
	採貝	2,798	2,244	2,412	2,767	2,742	3,576	-	-	-	-
	採藻	956	875	844	704	983	777	-	-	-	-
	その他の漁業	5,672	2,315	2,253	2,157	2,020	2,230	5,311	3,535	3,260	4,975
	合計	24,474	21,163	25,437	22,483	20,529	22,077	18,283	16,411	23,656	20,954

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

注：「漁業・養殖業生産統計」の「採貝」、「採藻」の区分は令和元年に廃止。

⑫ 海面養殖業種別生産

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
収穫量 (㊦)	魚類他	12	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	カキ	1,806	1,913	1,653	1,860	1,935	1,809	1,770	1,652	1,709	1,595
	ワカメ	242	x	x	x	x	x	x	x	x	70
	ノリ	46,527 (37,140)	39,013 (48,207)	40,763 (42,449)	44,495 (44,969)	47,533 (43,731)	37,828 (38,248)	39,340 (44,191)	48,446 (43,181)	45,097 (46,050)	39,558 (21,840)
	合計	48,587 (39,200)	41,116 (50,310)	42,551 (44,237)	46,566 (47,040)	49,739 (45,666)	39,888 (40,307)	41,237 (46,088)	50,245 (44,980)	46,879 (47,832)	41,237 (23,519)
産出額 (百万円)	魚類他	75	x	x	x	x	x	x	x	7	x
	カキ	755	620	788	771	553	672	544	1,345	1,343	1,319
	ワカメ	46	x	x	x	x	x	x	x	x	14
	ノリ	12,546 (10,898)	12,265 (17,184)	15,011 (15,424)	17,206 (18,546)	21,571 (16,622)	15,265 (15,205)	17,414 (18,354)	20,229 (15,953)	15,958 (10,696)	15,250 (10,696)
	合計	13,422 (11,774)	12,993 (17,912)	15,899 (16,312)	18,089 (19,429)	22,252 (17,175)	16,056 (15,997)	18,059 (18,999)	21,661 (17,385)	17,403 (12,141)	16,703 (12,149)

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」「漁業産出額」、漁業管理課調べ

注1：()内の数値は、ノリを養殖年(7月から翌年6月まで)で表示したもの。

注2：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

⑬ 筑前海区の漁業生産

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年	
生産量 (㊦)	漁船漁業	小型底びき網	790	535	490	527	533	588	481	478	413	437
		中・小型まき網	4,125	4,122	7,450	5,328	4,637	4,362	3,077	3,323	4,828	4,472
		さし網	1,634	1,380	1,433	1,373	1,310	2,113	1,181	1,140	1,073	962
		いか釣	424	304	490	509	306	323	187	252	348	238
		その他の釣	1,599	1,843	1,635	1,569	1,692	1,689	1,574	1,584	1,196	546
		はえ縄	372	456	455	448	448	590	486	499	408.0	431.0
		船びき網	3,895	3,854	4,644	3,960	3,576	3,591	3,477	3,229	2,488	2,245
		小型定置網	452	441	515	x	x	575	485	428	445	317
		採貝	146	170	210	185	172	263	-	-	-	-
		採藻	955	874	843	702	997	775	-	-	-	-
	その他の漁業	2,179	1,778	2,181	2,117	2,160	1,877	x	x	x	x	
	小計	16,571	15,757	19,891	16,718	15,831	16,746	13,772	13,594	13,607	12,587	
	養殖業	魚類他	12	x	x	x	x	x	x	x	9	x
		カキ	389	522	517	622	565	494	550	531	549	525
ワカメ		242	x	x	x	x	x	x	x	x	70	
ノリ		258 (222)	219 (219)	205 (206)	352 (355)	180 (220)	216 (170)	151 (144)	146 (194)	106 (664)	160 (145)	
小計		901 (865)	982 (982)	857 (858)	1,185 (1,188)	1,015 (884)	961 (915)	828 (821)	824 (872)	728 (1,286)	769 (754)	
合計	17,472 (17,436)	16,739 (16,739)	20,748 (20,749)	17,903 (17,906)	16,846 (16,715)	17,707 (17,661)	14,600 (14,593)	14,418 (14,466)	14,618 (15,176)	13,356 (13,341)		

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」(組替集計)、漁業管理課調べ

注1：()内の数値は、ノリを養殖年(7月から翌年6月まで)で表示したもの。

注2：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

注3：「漁業・養殖業生産統計」の「採貝」、「採藻」の区分は令和元年に廃止。

⑩ 有明海区の漁業生産

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年	
生産量 (ト)	漁船漁業	小型底びき網	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		中・小型まき網	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		さし網	365	1,462	1,598	1,532	701	660	1,026	981	8,165	5,323
		いか釣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の釣	16	16	17	13	9	8	7	8	13	13
		船びき網	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		小型定置網	x	x	x	x	x	x	1	-	x	x
		採貝	2,602	2,026	2,154	2,534	2,510	3,274	-	-	-	-
		採藻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の漁業 うち、潜水器	3,195	229	217	145	78	85	2,087	531	491	1,771	
	小計	6,178	3,733	3,986	4,224	3,298	4,027	3,121	1,520	8,669	7,107	
	養殖業	魚類他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		カキ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ワカメ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ノリ		46,172 (36,862)	38,738 (47,928)	40,484 (42,363)	44,114 (44,509)	47,322 (43,447)	37,549 (38,045)	39,156 (43,987)	48,262 (42,932)	44,939 (45,630)	39,349 (21,641)	
小計	46,172 (36,862)	38,738 (47,928)	40,484 (42,363)	44,114 (44,509)	47,322 (43,447)	37,549 (38,045)	39,156 (43,987)	48,262 (42,932)	44,939 (45,630)	39,349 (21,641)		
合計	52,350 (43,040)	42,471 (51,661)	44,470 (46,349)	48,338 (48,733)	50,620 (46,745)	41,576 (42,072)	42,277 (47,108)	49,782 (44,452)	53,608 (54,299)	46,456 (28,748)		

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ

注1：（ ）内の数値は、ノリを養殖年（7月から翌年6月まで）で表示したもの。

注2：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

注3：「漁業・養殖業生産統計」の「採貝」、「採藻」の区分は令和元年に廃止。

⑪ 豊前海区の漁業生産

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年	
生産量 (ト)	漁船漁業	小型底びき網	887	842	694	658	603	592	609	580	600	595
		中・小型まき網	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		さし網	201	198	252	250	244	213	177	186	204	204
		いか釣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他の釣	16	17	17	18	18	17	16	15	14	10
		船びき網	49	26	26	31	31	37	34	36	45	30
		小型定置網	x	x	211	206	175	132	152	137	170	156
		採貝	49	48	48	48	44	38	-	-	-	-
		採藻	1	1	1	2	2	2	-	-	-	-
	その他の漁業 うち、たこつぼ うち、かご	522 3 246	541 14 291	522 15 276	534 15 291	458 15 235	404 11 224	402 10 312	343 9 262	347 7 268	265 7 220	
	小計	1,725	1,673	1,560	1,541	1,400	1,303	1,390	1,297	1,380	1,260	
	養殖業	魚類他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		カキ	1,417	1,390	1,136	1,238	1,370	1,315	1,220	1,121	1,160	1,070
ワカメ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ノリ		97 (56)	56 (73)	73 (20)	29 (32)	32 (64)	64 (33)	33 (60)	38 (56)	52 (115)	49 (54)	
小計	1,514 (1,473)	1,446 (1,463)	1,209 (1,156)	1,267 (1,270)	1,402 (1,434)	1,378 (1,347)	1,253 (1,280)	1,159 (1,177)	1,212 (1,275)	1,119 (1,124)		
合計	3,239 (3,198)	3,119 (3,136)	2,769 (2,716)	2,808 (2,811)	2,802 (2,834)	2,681 (2,650)	2,643 (2,670)	2,456 (2,474)	2,592 (2,655)	2,379 (2,384)		

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ

注1：（ ）内の数値は、ノリを養殖年（7月から翌年6月まで）で表示したもの。

注2：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

注3：「漁業・養殖業生産統計」の「採貝」、「採藻」の区分は令和元年に廃止。

2 漁獲量

② 海面の魚種別漁獲量

(単位：t)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
サメ類	8	11	10	10	11	10	8	6	5	4
マイワシ	219	60	241	29	19	56	25	80	41	28
ウルメイワシ	141	154	112	143	16	29	31	16	57	145
カタクチイワシ	281	131	97	59	66	16	48	41	9	7
マアジ	8,016	3,254	7,237	2,212	3,417	2,703	845	600	817	640
ムロアジ類	178	119	125	145	75	62	186	157	628	272
サバ類	10,093	3,106	4,785	2,160	3,024	6,088	381	722	1,109	845
ブリ類	3,915	2,661	3,864	3,907	2,907	2,505	2,016	2,019	2,223	2,694
ヒラメ	162	170	199	206	186	247	177	152	156	102
カレイ類	435	354	328	278	282	320	224	204	252	235
タチウオ	82	114	90	86	128	94	49	84	105	95
マダイ	1,336	1,727	1,839	1,860	1,621	1,904	2,045	2,073	1,519	1,450
その他のタイ類	509	584	633	668	604	714	699	723	570	514
サワラ類	1,124	1,099	780	668	833	850	770	831	792	796
スズキ類	340	305	285	282	248	297	229	235	169	185
アナゴ類	84	152	148	174	148	196	153	200	195	123
フグ類	495	336	235	282	206	266	220	186	190	164
イサキ	345	243	375	308	429	644	335	359	273	310
コノシロ	242	258	313	294	203	523	203	284	186	134
アマダイ類	81	83	77	76	82	88	75	64	93	86
その他の魚類	4,918	4,227	4,562	4,102	3,838	3,459	2,692	2,334	2,039	1,859
魚類計	33,004 (74.3)	19,148 (69.4)	26,335 (75.0)	17,949 (68.9)	18,343 (71.7)	21,071 (72.2)	11,411 (62.4)	11,370 (69.3)	11,428 (48.3)	10,688 (51.0)
クルマエビ	41	45	29	35	46	47	34	32	17	13
その他のエビ類	377	294	242	250	279	223	202	193	213	202
ガザミ類	304	277	239	237	247	219	209	194	184	159
その他のカニ類	2	3	3	1	1	0	5	3	3	4
オキアミ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イカ類	2,005	1,855	2,053	1,318	1,026	1,137	950	878	1,185	723
タコ類	1,230	1,102	1,068	959	915	1,031	937	1,001	685	746
ウニ類	140	97	150	117	163	226	204	173	175	138
その他の水産動物	3,369	1,439	1,613	1,609	758	776	1,160	1,075	8,656	5,714
水産動物計	7,468 (16.8)	5,112 (18.5)	5,397 (15.4)	4,526 (17.4)	3,435 (13.4)	3,659 (12.5)	3,700 (20.2)	3,549 (21.6)	11,118 (47.0)	7,699 (36.7)
アワビ類	50	56	47	41	39	65	55	52	40	32
サザエ	123	143	173	152	157	206	208	183	190	139
アサリ類	153	99	101	548	1,513	1,735	1,100	213	59	99
その他の貝類	2,690	2,168	2,220	2,143	1,131	1,683	1,022	334	134	1,477
貝類計	3,016 (6.8)	2,467 (8.9)	2,541 (7.2)	2,885 (11.1)	2,840 (11.1)	3,689 (12.6)	2,385 (13.0)	781 (4.8)	423 (1.8)	1,747 (8.3)
海藻類計	956 (2.2)	875 (3.2)	844 (2.4)	704 (2.7)	983 (3.8)	777 (2.7)	787 (4.3)	709 (4.3)	687 (2.9)	820 (3.9)
合計	44,444	27,602	35,117	26,064	25,600	29,196	18,283	16,411	23,656	20,954

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ

注：（ ）内の数値は、合計に占める割合を%で表示。

㊦ 筑前海区の魚種別漁獲量

(単位：t)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
サメ類	8	11	10	10	11	9	8	6	5	4
マイワシ	99	59	241	20	16	17	25	80	41	28
ウルメイワシ	54	108	60	114	7	28	31	16	57	145
カタクチイワシ	281	131	97	59	66	15	48	41	9	7
マアジ	1,099	1,145	2,477	1,091	1,622	1,054	845	600	817	639
ムロアジ類	101	119	125	137	75	58	186	157	628	272
サバ類	80	226	684	215	500	918	381	722	1,109	845
ブリ類	3,053	2,480	3,858	3,792	2,769	2,501	2,012	2,017	2,215	2,668
ヒラメ	159	167	196	199	182	244	175	149	152	97
カレイ類	295	217	179	125	119	190	98	86	129	121
タチウオ	38	77	61	77	109	71	47	82	102	87
マダイ	1,334	1,725	1,837	1,859	1,619	1,899	2,040	2,068	1,514	1,440
その他のタイ類	451	524	572	613	553	666	657	678	503	459
サワラ類	640	875	768	652	825	837	761	823	778	781
スズキ類	248	217	204	204	184	240	170	175	125	140
アナゴ類	69	139	136	162	138	187	144	192	191	120
フグ類	488	331	227	275	200	262	214	180	185	160
イサキ	345	243	375	308	429	642	335	359	273	310
コノシロ	208	227	282	265	177	502	183	265	174	124
アマダイ類	81	83	77	76	82	88	75	64	85	84
その他の魚類	3,386	2,967	3,493	3,340	2,875	2,847	2,217	1,832	1,584	1,435
魚類計	12,517 (75.5)	12,071 (76.6)	15,959 (80.2)	13,621 (81.5)	12,558 (79.3)	13,275 (79.3)	10,652 (77.3)	10,592 (76.3)	10,676 (78.5)	9,966 (79.2)
クルマエビ	23	27	15	19	30	30	21	19	11	7
その他のエビ類	109	96	79	91	113	96	87	76	79	65
ガザミ類	86	115	88	80	89	92	86	78	87	76
その他のカニ類	2	3	3	1	1	0	5	0	0	0
イカ類	1,302	1,260	1,531	881	712	850	704	697	955	563
タコ類	1,102	920	868	854	829	936	807	878	576	644
ウニ類	140	97	150	117	163	226	204	173	175	138
その他の水産動物	75	50	79	101	110	119	113	106	110	113
水産動物計	2,839 (17.1)	2,568 (16.3)	2,813 (14.1)	2,144 (12.8)	2,047 (12.9)	2,349 (14.0)	2,027 (14.7)	2,027 (14.6)	1,993 (14.6)	1,606 (12.8)
アワビ類	50	56	47	41	39	65	55	52	40	32
サザエ	123	143	173	152	157	206	208	183	190	139
アサリ類	6	2	23	14	17	36	7	6	0	0
その他の貝類	81	42	33	45	32	39	39	27	22	26
貝類計	260 (1.6)	244 (1.5)	276 (1.4)	252 (1.5)	245 (1.6)	346 (2.1)	309 (2.2)	267 (1.9)	253 (1.9)	197 (1.6)
海藻類計	955 (5.8)	874 (5.5)	843 (4.2)	702 (4.2)	981 (6.2)	775 (4.6)	784 (5.7)	706 (5.1)	686 (5.0)	818 (6.5)
合計	16,571	15,756	19,891	16,719	15,831	16,746	13,772	13,594	13,607	12,587

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、漁業管理課調べ

注：（ ）内の数値は、合計に占める割合を%で表示。

⑭ 有明海区の魚種別漁獲量

(単位：t)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
ヒラメ	3	3	3	5	2	2	1	2	2	3
カレイ類	16	18	16	22	26	19	26	20	17	18
スズキ類	13	12	9	10	7	5	6	6	5	9
アナゴ類	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
フグ類	4	3	5	2	2	1	1	1	1	1
コノシロ	3	4	3	3	2	1	1	0	0	0
その他の魚類	210	234	219	170	124	120	103	134	100	98
魚類計	249 (4.0)	275 (7.4)	255 (6.4)	212 (5.0)	163 (4.9)	148 (3.7)	138 (4.4)	163 (1.9)	125 (1.4)	129 (1.8)
クルマエビ	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
その他のエビ類	59	52	24	19	18	24	15	20	50	44
ガザミ類	37	20	14	16	20	16	19	25	36	36
その他のカニ類	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
イカ類	7	7	7	16	11	14	6	2	4	2
タコ類	59	97	98	23	14	17	12	8	2	8
その他の水産動物	3,163	1,255	1,432	1,402	561	534	920	843	8,336	5,379
水産動物計	3,326 (53.8)	1,432 (38.4)	1,576 (39.5)	1,477 (35.0)	625 (19.0)	606 (15.0)	972 (31.1)	898 (10.4)	8,429 (97.2)	5,469 (77.0)
アサリ類	116	70	54	511	1,475	1,682	1,077	198	48	96
その他の貝類	2,486	1,957	2,101	2,023	1,035	1,593	934	261	66	1,413
うち、サルボウ	2,477	1,932	2,087	2,003	1,013	1,560	914	252	25	17
うち、タイラギ	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0
貝類計	2,602 (42.1)	2,027 (54.3)	2,155 (54.1)	2,534 (60.0)	2,510 (76.1)	3,274 (81.3)	2,011 (64.4)	459 (5.3)	114 (1.3)	1,509 (21.2)
合計	6,178	3,733	3,986	4,224	3,298	4,027	3,121	1,520	8,669	7,107

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、漁業管理課調べ

注：（ ）内の数値は、合計に占める割合を%で表示。

⑫ 豊前海区の魚種別漁獲量

(単位：t)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
カレイ類	123	119	133	130	136	110	100	98	106	96
クロダイ	58	60	61	55	51	48	42	45	67	54
タチウオ	8	4	3	3	3	2	2	2	1	1
サワラ類	4	4	5	5	8	7	8	8	14	15
スズキ類	80	75	72	68	57	53	53	54	39	36
アナゴ類	14	12	12	12	11	9	9	8	4	3
フグ類	3	3	3	5	4	3	5	5	4	3
コノシロ	31	26	27	26	24	21	19	19	12	10
その他の魚類	428	403	438	426	388	385	383	376	380	375
うち、ボラ類	101	71	78	50	84	50	76	62	85	75
魚類計	749 (43.4)	706 (42.2)	754 (48.3)	730 (47.4)	682 (48.7)	638 (49.0)	621 (44.7)	615 (47.4)	627 (45.4)	593 (47.1)
クルマエビ	17	17	13	16	14	16	13	13	6	6
その他のエビ類	209	147	139	141	148	103	100	97	84	93
ガザミ類	181	142	136	141	137	111	104	91	61	47
その他のカニ類	-	-	-	-	-	-	-	3	2	3
イカ類	215	247	201	225	173	165	240	179	226	158
うち、コウイカ類	197	235	182	179	148	159	214	147	178	130
タコ類	69	85	103	82	72	78	118	115	107	94
オキアミ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の水産動物	132	133	102	106	86	122	126	126	210	223
うち、シャコ	54	62	41	15	10	23	29	27	25	9
水産動物計	821 (47.6)	771 (46.1)	694 (44.5)	711 (46.1)	630 (45.0)	595 (45.7)	701 (50.4)	624 (48.1)	696 (50.4)	624 (49.5)
アサリ類	31	27	25	24	22	17	16	9	11	3
その他の貝類	123	169	86	75	64	51	49	46	46	38
貝類計	154 (8.9)	196 (11.7)	110 (7.1)	99 (6.4)	86 (6.1)	68 (5.2)	65 (4.7)	55 (4.2)	56 (4.1)	41 (3.3)
海藻類計	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.1)	2 (0.1)	2 (0.2)	3 (0.2)	3 (0.2)	1 (0.1)	2 (0.2)
合計	1,725	1,673	1,560	1,541	1,400	1,303	1,390	1,297	1,380	1,260

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、漁業管理課調べ

注：（ ）内の数値は、合計に占める割合を%で表示。

②⑥ 筑前海区の主要な漁業種類別魚種別漁獲量

(単位：t)

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
中・小型まき網	マアジ	692	744	2,097	732	1,278	691	544	372	654	538
	サバ類	63	215	654	193	488	888	367	712	1,080	823
	その他	3,370	3,163	4,699	4,403	2,871	2,783	2,166	2,239	3,094	3,111
	計	4,125	4,122	7,450	5,328	4,637	4,362	3,077	3,323	4,828	4,472
船びき網	マダイ	1,202	1,564	1,690	1,686	1,469	1,700	1,843	1,893	1,406	1,311
	その他	2,693	2,290	2,954	2,274	2,107	1,891	1,634	1,336	1,082	934
	計	3,895	3,854	4,644	3,960	3,576	3,591	3,477	3,229	2,488	2,245
さし網	ヒラメ	84	82	109	89	80	143	81	65	90	50
	カレイ類	262	192	149	97	102	169	82	74	115	102
	ブリ類	104	67	68	35	66	96	76	29	46	103
	その他	1,184	1,039	1,107	1,152	1,062	1,705	942	972	822	707
	計	1,634	1,380	1,433	1,373	1,310	2,113	1,181	1,140	1,073	962

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、漁業管理課調べ

②⑦ 有明海区の主要な漁業種類別魚種別漁獲量

(単位：t)

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
採貝	アサリ	116	70	54	511	1,475	1,682	1,077	198	48	96
	サルボウ	2,477	1,932	2,087	2,003	1,013	1,560	914	252	25	17
	タイラギ	1	10	4	0	0	0	0	0	0	0
	その他	8	14	14	20	22	33	934	261	66	1,413
	計	2,602	2,026	2,154	2,534	2,510	3,274	2,011	459	114	1,509
潜水器	タイラギ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
さし網	スズキ類	10	10	7	10	6	4	5	5	4	7
	ガザミ類	31	17	13	16	18	14	16	23	32	32
	その他	324	1,435	1,578	1,506	677	642	1,005	953	8,129	5,284
	計	365	1,462	1,598	1,532	701	660	1,026	981	8,165	5,323

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、漁業管理課調べ

②⑧ 豊前海区の主要な漁業種類別魚種別漁獲量

(単位：t)

		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
小型底びき網	カレイ類	78	71	71	69	65	56	60	55	44	40
	エビ類	175	142	123	119	115	104	100	96	81	90
	ガザミ類	63	52	47	46	43	30	31	22	8	7
	その他	571	577	453	424	380	402	418	407	467	458
	計	887	842	694	658	603	592	609	580	600	595
小型定置網	スズキ	x	x	23	24	19	16	17	19	17	13
	イカ類	x	x	14	16	12	14	19	13	19	11
	ガザミ類	x	x	12	11	13	6	4	4	2	2
	その他	x	x	162	155	131	96	112	101	132	130
	計	x	x	211	206	175	132	152	137	170	156
採貝	アサリ	31	27	25	24	22	17	16	9	11	3
	その他	19	22	24	26	23	21	-	-	-	-
	計	50	49	49	50	44	38	-	-	-	-

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」（組替集計）、漁業管理課調べ

注1：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

⑳ 内水面漁業の魚種別漁獲量

(単位：t)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
オイカワ	45	15	9	9	6	5	5	5	5	4
フナ	33	17	13	12	10	9	9	6	6	5
コイ	33	13	8	7	5	5	5	4	5	4
アユ	27	6	4	5	2	2	2	2	2	2
ウナギ	10	6	5	5	4	4	4	7	6	5
エツ	21	30	21	10	13	17	21	15	16	12
その他魚類	32	28	24	24	23	21	21	19	16	13
魚類計	201	115	84	72	63	63	67	58	57	45
シジミ	136	52	49	48	34	32	33	29	30	25
その他水産動物	17	14	11	9	8	8	8	9	9	8
合計	355	181	145	128	105	103	108	96	96	78

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、水産振興課調べ

㉑ 内水面養殖業の魚種別収穫量

(単位：t)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
コイ	261	281	261	260	261	263	261	212	181	193
ウナギ	20	39	39	39	41	19	13	12	14	15
その他魚類	8	8	7	6	3	3	3	4	4	5
魚類計	289	328	307	305	305	285	277	228	199	213
スイゼンジノリ	18	7	7	7	12	8	9	12	5	2
合計	307	335	314	312	317	293	286	240	204	215

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」、漁業管理課調べ、水産振興課調べ

Ⅲ 水産業・漁村の基盤づくり

1 海面

⑪ 漁場整備の実績（令和5年度）

（事業費：千円）

	筑前海		有明海		豊前海		累計		備考
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	
魚礁設置事業									
小規模魚礁	1	32,500	-	-	-	-	1	32,500	市町村が行う事業規模が1,200㎡程度の事業
中規模魚礁	5	339,700	-	-	-	-	5	339,700	県が行う事業規模が2,500㎡程度の事業（単年）
大規模魚礁	-	-	-	-	-	-	-	-	県が行う事業規模が30,000㎡程度の事業（複数年）
増殖場造成事業									
小規模増殖場	1	65,200	-	-	-	-	1	65,200	市町村が行う計画事業費が3千万円以上の事業
大規模増殖場	1	97,400	-	-	1	151,200	2	248,600	県が行う計画事業費が5千万円以上の事業（複数年）
養殖場整備事業									
小規模養殖場	1	80,200	-	-	-	-	1	80,200	市町村が行う計画事業費が3千万円以上の事業
大規模養殖場	-	-	-	-	-	-	-	-	県が行う計画事業費が5千万円以上の事業（複数年）
漁場保全事業									
小規模保全	-	-	-	-	-	-	-	-	計画事業費が5千万円以上の事業（単年）
大規模保全	-	-	1	2,000,000	2	249,600	3	2,249,600	計画事業費が5千万円以上の事業（複数年）
合計	9	615,000	1	2,000,000	3	400,800	13	3,015,800	

資料：水産振興課調べ

⑫ 種苗配布実績

（事業費：万尾、万個）

	クルマエビ	ガザミ	ヨシエビ	アワビ	アカウニ	アユ (内水面)
平成26	1,365	403	515	82	50	56
27	836	267	815	91	52	60
28	559	429	797	73	53	57
29	524	398	926	62	53	64
30	590	410	392	56	44	61
令和元	527	365	908	56	67	60
2	529	371	917	10	61	56
3	350	538	644	59	41	56
4	311	559	623	71	42	53
5年	312	635	380	59	40	53

資料：水産振興課調べ

⑬ 海面漁業免許状況

（令和6年4月1日現在）

	漁業権の内容となる漁業種類	筑前海	有明海	豊前海	計	備考
		件	件	件	件	
共同漁業権	第1種共同漁業権	21	2	3	26	貝類、藻類等、定着性水産動物を目的とする漁業
	第2種共同漁業権	10	-	-	10	網漁具を移動しないよう敷設して営む漁業
	第3種共同漁業権	-	-	-	-	築いそ漁業
	計	52	4	6	62	
区画漁業権	のりひび建養殖業	-	7	-	7	支柱を建てのり網を敷設して営むのり養殖業
	のり養殖業	4	45	6	55	支柱または浮流してのり網を敷設して営むのり養殖業
	わかめ養殖業	13	-	-	13	ロープにワカメの種付けをして営む養殖業
	こんぶ養殖業	1	-	-	1	ロープにコンブの種付けをして営む養殖業
	小割式魚類養殖業	4	-	-	4	網いけすを使用して営む養殖業
	かきひび建養殖業	-	1	-	1	支柱にかきを付着させ営む養殖業
	かき養殖業	14	-	26	40	いかだからかき採苗器を垂下して営む養殖業
	のり養殖業	-	1	-	1	支柱または浮流してのり網を敷設して営むのり養殖業
	かき垂下式養殖業	-	-	-	-	延縄にかき採苗器や種苗を入れたカゴを垂下して営む養殖業
	わかめ・あかもく養殖業	1	-	-	1	「わかめ養殖業」と「あかもく養殖業」を同じ区画内で営む養殖業
	かき・わかめ養殖業	1	-	-	1	「かき養殖業」と「わかめ養殖業」を同じ区画内で営む養殖業
	ふともずく養殖業	2	-	-	2	フトモズクを種付けした網を敷設して営む養殖業
	わかめ・ふともずく養殖業	1	-	-	1	「わかめ養殖業」と「ふともずく養殖業」を同じ区画内で営む養殖業
	かき・魚類養殖業	4	-	-	4	「かき養殖業」と「小割式魚類養殖業」を同じ区画内で営む養殖業
	あわび養殖業	1	-	-	1	いかだからアワビを入れたカゴを垂下して営む養殖業
	真珠母貝養殖業	7	-	-	7	いかだからアコヤガイを入れたカゴを垂下して営む養殖業
	真珠養殖業	1	-	-	1	真珠母貝として育成したアコヤガイに核を入れ真珠を生産する養殖業
	あかもく養殖業	3	-	-	3	ロープにアカモクの幼芽を挟み込んで営む養殖業
	うに養殖業	1	-	-	1	いかだからウニを入れたカゴを垂下して営む養殖業
第2種	-	-	-	-	土、石、竹、木等によって囲まれた一定の区域内において営む養殖業	
第3種	あさり地まき式養殖業	-	4	-	4	地まき式養殖業
	かき養殖業	-	-	-	-	地まき式養殖業
第1種	あさり養殖業	-	1	-	1	種苗を入れたカゴ、袋の設置又はそれらを垂下して営む養殖業
	あさり地まき式養殖業	-	-	-	-	地まき式養殖業
	計	58	59	32	149	
漁業	雑魚定置漁業	2	-	-	2	水深27m以深に定置網を敷設して雑魚を目的とする漁業
	計	2	-	-	2	

⑭ 海面漁業許可状況

(令和6年1月1日現在)

漁業種類	小型機船底びき網			まき網		ごち網		機船船びき網				かご				さし網																					
	手繰第2種		手繰第3種	中型		1	2	えそごち網	さより浮びき網	とびうお浮びき網	1	しばえび浮びき網	えび2	いかご	ふぐかご	雑魚かご	あなごかご	ぬたうなぎかご	かにかご	雑魚一重流し刺し網	きす流し刺し網	さわら流し刺し網	餌料用さんま流し刺し網	さより流し刺し網	まながつお流し刺し網	えび三重流し刺し網	すずき流し刺し網	なるとびえい流し刺し網	ぼら囲刺し網	ぶり囲刺し網	雑魚囲刺し網	さより囲刺し網	固定式刺し網				
	えびこぎ網	自家用餌料びき網	なまここぎ網	けた網	貝けた網	なまこけた網	あじさばまき網	かたくちいわしまき網	しいらまき網	1	2	えそごち網	さより浮びき網	とびうお浮びき網	1	しばえび浮びき網	えび2	いかご	ふぐかご	雑魚かご	あなごかご	ぬたうなぎかご	かにかご	雑魚一重流し刺し網	きす流し刺し網	さわら流し刺し網	餌料用さんま流し刺し網	さより流し刺し網	まながつお流し刺し網	えび三重流し刺し網	すずき流し刺し網	なるとびえい流し刺し網	ぼら囲刺し網	ぶり囲刺し網	雑魚囲刺し網	さより囲刺し網	固定式刺し網
筑前海	79	7	-	-	7	63	7	0	1	92	58	6	41	12	-	-	139	23	95	2	24	-	-	94	5	69	-	-	-	-	-	-	49	10	46	5	313
有明海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	50	26	-	-	-	-	-	-	351
豊前海	64	-	56	60	-	-	-	-	-	27	-	-	1	-	20	22	-	2	-	-	-	-	191	-	-	21	-	3	73	-	-	9	23	-	-	-	356

漁業種類	その他										県外船						県内・県外合計							
	潜水器	浮敷網	集魚灯利用すくい網	地びき網	建干網	延なわ	空釣縄	小型いかつり	たこつば	げんしき網	あわび漁業	なまこ漁業	その他の漁業	県内合計	小型いかつり	えびこぎ網		ごち建網	きす流し刺し網	えび三重流し刺し網	すずき流し刺し網	雑魚一重流し刺し網	固定式刺し網	けんしき網
筑前海	46	2	15	12	-	-	-	150	84	-	80	68	7	1,711	91	-	-	-	-	-	-	-	-	91
有明海	-	-	-	-	-	-	2	-	-	15	-	-	-	493	-	-	-	3	31	13	56	13	116	
豊前海	-	-	13	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	948	-	89	11	2	-	-	-	-	102	
合計	3,152													309						3,461				

資料：漁業管理課調べ

⑮ 海区漁業調整委員会の種類

範囲	委員会		
県内	福岡県連合海区漁業調整委員会		
	筑前海区 漁業調整委員会	福岡県有明海区 漁業調整委員会	福岡県豊前海区 漁業調整委員会
隣県 (連合海区)	響灘連合海区漁業調整委員会 筑肥連合海区漁業調整委員会	福岡佐賀有明海 連合海区漁業調整委員会	周防灘三県 連合海区漁業調整委員会
広域	日本海・九州西 広域漁業調整委員会		瀬戸内海 広域漁業調整委員会

資料：漁業管理課調べ

⑯ 海区漁業調整委員会開催回数及び審議内容

	筑前委員会			有明委員会			豊前委員会			連合委員会		
	令和3	4	5年度	令和3	4	5年度	令和3	4	5年度	令和3	4	5年度
委員会開催回数	7	8	13	7	7	6	4	6	5	7	7	6
公聴会開催回数	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
協議会等開催回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
審議内容	委員会指示	6	1	6	3	3	1	2	-	3	1	1
	漁業権	-	1	3	-	8	2	-	1	3	-	5
	漁業許可	8	5	16	1	1	4	2	1	5	1	1
	漁業調整	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	漁業調整規則	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
	対県漁業調整	4	5	5	4	5	4	2	3	2	8	10
	漁業取締	-	3	1	2	1	1	-	-	-	-	-
	資源管理	6	4	6	1	-	1	1	-	1	-	-
土砂採取	5	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	11	14	13	13	17	11	9	16	6	16	7	7

資料：漁業管理課調べ

2 内水面

㉗ 内水面種苗放流実績（令和5年度）

（単位：万尾）

魚種	放流数量			放流場所
	漁協	県	合計	
アユ	受精卵1,300万粒 34.4	受精卵8,000万粒 56.3	受精卵9,300万粒 90.7	矢部川、筑後川、小石原川、佐田川、八木山川、今川、祓川、岩岳川
ウナギ	2.8	0.9	3.7	矢部川、筑後川、小石原川、佐田川、今川、祓川
フナ	2.9	1.6	4.5	矢部川、筑後川、小石原川、佐田川、今川、祓川、花宗池等
ヤマメ	2.9	5.3	8.2	矢部川、小石原川、佐田川、今川、祓川、岩岳川
オイカワ	産卵床21か所 16.8	-	産卵床21か所 16.8	矢部川、筑後川、今川、祓川、岩岳川
モクスガニ	9.2	7.9	17.1	矢部川、筑後川、小石原川、佐田川、今川、祓川
テナガエビ	3.0	-	3.0	矢部川、筑後川
スッポン	0.03	-	0.03	矢部川、筑後川、今川、祓川
エツ	- 31.7	受精卵10,000万粒 -	受精卵10,000万粒 31.7	筑後川

資料：水産振興課調べ

㉘ 内水面特別採捕許可件数（シラスウナギを除く）

	稚アユ	オイカワ	その他	計
平成26	2	1	58	61
27	3	1	52	56
28	2	1	48	51
29	2	1	48	51
30	2	1	45	48
令和元	2	1	45	48
2	2	1	40	43
3	1	1	45	47
4	2	1	60	63
5年度	1	1	57	59

資料：水産振興課調べ

㉙ 内水面漁業権数

	第1種共同漁業権	第5種共同漁業権	第1種区画漁業権	第2種区画漁業権	計
平成26	5	8	3	42	58
27	5	8	3	42	58
28	5	8	3	42	58
29	5	8	3	22	38
30	5	8	3	22	38
令和元	5	8	3	22	38
2	5	8	2	22	37
3	5	8	2	20	35
4	5	8	2	20	35
5年度	5	8	2	17	32

資料：水産振興課調べ

㉚ 内水面採捕許可件数

	えつ流刺網	う飼	しろうおやな	計
平成26	194	3	3	200
27	199	3	3	205
28	187	3	3	193
29	178	3	3	184
30	175	3	3	181
令和元	172	3	2	177
2	162	2	2	166
3	155	2	2	159
4	143	2	2	147
5年度	125	2	1	128

資料：水産振興課調べ

㉛ シラスウナギ採捕許可件数

	特別採捕許可	うなぎ稚魚漁業許可	計
平成26	27	0	27
27	25	0	25
28	27	0	27
29	27	0	27
30	24	0	24
令和元	23	0	23
2	18	21	39
3	17	22	39
4	14	20	34
5年度	12	20	32

資料：水産振興課調べ

㉜ 内水面漁場管理委員会開催回数及び審議内容

	令和3	4	5年度	
委員会開催回数	5	7	7	
公聴会開催回数	-	1	1	
審議内容	委員会指示	6	3	3
	漁業権	-	4	4
	採捕許可	7	5	5
	漁業調整規則	-	-	-
	遊漁規則	-	1	1
	対県漁業調整	-	-	-
	漁業取締	-	-	-
	遊漁調整	-	-	-
	その他	5	10	5

資料：漁業管理課調べ

3 漁港・漁村

④③ 漁港漁村整備事業

(単位：百万円)

	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5年度
漁港整備	1,719	2,290	1,384	2,537	2,175	2,506	2,480	1,558	1,579	1,299
漁村整備	132	232	309	441	369	426	110	0	11	0
海岸保全	5	37	76	48	48	0	55	0	5	11
県単補助	229	178	206	259	153	203	235	218	215	225
合計	2,085	2,737	1,975	3,285	2,745	3,135	2,880	1,776	1,810	1,536

資料：水産振興課調べ

④④ 漁港漁村海岸整備実績（令和5年度）

	筑前海	有明海	豊前海
漁港整備	(県)津屋崎、大島、小呂島 (北九州市)藍島 (福岡市)弘、博多、志賀島、奈多 (宗像市)鐘崎 (糸島市)姫島	(県)沖端 (柳川市)両開、皿垣開、久間田 (大川市)大野島	(北九州市)柄杓田、曾根 (行橋市)藁島
漁村整備			
海岸保全	(県)玄界灘沿岸		
漁港等施設改修事業 (県単補助)	(県)小呂島、津屋崎、大島 (北九州市)藍島 (福岡市)唐泊 (宗像市)神湊、鐘崎、地島 (福岡市)福岡 (糸島市)船越	(県)沖端 (柳川市)中島、両開、皿垣開、久間田	(県)宇島 (北九州市)曾根 (行橋市)稲童

資料：水産振興課調べ

注：()内は事業主体。

④⑤ 県内の漁港所在地



IV 水産物の供給

1 消費の動向

④6 1世帯あたりの魚介類の年間支出額

(単位：万円)

	平成30	令和元	2	3	4年
福岡県	8.0	7.5	7.7	7.3	7.1
全国	7.4	7.4	7.7	7.5	7.3

資料：総務省「家計調査」

④7 1世帯あたりの年間魚種別購入量ベスト10（令和4年）

(単位：kg)

福岡県			全国		
順位	魚種	消費量	順位	魚種	消費量
1	サケ	1.85	1	サケ	2.29
2	ブリ	1.83	2	マグロ	1.62
3	エビ	1.35	3	ブリ	1.36
4	アジ	0.98	4	エビ	1.23
5	イカ	0.92	5	イカ	1.08
6	タイ	0.89	6	カツオ	0.78
7	イワシ	0.78	7	サバ	0.71
8	サバ	0.72	8	アジ	0.69
9	カレイ	0.67	9	カレイ	0.67
10	カニ	0.39	10	タコ	0.47

資料：総務省「家計調査」

④8 生鮮魚介類の市場価格と消費価格

(単位：円/kg)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4年
市場価格	501	549	522	583	575	555	592	548	563	647
消費価格	1,461	1,474	1,613	1,616	1,823	1,891	1,908	1,866	1,710	2,054

資料：福岡市中央卸売市場「年報水産編」、総務省「家計調査」

④9 門司税関内の輸入数量と輸入金額

	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5年
輸入数量 (万t)	22.6	23.6	22.1	23.6	22.1	22.3	21.0	19.3	19.2	20.8
輸入金額 (千億円)	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.5	1.2	1.2	1.7	1.7

資料：門司税関「九州経済圏貿易概況」

⑤0 食用水産物の自給率等（国ベース）

	平成30	令和元	2	3	4年度 (概算値)
自給率(%)	59	55	57	59	56
国内生産量(千t)	3,339	3,118	3,037	3,080	2,836
輸入量(千t)	3,122	3,165	2,890	2,933	2,997
輸出量(千t)	787	688	680	783	755
在庫の増減(千t)	▲2	▲45	▲36	42	28
国内消費仕向量(千t)	5,676	5,640	5,283	5,188	5,050

資料：農林水産省「食料需給表」

2 卸売市場等

⑤1 福岡県の水産物卸売市場取扱量及び取扱金額

(単位：万t)

	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5年
中央卸売市場	8.0	8.8	7.6	7.4	7.0	6.2	5.8	5.9	5.8	6.2
地方卸売市場	5.2	4.9	5.9	5.6	5.3	5.1	4.9	4.7	3.4	3.8
計	13.2	13.7	13.5	13.0	12.3	11.3	10.7	10.6	9.2	10.0

(単位：千億円)

	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5年
中央卸売市場	0.51	0.53	0.51	0.49	0.44	0.41	0.36	0.38	0.43	0.49
地方卸売市場	0.37	0.37	0.49	0.48	0.46	0.44	0.40	0.40	0.36	0.43
計	0.88	0.90	1.00	0.97	0.90	0.85	0.76	0.78	0.79	0.92

資料：水産振興課調べ

⑤2 水産物卸売市場の取扱量 (令和5年)

(単位：t)

市場	生鮮	冷凍	塩干・加工	計
福岡市中央卸売市場	54,527	5,039	2,754	62,320
地方卸売市場	18,817	10,226	8,724	37,767
計	73,344	15,265	11,478	100,087

資料：水産振興課調べ

⑤3 水産物卸売市場の取扱金額 (令和5年)

(単位：百万円)

市場	生鮮	冷凍	塩干・加工	計
福岡市中央卸売市場	37,052	7,481	3,909	48,441
地方卸売市場	19,656	13,025	10,568	43,249
計	56,708	20,506	14,477	91,690

資料：水産振興課調べ

⑤4 県内の市場所在地(令和6年4月1日現在)



⑤ 県内の主な水産物直売所

(令和6年4月1日現在)

海区	施設名	場所	営業時間	問い合わせ先	
筑前海	福ふくの里	糸島市二丈福井6333	9:00~17:00 (休み: 盆、正月)	事務所 092-326-6886	
	産直きらら	糸島市二丈深江1-20-1	9:00~17:30 (休み: 第3火曜日、正月)	事務所 090-9072-5544	
	J A糸島アグリ	糸島市志摩小富士14-34	4~9月:8:30~19:00、10~3月:8:30~18:00 (休み: 正月)	事務所 092-327-2740	
	J F糸島志摩の四季	糸島市志摩津和崎33-1	8:30~17:00 (休み: 盆、正月)	事務所 092-327-4033	
	J A糸島産直市場伊都菜彩	糸島市渡多江567-1	9:00~18:00 (休み: 正月)	事務所 092-324-3131	
	ぎょれん博多漁師処	福岡市中央区舞鶴2-4-19	10:00~17:00 (休み: 土・日曜・祝日、盆、正月)	福岡県漁業協同組合連合会 092-713-1161	
	島の駅 あいのしま	糟屋郡新宮町大字相島1382-1	3~10月:10:00~17:00、11~2月10:00~16:30 (休み: 年末年始、不定休)	事務所 092-981-3470	
	ひとまるの里	糟屋郡新宮町下府1206-2	9:00~17:30 (休み: 盆、正月)	事務所 092-941-5500	
	ふれあい広場ふくま	福津市上西郷539-1	8:30~17:00 (休み: 第3火曜日、盆、年末年始)	事務所 0940-43-7790	
	あんずの里市	福津市勝浦1667-1	8:30~17:00 (休み: 第2木曜日、盆、正月)	事務所 0940-52-5995	
	お魚センターうみがめ	福津市津屋崎4-47-18	9:00~17:00 (休み: 火曜日、盆、正月)	事務所 0940-52-1939	
	道の駅むなかた	宗像市江口1172	9:00~17:00 (休み: 第4月曜日、盆、年末年始)	事務所 0940-62-2715	
	鐘の岬活魚センター	宗像市鐘崎778-6	8:00~16:00 (休み: 水曜日、盆、年末年始)	事務所 0940-62-1570	
	宗像漁協大島直売所 「さよしま」	宗像市大島1809-8	9:00~16:00 (休み: 火曜日、盆、年末年始)	事務所 0940-72-2666	
	脇田フィッシャーメンズ ワープ「汐入の里」物産館	北九州市若松区安屋3710	月水木金曜 9:30~15:00、土日祝日 9:30~16:00 (休み: 火曜日(祝日の場合翌日)、盆、年末年始)	事務所 093-742-4111	
	海と大地	北九州市若松区響町3-1-34	9:30~18:00 (休み: 盆、正月)	事務所 093-771-2222	
	有明海	福岡有明海漁連 直売所	柳川市三橋町高畑271	8:30~17:00 (休み: 土・日曜日・祝日、盆、年末年始)	事務所 0944-76-4101
	豊前海	道の駅豊前おこしかけ	豊前市西郎丸1041-1	8:00~18:00 (休み: なし)	事務所 0979-84-0544
		うみてらす豊前 直売所四季旬海	豊前市宇島76-31	9:00~17:00 (休み: 火曜日、盆、年末年始)	事務所 0979-64-6717
		うみてらす豊前 漁師食堂うのしま豊築丸	豊前市宇島76-31	11:00~14:00 (休み: 火曜日、盆、年末年始)	事務所 0979-82-2620

資料: 水産振興課調べ

注: 海況・天候等により開催日や営業時間が変更されることがある。また、盆・正月休みがある。

⑥ 県内の主な朝市・夕市

(令和6年4月1日現在)

名称	場所	開催日	開始時間	問い合わせ先
姪浜朝市	姪浜漁港	毎週日曜日	5:30~	福岡市漁協姪浜支所 092-881-0025
伊崎おさかな夕市	伊崎漁港	毎週土曜日	14:55~	福岡市漁協伊崎支所 092-741-2970
弘の夕市	弘漁港	第2・4土曜日 (5~12月)	14:00~	福岡市漁協弘支所 092-603-6611
志賀島朝市	志賀島漁港	第1・3日曜日 (4~12月)	7:30~ (6:00整理券配布)	福岡市漁協志賀島支所 092-603-6509
津屋崎魚朝市	津屋崎漁港	毎週日曜日	7:00~	宗像漁協津屋崎支所 0940-52-0053
平松とれとれ朝市	北九州市小倉北区西港町 船だまり	毎週日曜日 (4~12月)	7:00~ (6:30予約開始)	北九州市漁協平松支所 093-571-0265
長浜土曜朝市 ※	北九州市小倉北区 末広1-16-16	第2・4土曜日 (4~12月)	9:00~	北九州市漁協長浜支所 093-521-1090
旧門司活魚朝市 ※	北九州市門司区 旧門司2-4-11	第3日曜日 (4~11月)	9:00~	北九州市漁協旧門司支所 093-321-6801
中島朝市	柳川市大和町中島 大徳商店街	毎日	9:00~	中島商店会事務局 0944-76-3968
幸朝市 ※	荻田町漁協前	毎月第3日曜日	10:00~	荻田町漁協 093-436-3121

資料: 水産振興課調べ

注: 海況・天候等により開催日や営業時間が変更されることがある。また、盆・正月休みがある。

注: 販売開始後、すぐに売れてしまうことがある。

※: 令和6年4月1日現在休業中。

⑤7 県内の水産物直売所と朝市・夕市マップ



⑤8 水産加工場数、主な営んだ加工種類別延べ工場数

	水産加工場数(実数)	冷凍水産物	焼・味付のり	かまぼこ類	冷凍食品	塩干品	塩蔵品	節製品	塩辛類	水産物つくた煮	乾燥・焙焼・揚げ加工品	調味加工品その他
平成20	251	21	19	85	8	26	14	15	11	15	16	73
25	227	19	18	74	14	24	16	11	8	11	10	63
30年	195	7	18	56	20	20	15	9	7	13	-	86

資料：漁業センサス

⑤9 水産加工種類別生産量（t）

	平成30	令和元	2	3	4年
ねり製品	x	x	x	x	x
うち、かまぼこ類	11,524	13,364	12,117	9,306	9,200
冷凍食品	9,151	8,976	…	…	…
素干し品	26	5	…	…	…
塩干品	625	682	…	…	…
煮干し品	21	20	…	…	…
塩蔵品	2,182	1,719	…	…	…
節製品	284	289	…	…	…
その他の食用加工品	17,164	17,790	…	…	…
焼・味付けのり(千枚)	1,197,227	1,159,510	1,117,253	1,100,934	1,109,690

資料：農林水産省「水産加工統計調査」

注1：「x」は、秘密保護上統計数値を公表していないもの。

注2：令和2年調査から主産県調査となったため、主産県以外の都道府県の生産量は「…」となっている。

V その他

⑥ 福岡県の漁協一覧

漁協名	所在地	電話番号	組合員数(人)		
			総数	正組合員	准組合員
糸島	糸島市志摩岐志778-5	092-328-2311	360	293	67
福岡市	福岡市西区愛宕浜4-49-1	092-881-4300	411	335	76
新宮相島	糟屋郡新宮町大字相島1559	092-962-2901	55	39	16
宗像	宗像市鐘崎778-5	0940-62-1500	403	359	44
遠賀	遠賀郡岡垣町大字波津1675	093-282-1220	69	55	14
北九州市	北九州市若松区大字小竹3008-7	093-751-3954	210	203	7
ひびき灘	北九州市若松区大字安屋1742	093-741-0795	160	108	52
筑前海区計			1,668	1,392	276

漁協名	所在地	電話番号	組合員数(人)		
			総数	正組合員	准組合員
大川市	大川市大字小保1013-1	0944-86-5681	117	88	29
川口	大川市大字新田1317-2	0944-86-2841	45	37	8
浜武	柳川市南浜武623-1	0944-72-5351	228	165	63
沖端	柳川市矢留本町1	0944-72-5134	118	99	19
両開	柳川市大浜町318-1	0944-72-7141	118	89	29
柳川	柳川市吉富町219-1	0944-72-2955	81	59	22
皿垣開	柳川市大和町皿垣開909	0944-76-0010	56	41	15
有明	柳川市大和町明野304-2	0944-76-3032	68	61	7
山門羽瀬	柳川市大和町鷹ノ尾1237-7	0944-76-3282	24	24	0
大和	柳川市大和町中島1469	0944-76-0111	294	247	47
中島	柳川市大和町中島729	0944-76-3250	178	166	12
高田	みやま市高田町江浦1340	0944-22-5346	56	44	12
新大牟田※	大牟田市大字手鎌770-8	0944-55-3773	46	25	21
三浦海苔生産※	大牟田市大字手鎌1978-7	0944-57-7761	21	20	1
三浦第一※	大牟田市大字唐船字塩浜65-7	0944-56-7300	22	21	1
手鎌	大牟田市大字手鎌7	0944-52-5702	50	29	21
三里	大牟田市早米来町1-82	0944-53-6415	50	32	18
有明海区計			1,572	1,247	325

※：新大牟田漁協、三浦海苔生産漁協、三浦第一漁協は令和6年4月1日に合併し「大牟田市漁協」へ。

漁協名	所在地	電話番号	組合員数(人)		
			総数	正組合員	准組合員
豊前海北部	北九州市門司区大字柄杓田1420	093-341-8911	94	84	10
北九州東部	北九州市小倉南区大字吉田2778-2	093-471-7627	27	23	4
曾根	北九州市小倉南区曾根新田北3-13-7	093-471-7128	32	27	5
苅田町	京都郡苅田町幸町21	093-436-3121	35	31	4
蓑島	行橋市大字蓑島470-13	0930-23-1040	109	86	23
行橋市	行橋市大字沓尾247-2	0930-22-0427	121	104	17
豊築	豊前市大字宇島76-31	0979-83-2228	151	106	45
吉富	築上郡吉富町大字小犬丸359-4	0979-22-0619	70	70	0
豊前海区計			639	531	108
海区合計			3,879	3,170	709

漁協名	所在地	電話番号	組合員数（人）		
			総数	正組合員	准組合員
犬山	八女市黒木町本分4502-6	0943-42-4560	26	21	5
岩岳川	豊前市大字中村547-1	0979-82-0476	69	69	0
京二川	行橋市大字流末1176-1	0930-25-6569	86	86	0
八木山川	宮若市宮田2433	0949-33-2032	29	29	0
矢部川	八女市山内748	0943-23-3313	231	93	138
下筑後川	久留米市安武町武島1750-1	0942-27-0716	135	104	31
筑後川	朝倉市古毛465	0946-52-0379	262	252	10
甘木	朝倉市上秋月2754	0946-25-0322	43	40	3
内水面計			881	694	187

漁協名	所在地	電話番号	組合員数（人）		
			総数	正組合員	准組合員
福岡県養鰻	北九州市小倉南区上吉田4丁目14-22	093-473-9045	17	17	0
業種別計			17	17	0

資料：漁業管理課調べ

注：組合員数は令和6年3月31日現在。

福岡県農林水産業・農山漁村振興条例

平成26年12月25日
福岡県条例第51号
(令和6年3月26日改正)

本県は、温暖な気候で、筑後川、遠賀川、矢部川をはじめとする河川沿いに広がる肥沃な平野から、筑紫山地、筑肥山地、耳納山地等の山地まで変化に富む地形を有し、筑前海、有明海、豊前海といった特徴ある水域にも恵まれている。これらの豊かな自然環境を活かして、多様な農林水産業が展開され、全国に誇れる農林水産物が数多く生産されている。

また、県土の半分近くを占める森林は、水源かん養機能、土砂流出防止機能等県民の安全・安心な生活に重要な役割を果たしている。

このように、本県の農林水産業は、先人たちの優れた技術とたゆみない努力により、今日まで県民生活に欠くことのできない食料を供給するのみならず、水源のかん養や県土の保全等、県民に計り知れない恵みをもたらしており、本県にとって重要な産業である。

私たち福岡県民は、このような農林水産業の役割は今後も変わることはなく、健康で豊かな生活を支えていくために極めて重要な意義を持ち続けると確信する。

しかしながら、本県の農林水産業は、急速に進む担い手の減少、高齢化や国際化の進展、食生活の多様化、さらに自然災害や家畜伝染病の発生の増加といった農林水産業及び農山漁村をめぐる状況の変化により、その持続的な発展の基盤が揺らいでいる。

このような事態を克服するためには、競争力のある本県農林水産業を確立することもより、全ての県民が食及び木材利用の重要性を再認識するとともに、農林水産業及び農山漁村が果たす役割と意義に思いを致し、都市と農山漁村が共生しつつ持続的に発展するために主体的に行動していくことが重要である。

ここに、本県の農林水産業及び農山漁村を県民の貴重な財産として育み、次代に引き継ぐとともに、その進むべき道を明らかにするために、この条例を制定する。

(目的)

第一条 この条例は、本県の農林水産業及び農山漁村の振興に関する施策について、基本理念及びその実現に必要な事項を定めることにより、農林漁業者の意欲の向上を図るとともに、農林水産業及び農山漁村に対する県民の理解を深め、もって本県の農林水産業及び農山漁村の持続的な発展並びに県民の健康で豊かな生活の向上に寄与することを目的とする。

(基本理念)

第二条 県は、次に掲げる基本理念に基づいて農林水産業及び農山漁村の振興を図るものとする。

- 地域の特性に応じて、収益性の高い、足腰の強い農林漁業経営（社会経済情勢の変化に即応し得る安定的な農林漁業経営をいう。第四条において同じ。）が確立され、将来にわたり農林水産業が持続的に営まれること。
- 県民が求める安全で安心な農林水産物の生産が行われるとともに、食及び木材利用の重要性について県民の理解が深められ、農林水産業の振興に資する県民の主体的な行動が促されること。
- 農林水産業及び農山漁村が育んできた良好な景観の形成、県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、文化の伝承等の多面的な機能が、将来にわたって維持増進されること。

(県の役割)

第三条 県は、農林水産業及び農山漁村の振興のため、国及び市町村との適切な役割分担並びに農林漁業者、農林水産業関係団体（農業協同組合、森林組合、漁業協同組合その他の農林水産業に関する団体をいう。次条において同じ。）等との連携の下に、本県の自然的、経済的及び社会的諸条件に応じた総合的な施策を推進するものとする。

(農林漁業者及び農林水産業関係団体の役割)

第四条 農林漁業者及び農林水産業関係団体は、県民が求める安全で安心な農林水産物の供給の主体であることを深く認識するとともに、収益性の高い、足腰の強い農林漁業経営の確立に向け、創意工夫を生かした効率的な生産及び魅力ある農山漁村づくりに主体的に取り組むよう努めるものとする。

(県民の役割)

第五条 県民は、食及び木材利用の重要性を認識し、特に成長過程にある子どもの食生活が健全で豊かなものになるよう心がけるとともに、農林水産業及び農山漁村の役割及び意義に対する理解を深めるよう努めるものとする。

2 県民は、前項の規定を踏まえ、地産地消（県産農林水産物を県内で消費し、又は利用することをいう。次条第十二号において同じ。）や農林漁業体験等への参画、農林漁業者との協働等により、農林水産業及び農山漁村の振興に協力するよう努めるものとする。

(主要な施策)

第六条 県は、第二条に定める基本理念のっとり、次に掲げる施策の実施に努めるものとする。

- 需要の動向に応じた農林水産物の生産、新たな需要を創出する品種及び品目の導入等による収益性の高い経営の確立及び競争力のある産地の育成に必要な施策

二 農林水産物の優良な種子、種苗等の安定供給及び品質の確保に必要な施策

三 知的財産の戦略的な保護及び活用並びに六次産業化（一次産業としての農林漁業と、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことをいう。）の取組等農林水産物のブランド化（農林水産物の付加価値の創出、維持及び向上をいう。）に必要な施策

四 農林水産物の輸出の促進及び県外への販路拡大に必要な施策

五 県産木材の需要及び供給の拡大に必要な施策

六 海面及び内水面での漁業における資源管理、種苗放流等の水産資源の持続的な利用に必要な施策

七 意欲のある担い手の育成及び確保に必要な施策

八 女性が自らの視点を生かした経営及びこれに関連する活動に参画する機会を確保するための環境整備に必要な施策

九 農林水産業及び農山漁村の発展に資する新品種及び新技術の開発並びにその普及に必要な施策

十 農林水産業の生産性を向上させるための基盤整備に必要な施策

十一 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に必要な施策

十二 家畜及び養殖水産動物の伝染病並びに農林水産物及び森林の病虫害の発生予防及びまん延防止に必要な施策

十三 安全で安心な農林水産物の生産の推進、県産農林水産物に関する情報の提供等による消費者の信頼及び消費意欲の向上に必要な施策

十四 地産地消の推進に必要な施策

十五 教育機関等と連携した食育、木育（木の良さや木材利用の意義を学ぶことをいう。）等の推進に必要な施策

十六 農林水産業及び農山漁村に関する情報の提供、農林漁業体験機会の拡大、都市と農山漁村との間の交流の促進等、農林水産業及び農山漁村に対する県民の理解と関心を深めるための施策

十七 農林漁業者と特定非営利活動法人、ボランティア、企業等との協働による農山漁村の維持発展に必要な施策

十八 自然環境に配慮した農業水利施設等の整備、安全で快適な生活環境の整備等による魅力ある農山漁村づくりに必要な施策

十九 災害に強い農林水産業及び農山漁村づくりに必要な施策

二十 中山間地域における棚田、特産物等地域特有の資源を活用した農山漁村の活性化に必要な施策

二十一 農薬、肥料等の適正な使用の確保、農林水産業活動により生じるバイオマス（動植物由来する有機物である資源をいう。）の活用の推進等による農林水産業の自然循環機能の維持増進に必要な施策

(基本計画の策定)

第七条 知事は、農林水産業及び農山漁村の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本計画を定めなければならない。

2 知事は、基本計画を定めようとするときは、福岡県農林水産業振興審議会の意見を聴かななければならない。

3 知事は、基本計画を定めたときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。

4 知事は、農林水産業及び農山漁村をめぐる情勢の変化等を勘案し、おおむね五年ごとに基本計画を見直すものとする。

5 第二項及び第三項の規定は、基本計画の見直しについて準用する。

(施策の実施状況等の公表)

第八条 知事は、毎年、農林水産業及び農山漁村の動向並びに農林水産業及び農山漁村の振興に関し講じた施策の実施状況を公表するものとする。

(福岡県農林水産業振興審議会の設置)

第九条 県に福岡県農林水産業振興審議会（以下この条において「審議会」という。）を置く。

2 審議会は、第七条第二項に規定する事項を処理するほか、知事の諮問に応じ、農林水産業及び農山漁村の振興に関する重要事項を調査審議する。

3 審議会は、前項に規定する事項に関し、知事に意見を述べることができる。

4 前三項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(推進体制の整備等)

第十条 県は、農林水産業及び農山漁村の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための効率的な体制の整備に努めるものとする。

2 県は、第二条に定める基本理念の実現に向け、広く県民が参画して行われる諸活動を促すよう努めるものとする。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日（平成26年12月25日）から施行する。

（中略）

附 則（令和6年条例第19号）

この条例は、公布の日（令和6年3月26日）から施行する

福岡県農林水産業・農山漁村の動向
－ 令和5年度 農林水産白書 －

発行日	令和6年9月
編集発行者	福岡県
連絡先	福岡県農林水産部 農林水産政策課企画広報係
T E L	092-651-1111（代表） 092-643-3468（直通）



福岡県行政資料	
分類記号 PA	所属コード 4700103
登録年度 06	登録番号 0002